

土 木 研 究 所 資 料

関東地震による千葉県内の道路施設の被害調査

昭和 56 年 2 月

建設省 土木研究所
耐 震 研 究 室

Copyright © 1980 Fiscal year by P.W.R.I. All rights reserved.

No part of this book may be reproduced by any means, nor transmitted, nor translated into a machine language without the written permission of the Director of P.W.R.I.

この報告書は、土木研究所長の承認を得て刊行したものである。したがって、本報告書の全部又は一部の転載、複写は土木研究所長の承認を得ずしてこれを行なってはならない。

道路施設の耐震性を判定する手法を開発する一方法として、既往の地震による道路施設の被害を調査し、被害の程度と被害箇所の地形・地質・道路の形状等の要因を分析することが考えられる。筆者らは1923年の関東地震による千葉県内の道路施設の被害箇所について上に述べたような分析をおこなった。調査方法としては道路施設の被害に関する報告書に記述されている被害箇所の現地調査および被害箇所周辺の住民からの聞きとり調査をおこなった。また地震当時の地形図から道路の形状を読みとった。これらのデータから被害の程度とこれに影響をおよぼす要因の間の関係について分析をおこなった。

調査にあたっては関東地方建設局千葉国道工事々務所、千葉県土木部道路維持課、同館山土木事務所に資料の提供等の御協力を賜った。

現地調査と解析の一部は(株)応用地質調査事務所、地形図の読みとりは京葉測量株式会社が行った。

昭和55年10月

地震防災部 部長 栗林 栄一

耐震研究室 室長 上田 治

主任研究員 田崎 忠行

市川 秀樹
(昭54退職)

柴田 松雄

後藤 勝志

目 次

1	調査の概要	1
1 1	調査対象	1
1 2	調査方法	1
2	調査結果	5
2.1	被害箇所の分布	5
2.2	被害と表層地質	5
2.3	被害と道路形状，道路諸元	5
2.4	被害と地震断層からの距離，地形	5
3	結 論	18
4	謝 辞	18
5	参考文献	18
付属資料Ⅰ	関東地震による千葉県内の被害の概要	19
付属資料Ⅱ	道路被害箇所調査表	23

1 調査の概要

1.1 調査対象

今回の調査対象とした関東地震による道路施設の被害は、参考文献 1) の付図「地方における道路被害図」に示されている 365 箇所である。付図の写しを図 1-1 に示す。図には被害額による分類ごとに記載されている。

1.2 調査方法

図 1-2 に示す調査カードに調査箇所ごとに該当項目を記入した。調査地点番号は図 1-1 の被害箇所の番号に対応している。路線名は関東地震当時のものではなく、調査時点における路線名を記入することとした。地形区分、表層地質区分、傾斜区分、起伏量は、参考文献 2) を参照して記入した。表層地質の時代区分は、現地観察のほか参考文献 3) も参考にした。位置・標高、後背地の利用、地下水位・湧水、現況道路形状は現地調査にもとづいて記入した。現地調査では図 1-1 の被害箇所図だけでは位置の特定ができないので、現地における聞きとり調査によって位置の特定をおこなった。この際、被害の状況の聞きとりをおこない、被害の状況の欄に記入した。またこれをつぎの被害形態に分類して、被害分類の欄に記入した。

(イ) 路面上の小規模な亀裂：交通の通行に支障をきたさない程度に路面等に亀裂、断差が生じたもの。

(ロ) 路面上の大規模な亀裂または盛土の被害：交通の通行が不能になるほどの路面等の亀裂、断差、ないし盛土全体のすべり破壊。

(ハ) 切土の被害：切土ないし自然斜面が崩壊したもの。

(ニ) 橋梁の被害：橋梁が被害をうけたもの。

現地調査において、現地付近に関東地震の体験者がいない等聞きとり調査ができない場合には、道路の現状における形状、周辺地形から被害分類を推定することにした。ただし、(1) 現況の道路形状、周辺地形の条件から被害を推定することが困難なもの。(2) 現地の聞きこみから被害を受けていないことがほぼ明らかなもの、については被害分類を不明とした。

断層からの距離については、参考文献 4) の測地学的資料により地震断層線を図 1-3 の位置に想定し、この線と被害地点の距離を地図上で測定して記入した。

道路の形状、および盛土高、切土高などの道路諸元と被害との関係を解析するために、被害の多かった館山、鴨川、君津の各土木事務所管内について、調査時点における道路の形状と道路諸元に関する調査をおこなった。対象とした路線は、調査時点の国道および県道とした。ただし地震後道路改良等によって位置が変更になったものについては、地震当時の位置について調査した。調査に用いた地図を表 1-1 に示す。大正 12 年の 1:10,000 地形図、昭和 22 年の 1:40,000 の航空写真によって地震当時の道路の位置を確認し、昭和 49 年の 1:10,000 地形図原図によって道路形状の確認、道路諸元の計測をおこなった。このために 1:10,000 地形図上の道路を 50 m ごとの区間に分割し、道路形状は区間中最も延長の長い道路形状をもって代表させた。道路諸元としての盛土高、切土高は地形図の等高線から読みとることとし、盛土は 5 m ごと、切土は 10 m ごとのランクにまとめて整理した。切土の上部の自然斜面は、おおむね同一勾配の斜面の高さを計測した。切土上部以外の自然斜面については、傾斜が 30° 以上の斜面についてその高さを計測した。これは地図上では 5 m ごとの等高線が 0.8 mm 以下の斜面に相当する。50 m の区間に平坦部と盛土ないし切土がある場合には、その区間は盛土または切土の区間とした。盛土と切土が両方ある区間は、延長の長い方の諸元をとることとした。調査結果の代表例を図 1-4 に示す。

表 1 - 1 使用した地図と使用目的

資 料			使 用 目 的
昭和 4 9 年	千葉県 1 / 1 0, 0 0 0 地形図原図	(京葉測量KK)	距離及び高さの測定 基礎図
昭和 5 3 年	1 / 2 0 0, 0 0 0 千葉県道路図	(千葉県土木部)	路線名及び路線種別
昭和 5 3 年	1 / 5 0, 0 0 0 鴨川土木管内図	(鴨川土木事務所)	路線名及び路線種別 橋及び隧道名
昭和 4 6 年	1 / 5 0, 0 0 0 道路現況綱図	(千葉県土木部)	橋及びトンネルの延長 経路調査
昭和 2 5 年	1 / 2 0 0, 0 0 0 千葉県管内全図	(")	震災当時の路線認定状況調査 及びその後の認定経過
	千葉県法規集	(千葉県総務部)	震災当時の路線認定状況調査 及びその後の認定経過
大正 1 2 年	1 / 5 0, 0 0 0 地形図	(建設省国土地理院)	震災当時の路線経路調査
昭和 2 2 年	1 / 4 0, 0 0 0 航空写真	(米軍撮影同上所有)	"
昭和 4 4 年	1 / 1 3, 0 0 0 "	(京葉測量KK)	切土、盛土位置確認

調 査 カ ー ド

16 ()

調 査 地 点	16		
調 査 年 月 日			
路 線 名			
所 在 地			
地 形 区 分	1.山 地 2.火山地 3.丘陵地 4.台 地 5.段丘地 6.低 地 7.その他 ()		
位 置 ・ 標 高	1.頂 部 2.中 腹 3.山 裾 4.谷 部 5.平 地 6.その他 ()		
後背地の利用	1.山林 2.畑 3.水田 4.宅地 5.果樹園 6.荒れ地 7.河原 8.その他		
表層地質区分	1.未固結堆積物 2.半固結堆積物 3.固結堆積物 4.変成岩 5.火山性岩石		
	6.深成岩および一部変成岩類		
傾 斜 区 分		起 伏 量	
地下水位・湧水			
現況道路形状	1.盛 土 () m 2.切 土 () m 3.切 土 m 盛 土 m 4.平 地		
被 害 の 状 況			
被 害 分 類		被 害 金 額	地震断層からの距離
被害箇所の現況断面スケッチ			

図 1 - 2 調 査 カ ー ド

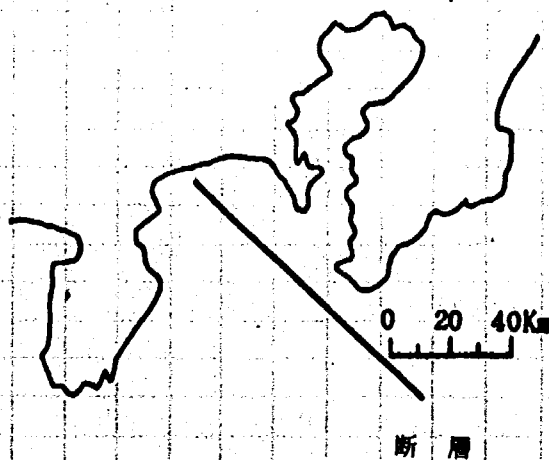


図 1 - 3 推定断層線位置図

調査カード

(道路の形状に関するデータ)

No. 3

鴨川市 区間 20Km~30Km

路線番号 国道
主要地方道
一般県道

24号線

起点 鴨川市

村町

路線名 千葉鴨川線

終点 鴨川市

村町

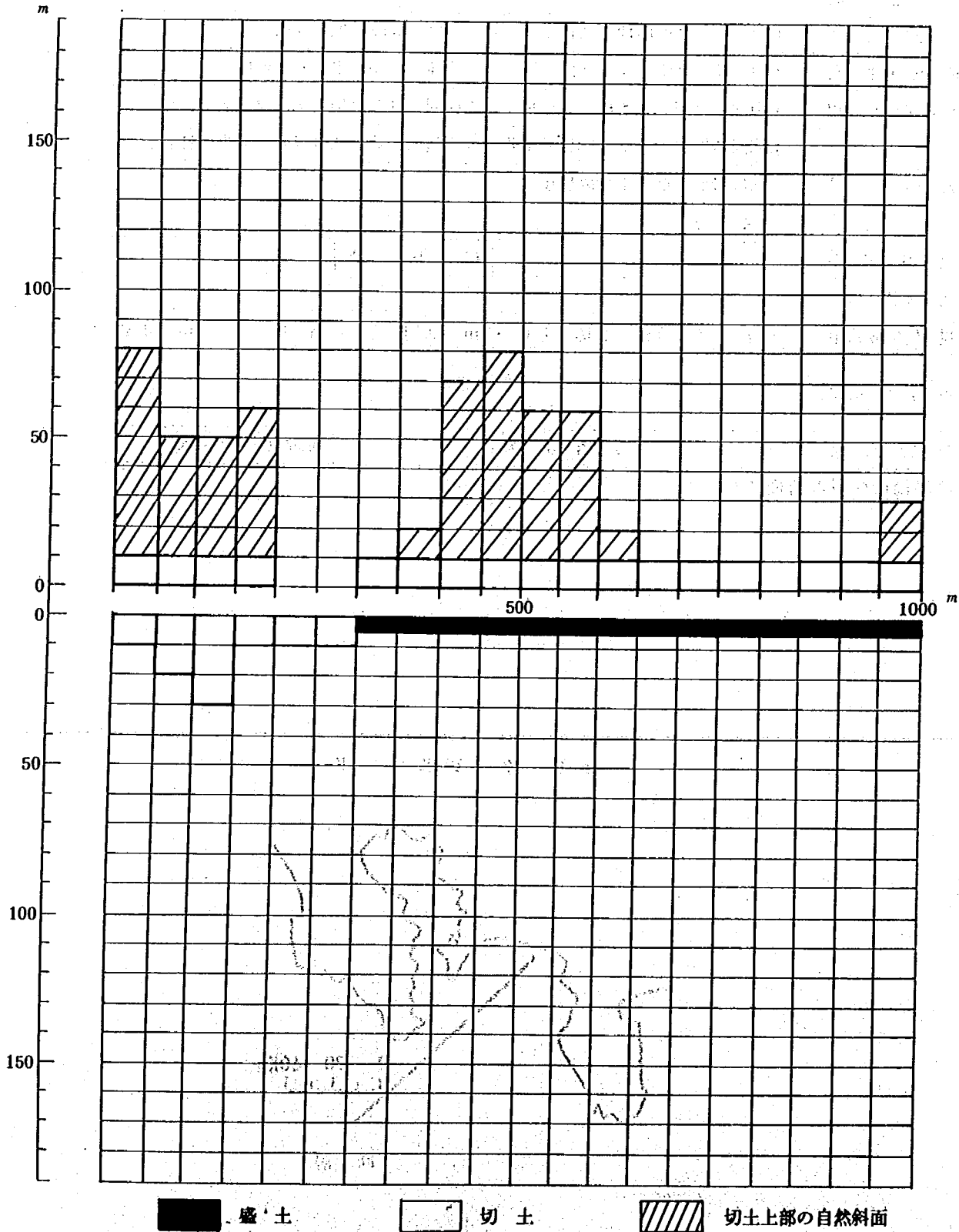


図1-4 道路現況調査カード記入例

2 調査結果

2.1 被害箇所の分布

表2-1は被害箇所を千葉県土木部の各土木事務所の現在における管理区域によって分類したものである。これによると館山土木事務所管内の被害箇所が最も多く、全体の39%を占め、以下君津、市原と続いている。とくに館山土木事務所管内は、千葉県のなかでは地震断層に最も近く、付属資料に述べられているように、住家の被害も最も大きかったところである。

被害分類の分布でみると、被害分類不明のものを除くと橋梁の被害が39%、切土の被害が32%、路面上の小規模な亀裂が20%、路面上の大規模な亀裂または盛土の被害が7%となっている。なお被害総数のうち37%が被害分類が不明となっている。不明箇所となった被害箇所のうち46%は道路現況が盛土や切土のない平地となっており、このために被害も軽微であったために、被害分類の推定が困難であったものと思われる。

2.2 被害と表層地質

被害と表層地質の時代区分との関係を図2-1に示す。被害箇所全体の62%の被害は沖積期の地盤で発生している。これを被害分類別にみると路面上の小規模な亀裂、路面上の大規模な亀裂ないし盛土の被害、橋梁の被害については沖積期の地盤における被害が大きい。一方切土の被害は被害箇所が山地であることから洪積期以前の地盤で被害が多くなっている。

2.3 被害と道路形状、道路諸元

調査方法で述べた館山、君津、鴨川の各土木事務所管内の1:10,000地形図を用いた道路形状、道路諸元の一覧を表2-2に示す。このうち(1)実延長内訳とは路線の重複を除いた実延長の道路形状別内訳である。(2)実延長から隧道、橋梁を除いた区間の道路の両側の現況は、道路の両側の法面高による分類であり、この総延長は(1)の実延長から隧道と橋梁を除いたものの2倍になっている。表2-3は(1)の道路形状別内訳を割合で示したものである。三つの土木事務所を比較すると館山では両側または片側が平坦地のところが多いのに対して、君津、鴨川では両側または片側が切土のところが多く、山地部における道路形状の特徴を示している。表2-4は(2)の道路の法面高による分類を割合で示しているが、これによっても館山で平坦部が多く、君津、鴨川で切土部の多いことがわかる。切土や自然斜面の高さは10m以下のものが多いが、なかには切土や自然斜面で50mを越えるものもある。

表2-5は道路形状の分類ごとの被害頻度をまとめたものである。道路延長あたりの被害頻度では把握にくい隧道と橋梁を除いてみると、切土ないし自然斜面を持つ道路に被害が多く発生している。同様に道路の片側ごとの形状による分類と被害頻度の関係を表わした表2-6でも切土部ないし自然斜面の被害頻度が高くなっている。

表2-7は被害の多かった切土のり面に着目して、切土高と被害頻度の関係を示したものである。これによると切土高が30mを超えるのり面は延長が短かいので有意なデータと言いが、30m以下ののり面をとっても切土高と被害頻度の間に正の相関が認められる。切土高が10m以下では被害頻度が10mを超える法面と比較して急激に⁵⁾減少している。この結果は1978年伊豆大島近海地震の際の切土のり面の被害に関する調査結果とも一致している。

2.4 被害と地震断層からの距離、地形

図1-3に示されている地震断層から被害箇所までの距離と被害頻度の関係を図2-2に示す。これには道路延長あたりの被害箇所数のほかに、道路延長あたりの被害金額も図示してある。同様なまとめ方で、被害の種類ごとに地震断層からの距離と被害頻度の関係を示したのが図2-3、4である。図2-3は橋梁の被害、図2-4は盛土の被害を表わしている。これらの図は地盤ごとの被害頻度も示されている。これらの図から、地震断層からの距離が増加

するに従って、被害頻度が減少する傾向が読みとれる。

被害頻度と地形の関係を調査するために、地形のデータとして参考文献 2) の起伏量をとることとした。起伏量は表 2 - 8 の定義のように 1 km メッシュ内の最高と最低の標高の差によって起伏量区分が求められる。図 2 - 5 は被害頻度と起伏量の関係を示したものである。これによれば起伏量区分 0 (標高差 50 m 未満) と 1 以上では被害頻度に有意な差が認められるか、起伏量区分が上位になるにつれて被害頻度が増加するとは言い難い。起伏量 0 の分布は県北の北総台地、東京湾沿岸部、利根川流域部となっている。この地域は地震断層から遠いために、被害頻度が小さかったのは当然といえよう。しかし地震断層からの距離の近い地域に限って被害頻度と起伏量の間関係を調べてみても、起伏量の差によって被害頻度の差が顕著になるという傾向は認められなかった。

表 2 - 1 被害箇所の分布と被害分類

土木事務所名	被害箇所総数	被害分類					
		小規模な亀裂	大規模な亀裂又は盛土の被害	切土の被害	橋梁の被害	その他	不明
銚子	10	0	0	1	4	0	5
成田	2	0	0	0	0	0	2
八日市場	2	0	0	0	0	0	2
印旛	1	0	0	0	0	0	1
山武	21	2	1	1	2	0	15
千葉	9	3	0	1	3	0	2
市原	50	9	4	6	11	1	19
長生	16	1	0	2	8	0	5
君津	80	12	1	16	22	1	28
大原	6	0	0	3	2	0	1
大多喜	6	0	0	5	1	0	0
鴨川	14	0	1	2	6	1	4
館山	144	18	8	36	29	3	50
香取	4	1	2	0	1	0	0
計	365	46	17	73	89	6	134

表 2 - 2 (a) 館山土木事務所管内の道路状況

(単位: Km)

	館山市	鋸南町	富山町	富浦町	丸山町	千倉町	白浜町	三芳村	合 計
総 延 長	7505	2915	3275	1535	3215	2085	1210	1810	23550
重 複 延 長	110		245	075	180				610
実 延 長	7395	2915	3030	1460	3035	2085	1210	1810	22940
実延長内訳									
隧道延長	020	025	045	055	020	020	010	005	200
橋梁延長	015	010	005	005	010				045
両側平坦部	2255	945	940	580	390	665	195	405	6375
平坦部と盛土区間	690	565	830	210	605	185	155	435	3675
両側盛土区間	1620	120	340	070	630	285	290	325	3680
平坦部と盛土区間	510	290	210	180	275	270	120	190	2045
両側切土区間	635	035	070	035	230	230	190	070	1495
盛土区間と切土区間	1460	765	570	230	810	430	245	355	4865
平坦部と自然斜面	050	035	005	070	005			015	180
両側自然斜面	005	030			005				040
盛土区間と自然斜面	105	080	015	025	045			010	280
切土区間と自然斜面	030	015			010		005		060
平坦部延長	5760	2780	2925	1620	1665	1785	665	1450	18650
盛土部延長	5495	1650	2095	605	2720	1185	980	1450	16180
1~5m	5315	1280	1960	540	2345	1185	940	1355	14920
6~10	090	310	100	065	235		030	075	905
11~15	055	040	020		095		010	020	240
16~20	035	010			040				085
20m以上		010	015		005				030
切土部延長	3270	1140	920	480	1555	1160	750	685	9960
1~10m	3130	1045	920	470	1450	1155	720	635	9525
11~20	100	020		010	080	005	025	050	290
21~30	020	040			025		005		090
31~40	020	015							035
41~50									
51m以上		020							020
30°以上の自然斜面	195	190	020	095	070		005	025	600
1~10m	005	005	005		005		005		025
11~20	030	025	005	015	030				105
21~30	075	030		030	015			010	160
31~40	040	030	005	020	015				110
41~50	005	015		015				005	040
51~100	040	085	005	015				010	155
101~200					005				005
200m以上									
切土上部の自然斜面	660	490	460	305	455	100	150	150	2770
1~10m	190	105	070	015	135	025	045	015	600
11~20	270	110	110	025	135	030	040	045	765
21~30	150	085	075	055	095	030	035	010	535
31~40	040	065	070	050	045	015	005	010	300
41~50	010	040	075	080	005		005	020	235
51~100		060	055	080	035		020	050	300
101~200		025	005		005				035
200m以上									

表 2 - 2 (b) 君津土木事務所管内の道路現況

(単位 : Km)

		木更津市	君津市	富津市	袖ヶ浦町	合 計
実延長内訳	総 延 長	84.70	176.15	114.65	77.40	452.90
	重 複 延 長	0.20	9.75	0.35	8.75	19.05
	実 延 長	84.50	166.40	114.30	68.65	433.85
	隧 道 延 長		1.05	0.70		1.75
	橋 梁 延 長	0.10	0.90	0.30	0.15	1.45
	両 側 平 担 部	22.00	15.30	18.30	17.70	73.30
	平担部と盛土区間	10.05	12.55	9.95	8.35	40.90
	両 側 盛 土 区 間	18.75	27.90	16.30	17.90	80.85
	平担部と切土区間	5.50	12.00	8.35	5.10	30.95
	両 側 切 土 区 間	6.20	31.50	12.30	5.55	55.55
	盛土区間と切土区間	18.90	55.90	43.55	13.40	131.75
	平担部と自然斜面	0.35	1.65	0.50		2.50
	両 側 自 然 斜 面	0.55	0.80			1.35
	盛土区間と自然斜面	1.40	4.50	3.60	0.50	10.00
	切土区間と自然斜面	0.70	2.35	0.45		3.50
実延長から隧道・橋梁を除いたものの道路両側の現況	平 担 部 延 長	59.90	56.80	55.40	48.85	220.95
	盛 土 部 延 長	67.85	128.75	89.70	58.05	344.35
	1~5m	63.70	99.45	74.50	57.10	294.75
	6~10	1.40	7.35	5.55	0.50	14.80
	11~15	0.70	4.85	2.35	0.15	8.05
	16~20	1.05	3.80	2.35	0.15	7.35
	20m以上	1.00	13.30	4.95	0.15	19.40
	切 土 部 延 長	37.50	133.25	76.95	29.60	277.30
	1~10m	36.65	129.05	74.00	28.90	268.60
	11~20	0.60	3.45	1.90	0.70	6.65
	21~30	0.25	0.35	0.80		1.40
	31~40		0.40	0.25		0.65
	41~50					
	51m以上					
	30°以上の自然斜面	3.55	10.10	4.55	0.50	18.70
	1~10m	1.45	1.35	0.15		2.95
	11~20	1.65	3.35	0.75	0.30	6.05
	21~30	0.20	3.10	0.80	0.10	4.20
	31~40	0.15	1.35	0.85	0.10	2.45
	41~50	0.10	0.75	0.65		1.50
	51~100		0.20	1.35		1.55
	101~200					
	200m以上					
	切土上部の自然斜面	7.55	29.00	19.00	5.20	60.75
	1~10m	3.80	10.35	5.80	2.90	22.85
	11~20	2.15	7.70	4.75	1.70	16.30
	21~30	1.20	5.25	3.95	0.60	11.00
	31~40	0.30	3.50	1.75		5.55
	41~50	0.10	1.60	1.90		3.60
	51~100		0.60	0.85		1.45
	101~200					
	201m以上					

表 2-2 (c) 鴨川土木事務所管内の道路現況

(単位: Km)

		鴨 川 市	和 田 町	天津小湊町	合 計
実 延 長 内 訳	総 延 長	7 9.2 5	2 1.8 0	2 8.6 5	1 2 9.7 0
	重 複 延 長	1.0 0	0.2 0	0.2 5	1.4 5
	実 延 長	7 8.2 5	2 1.6 0	2 8.4 0	1 2 8.2 5
	隧 道 延 長		0.3 5	0.5 5	0.9 0
	橋 梁 延 長	0.3 0		0.0 5	0.3 5
	両 側 平 担 部	1 4.6 5	6.0 0	4.9 0	2 5.5 5
	平担部と盛土区間	1 1.4 0	1.7 5	2.4 5	1 5.6 0
	両 側 盛 土 区 間	1 5.4 5	3.3 0	1.5 5	2 0.3 0
	平担部と切土区間	4.5 0	1.9 0	2.1 5	8.5 5
	両 側 切 土 区 間	5.2 0	1.2 5	3.3 0	9.7 5
	盛土区間と切土区間	2 6.7 5	7.0 5	1 3.4 0	4 7.2 0
	平担部と自然斜面				
	両 側 自 然 斜 面				
	盛土区間と自然斜面			0.0 5	0.0 5
切土区間と自然斜面					
実 延 長 か ら 隧 道 ・ 橋 梁 を 除 い た も の の 道 路 両 側 の 現 況	平 担 部 延 長	4 5.2 0	1 5.6 5	1 4.4 0	7 5.2 5
	盛 土 部 延 長	6 9.0 5	1 5.4 0	1 9.0 0	1 0 3.4 5
	1～5m	6 1.2 0	1 3.5 0	9.8 5	8 4.5 5
	6～10	3.6 5	0.8 0	1.7 5	6.2 0
	11～15	0.9 5	0.3 5	1.6 5	2.9 5
	16～20	0.6 0	0.2 5	1.7 0	2.5 5
	20m以上	2.6 5	0.5 0	4.0 5	7.2 0
	切 土 部 延 長	4 1.6 5	1 1.4 5	2 2.1 5	7 5.2 5
	1～10m	4 0.8 5	1 1.0 0	1 8.0 5	6 9.9 0
	11～20	0.6 5	0.4 5	3.3 5	4.4 5
	21～30	0.2 0		0.7 0	0.9 0
	31～40				
	41～50				
	51m以上				
	30°以上の自然斜面			0.0 5	0.0 5
	1～10m				
	11～20				
	21～30				
	31～40			0.0 5	0.0 5
	41～50				
	51～100				
	101～200				
	200m以上				
	切土上部の自然斜面	9.6 5	4.1 5	1 2.4 0	2 6.2 0
	1～10	2.2 0	1.1 0	2.8 5	6.1 5
	11～20	2.3 0	0.8 5	2.3 0	5.4 5
21～30	2.1 0	0.6 0	2.4 5	5.1 5	
31～40	1.0 5	0.2 0	2.2 0	3.4 5	
41～50	0.6 5	0.7 0	1.5 0	2.8 5	
51～100	1.3 5	0.7 0	1.1 0	3.1 5	
101～200					
201m以上					

表 2 - 3 道路形状による分類

道 路 形 状	館山土木事務所	君津土木事務所	鴨川土木事務所	計
陸 道	0.9 %	0.4 %	0.7 %	0.6 %
橋 梁	0.2	0.3	0.3	0.3
両 側 平 担	27.8	16.9	19.9	20.6
平 担 と 盛 土	16.0	9.4	12.2	11.8
両 側 盛 土	16.0	18.7	15.8	17.4
平 担 と 切 土	8.9	7.1	6.7	7.6
両 側 切 土	6.5	12.8	7.6	10.1
盛 土 と 切 土	21.2	30.4	36.8	28.8
平 担 と 自 然 斜 面	0.8	0.6	—	0.5
両 側 自 然 斜 面	0.2	0.3	—	0.2
盛 土 と 自 然 斜 面	1.2	2.3	0.0	1.6
切 土 と 自 然 斜 面	0.3	0.8	—	0.5
計	100.0	100.0	100.0	100.0

表 2 - 4 法面高ごとの道路延長の割合

(%)

	館山土木事務所	君津土木事務所	鴨川土木事務所	計
平 担 部	41.1	25.7	29.6	30.8
盛 土 部	35.7	40.0	40.8	38.8
0 ~ 1 m	32.9	34.2	33.3	33.7
1 ~ 5	2.0	1.7	2.5	1.9
6 ~ 10	0.5	1.0	1.2	0.8
11 ~ 15	0.2	0.8	1.0	0.7
20 ~	0.1	2.3	2.8	1.7
切 土 部	21.9	32.2	29.6	28.8
1 ~ 10 m	21.0	31.2	27.5	27.6
11 ~ 20	0.6	0.8	1.8	0.9
21 ~ 30	0.2	0.1	0.3	0.2
31 ~ 40	0.1	0.1	—	0.1
41 ~ 50	—	—	—	—
51 ~	0.0	—	—	0.0
自 然 斜 面	1.3	2.1	0.0	1.6
1 ~ 10 m	0.1	0.3	—	0.2
11 ~ 20	0.2	0.7	—	0.5
21 ~ 30	0.4	0.5	—	0.4
31 ~ 40	0.2	0.3	0.0	0.2
41 ~ 50	0.1	0.1	—	0.1
51 ~ 100	0.3	0.2	—	0.2
101 ~ 200	0.0	—	—	0.0
200 ~	—	—	—	—
計	100.0	100.0	100.0	100.0
切土上部の自然斜面	6.1	7.1	10.3	7.3
1 ~ 10 m	1.3	2.7	2.4	2.2
11 ~ 20	1.7	1.9	2.2	1.9
21 ~ 30	1.2	1.3	2.0	1.4
31 ~ 40	0.7	0.6	1.4	0.7
41 ~ 50	0.5	0.4	1.1	0.6
51 ~ 100	0.7	0.2	1.2	0.5
101 ~ 200	0.1	—	—	0.0
201 ~	—	—	—	—

表 2-5 道路形状の分類ごとの被害頻度(1)

道 路 形 状	館山土木事務所管内			君津土木事務所管内			鴨川土木事務所管内			合 計		
	A道路延長km	B被害箇所数	B/A	A道路延長km	B被害箇所数	B/A	A道路延長km	B被害箇所数	B/A	A道 路延長	B被害箇所数	B/A
隆 道 延 長	20.0	1	*	1.75	0	*	0.90	0	*	4.65	1	*
橋 梁 延 長	0.45	29	*	1.45	22	*	0.25	6	*	2.15	57	*
両 側 平 坦 部	63.75	12	0.19	73.30	4	0.055	22.30	0	-	159.35	16	0.10
平坦部と盛土	36.75	2	0.05	40.90	3	0.073	14.35	1	0.07	92.00	6	0.07
両 側 盛 土	36.80	7	0.19	80.85	4	0.049	20.00	0	-	137.65	11	0.08
平坦部と切土	20.45	5	0.24	30.95	2	0.065	12.05	0	-	63.45	7	0.11
両 側 切 土	14.95	9	0.60	55.55	4	0.072	9.75	0	-	80.25	13	0.16
盛土切土	48.65	1	0.021	131.75	3	0.023	47.20	0	-	227.60	4	0.02
平坦と自然斜面	1.80	2	1.10	2.50	0	-		0	-	4.30	2	0.47
両側自然斜面	0.40	0	-	1.35	0	-		0	-	1.75	0	0.00
盛土と自然斜面	2.80	0	-	10.00	1	0.1	0.05	0	-	12.85	1	0.08
切土と自然斜面	0.60	23	38.3	3.50	9	2.57		3	-	4.10	35	0.54

※) 1. 両側盛土の被害箇所数は、盛土と自然斜面の被害箇所数に含める。

2. 両側切土の被害箇所数は、切土と自然斜面の被害箇所数に含める。

3. 平坦部の被害箇所数は、平坦部と盛土の被害箇所数に含める。

4. 平坦部の被害箇所数は、平坦部と切土の被害箇所数に含める。

5. 平坦部の被害箇所数は、平坦部と自然斜面の被害箇所数に含める。

6. 平坦部の被害箇所数は、平坦部と盛土と自然斜面の被害箇所数に含める。

7. 平坦部の被害箇所数は、平坦部と切土と自然斜面の被害箇所数に含める。

8. 平坦部の被害箇所数は、平坦部と盛土と切土と自然斜面の被害箇所数に含める。

表 2 - 6 道路形状の分類ごとの被害頻度 (2)

	館山土木事務所管内			君津土木事務所管内			鴨川土木事務所管内			計		
	A道路延長Km	B被害箇所数	B/A	A道路延長Km	B被害箇所数	B/A	A道路延長Km	B被害箇所数	B/A	A道路延長Km	B被害箇所数	B/A
平 担 部	186.50	14	0.08	220.95	6	0.03	75.25	1	0.01	482.70	21	0.04
盛 土 部	161.80	10	0.06	344.35	8	0.02	103.45	2	0.02	609.60	20	0.03
切 土 部	99.60	35	0.35	277.30	16	0.06	75.25	1	0.01	452.15	52	0.12
自 然 斜 面	6.00	2	0.33	18.70	0	0	0.05	0	0	24.75	2	0.08

注) 切土部には切土上部の自然斜面の被害を含む。

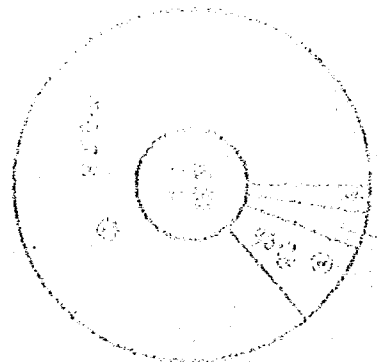
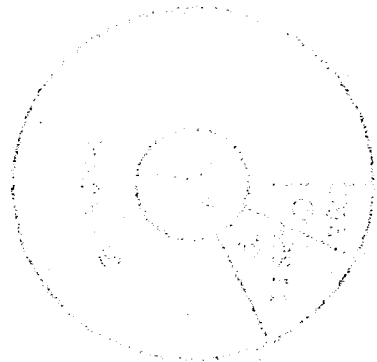
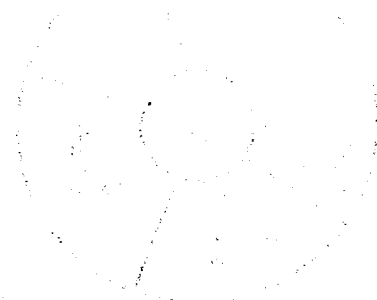
表 2 - 7 切土高と被害頻度

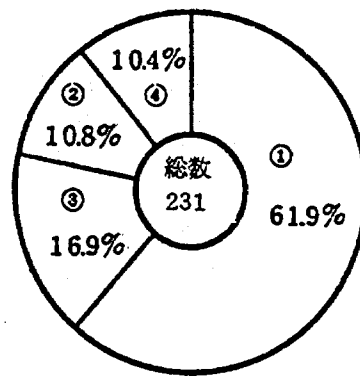
切 土 高	館山土木事務所管内			君津土木事務所管内			鴨川土木事務所管内			計		
	A延長距離Km	B被害箇所数	B/A	A延長距離Km	B被害箇所数	B/A	A延長距離Km	B被害箇所数	B/A	A延長距離Km	B被害箇所数	B/A
0~10m	95.25	26	0.27	268.60	13	0.05	69.90	2	0.03	433.75	41	0.09
11~20m	29.0	6	2.07	6.65	2	0.30	4.45			14.00	8	0.57
21~30m	0.90	2	2.22	1.40			0.90			3.20	2	0.63
31~40m	0.35			0.65						1.00	0	0.00
41~50m										0	0	0.00
51~	0.20	1	5.00							0.20	1	5.00

表 2 - 8 起伏量区分量

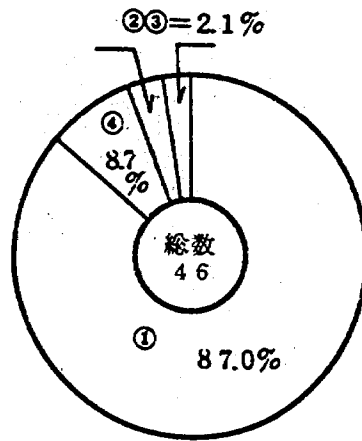
(経済企画庁・土地分類図)

起伏量区分	標 高 (m)
0	0 ~ 50 未満
1	50 ~ 100
2	100 ~ 150
3	150 ~ 200
4	200 ~ 300
5	300 ~ 400

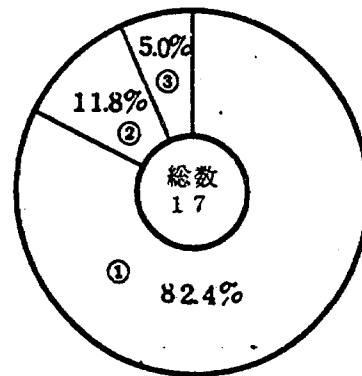




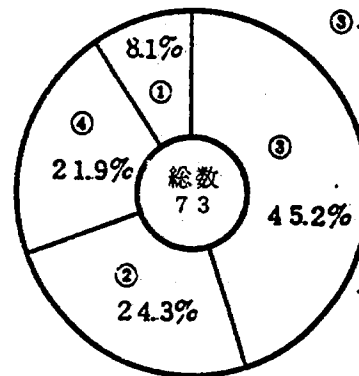
被害箇所全体



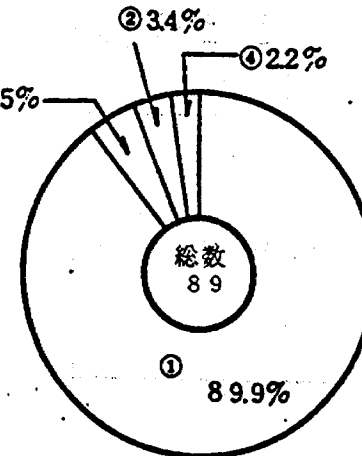
小規模な亀裂



大規模な亀裂
盛土の被害



切土の被害



橋梁の被害

- 凡 例
- | | | |
|---|------|-------|
| ① | 沖積期 | } 第四紀 |
| ② | 洪積期 | |
| ③ | 鮮新时期 | } 第三紀 |
| ④ | 中新期 | |

図 2-1 被害と表層地質の関係

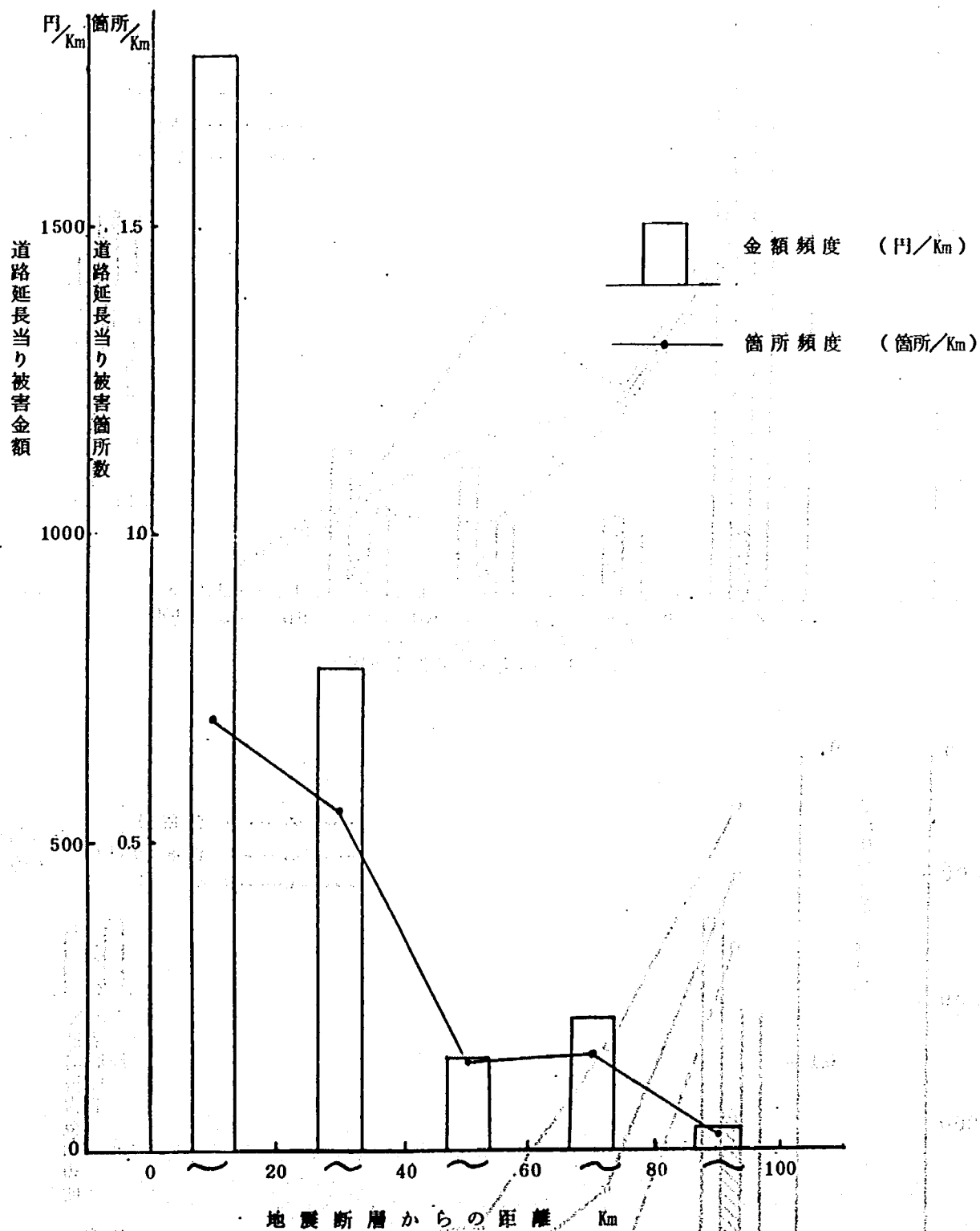


図2-2 道路延長当りの被害頻度

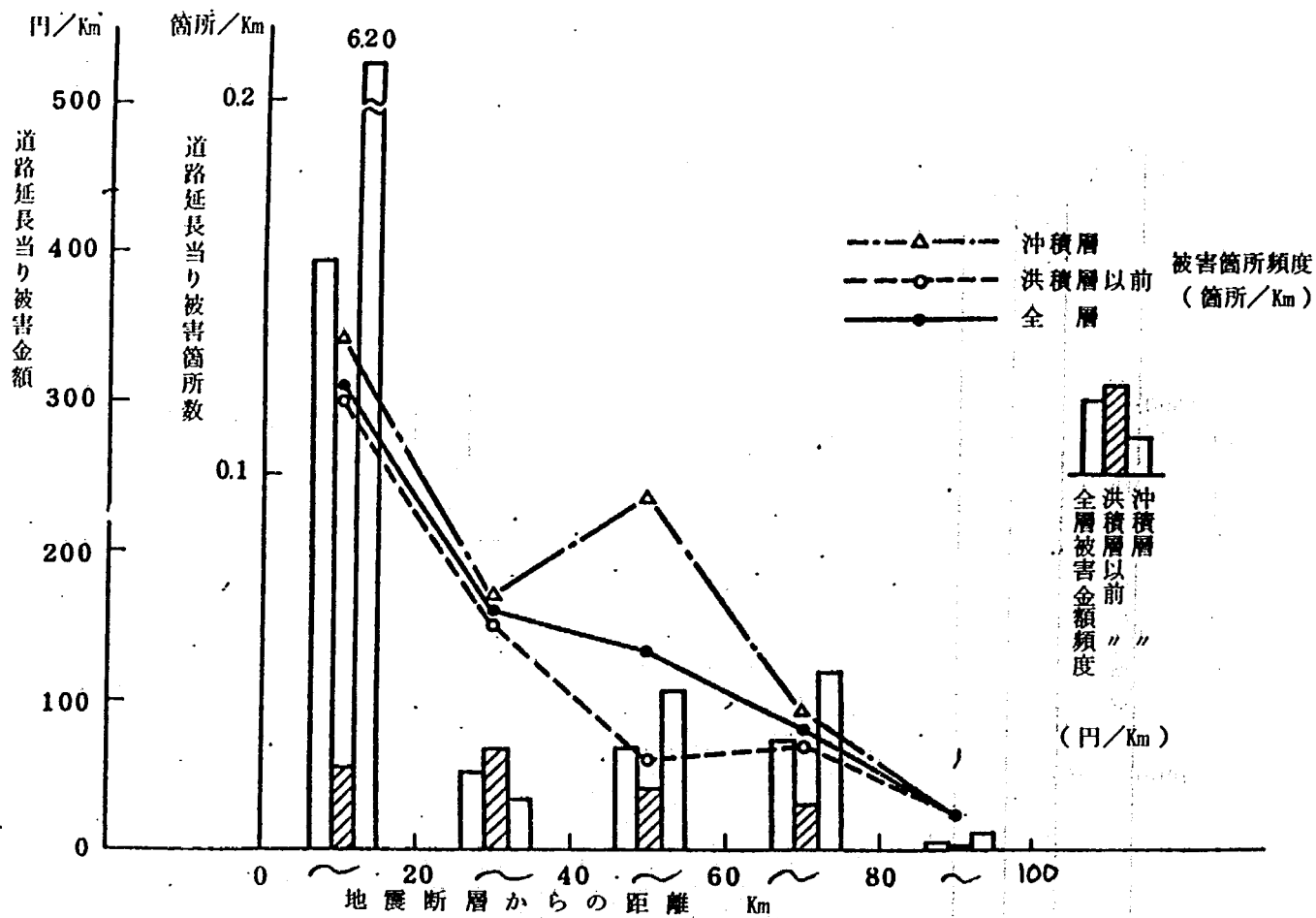


図 2-3 橋梁頻度被害分布図

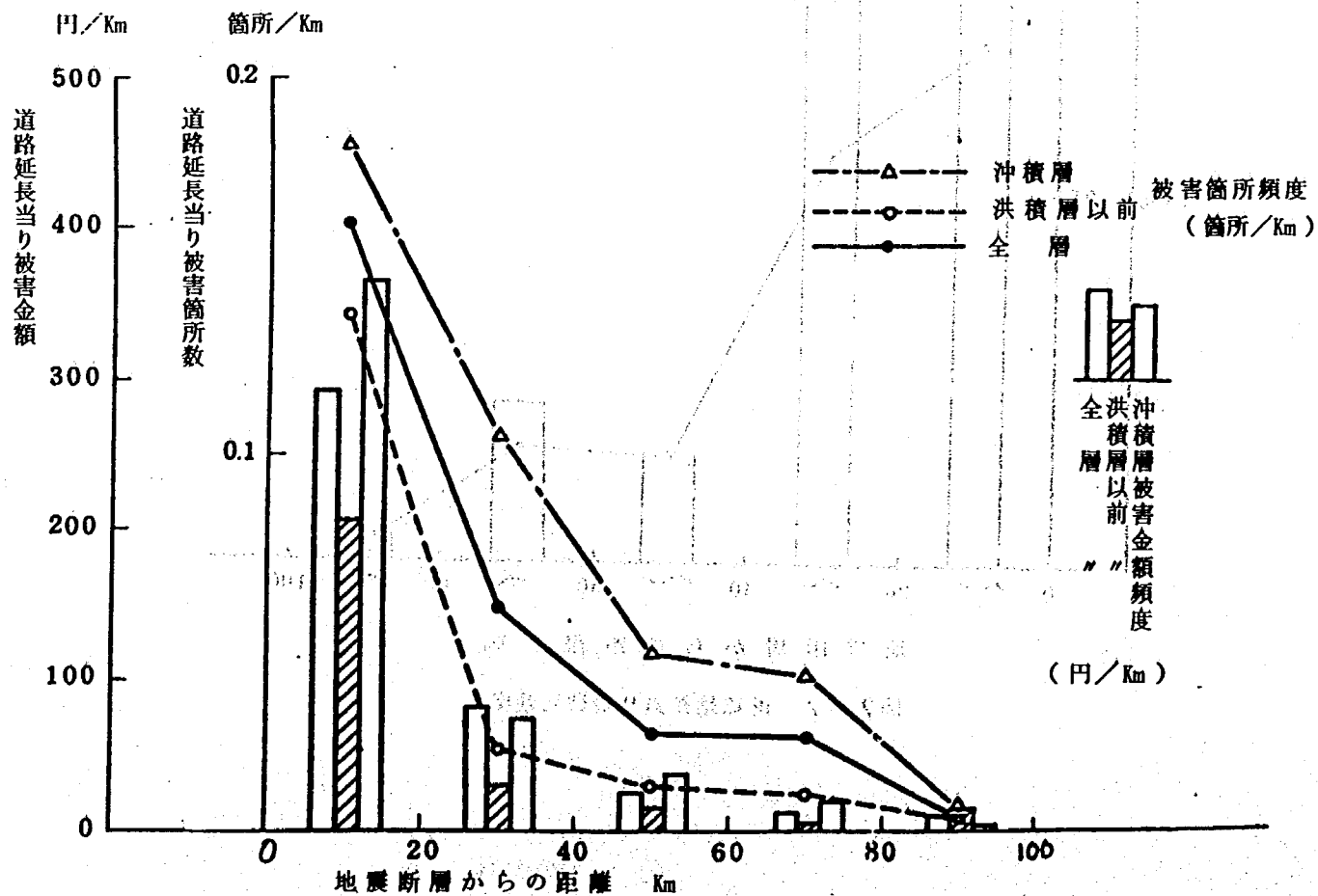


図 2-4 盛土被害頻度分布図

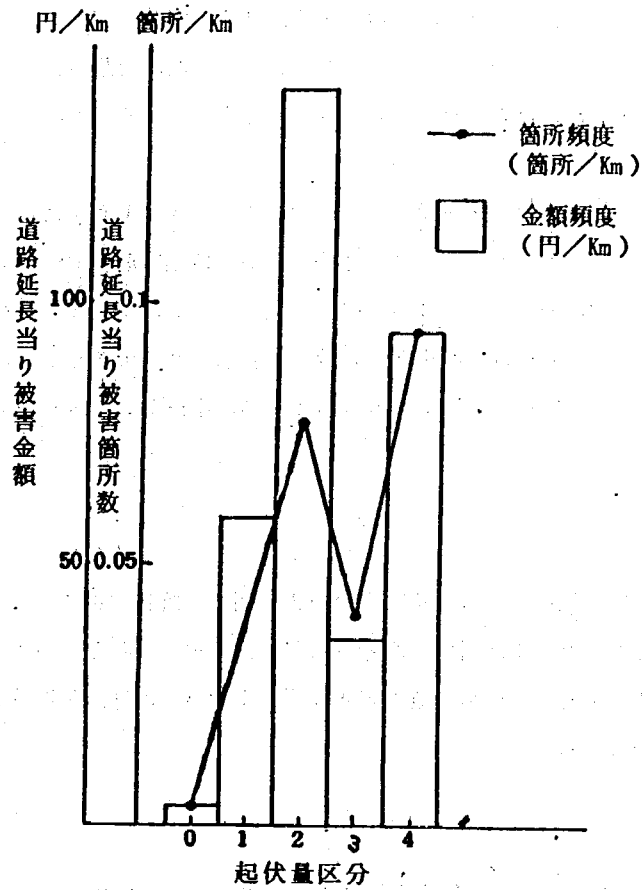


図 2-5 起伏量と被災頻度（切土）の関係

3. 結論

1923年の関東地震による千葉県内の道路施設の地震被害に関する資料を収集し、さらに現地調査をおこなって被害の概要を把握した。地震から50年以上経過していることから、被害状況、道路形状等について必ずしも十分な精度を持った資料を収集できたとは言いが、調査の対象とした365地点のうち63%にあたる230箇所、ほぼ確実と思われる被害状況を知ることができた。

調査結果から関東地震による千葉県内の道路施設の被害について、つぎのような結論が得られた。

- (1) 橋梁、盛土の被害は、沖積期における地盤上の構造物の方が洪積期以前の地盤のものより大きい。
- (2) 被害は切土のり面、自然斜面に発生したものが、盛土に発生したものより多かった。
- (3) 切土高が10mを超えると、10m以下の法面に比較して被害頻度が大きくなる。
- (4) 地震断層からの距離が増大するに従って被害頻度は低下する。距離が50kmを超えると被害箇所の延長あたりの頻度は0.5箇所/Km未満となる。

4. 謝辞

本調査を実施するにあたり、関東地震による千葉県内の被害に関する情報収集については、千葉県総務部消防防災課に多くの助言を頂いた。とくに参考文献 6) は同課に保管されていた貴重な文献を参照させて頂いたものである。

現地調査にあたっては、関東地方建設局千葉国道工事々務所、千葉県土木部道路維持課、館山土木事務所に御助力を頂いた。ここに記して感謝の意を表する。

5. 参考文献

- 1) 土木学会：大正12年関東地震震害調査報告（第3巻），昭和2年12月
- 2) 国土庁土地局：土地分類図（千葉県），昭和51年
- 3) 国土数値情報作成測量作業共同企業体：国土数値情報作成測量作業調査報告書，昭和51年3月
- 4) Ando, M : A Fault-Origin Model of the Great Kanto Earthquake of 1923 as Deduced from Geodetic Data, Bull. Earthquake Research Institute, Tokyo University 49, P19~32, 1971
- 5) 日本道路協会，道路震災対策委員会：道路の震災対策に関する調査報告(I)，伊豆大島近海地震災害，昭和54年3月
- 6) 千葉県罹災救護会：大正大震災の回顧と其の復興，昭和8年8月

〔付属資料Ⅰ〕関東地震による千葉県内の被害の概要

関東地震は首都東京や大都市横浜に被害が発生し、死傷者の多くも2つの大都市で発生したため、従来他の地域の被害は重視されることが少なかった。とくに千葉県は県庁所在地の千葉市を除けば農林水産業が主体であり、通信施設も現在のように発達していなかったため、被害の実態があまり知られていないが、実際は県南の館山市付近は本文1章で述べた地震断層から約20 Kmの距離にあり、場所によって8尺(2.4 m)の隆起があり、家屋も壊滅的な被害を受けるなど、大きな被害を被った。以下に参考文献 5) から引用した被害の概要を述べる。

(1) 人的被害および家屋の被害

市郡別の死傷者数および家屋の被害を表付-1に示す。さらに被害の最も大きかった安房郡(当時)について、市町村別の全壊率を表付-2に示す。このうち現在の館山市にあたる那古町、館野村、北條町は全壊率が90%をこえており、ほぼ壊滅的な被害を被っている。一方館山市と同程度に震源地に近かった船形町、千倉町、七浦村、白浜村、長尾村、富崎村、西岬村では地盤が第三紀の岩が多かったことから、隣接の沖積平野に比較して被害は小さかった。

(2) 公共土木施設の被害

公共土木施設の被害額を表付-3に示す。さらに大正12年10月の臨時県会において30万円、同年12月の通常県会で県工事費974,190円、町村土木補助費677,019円の支出が決定された。これらの予算は大部分大正13年に繰越され、特殊なものについては大正14年まで繰越されたものもあった。

道路の被害の最も大きかったのは県道千葉～北條線(現在の国道127号)で、28箇所、工費71,200円余の被害を受けた。このうち君津郡湊町(現在の富津市)以南では急勾配の斜面崩壊やトンネルの亀裂破壊等によって復旧は困難を極め、応急復旧工事が9月末、恒久復旧工事は11月下旬に調査が完了するという状態であった。千葉～北條線の復旧に長期間を要したため、この迅回路としての勝浦～北條線(現在の国道128号)の復旧が急がれ、数日中に交通に著しい支障のない程度までに復旧した。

つぎに各市町村ごとの被害の記述から道路に関係するものを抜粋してみると、まず九重村(現在の館山市)では町村道路の被害が甚大で、応急修理の余地のない程であった。稲都村(現在の三芳村)では各地で断層による路面の陥没、ずれがあったほか、橋梁5橋が落橋した。また山名飯出での土砂崩壊が180尺(55 m、延長は不明)、厚さ5間(9 m)の規模で発生した。南三原村(現在の和田町)では橋梁3橋(うち1橋は村道)が破壊し、5～6日間交通が途絶した。この他の町村は、沿道住民の労力によって短期間に復旧したところや、具体的な記述のないもの等がある。

市町村	被害箇所	被害内容	被害額(円)	備考
安房郡	那古町	全壊	90%	
安房郡	館野村	全壊	90%	
安房郡	北條町	全壊	90%	
安房郡	船形町	被害		
安房郡	千倉町	被害		
安房郡	七浦村	被害		
安房郡	白浜村	被害		
安房郡	長尾村	被害		
安房郡	富崎村	被害		
安房郡	西岬村	被害		
安房郡	九重村	被害		
安房郡	稲都村	被害		
安房郡	山名飯出	被害		
安房郡	南三原村	被害		

表付-1 千葉県内の人的被害および家屋の被害

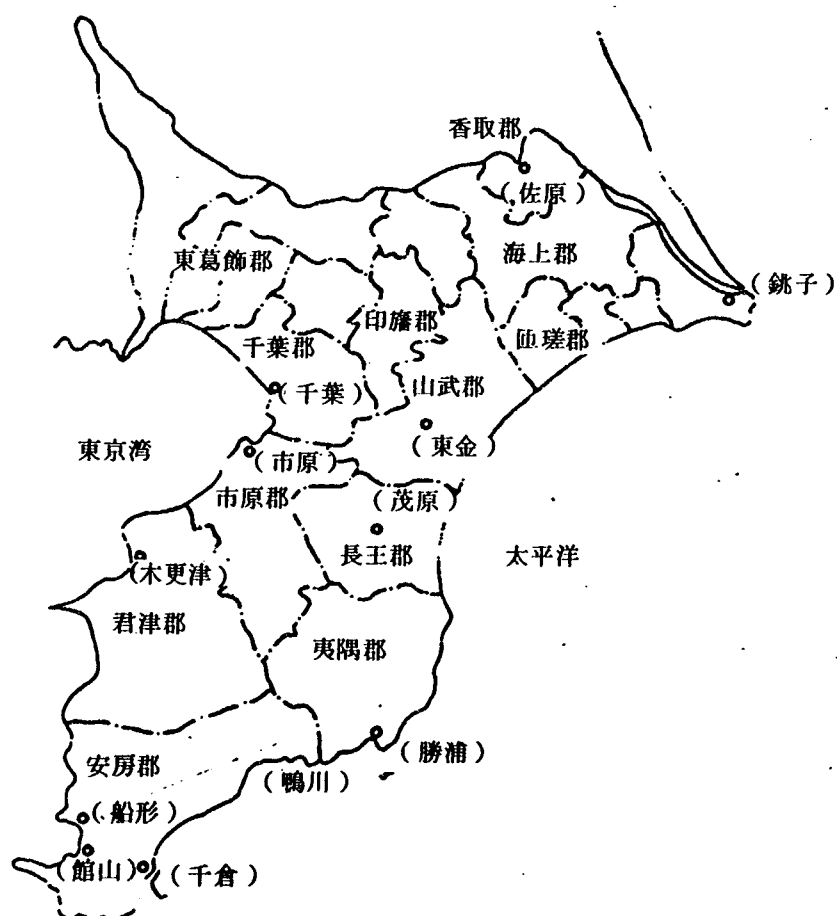
種別 都市別	人的被害				家屋の被害												
	死	傷	行方不明	計	戸数						棟数						
					全潰	半潰	全焼	半焼	流失	計	住家別 住非住	全潰	半潰	全焼	半焼	流失	計
千葉市		9		9	3	5				8	住 非	3	3				6
千葉郡		4		4	5	26				33	住 非		21				6
市原郡	21	60		81	640	801				1,441	住 非	5	27				25
東葛飾郡	15	30		45	69	69				138	住 非	574	636				1,210
印旛郡					3	7				10	住 非	532	735				1,267
長生郡	1	2		3	111	136				247	住 非	24	25				49
山武郡		5		5	23	31				54	住 非	42	41				83
香取郡	1	2		3	10	6				16	住 非	3	4				7
海上郡	1			1							住 非	44	93				137
匝瑳郡					3	1				4	住 非	80	91				171
君津郡	88	247	8	343	2840	3202				6,042	住 非	11	14				25
夷隅郡		5		5	26	76				102	住 非	14	25				39
安房郡	1,218	2,420	5	3,643	10,652	3,163	449		48	14,312	住 非	4	3				7
計	1,345	2,784	13	4,142	14,385	7,525	449		48	22,407	住 非	6	3				9
											住 非						
											住 非	1	1				2
											住 非	2					2
											住 非	1,916	2,303				4,219
											住 非	2,086	2,453				4,539
											住 非	7	36				43
											住 非	18	42				60
											住 非	1,091	4	438		55	14,515
											住 非	13,448	4,915	153		5	18,521
											住 非	13,503	6,245	438		55	20,241
											住 非	16,231	8,342	153		5	24,731

表付－2 安房郡（当時）における家屋の全壊率

市 町 村 名（当時）	現在の市町村名	全 壊 率（%）
那 古 町	館 山 市	9 6.7
館 野 村	〃	9 4.7
北 條 町	〃	9 2.9
九 重 村	〃	8 0.7
国 府 村	三 芳 村	7 9.0
稲 都 村	〃	6 6.0
館 山 町	館 山 市	約 7 0
船 形 町	〃	約 7 0
富 浦 村	富 浦 町	7 2.2
健 田 村	千 倉 町	7 9
千 歳 村	丸 山 町	7 5
豊 田 村	〃	6 8
南 三 原 村	和 田 町	6 6.5
千 倉 町	千 倉 町	3 6.5
西 岬 村	館 山 市	1 3.5
長 尾 村	白 浜 町	1 0.8
七 浦 村	千 倉 町	3.1
富 崎 村	館 山 市	2.6
白 浜 村	白 浜 町	0.1
豊 房 村	館 山 市	4 4.6
神 戸 村	〃	3 5.2
和 田 町	和 田 町	3.0
江 見 村	鴨 川 市	1 6.4
太 海 村	〃	1.5
鴨 川 町	〃	2.5
岩 井 村	富 山 町	3 7.5
勝 山 町	鋸 南 町	1 8.1
保 田 町	〃	2 3.3
八 束 町	富 浦 町	2 1.7
瀧 田 村	三 芳 村	2 1.7
丸 村	丸 山 町	2 2.0
北 三 原 村	和 田 町	6.6

表付-3 公共土木施設被害額一覧表(千葉県)

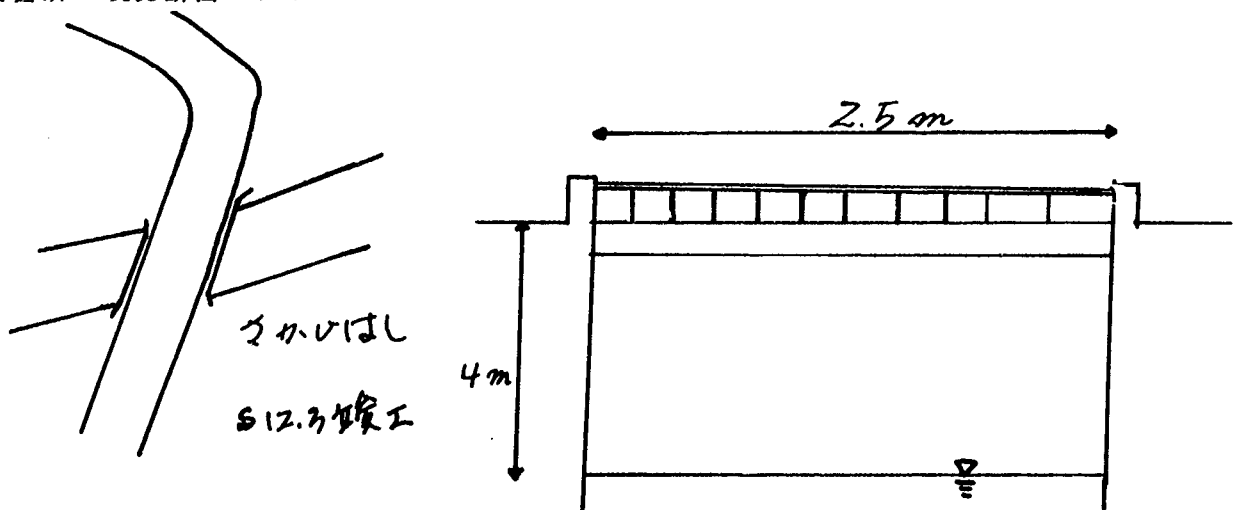
	災 害 申 請 額		災 害 査 定 額	
	箇 所	金 額 (円)	箇 所	金 額 (円)
県 工 事	286	1,105,867	252	747,383
町村及び組合工事	173	1,124,470	146	703,886
計	459	2,230,337	398	1,451,269



図付-1 関東地震当時の千葉県行政区域
(現在の主要地点をカッコ書きで示す)

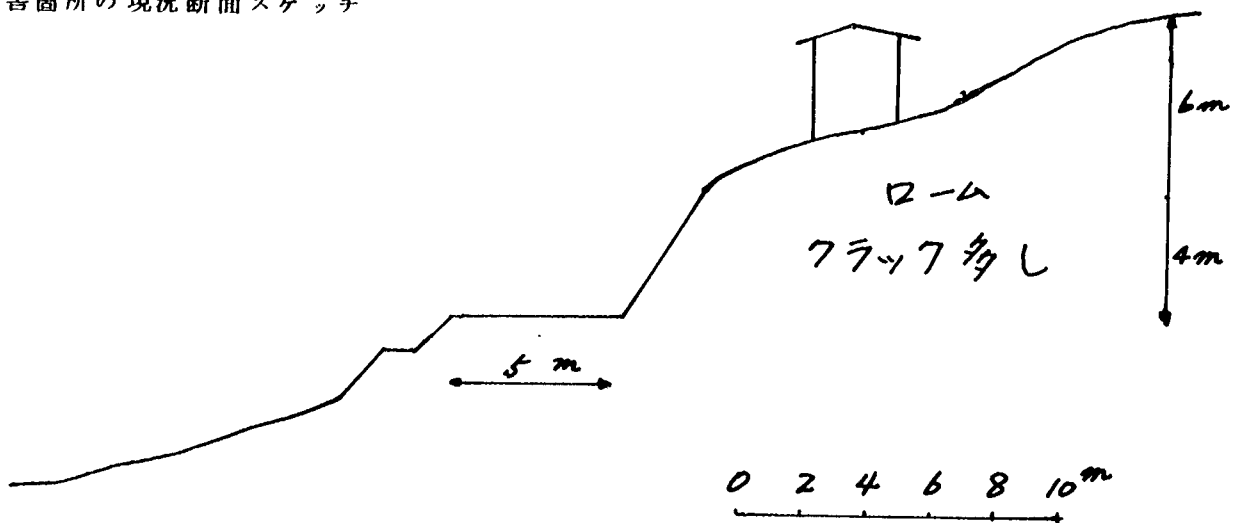
調 査 地 点	No 1			
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 2 9			
路 線 名	一般国道 3 5 6 号			
所 在 地	千葉県香取郡下総町高岡			
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥ 低地 7. その他 ()			
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤ 平地 6. その他 ()			
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他 ()			
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類			
	時 代 区 分	沖 積 期		
傾 斜 区 分	1	起 状 量	0	
地 下 水 位 ・ 湧 水				
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④ 平地			
被 害 の 状 況				
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	1,000~5,000円 1箇所	地震断層からの距離 120~130

被害箇所の現況断面スケッチ



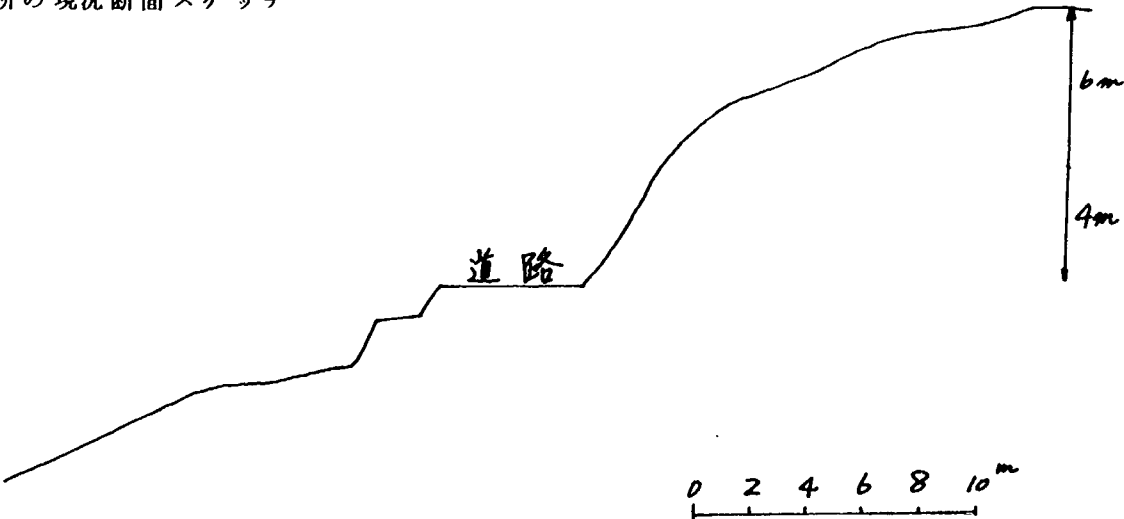
調 査 地 点	広 2		
調 査 年 月 日	S 5 3 . 8 . 3		
路 線 名	一般県道 9 5 号山田栗源線		
所 在 地	千葉県栗源町西田部		
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 ④ 台地 5. 段丘地 6. 低地 7. その他 ()		
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 ② 中腹 3. 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他 ()		
後 背 地 の 利 用	1. 山林 ② 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()		
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類		
	時 代 区 分	洪 積 期	
傾 斜 区 分	2	起 状 量	0
地 下 水 位 ・ 湧 水			
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m 2. 切土 () m ③ 切土盛土 $\frac{4}{3} \frac{m}{m}$ 4. 平地		
被 害 の 状 況	路肩が 4 0 ~ 5 0 m にわたり崩壊した。ただし切土の方は崩れなかった。		
被 害 分 類	路面上の大規模な亀裂または切土の被害	被 害 金 額	1,000 円以下 1 箇所
		地震断層からの距離	120 ~ 130

被害箇所の現況断面スケッチ



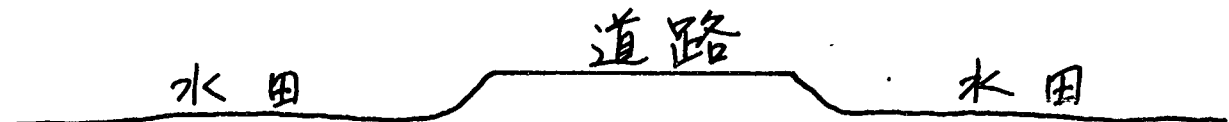
調 査 カ ー ド

16 ()

調 査 地 点	16 3				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 3				
路 線 名	一般県道 9 5 号山田栗源線				
所 在 地	千葉県栗源町西田部				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 ④ 台地 5. 段丘地 6. 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 ② 中腹 3. 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 ② 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	洪 積 期			
傾 斜 区 分	2		起 状 量	0	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m 2. 切土 () m ③ 切土 4 m 盛土 3 m 4. 平地				
被 害 の 状 況	盛土の路肩が崩壊した。切土の崩壊はなかった。				
被 害 分 類	路面上の大規模な亀裂または盛土の被害	被 害 金 額	1,000~5,000円 1箇所	地震断層からの距離	120~130
被害箇所の現況断面スケッチ					
					

調 査 地 点	No. 4		
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 3		
路 線 名	一般県道 9 5 号山田栗源線		
所 在 地	千葉県香取郡山田町大角		
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥低地 7. その他()		
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤平地 6. その他()		
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 ③水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他()		
表 層 地 質 区 分	①未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類		
	時 代 区 分	沖 積 期	
傾 斜 区 分	2	起 状 量	0
地 下 水 位 ・ 湧 水			
現 況 道 路 形 状	①盛土(0.4) m 2. 切土() m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地		
被 害 の 状 況	当時の記憶を有する人なし。盛土部の被害と推定した。		
被 害 分 類	路面上の大規模な亀裂または盛土の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所
		地震断層からの距離	120~130

被害箇所の現況断面スケッチ



0 1 2 3 4 5 m

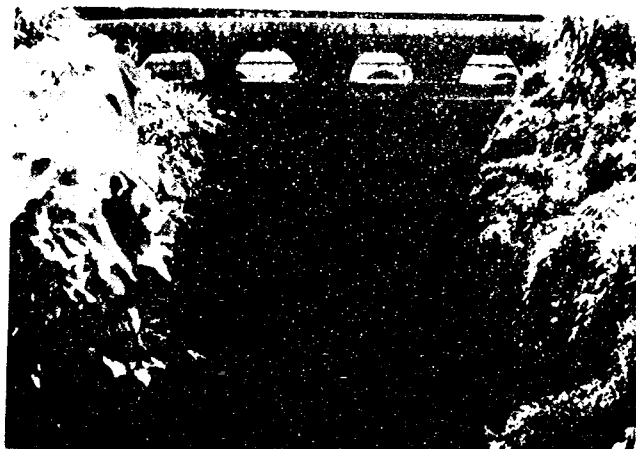
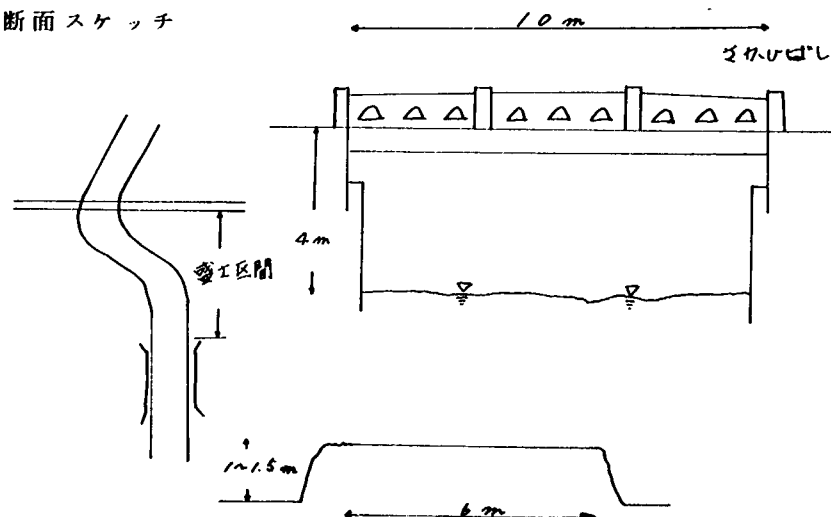


調 査 カ ー ド

16 ()

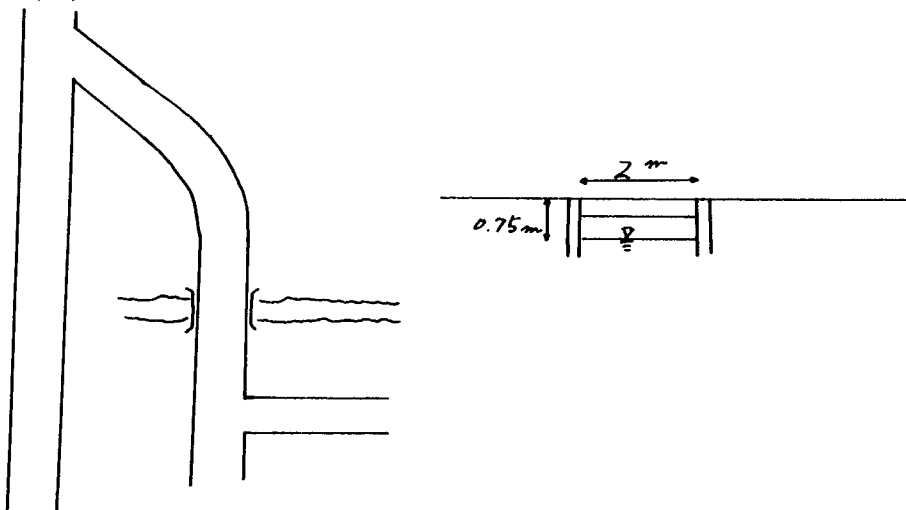
調 査 地 点	16 6				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 2 9				
路 線 名	一般国道356号(旧道)				
所 在 地	千葉県銚子市富川				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑤ 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤ 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 ③ 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	1	起 状 量	1		
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	① 盛土(1~1.5)m 2. 切土()m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被 害 の 状 況	橋台のとりつけ部の沈下と推定。				
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	130~140

被害箇所の現況断面スケッチ



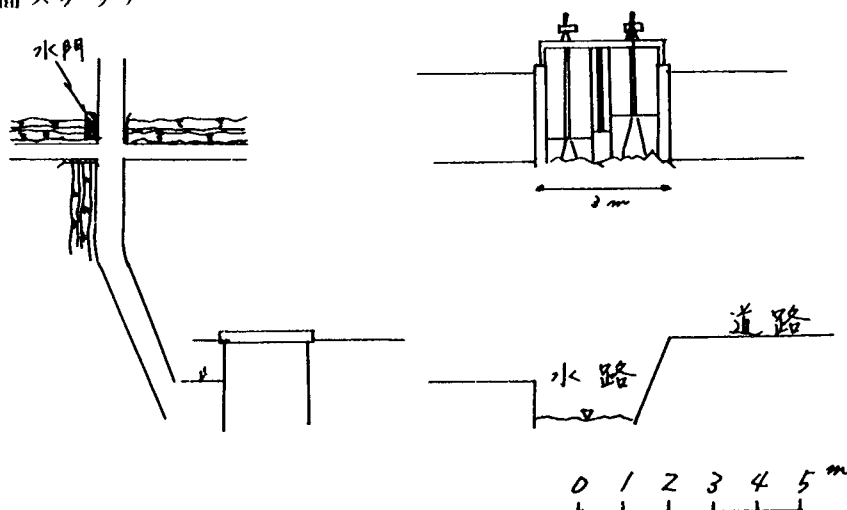
調 査 地 点	No 7		
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 2 9		
路 線 名	一般国道 3 5 6 号 (旧道)		
所 在 地	千葉県		
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥ 低地 7. その他 ()		
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤ 平地 6. その他 ()		
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 3. 水田 ④ 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()		
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類		
	時 代 区 分	沖 積 期	
傾 斜 区 分	1	起 状 量	0
地 下 水 位 ・ 湧 水			
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地		
被 害 の 状 況	消防署のまへの小さな川にかかった橋の床版 (当時みかげ石) が落ちたが、他には被害はなかった。		
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所
		地震断層からの距離	130~140

被害箇所の現況断面スケッチ



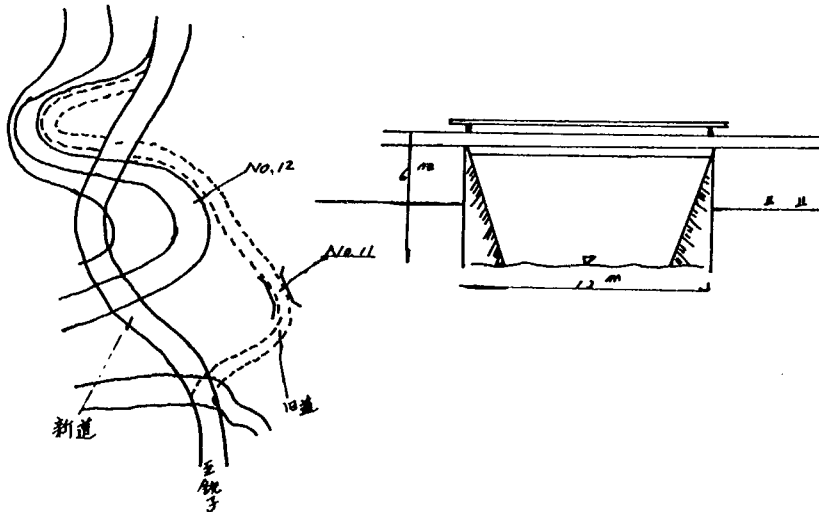
調 査 地 点	16 10			
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 2 9			
路 線 名	一般県道 2 5 4 号 銚子公園線			
所 在 地	千葉県銚子市小畑			
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥ 低地 7. その他 ()			
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤ 平地 6. その他 ()			
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 ③ 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()			
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類			
	時 代 区 分	沖 積 期		
傾 斜 区 分	2		起 状 量	0
地 下 水 位 ・ 湧 水				
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④ 平地			
被 害 の 状 況				
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離 130~140

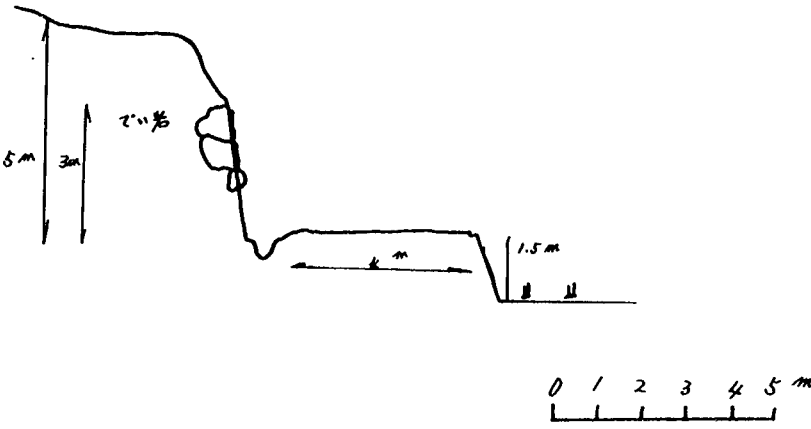
被害箇所の現況断面スケッチ



調 査 地 点	No. 11				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 1 1				
路 線 名	一般国道126号				
所 在 地	千葉県銚子市親田				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥低地 7. その他()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤平地 6. その他()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 ③水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他()				
表 層 地 質 区 分	①未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	3		起 状 量	0	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土() m 2. 切土() m 3. 切土盛土 m m ④平地				
被 害 の 状 況	震災による被害は聞いていない。橋梁の被害と推定。				
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	130~140

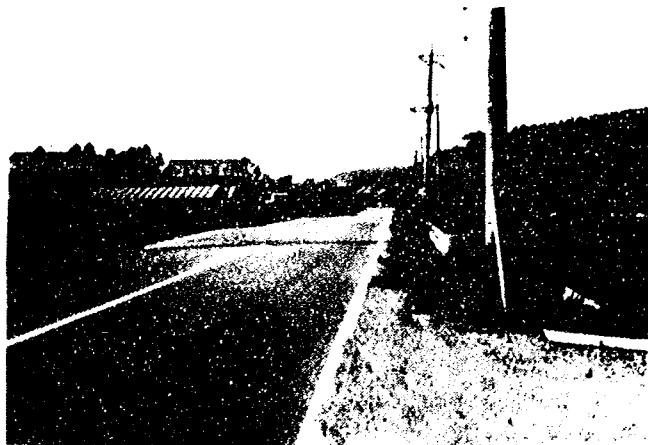
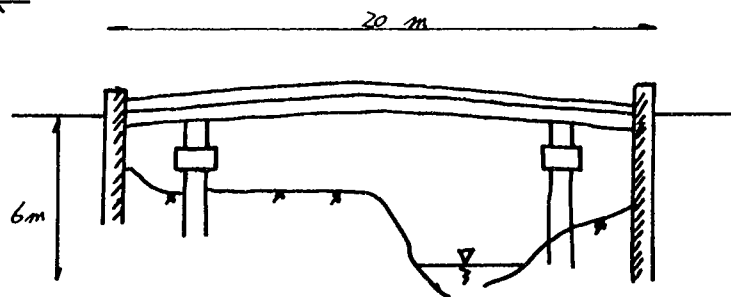
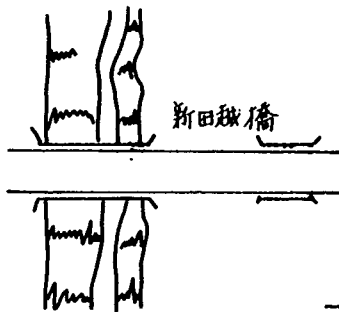
被害箇所の現況断面スケッチ



調 査 地 点	No 12				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 1 1				
路 線 名	一般国道126号				
所 在 地	千葉県銚子市親田				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 ③ 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 6. 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 ③ 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	① 山林 2. 畑 ③ 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	1. 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 ③ 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	鮮 新 世			
傾 斜 区 分	3		起 状 量	0	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m 2. 切土 () m 3. 切土 3 m 盛土 1.5 m ④ 平地				
被 害 の 状 況					
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	130~140
被害箇所の現況断面スケッチ					
					
					

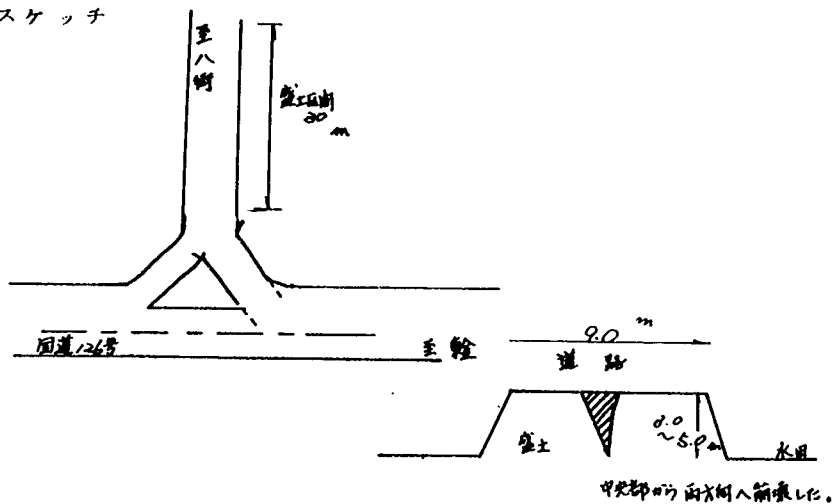
調 査 地 点	No 21		
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 3 0		
路 線 名	一般国道126号		
所 在 地	千葉県山武郡松尾町田越		
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥低地 7. その他 ()		
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤平地 6. その他 ()		
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 ⑥荒地 7. 河原 8. その他 ()		
表 層 地 質 区 分	①未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類		
	時 代 区 分	沖 積 期	
傾 斜 区 分	1	起 状 量	0
地 下 水 位 ・ 湧 水			
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地		
被 害 の 状 況	橋梁の被害		
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	1,000~5,000円 1箇所
		地震断層からの距離	100~110

被害箇所の現況断面スケッチ



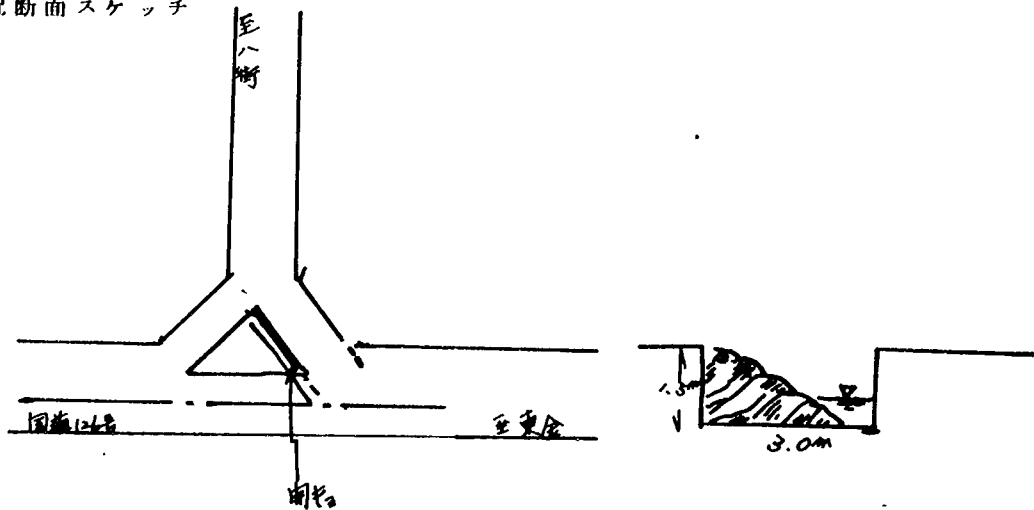
調 査 地 点	No 33				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 1				
路 線 名	主要地方道 成田東金線				
所 在 地	千葉県東金市東台地先				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 ③山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 ③水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	①未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	1		起 状 量	0	
地 下 水 位 ・ 湧 水	地下水位 田面				
現 況 道 路 形 状	①盛土(最大 5.0) m 2. 切土 () m 3. 切土 盛土 m m 4. 平地				
被 害 の 状 況	当時、この道路は八街へ通ずる道路としてつくられたばかりであった。 震災から2年程まえに、トラックでおして完成した。 地震時に、この盛土箇所が中央から、割れるように崩壊した。 当時の盛土は3.0 mていどであったという。				
被 害 分 類	路面上の大規模な亀裂または盛土の被害	被 害 金 額	5,000~20,000円 1 箇所	地震断層からの距離	90~100

被害箇所の現況断面スケッチ



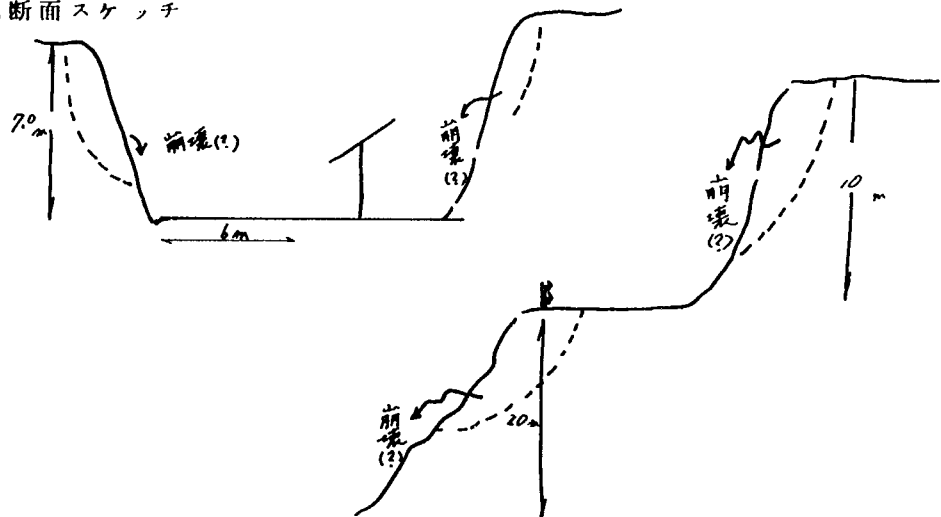
調 査 地 点	No. 34		
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 1		
路 線 名	主要地方道 成田東金線		
所 在 地	千葉県東金市楠地先		
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥ 低地 7. その他()		
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤ 平地 6. その他()		
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 ③ 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他()		
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類		
	時 代 区 分	沖 積 期	
傾 斜 区 分	1	起 状 量	0
地 下 水 位 ・ 湧 水	田面		
現 況 道 路 形 状	① 盛土(0.5) m 2. 切土() m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地		
被 害 の 状 況	聞きこみ：現在 Box カルバードで道路下部を通して、昔はパイプを使っていた。 このとりつけ部がすれた。橋の部分はこわれなかったように思う。		
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所 地震断層からの距離 90~100

被害箇所の現況断面スケッチ



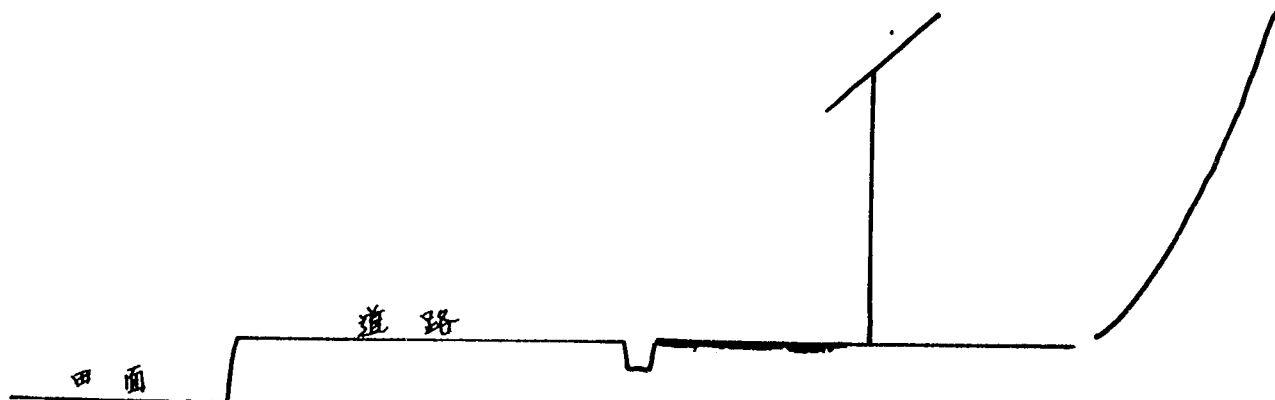
調 査 地 点	No 36			
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 1			
路 線 名	一般国道126号			
所 在 地	千葉県東金市森ノ下地先			
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 ④ 台地 5. 段丘地 6. 低地 7. その他 ()			
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 ② 中腹 3. 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他 ()			
後 背 地 の 利 用	① 山林 2. 畑 3. 水田 ④ 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他 ()			
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物			
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類			
	時 代 区 分	洪 積 期		
傾 斜 区 分	3		起 状 量	0
地 下 水 位 ・ 湧 水				
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m ② 切土 (7.0~10.0) m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地			
被 害 の 状 況	聞き込み不可 現地周辺をさがすと、被災の可能性は、下記の2箇所が想定できる。 1箇所は、切土部分(両切土)の法面の崩壊であり、あと1箇所は、片側切土の箇所である。			
被 害 分 類	切土の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離
				90~100

被害箇所の現況断面スケッチ



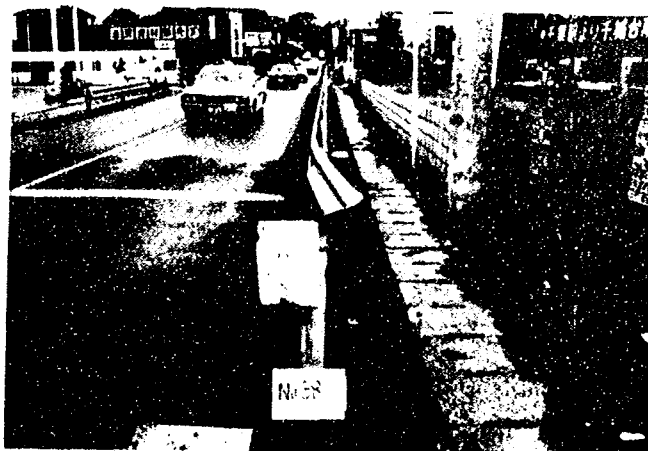
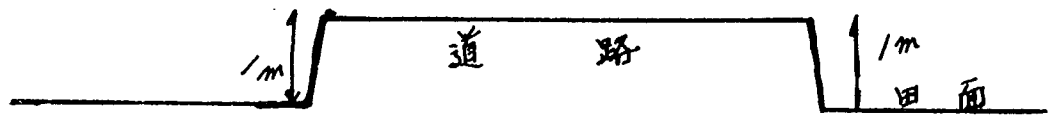
調 査 地 点	No 37			
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 7			
路 線 名	一般国道126号			
所 在 地	千葉県千葉市大草地先			
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥ 低地 7. その他 ()			
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤ 平地 6. その他 ()			
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 ③ 水田 ④ 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()			
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類			
	時 代 区 分	沖 積 期		
傾 斜 区 分	1	起 状 量	0	
地 下 水 位 ・ 湧 水	田面			
現 況 道 路 形 状	①盛土(1) m 2. 切土() m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地			
被 害 の 状 況	聞きこみ：道路部分に亀裂が生ずる。最大でも10 cm程度であった。ただし、亀裂の部分からの湧水はなかった。			
被 害 分 類	路面上の小規模な亀裂	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離 80~90

被害箇所の現況断面スケッチ



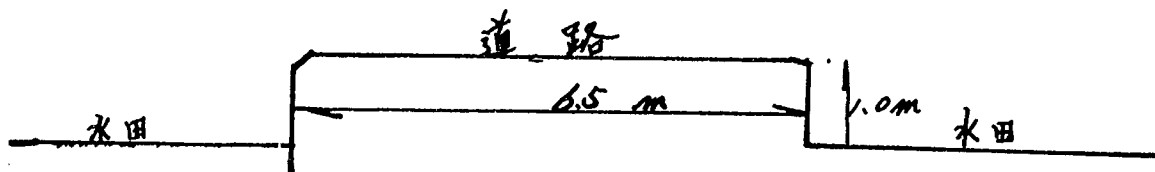
調 査 地 点	No 38			
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 1			
路 線 名	一般国道126号			
所 在 地	千葉県千葉市落井地先			
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥低地 7. その他 ()			
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤平地 6. その他 ()			
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 ③水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他 ()			
表 層 地 質 区 分	①未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類			
	時 代 区 分	沖 積 期		
傾 斜 区 分	1	起 状 量	0	
地 下 水 位 ・ 湧 水	田面			
現 況 道 路 形 状	①盛土 (1) m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地			
被 害 の 状 況	聞き込み：被害は少ない。 ただ道路面のひび割れは、各地で生じた。			
被 害 分 類	路面上の小規模な亀裂	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離
				80~90

被害箇所の現況断面スケッチ



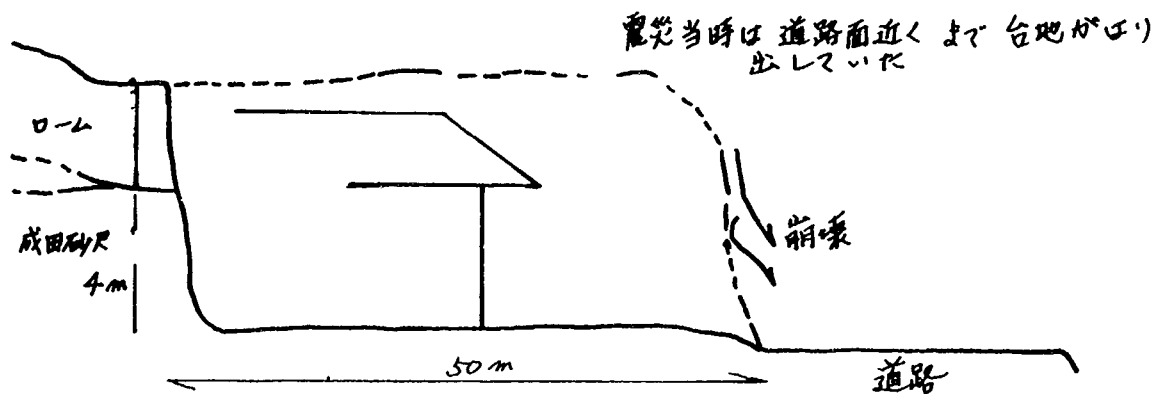
調 査 地 点	No 40				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 1				
路 線 名	一般国道126号				
所 在 地	千葉県千葉市加曽利地先				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥低地 7. その他()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤平地 6. その他()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 ③水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他()				
表 層 地 質 区 分	①未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	1	起 状 量	0		
地 下 水 位 ・ 湧 水	田面				
現 況 道 路 形 状	①盛土(1) m 2. 切土() m 3. 切土盛土 m m 4. 平地				
被 害 の 状 況	聞きこみ：道路部の被害は少なく、ほとんど補修工事を実施していない該当箇所は、最大20cmの亀裂が生じて、湧水を生じた箇所と思われる。				
被 害 分 類	路面上の小規模な亀裂	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	80～90

被害箇所の現況断面スケッチ



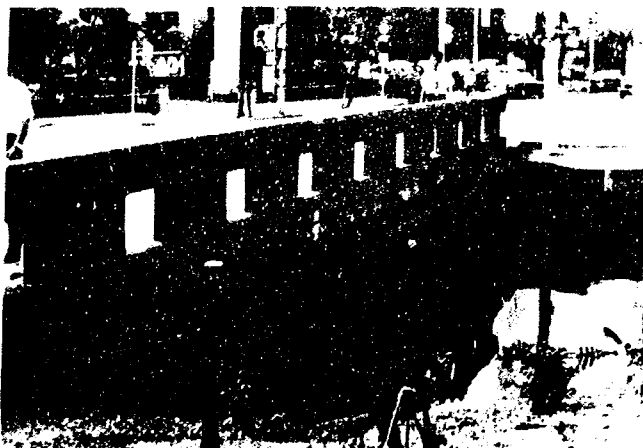
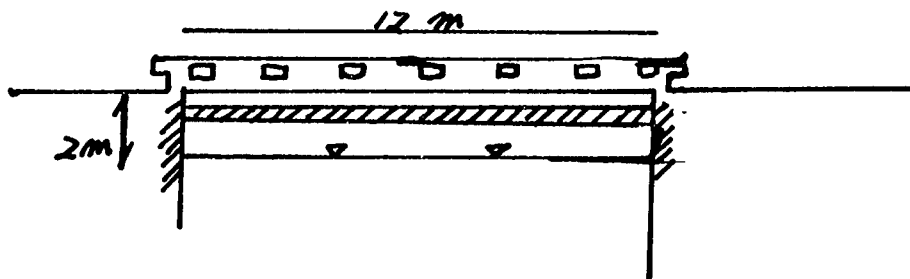
調 査 地 点	No 41				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 1				
路 線 名	一般国道126号				
所 在 地	千葉県千葉市都町交差点付近(天作)				
地 形 区 分	1.山地 2.火山地 3.丘陵地 ④台地 5.段丘地 6.低地 7.その他()				
位 置 ・ 標 高	1.頂部 2.中腹 3.山裾 4.谷部 ⑤平地 6.その他()				
後 背 地 の 利 用	①山林 雑木林 2.畑 3.水田 ④宅地 5.果樹園 6.荒地 7.河原 8.その他()				
表 層 地 質 区 分	1.未固結堆積物 2.半固結堆積物 3.固結堆積物 4.変成岩 5.火山性岩石 6.深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	洪 積 期(上位から 関東ローム, 凝灰質粘土, 成田層)			
傾 斜 区 分	1		起 状 量	0	
地 下 水 位 ・ 湧 水	台地尻がやや湿っている程度				
現 況 道 路 形 状	1.盛土()m ②切土(4)m 3.切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4.平地				
被 害 の 状 況	聞きこみ: 当時は、道路に隣接する地点まで、台地がはり出しており、後背の法面が崩壊し、民地、道路に土砂があふれた。 ただし、この法面は強い降雨があった場合でも、しばしば崩壊した。				
被 害 分 類	切土の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	80~90

被害箇所の現況断面スケッチ



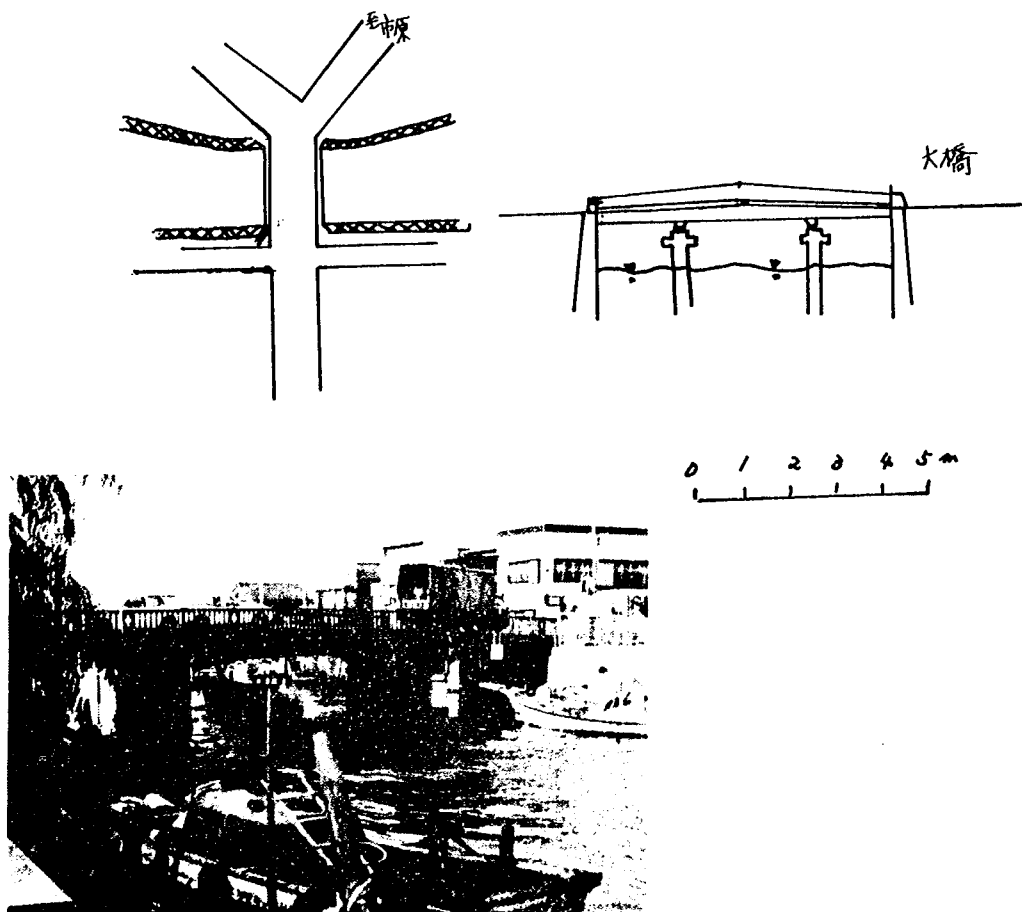
調 査 地 点	No 42				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 3 1				
路 線 名	主要地方道 1 2 5 号千葉大網線				
所 在 地	千葉県千葉市内県庁前				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥ 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤ 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	2		起 状 量	0	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④ 平地				
被 害 の 状 況					
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	5,000~20,000円 1 箇所	地震断層からの距離	80~90

被害箇所の現況断面スケッチ



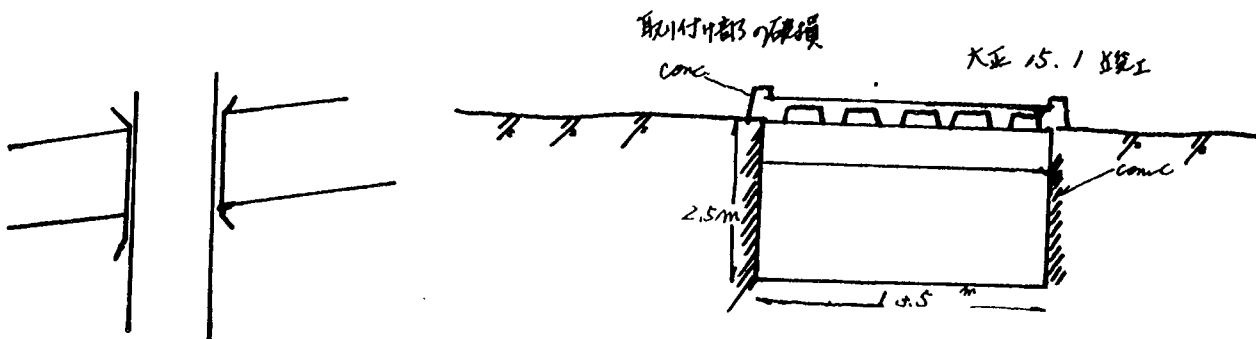
調 査 地 点	16 43			
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 3 1			
路 線 名	一般国道16号(旧道)			
所 在 地	千葉県千葉市			
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥ 低地 7. その他 ()			
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤ 平地 6. その他 ()			
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()			
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類			
	時 代 区 分	沖 積 期		
傾 斜 区 分	1	起 状 量	0	
地 下 水 位 ・ 湧 水				
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④ 平地			
被 害 の 状 況				
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離
				80~90

被害箇所の現況断面スケッチ



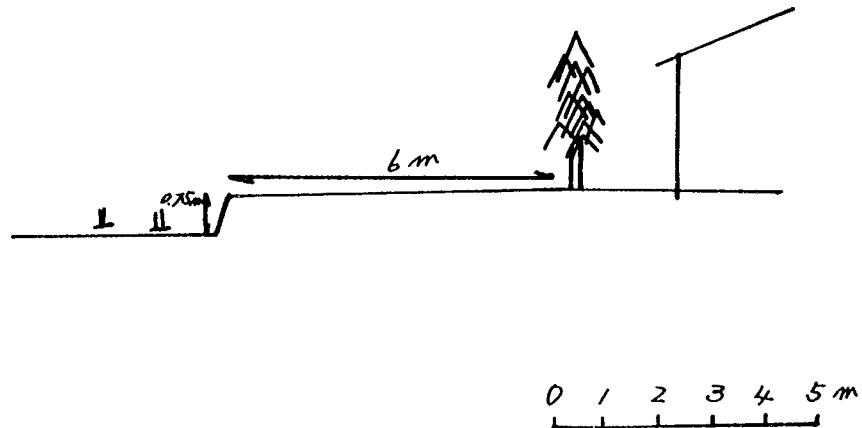
調 査 地 点	16 44				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 3 1				
路 線 名	主要地方道 1 2 5 号千葉大網線				
所 在 地	千葉県千葉市内				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥ 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤ 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物				
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
時 代 区 分	沖 積 期				
傾 斜 区 分	2		起 状 量	0	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④ 平地				
被 害 の 状 況					
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	80~90

被害箇所の現況断面スケッチ



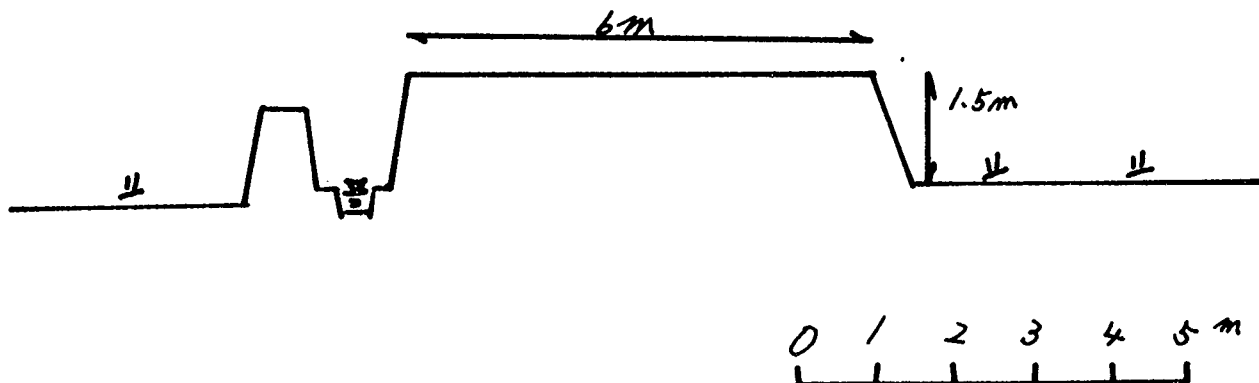
調 査 地 点	No 47				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 3 0				
路 線 名	一般県道 1 3 5 号白里大網線				
所 在 地	千葉県山武郡大網白里町木崎				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 ③水田 ④宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	①未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	1	起 状 量	0		
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	①盛土 (0.75) m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被 害 の 状 況	このあたりは、被災していない。家が部落の中で一軒倒れた程度である。 道路はなんともなかったはずである。亀裂程度は、あったかもしれない。				
被 害 分 類	路面上の小規模な亀裂	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	90~100

被害箇所の現況断面スケッチ



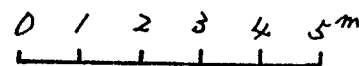
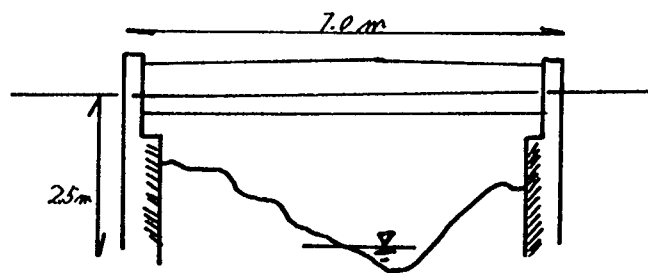
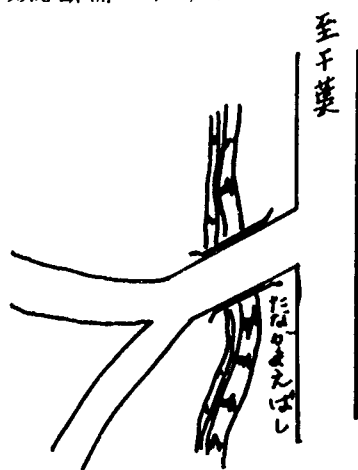
調 査 地 点	No 48				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 3 0				
路 線 名	一般県道135号白里大網線				
所 在 地	千葉県山武郡大網白里町北横川				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥低地 7. その他()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤平地 6. その他()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 ③水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他()				
表 層 地 質 区 分	①未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	1	起 状 量	0		
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	①盛土(1.5) m 2. 切土() m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被 害 の 状 況	当時、盛土の高さは、もっと低かった。 水路とか橋のこわれたのはなかったと思う。 路面の亀裂ぐらひはあつたかもしれない。				
被 害 分 類	路面上の小規模な亀裂	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	90~100

被害箇所の現況断面スケッチ



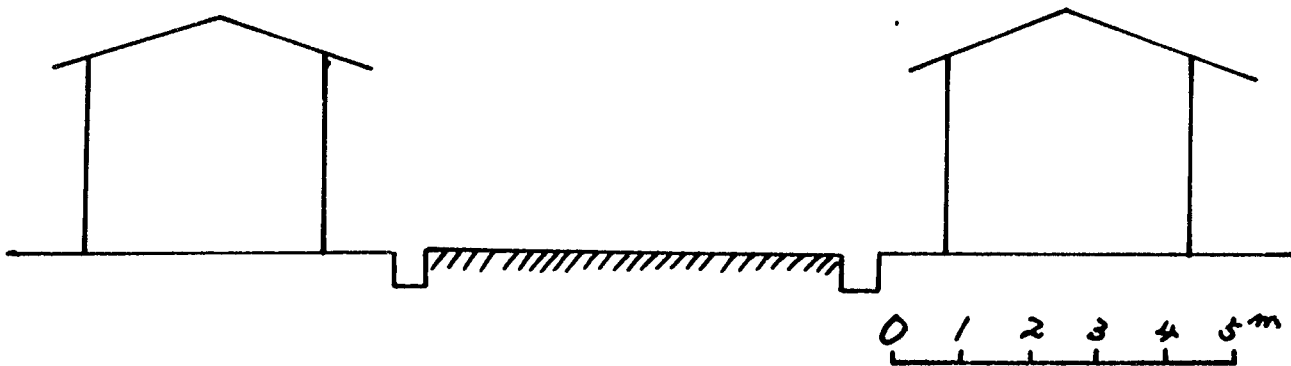
調 査 地 点	No 50				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 3 1				
路 線 名	主要地方道14号千葉茂原線				
所 在 地	千葉県市原市草刈				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥ 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤ 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 ③ 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物				
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	1		起 状 量	0	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被 害 の 状 況					
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	80~90

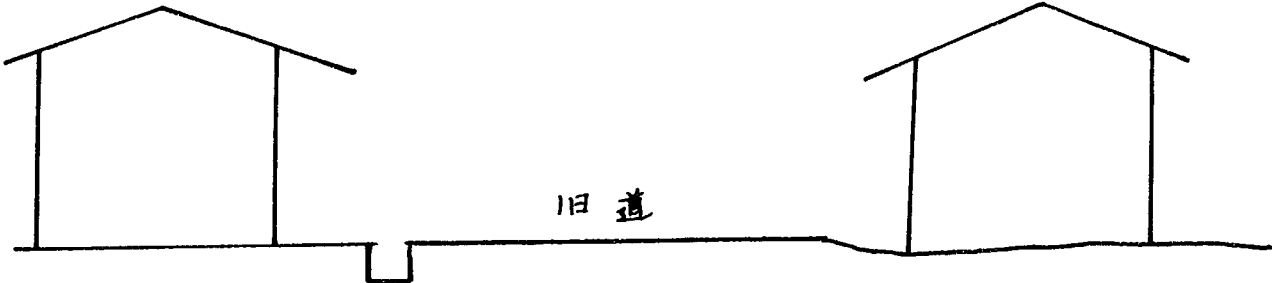
被害箇所の現況断面スケッチ



調 査 地 点	No 51				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 2 0				
路 線 名	主要地方道24号千葉鴨川線				
所 在 地	千葉県市原市内				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 3. 水田 ④宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	①未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	1		起 状 量	0	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④平地				
被 害 の 状 況	道路に軽微な亀裂が生じた。(生じなかったとの説もある。)				
被 害 分 類	路面上の小規模な亀裂	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	70~80

被害箇所の現況断面スケッチ

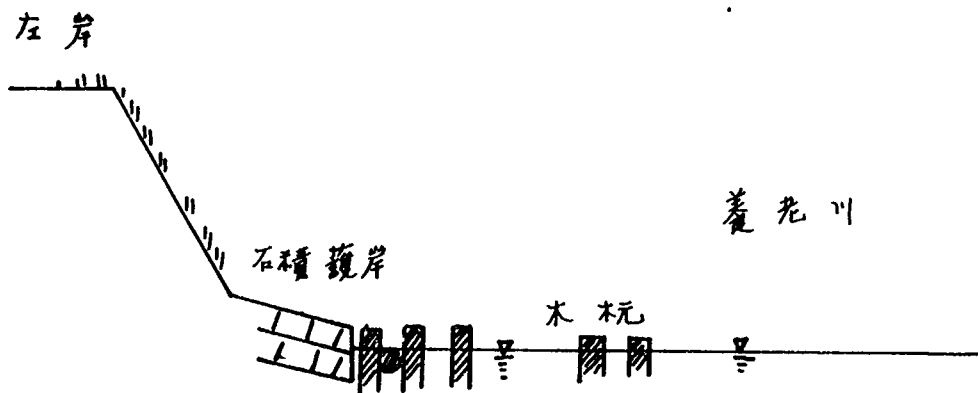


調 査 地 点	No 53				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 2 0				
路 線 名	主要地方道24号千葉鴨川線				
所 在 地	千葉県市原市内				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 3. 水田 ④宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物				
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	1	起 状 量	0		
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④平地				
被 害 の 状 況	道路を縦断して亀裂が生じ、それに伴い噴砂現象があった。木造の小さな橋があったが無事であった。				
被 害 分 類	路面上の小規模な亀裂	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	70~80
被害箇所の現況断面スケッチ					
					
					

調 査 地 点	No 54				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 2 0				
路 線 名	主要地方道 2 4 号千葉鴨川線				
所 在 地	千葉県市原市出津				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 3. 水田 ④宅地 5. 果樹園 6. 荒地 ⑦河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	①未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物				
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	1		起 状 量	0	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④平地				
被 害 の 状 況	当時の養老橋は幅3間の木造橋で現在のものより約30m下流にあったが、今では左岸及び中央部に木杭を残すのみである。震災により被害は受けたが落橋しないで済んだ。相当の補修が行われた。				
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	5,000～20,000円 1箇所	地震断層からの距離	70～80

被害箇所の現況断面スケッチ

養老橋

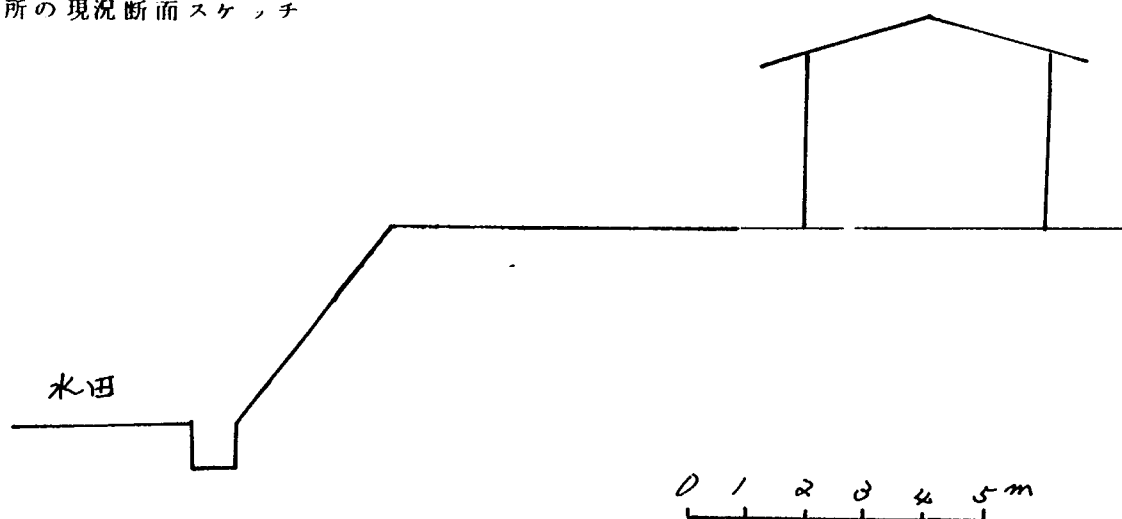


調 査 カ ー ド

№ ()

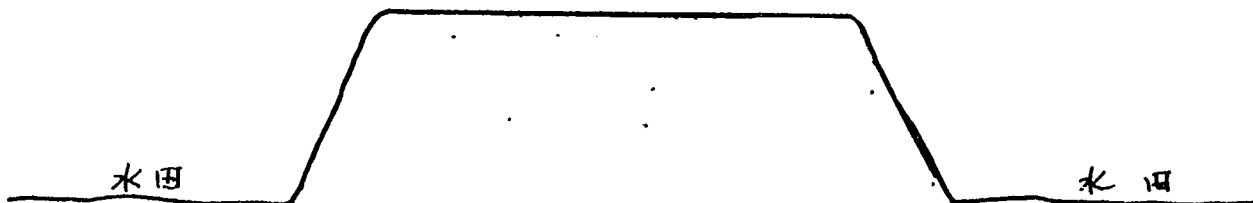
調 査 地 点	No 55				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 2 0				
路 線 名	主要地方道24号千葉鴨川線				
所 在 地	千葉県市原市松ヶ島				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥ 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤ 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 ③ 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物				
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	1		起 状 量	0	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	① 盛土 (3.5) m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被 害 の 状 況	道路を縦断して幅50～60cmの亀裂が数百mに及んだ。				
被 害 分 類	路面上の大規模な亀裂または盛土の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	70～80

被害箇所の現況断面スケッチ

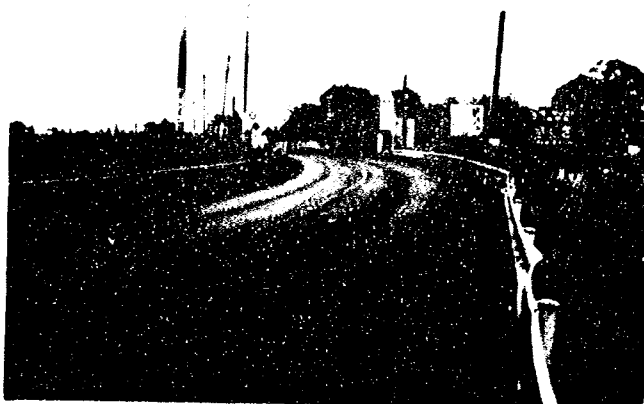


調 査 地 点	No 56				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 2 0				
路 線 名	主要地方道 2 4 号千葉鴨川線				
所 在 地	千葉県市原市松ヶ島				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥ 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤ 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 ③ 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	1	起 状 量	0		
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	① 盛土 (2.5) m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被 害 の 状 況	道路を縦断して大小の亀裂が何箇所にも生じた。				
被 害 分 類	路面上の大規模な亀裂または盛土の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	70~80

被害箇所の現況断面スケッチ



0 1 2 3 4 5 m

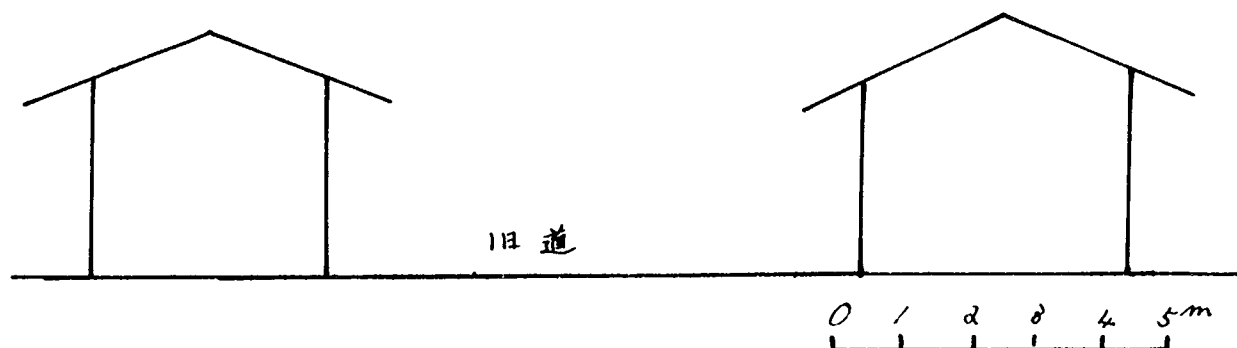


調 査 カ ー ド

№ ()

調 査 地 点	№ 57			
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 2 0			
路 線 名	主要地方道24号千葉鴨川線			
所 在 地	千葉県市原市飯沼			
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥ 低地 7. その他 ()			
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤ 平地 6. その他 ()			
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 ③ 水田 ④ 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()			
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類			
	時 代 区 分	沖 積 期		
傾 斜 区 分	1		起 状 量	0
地 下 水 位 ・ 湧 水				
現 況 道 路 形 状	① 盛土 (2.5) m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地			
被 害 の 状 況	大小の亀裂が道路を縦断して多数生じ、約30cmの落差が出来た。			
被 害 分 類	路面上の小規模な亀裂	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離
				70~80

被害箇所の現況断面スケッチ

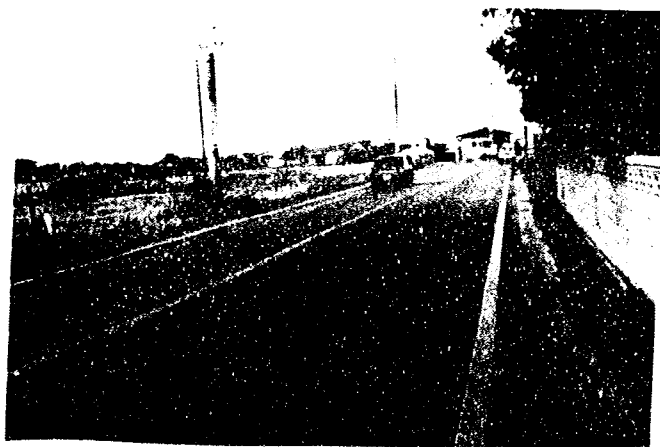


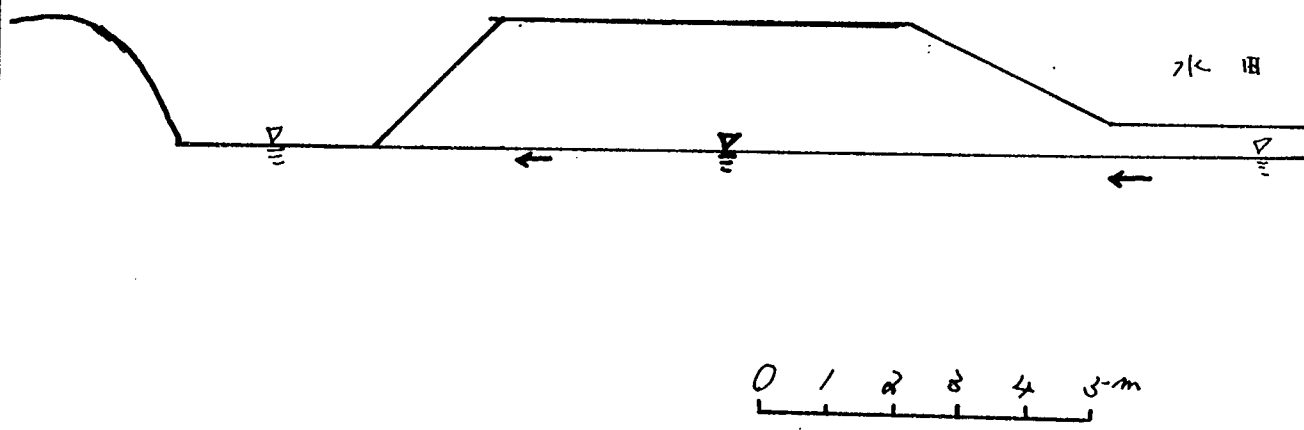
調 査 地 点	No 58				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 2 0				
路 線 名	主要地方道24号千葉鴨川線				
所 在 地	千葉県市原市青柳				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 ③水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	①未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	1	起 状 量	0		
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	①盛土(1.0) m 2. 切土() m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被 害 の 状 況	道路に亀裂が入ったが、規模は小さかったようである。				
被 害 分 類	路面上の小規模な亀裂	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	70~80

被害箇所の現況断面スケッチ



0 1 2 3 4 5m



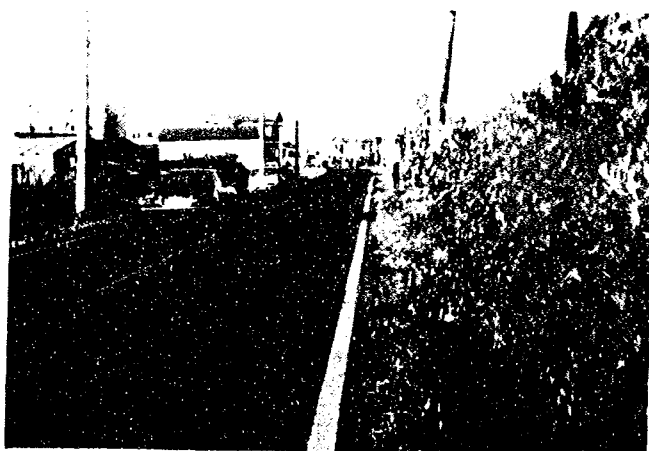
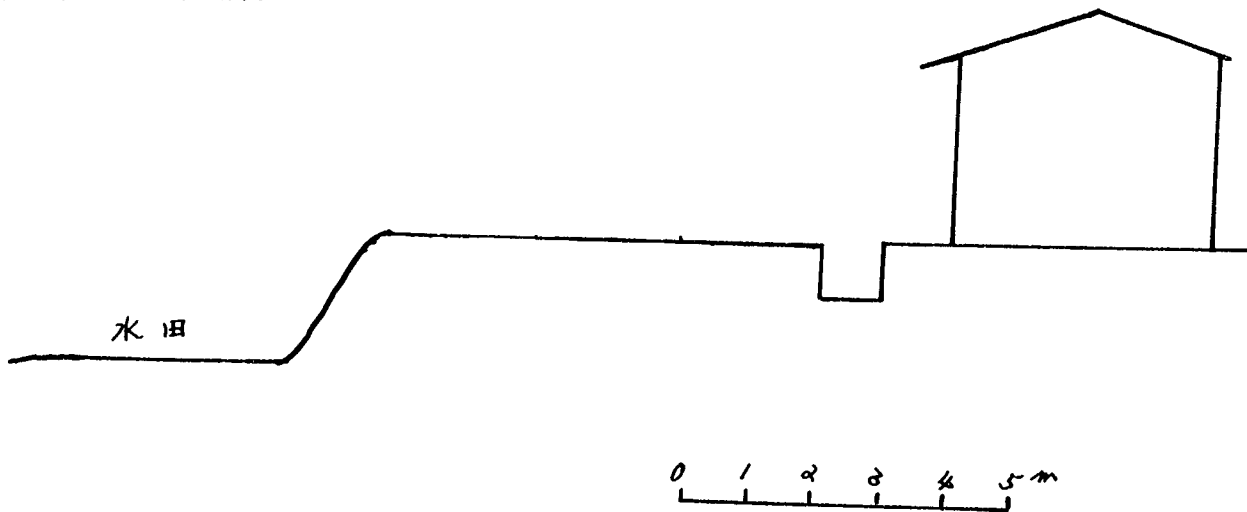
調 査 地 点	No 60				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 2 0				
路 線 名	主要地方道24号千葉鴨川線				
所 在 地	千葉県市原市青柳				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥ 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤ 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 ③ 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	1		起 状 量	0	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	① 盛土 (1.5) m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被 害 の 状 況	道路を横断する亀裂が多数入ったが個々の規模はあまり大きくなかった。 橋は木造であったが被害は殆んど受けなかった。 路肩の破壊箇所も多かった。				
被 害 分 類	路面上の小規模な亀裂	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	70~80
被害箇所の現況断面スケッチ 面 ←					
					
					

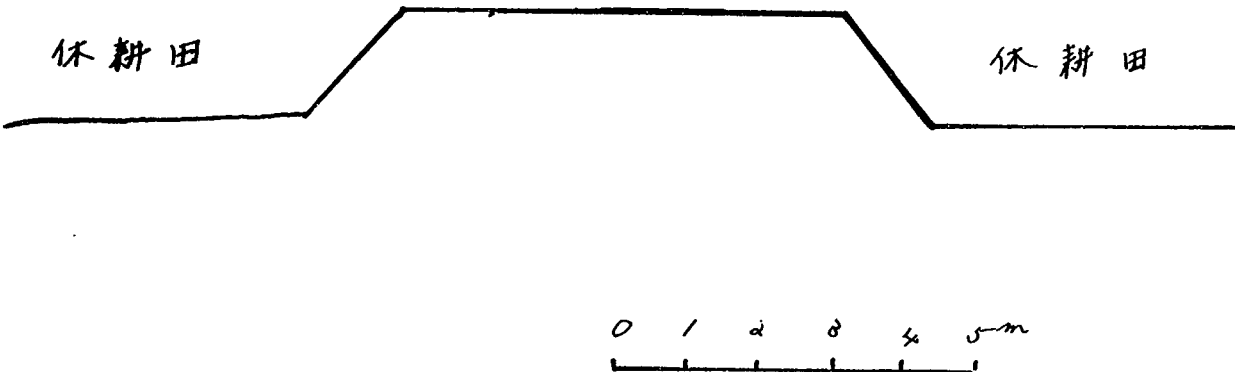
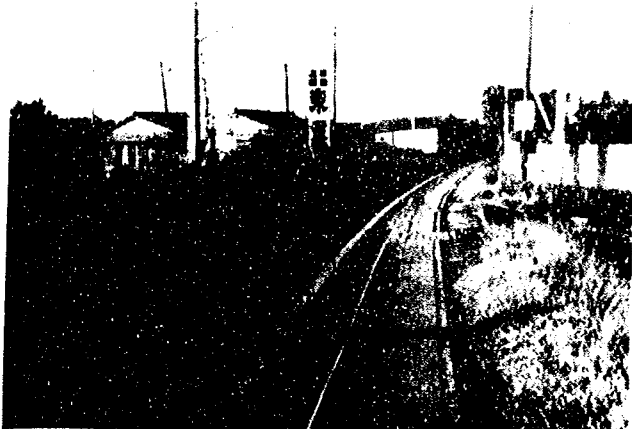
調 査 カ ー ド

16 ()

調 査 地 点	16 61				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 2 0				
路 線 名	主要地方道24号千葉鴨川線				
所 在 地	千葉県市原市青柳				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 ③水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	①未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物				
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	1		起 状 量	0	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	①盛土(2.0) m 2. 切土() m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被 害 の 状 況	被害は軽微だった。				
被 害 分 類	路面上の小規模な亀裂	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	70~80

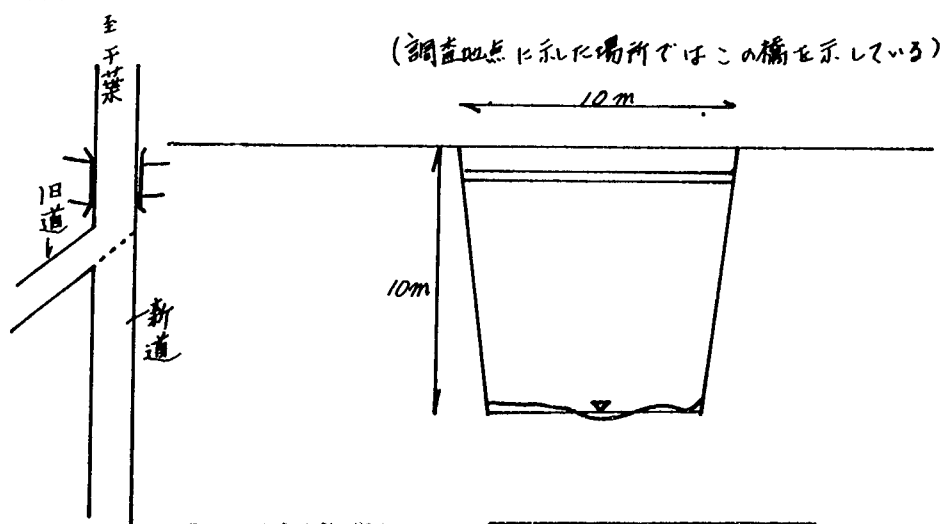
被害箇所の現況断面スケッチ



調 査 地 点	No 62			
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 2 0			
路 線 名	主要地方道24号千葉鴨川線			
所 在 地	千葉県市原市青柳			
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥低地 7. その他()			
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤平地 6. その他()			
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 ③水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他()			
表 層 地 質 区 分	①未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物			
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類			
	時 代 区 分	沖 積 期		
傾 斜 区 分	1	起 状 量	0	
地 下 水 位 ・ 湧 水				
現 況 道 路 形 状	①盛土(1.5) m 2. 切土() m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地			
被 害 の 状 況	盛土上の亀裂と推定。			
被 害 分 類	路面上の小規模な亀裂	被 害 金 額	1000円以下1箇所	地震断層からの距離 70~80
被害箇所の現況断面スケッチ				
				
				

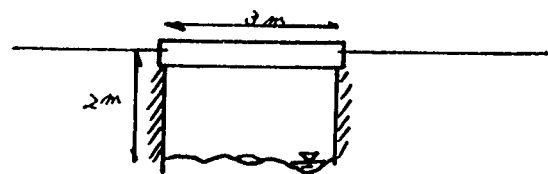
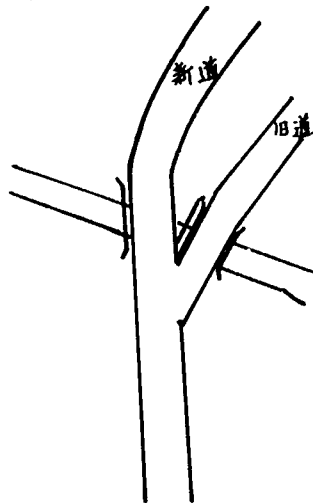
調 査 地 点	No 64				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 3 1				
路 線 名	主要地方道14号千葉茂原線				
所 在 地	千葉県茂原市国府関				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥ 低地 7. その他()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 ③ 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他()				
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物				
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	3		起 状 量	0	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土() m 2. 切土() m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④ 平地				
被 害 の 状 況	揺れは大きかったが家屋の破損はなかった。 道路の亀裂, 崩壊, 橋の落下等は聞いていない。 下記の橋もおちなかったということ。				
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	1,000~5,000円 1箇所	地震断層からの距離	70~80

被害箇所の現況断面スケッチ



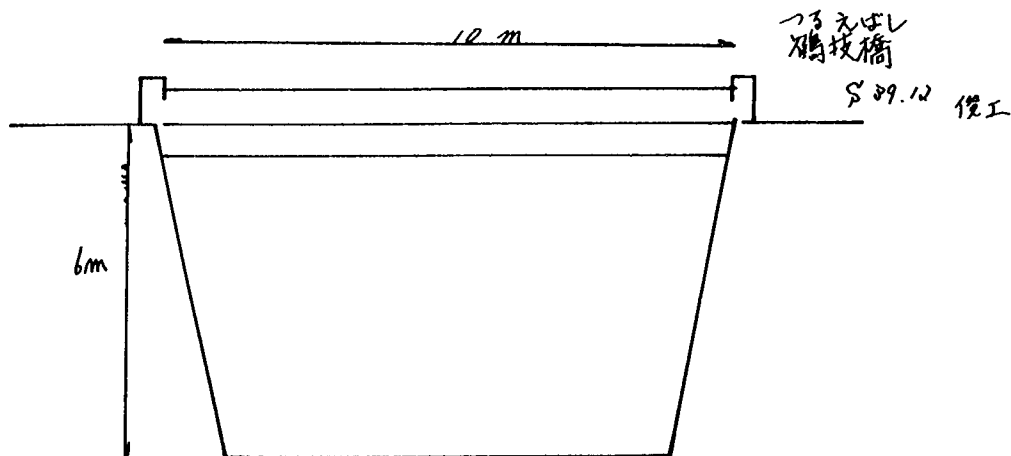
調 査 地 点	No 66			
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 3 0			
路 線 名	一般県道長生茂原自転車道線			
所 在 地	千葉県長生郡一宮町川島			
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥ 低地 7. その他 ()			
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤ 平地 6. その他 ()			
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()			
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類			
	時 代 区 分	沖 積 期		
傾 斜 区 分	1	起 状 量	0	
地 下 水 位 ・ 湧 水				
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④ 平地			
被 害 の 状 況	このあたりは、倒壊した家はなく、被災した箇所はないとのこと。			
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離
				70~80

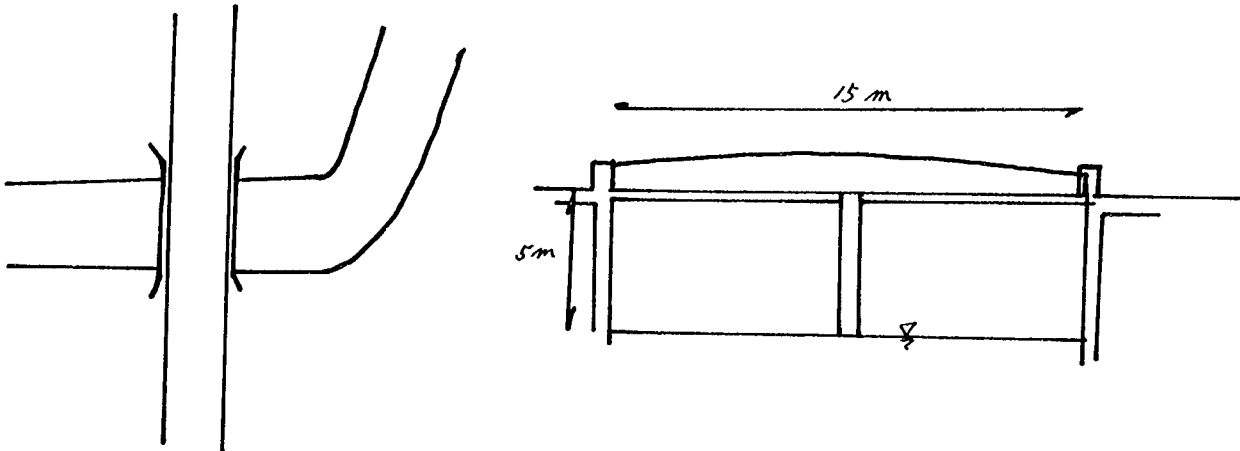
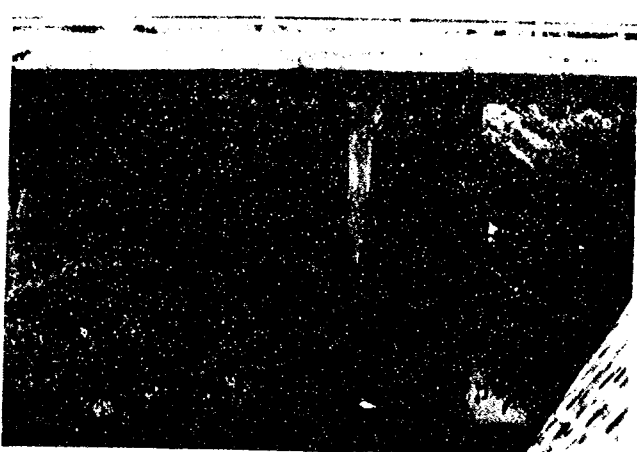
被害箇所の現況断面スケッチ



調 査 地 点	No 67				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 3 0				
路 線 名	主要地方道26号茂原大多喜線				
所 在 地	千葉県茂原市野牛				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 ③ 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 6. 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 ④ 谷部 5. 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	洪 積 期			
傾 斜 区 分	3		起 状 量	1	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④ 平地				
被 害 の 状 況	このあたりは被災なし。橋、道路の補修は知らない。				
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	70~80

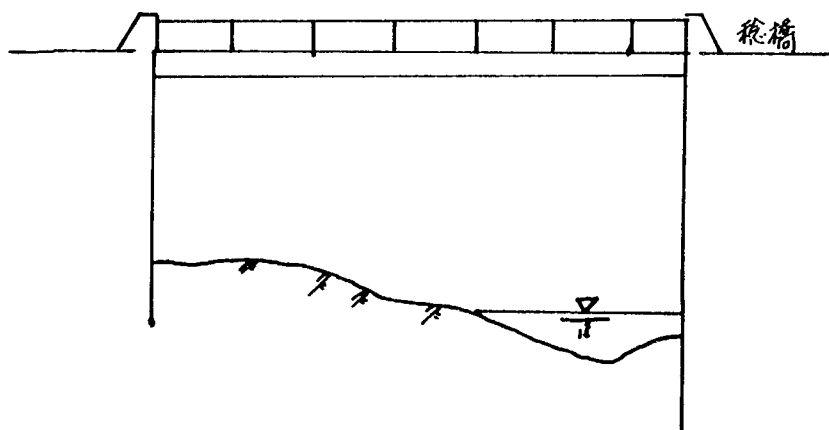
被害箇所の現況断面スケッチ



調 査 地 点	No 70				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 3 0				
路 線 名	主要地方道15号木更津茂原線				
所 在 地	千葉県長生郡長南町須田				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥ 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤ 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	1	起 状 量	0		
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④ 平地				
被 害 の 状 況					
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	1,000～5,000円 1 箇所	地震断層からの距離	70～80
被害箇所の現況断面スケッチ					
					
					

調 査 地 点	No 71		
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 3 0		
路 線 名	主要地方道 1 5 号木更津茂原線		
所 在 地	千葉県長生郡長南町関原		
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥低地 7. その他 ()		
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤平地 6. その他 ()		
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他 ()		
表 層 地 質 区 分	①未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物		
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類		
	時 代 区 分	沖 積 期	
傾 斜 区 分	1	起 状 量	0
地 下 水 位 ・ 湧 水			
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④平地		
被 害 の 状 況			
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	1,000 ~ 5,000 円 1 箇所
		地震断層からの距離	70 ~ 80

被害箇所の現況断面スケッチ

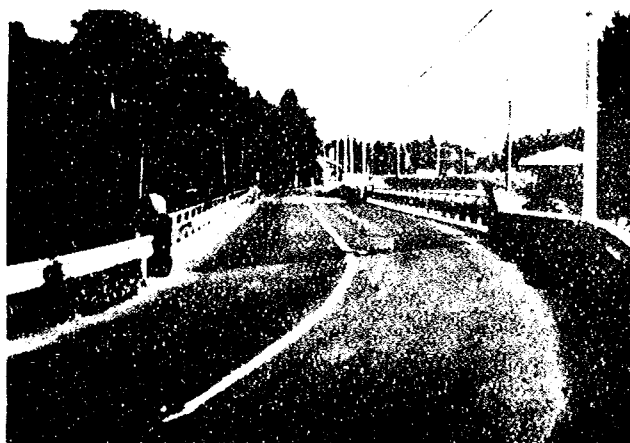
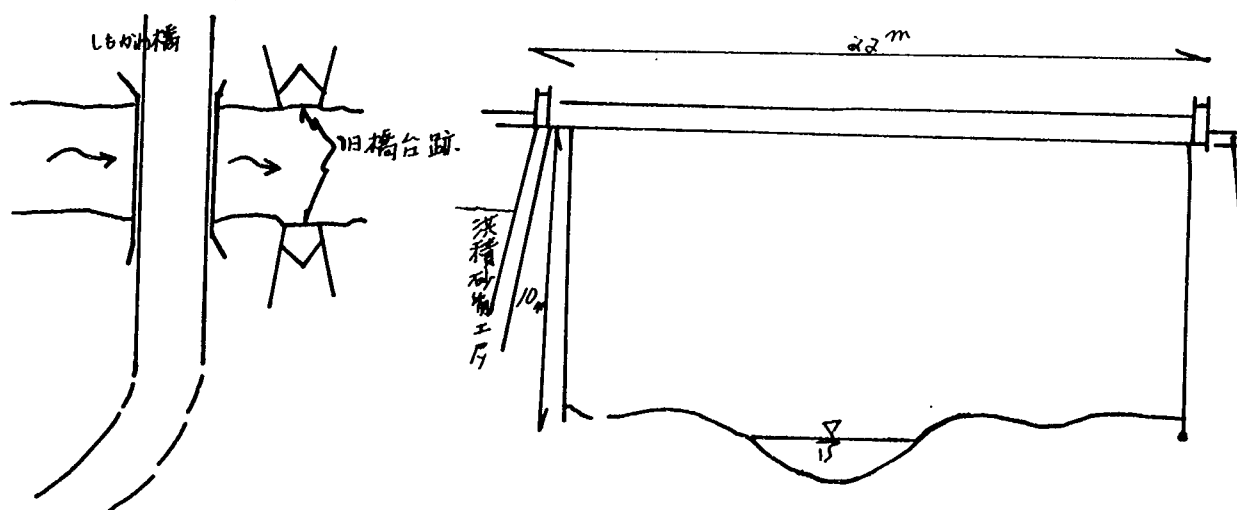


0 1 2 3 4 5 m



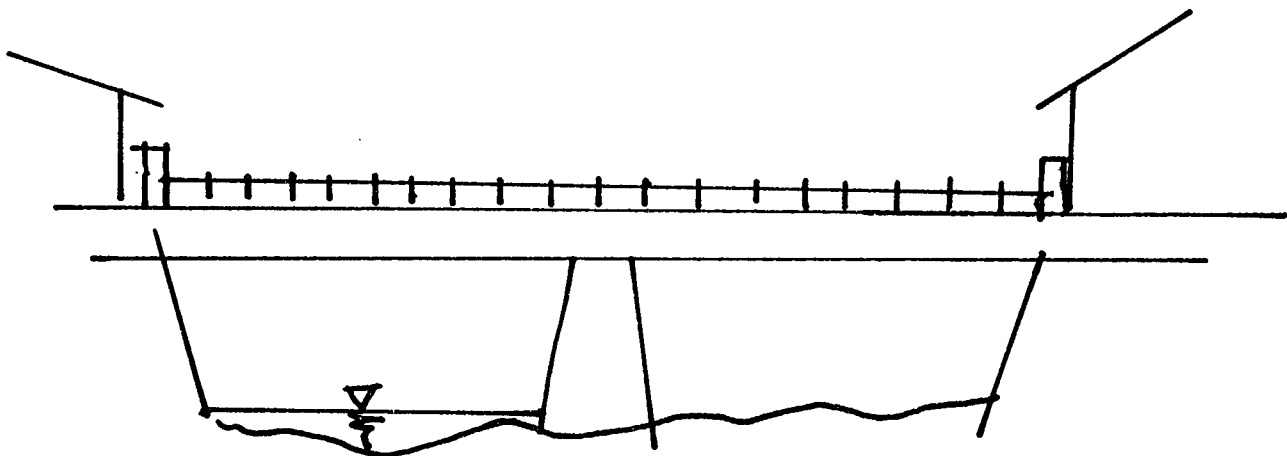
調 査 地 点	6 74
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 1 1
路 線 名	主要地方道市原天津小湊線
所 在 地	千葉県市原市天田
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 ④ 台地 5. 段丘地 6. 低地 7. その他 ()
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 ② 中腹 3. 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他 ()
後 背 地 の 利 用	① 山林 2. 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 ⑦ 河原 8. その他 ()
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類
時 代 区 分	洪 積 期
傾 斜 区 分	1 起 状 量 1
地 下 水 位 ・ 湧 水	河川水位
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m ② 切土 (河川部 10) m 3. 切土盛土 m m 4. 平地
被 害 の 状 況	被害の状況は不明。橋台ととりつけ部がズレたのではないか。
被 害 分 類	橋梁の被害
被 害 金 額	1,000円以下1箇所
地震断層からの距離	60~70

被害箇所の現況断面スケッチ



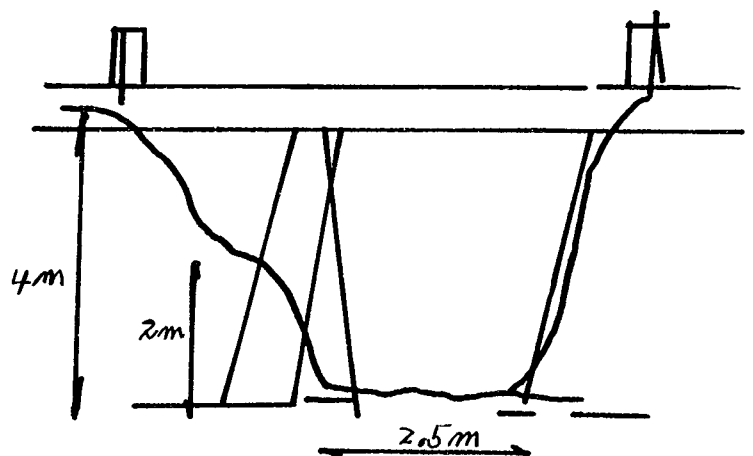
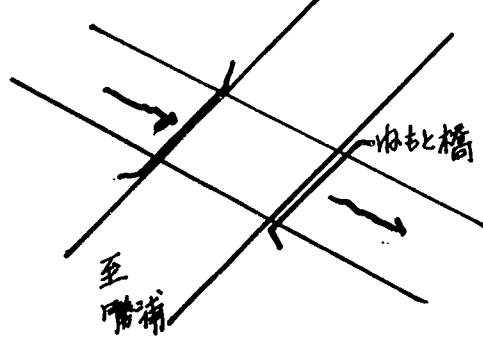
調 査 地 点	No 76		
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 1 1		
路 線 名	一般国道297号		
所 在 地	千葉県市原市牛久		
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥低地 7. その他 ()		
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 ④谷部 5. 平地 6. その他 ()		
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 3. 水田 ④宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()		
表 層 地 質 区 分	①未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類		
	時 代 区 分	上 部 沖 積 期 ~ 下 部 洪 積 期	
傾 斜 区 分	1	起 状 量	1
地 下 水 位 ・ 湧 水	河川水位		
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m 2. 切土 (河川部 10) m 3. 切土 盛土 m ④平地		
被 害 の 状 況	橋のとり付け部のズレではないか。		
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所 地震断層からの距離 60~70

被害箇所の現況断面スケッチ



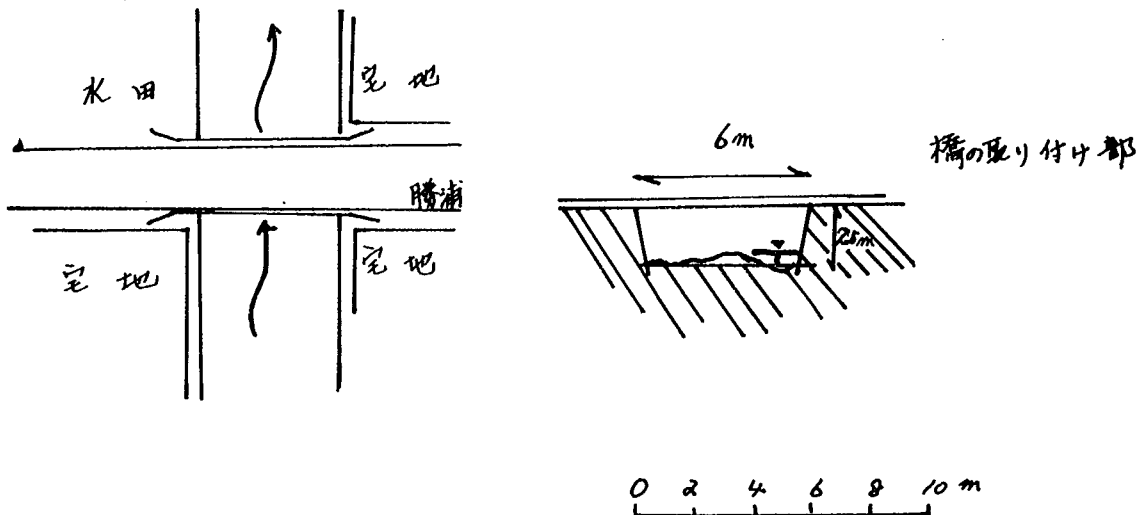
調 査 地 点	No 81				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 1 1				
路 線 名	一般国道297号				
所 在 地	千葉県市原市宮前				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 ③水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	①未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物				
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	1		起 状 量	1	
地 下 水 位 ・ 湧 水	水路水位面				
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 (0.5) m 2. 切土 (河川部 2.5) m 3. 切土 盛土 m m 4. 平地				
被 害 の 状 況	橋脚部あるいは取付部の被害と推定。				
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	60~70

被害箇所の現況断面スケッチ



調 査 地 点	No 85				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 1 1				
路 線 名	一般国道297号				
所 在 地	千葉県市原市馬立				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥低地 7. その他()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤平地 6. その他()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 ③水田 ④宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他()				
表 層 地 質 区 分	①未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	1	起 状 量	1		
地 下 水 位 ・ 湧 水	水路水位高				
現 況 道 路 形 状	①盛土(0.5) m 2. 切土() m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被 害 の 状 況	聞き込み不可。 橋梁の被害と推定。				
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	60~70

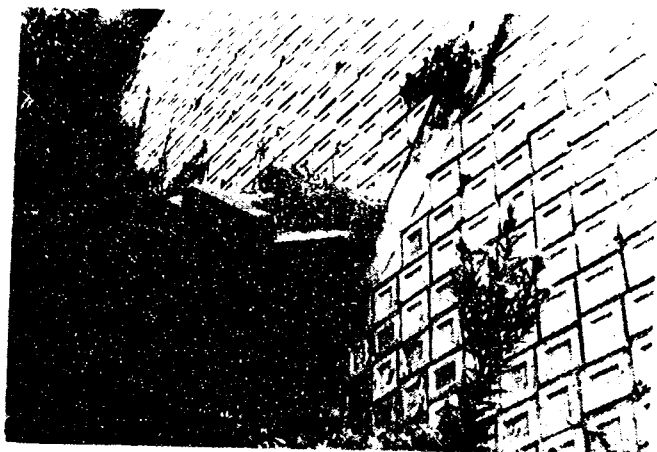
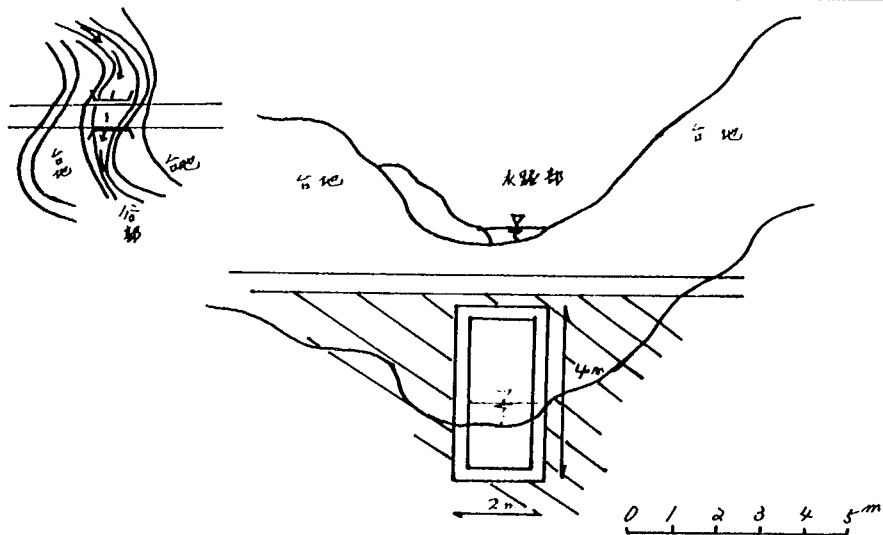
被害箇所の現況断面スケッチ



調 査 地 点	No 87			
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 1 1			
路 線 名	一般県道144号南総姉ヶ崎線			
所 在 地	千葉県市原市中高根地先			
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥ 低地 7. その他 ()			
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤ 平地 6. その他 ()			
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 ③ 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()			
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類			
	時 代 区 分	沖 積 期		
傾 斜 区 分	1	起 状 量	1	
地 下 水 位 ・ 湧 水				
現 況 道 路 形 状	① 盛土 (1.0) m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地			
被 害 の 状 況	聞き込み：被害の程度は極めてわずかであった。 道路のひび割れ程度はあったが、そのひび割れも線が入った程度で何ら影響をうけていない。 このあたりでは、浅間山がくずれて養老川がとまって大さわざをした。 付近では、被災箇所は見当らず、あえて推定したのが、下記の場所である。			
被 害 分 類	路面上の小規模な亀裂	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離 60~70
被害箇所の現況断面スケッチ				
道路部 道路が部を横断する橋梁が崩壊した可能性がある ひび割れ				

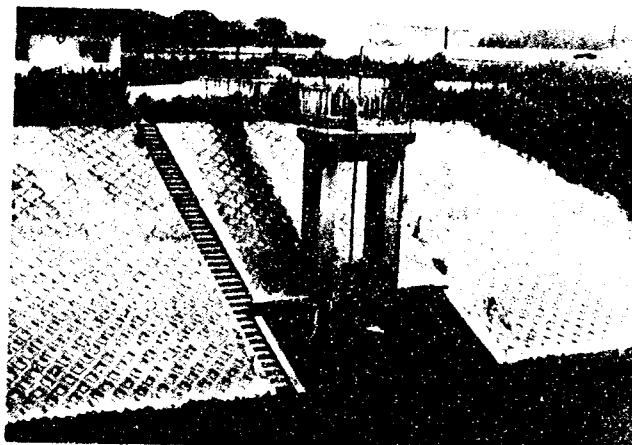
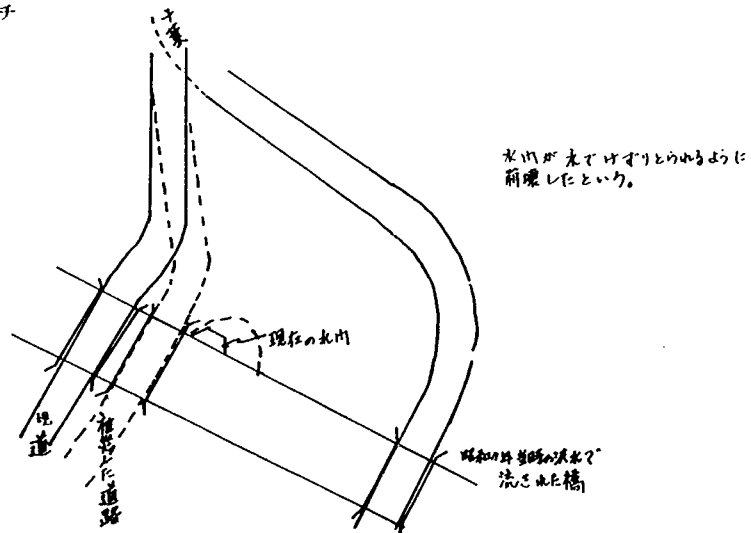
調 査 地 点	No 90		
調 査 年 月 日	S 5 3 . 8 . 1 1		
路 線 名	一般国道297号		
所 在 地	千葉県市原市新田		
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥ 低地 7. その他 ()		
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 ③ 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他 ()		
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 ⑥ 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()		
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類		
	時 代 区 分	洪 積 期	
傾 斜 区 分	1	起 状 量	1
地 下 水 位 ・ 湧 水	水路水位面		
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m 2. 切土 (2) m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地		
被 害 の 状 況	聞きこみできなかった。 台地の裾の部分で、深い水路が幅6.0 m程度、深さ4.0 m程度の規模であり、この上を橋が通っている。現在はボックスカルバートになっている。この橋のとりつけ部が橋脚部の破損と推定した。		
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所
		地震断層からの距離	70~80

被害箇所の現況断面スケッチ



調 査 地 点	No 91				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 1 1				
路 線 名	一般国道 2 9 7 号				
所 在 地	千葉県市原市新田				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥ 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤ 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物				
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	1		起 状 量	1	
地 下 水 位 ・ 湧 水	河床面				
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m 2. 切土 (河床面 6.0) m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④ 平地				
被 害 の 状 況	聞き込み：水門と橋に被害があったため、旧道の通行が不能となり、新道を利用した。 しかし、新道は、昭和 1 1 年の洪水で橋が流されて通行が不能となり、現在の道路を利用するに至った。地図で推定すると、No 91 地点が 水門部の被災で、No 92 が橋の損害であろうと思われる。				
被 害 分 類	切土の被害 (自然斜面の崩壊)	被 害 金 額	1,000 ~ 5,000 1 箇所	地震断層からの距離	70 ~ 80

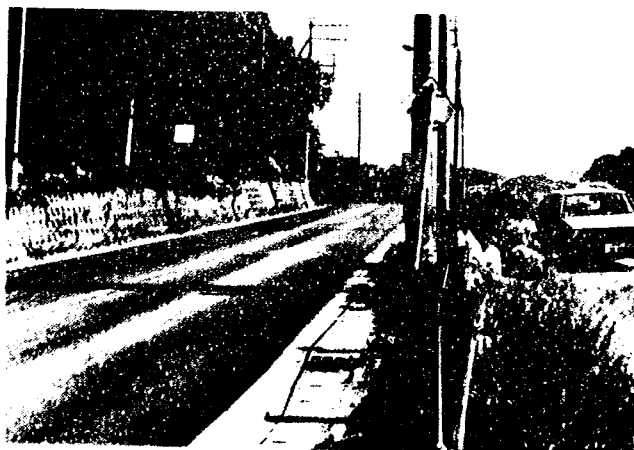
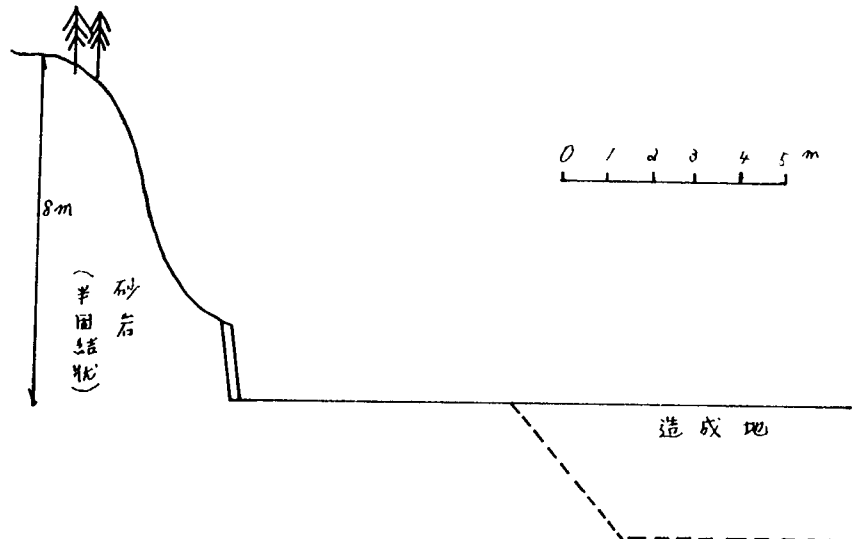
被害箇所の現況断面スケッチ



調 査 地 点	No. 92				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 1 1				
路 線 名	一般国道297号				
所 在 地	千葉県市原市二日市場				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥ 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤ 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物				
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	1	起 状 量	1		
地 下 水 位 ・ 湧 水	河床面				
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m 2. 切土 (河床面 6) m 3. 切土盛土 m/m ④ 平地				
被 害 の 状 況	聞き込み No. 91 に記載。				
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	5,000~20,000円 1箇所	地震断層からの距離	70~80
被害箇所の現況断面スケッチ					

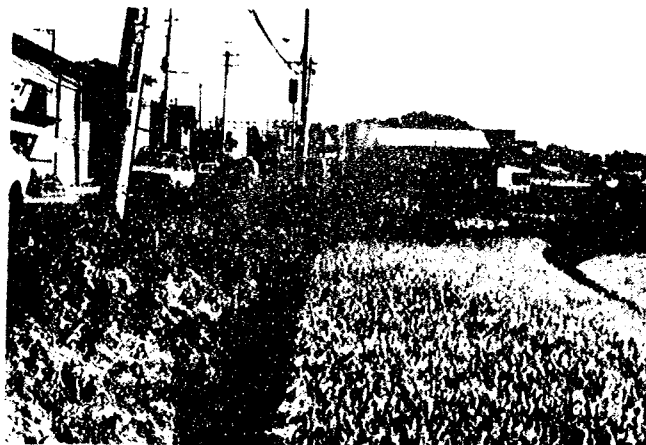
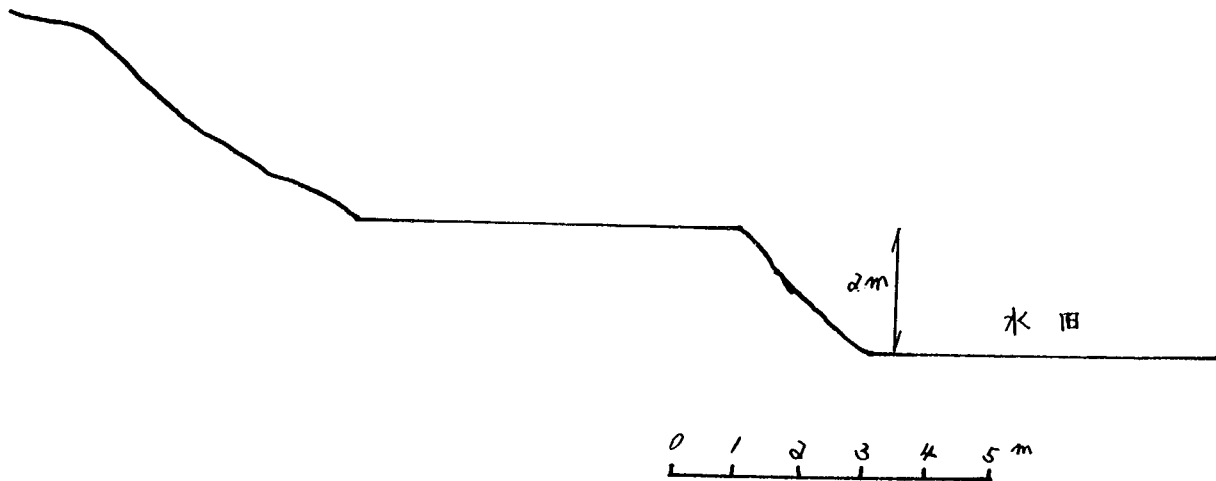
調 査 地 点	No 95				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 2 1				
路 線 名	主要地方道24号千葉鴨川線				
所 在 地	千葉県市原市永藤				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 ⑤段丘地 6. 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 ③山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	①山林 2. 畑 ③水田 ④宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	①未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期 ～ 洪 積 期			
傾 斜 区 分	1	起 状 量	1		
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m ②切土 (2 ~ 3) m 3. 切土盛土 1 ~ 3 m 4. 平地				
被 害 の 状 況	斜面が崩壊した。(この斜面はしばしば崩れた。)				
被 害 分 類	切土の被害	被 害 金 額	1,000 ~ 5,000円 1箇所	地震断層からの距離	60 ~ 70

被害箇所の現況断面スケッチ

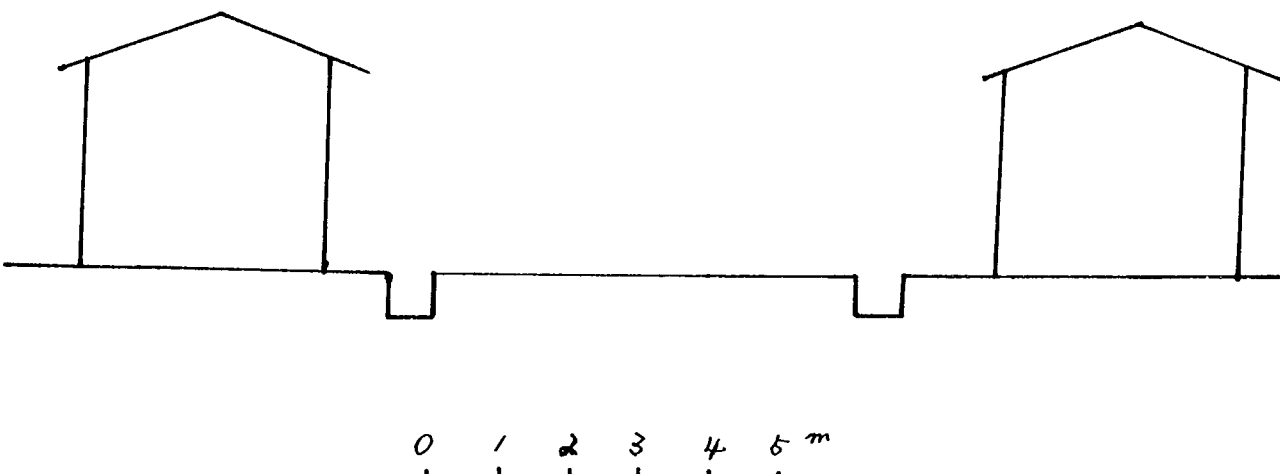
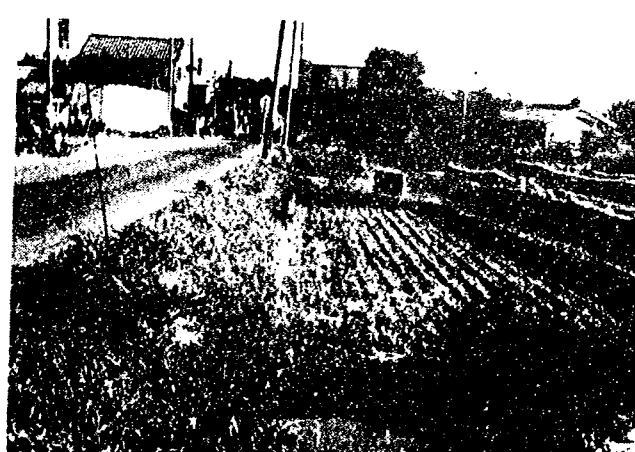


調 査 地 点	No. 96		
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 2 1		
路 線 名	主要地方道24号千葉鴨川線		
所 在 地	千葉県市原市永藤		
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 ⑤ 段丘地 6. 低地 7. その他 ()		
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 ③ 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他 ()		
後 背 地 の 利 用	① 山林 2. 畑 ③ 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他 ()		
表 層 地 質 区 分	1. 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物		
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類		
	時 代 区 分	沖 積 期	
傾 斜 区 分		起 状 量	
地 下 水 位 ・ 湧 水			
現 況 道 路 形 状	① 盛土 (2.0) m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地		
被 害 の 状 況	亀裂が若干発生した。		
被 害 分 類	路面上の小規模な亀裂	被 害 金 額	1,000円以下1箇所
		地震断層からの距離	60~70

被害箇所の現況断面スケッチ

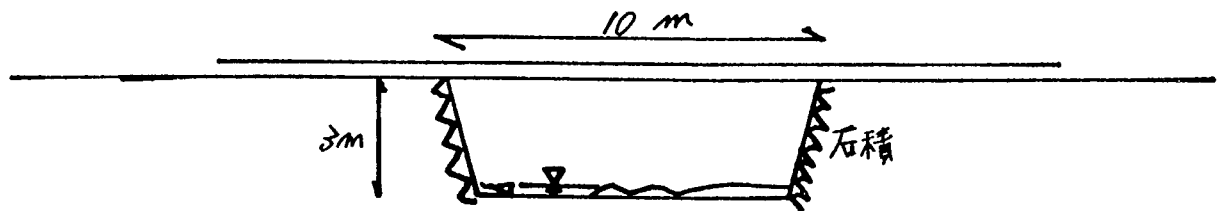


調 査 地 点	No 98				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 2 1				
路 線 名	主要地方道24号千葉鴨川線				
所 在 地	千葉県市原市推津				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥ 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤ 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 3. 水田 ④ 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物				
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
時 代 区 分	沖 積 期				
傾 斜 区 分	1		起 状 量	1	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	① 盛土 (2.0) m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被 害 の 状 況	相当大規模な亀裂が姉ヶ崎市街地にかけて続いた。(No 99 参照)				
被 害 分 類	路面上の大規模な亀裂または盛土の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	60~70
被害箇所の現況断面スケッチ					

調 査 地 点	No 99				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 2 1				
路 線 名	主要地方道 2 4 号千葉鴨川線				
所 在 地	千葉県市原市推津				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 ⑤ 段丘地 6. 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤ 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 3. 水田 ④ 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物				
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	1		起 状 量	1	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 (2) m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④ 平地				
被 害 の 状 況	No 98地点にかけて約200mの間の被害は甚大で道路は完全に破壊された。				
被 害 分 類	路面上の大規模な亀裂または盛土の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	60~70
被害箇所の現況断面スケッチ					
					
					

調 査 地 点	No 100				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 2 0				
路 線 名	一般県道287号袖ヶ浦姉ヶ崎停車場線				
所 在 地	千葉県市原市推津				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 3. 水田 ④宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	①未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	1		起 状 数	1	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④平地				
被 害 の 状 況	橋梁の被害と推定。				
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	60~70

被害箇所の現況断面スケッチ

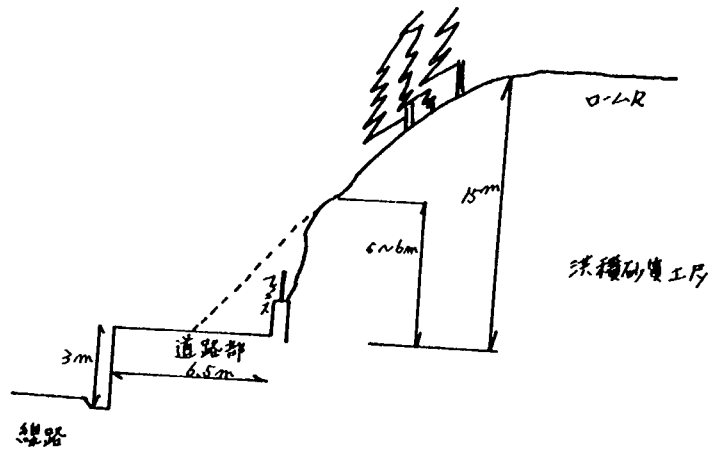


道路通過部は石積で施工してあるが他の箇所の水路部は木柵で施工しているところもある。



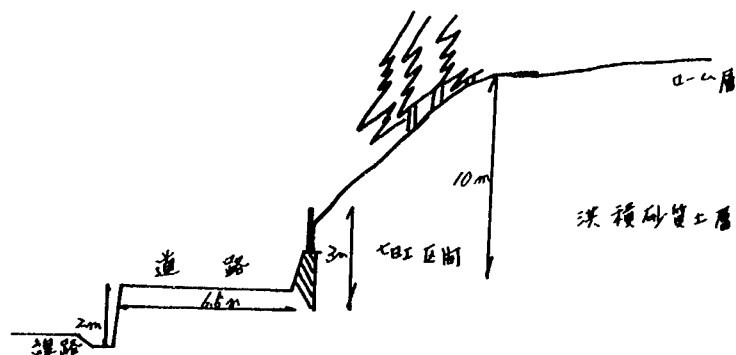
調 査 地 点	No 101				
調 査 年 月 日	S 5 3 . 8 . 2 0				
路 線 名	一般県道287号袖ヶ浦跡ヶ崎停車場線				
所 在 地	千葉県君津郡袖ヶ浦町浜宿				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 ④ 台地 5. 段丘地 6. 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 ③ 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	① 山林 2. 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	洪 積 期			
傾 斜 区 分	1		起 状 量	0	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m ② 切土 (6.0) m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被 害 の 状 況	当時の道幅は、もっとせまいところで、切土部も小規模であつたが、降雨等でも切土部分が崩壊したことがあつた。				
被 害 分 類	切土の被害	被 害 金 額	1,000~5,000 1 箇所	地震断層からの距離	60~70

被害箇所の現況断面スケッチ



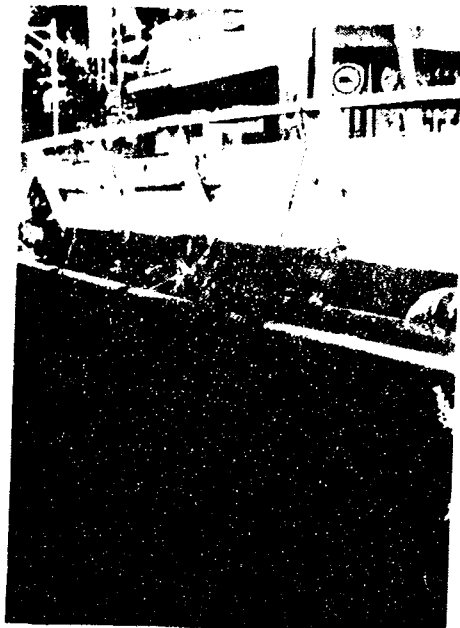
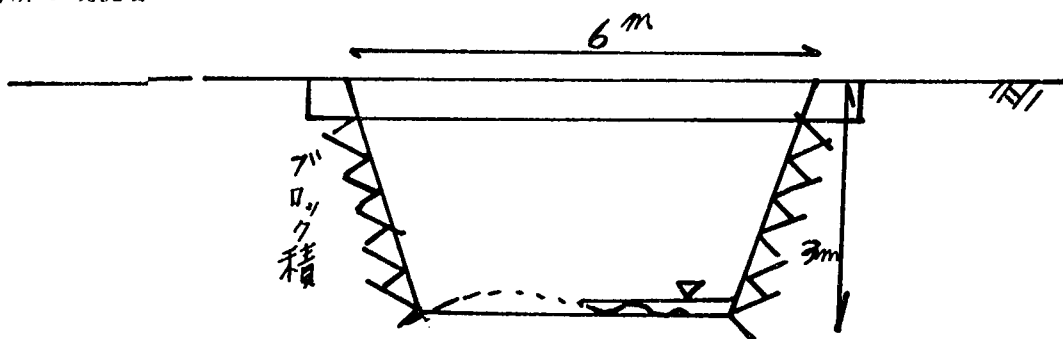
調 査 地 点	No 102				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8 2 0				
路 線 名	一般県道287号袖ヶ浦姉ヶ崎停車場線				
所 在 地	千葉県君津郡袖ヶ浦町久保田				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 ④ 台地 5. 段丘地 6. 低地 7. その他()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 ③ 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他()				
後 背 地 の 利 用	① 山林 2. 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他()				
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物				
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	洪 積 期			
傾 斜 区 分	2		起 状 量	0	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土() m ② 切土(3) m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被 害 の 状 況	切土部の小規模な崩壊。				
被 害 分 類	切土の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	60~70

被害箇所の現況断面スケッチ



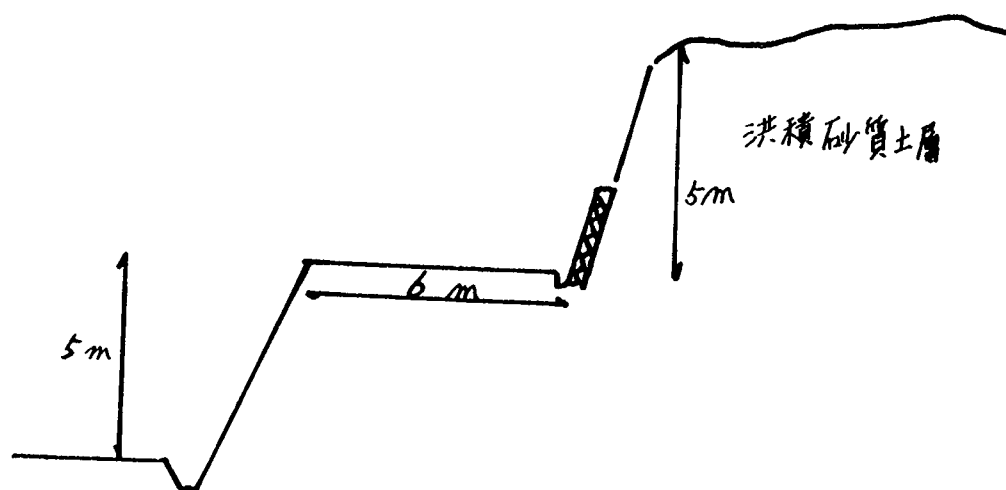
調 査 地 点	No 103				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 2 0				
路 線 名	一般県道287号袖ヶ浦跡ヶ崎停車場線				
所 在 地	千葉県君津郡袖ヶ浦町久保田				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥ 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤ 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 ③ 水田 ④ 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	1		起 状 量	0	
地 下 水 位 ・ 湧 水	河川水位				
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④ 平地				
被 害 の 状 況	当時は木橋であり被害をうけた。				
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	60~70

被害箇所の現況断面スケッチ



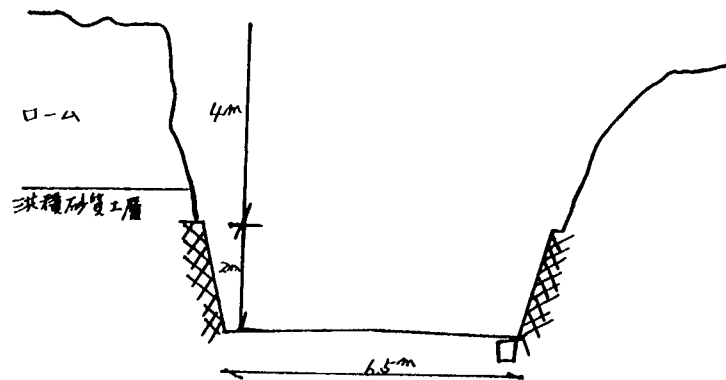
調 査 地 点	No 104				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 2 0				
路 線 名	一般県道287号袖ヶ浦姉ヶ崎停車場線				
所 在 地	千葉県君津郡袖ヶ浦町蔵波				
地 形 区 分	1.山地 2.火山地 3.丘陵地 ④ 台地 5.段丘地 6.低地 7.その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1.頂部 2.中腹 ③ 山裾 4.谷部 5.平地 6.その他 ()				
後 背 地 の 利 用	① 山林 2.畑 3.水田 4.宅地 5.果樹園 6.荒地 7.河原 8.その他 ()				
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2.半固結堆積物 3.固結堆積物				
	4.変成岩 5.火山性岩石 6.深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	洪 積 期			
傾 斜 区 分	2		起 状 量	0	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1.盛上 () m ② 切土 (5) m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4.平地				
被 害 の 状 況	現在、整地が進み、台地尻が、旧道より後退している箇所もあるが、当時、道は山裾に沿って通っていた。				
被 害 分 類	切土の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	60～70

被害箇所の現況断面スケッチ



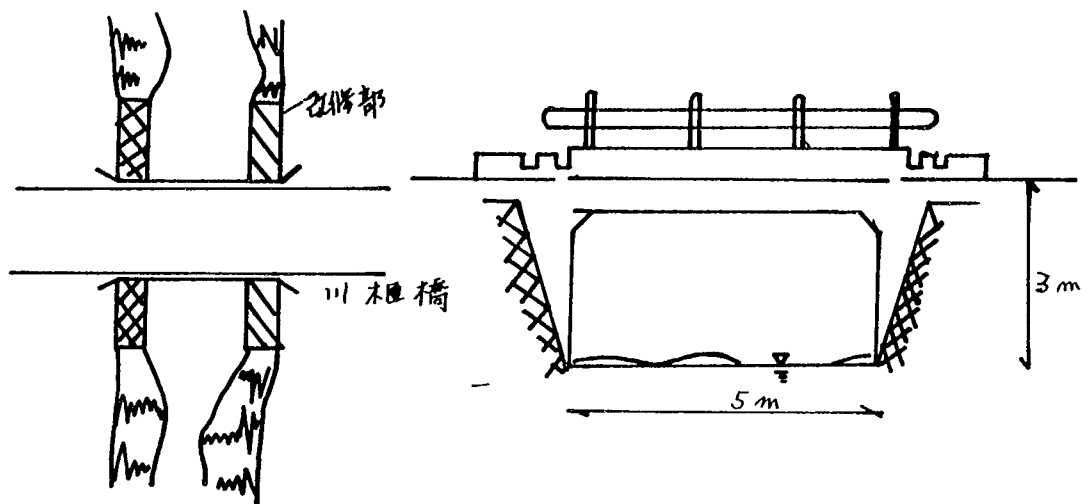
調 査 地 点	No 105				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 2 0				
路 線 名	主要地方道24号千葉鴨川線				
所 在 地	千葉県君津郡袖ヶ浦町下泉付近				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 ④ 台地 5. 段丘地 6. 低地 7. その他()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 ② 中腹 3. 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他()				
後 背 地 の 利 用	① 山林 2. 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他()				
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物				
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	洪 積 期			
傾 斜 区 分	2		起 状 量	0	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土() m ② 切土(6) m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被 害 の 状 況	旧道部不明である。切土高は現在とくらべてより低かったと思われる。				
被 害 分 類	切土の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	60~70

被害箇所の現況断面スケッチ



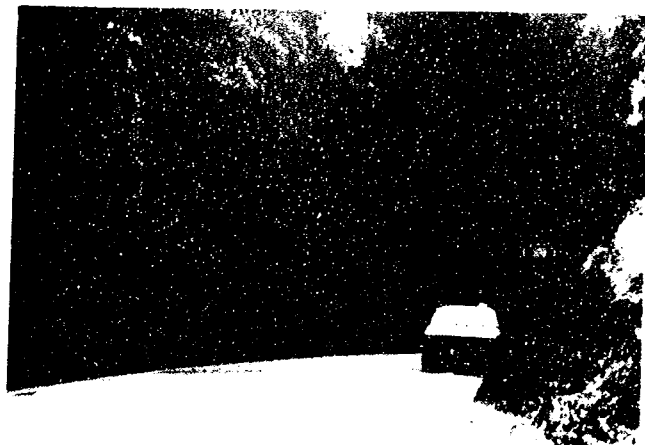
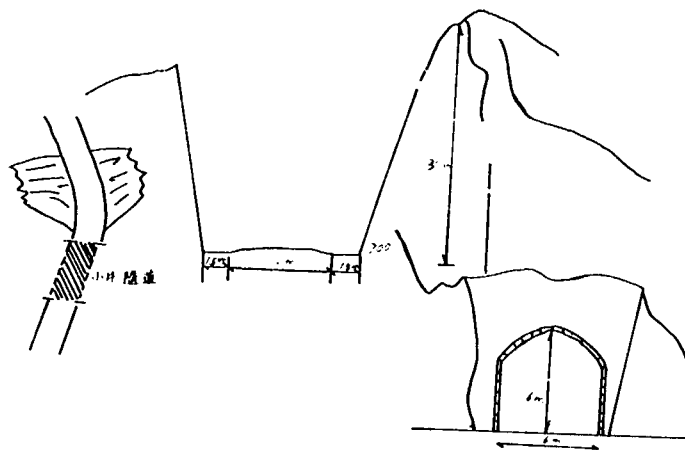
調 査 地 点	No 107		
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 3 0		
路 線 名	一般県道 2 2 9 号太東停車場線		
所 在 地	千葉県勝浦市岬町中原		
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥ 低地 7. その他 ()		
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤ 平地 6. その他 ()		
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()		
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類		
	時 代 区 分	沖 積 期	
傾 斜 区 分	1	起 状 量	0
地 下 水 位 ・ 湧 水			
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地		
被 害 の 状 況			
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所
		地震断層からの距離	70~80

被害箇所の現況断面スケッチ



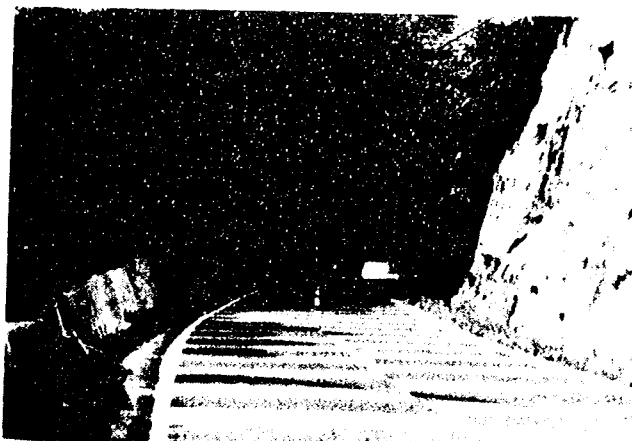
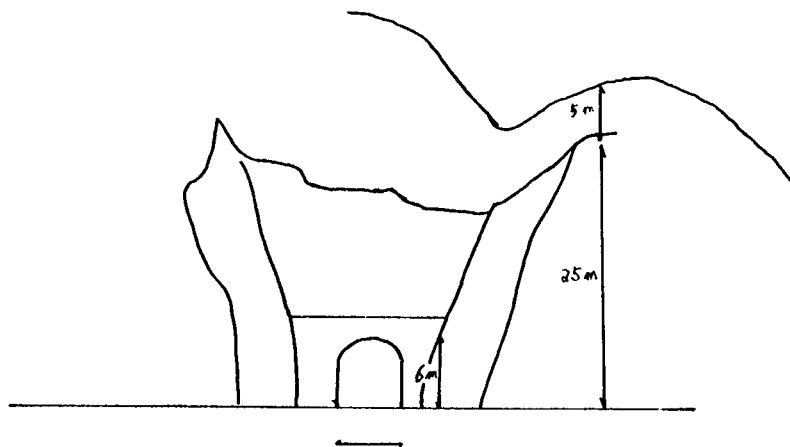
調 査 地 点	No 108				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 3 0				
路 線 名	一般県道149号茂原夷隈線				
所 在 地	千葉県夷隈郡夷隈町小又井				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 ③ 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 6. 低地 7. その他()				
位 置 ・ 標 高	① 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他()				
後 背 地 の 利 用	① 山林 2. 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他()				
表 層 地 質 区 分	1. 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 ③ 固結堆積物				
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	鮮 新 世			
傾 斜 区 分	3		起 状 量	0	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土() m ② 切土(30) m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被 害 の 状 況					
被 害 分 類	切土の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	70~80

被害箇所の現況断面スケッチ



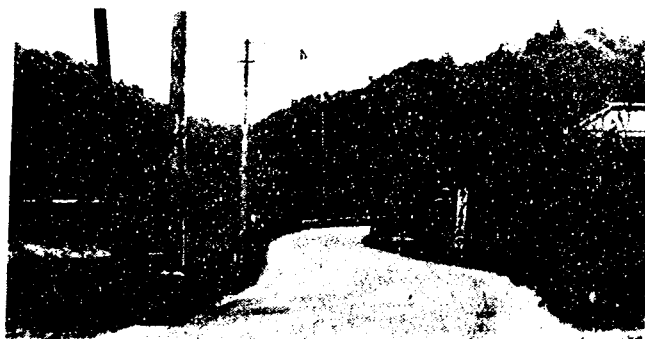
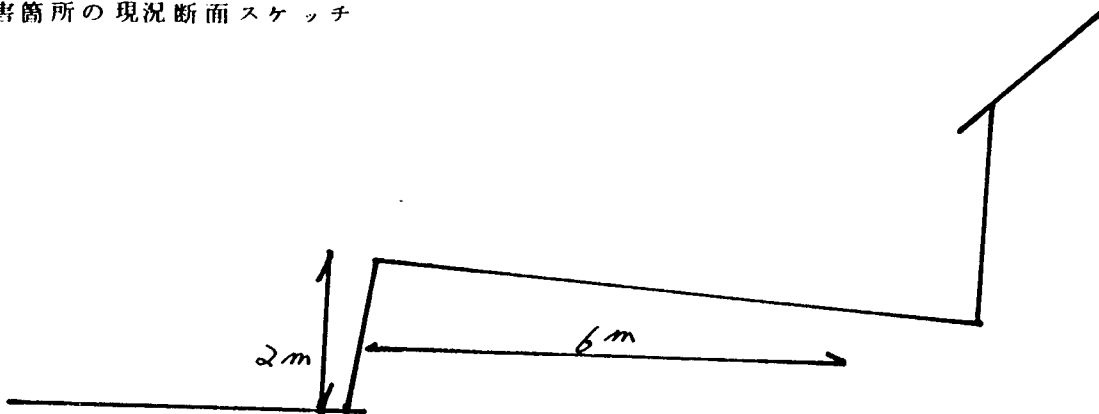
調 査 地 点	No 112		
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 3 0		
路 線 名	主要地方道26号茂原大多喜線		
所 在 地	千葉県夷隈郡大多喜町市部		
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 ③ 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 6. 低地 7. その他 ()		
位 置 ・ 標 高	① 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他 ()		
後 背 地 の 利 用	① 山林 2. 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他 ()		
表 層 地 質 区 分	1. 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 ③ 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類		
	時 代 区 分	鮮 新 世	
傾 斜 区 分	3	起 状 量	3
地 下 水 位 ・ 湧 水			
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m ② 切土 (2 5) m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地		
被 害 の 状 況			
被 害 分 類	切土の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所 地震断層からの距離 60~70

被害箇所の現況断面スケッチ



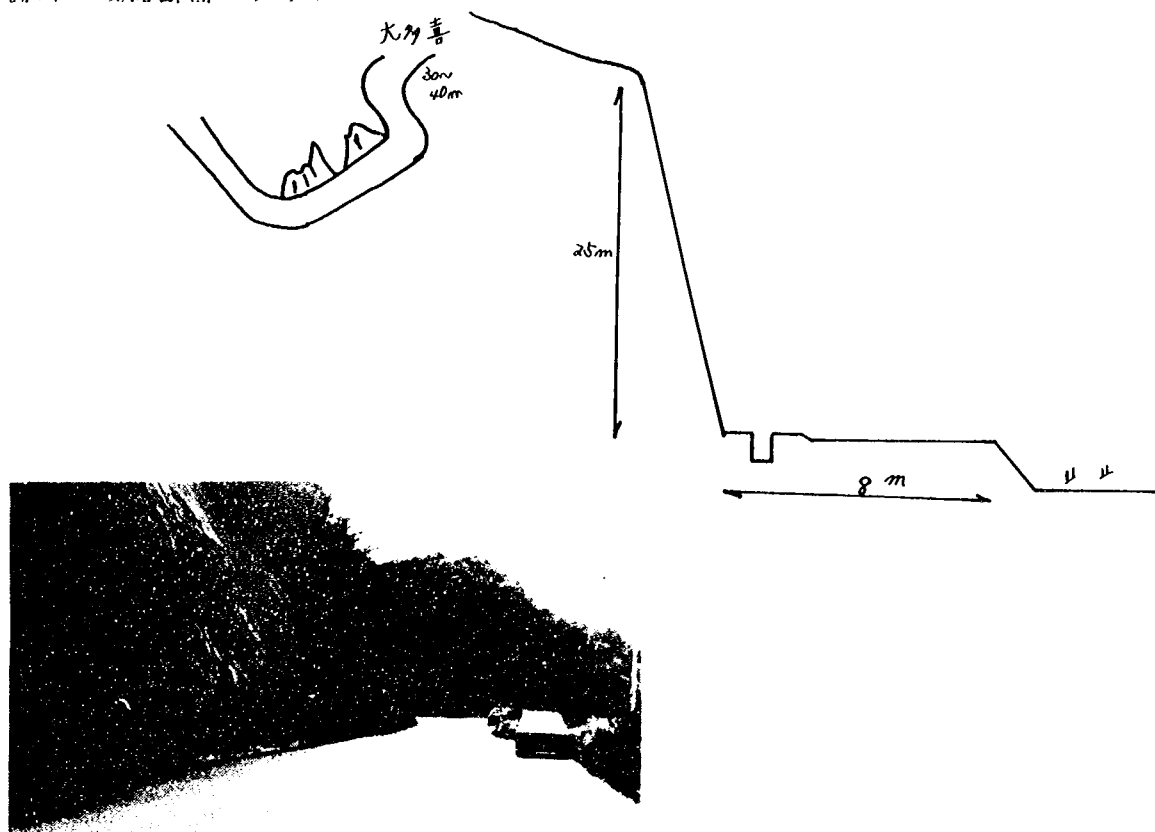
調 査 地 点	No. 113		
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 3 1		
路 線 名	一般県道 1 4 7 号 長柄大多喜線		
所 在 地	千葉県長生郡長南町蔵持 (付近)		
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥ 低地 7. その他 ()		
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤ 平地 6. その他 ()		
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 ③ 水田 ④ 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()		
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物		
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類		
	時 代 区 分	沖 積 期	
傾 斜 区 分	3	起 状 量	0
地 下 水 位 ・ 湧 水			
現 況 道 路 形 状	① 盛土 (2.5) m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地		
被 害 の 状 況	この道路はたいした影響はうけてないはずである。 被災後、3日たって自転車で東京までいったが何ともなかった。 カーブのところに、細い亀裂が出来た程度。		
被 害 分 類	路面上の小規模な亀裂	被 害 金 額	1,000円以下1箇所
		地震断層からの距離	70~80

被害箇所の現況断面スケッチ



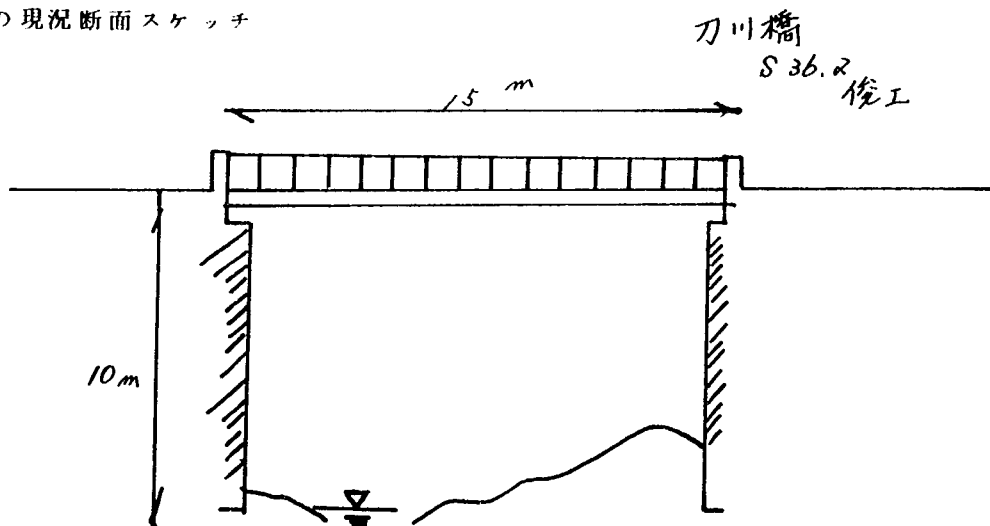
調 査 地 点	No 114		
調 査 年 月 日	S 5 3 . 8 . 3 0		
路 線 名	一般県道 1 4 7 号長柄大多喜線		
所 在 地	千葉県長生郡長南町上小野田		
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 ③丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 6. 低地 7. その他 ()		
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 ③山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他 ()		
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他 ()		
表 層 地 質 区 分	1. 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 ③固結堆積物		
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類		
	時 代 区 分	鮮 新 世	
傾 斜 区 分	3	起 状 量	1
地 下 水 位 ・ 湧 水			
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m 2. 切土 () m ③ 切土盛土 $\frac{20}{2}m$ 4. 平地		
被 害 の 状 況			
被 害 分 類	切土の被害	被 害 金 額	1,000～5,000円 1箇所
		地震断層からの距離	70～80

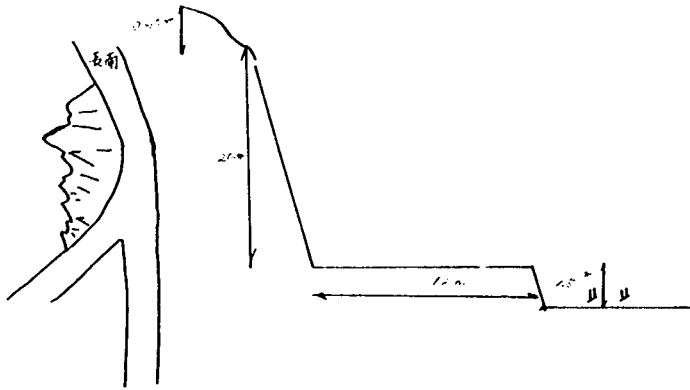
被害箇所の現況断面スケッチ



調 査 地 点	No 115				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 3 1				
路 線 名	一般県道 1 4 7 号長柄大多喜線				
所 在 地	千葉県長生郡長南町佐坪				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥ 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤ 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 世			
傾 斜 区 分	1		起 状 量	0	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④ 平地				
被 害 の 状 況					
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	70~80

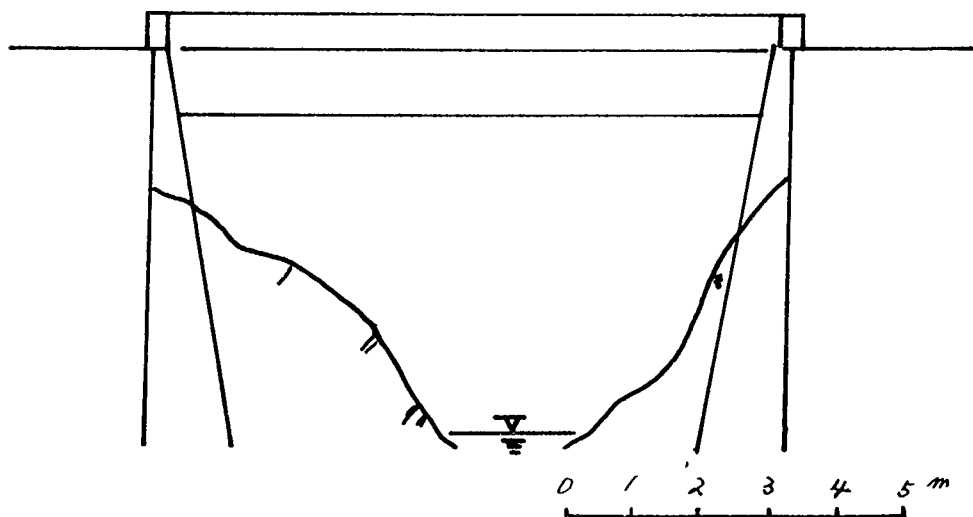
被害箇所の現況断面スケッチ



調 査 地 点	No 116				
調 査 年 月 日	S 5 3 . 8 3 0				
路 線 名	一般県道 1 4 7 号長柄大多喜線				
所 在 地	千葉県長生郡長南町上小野田				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 ③ 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 6. 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 ③ 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	① 山林 2. 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	1. 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 ③ 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
時 代 区 分	鮮 新 世				
傾 斜 区 分	3		起 状 量	1	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m ② 切土 (2 0) m ③ 切土盛土 $\frac{20}{2}m$ 4. 平地				
被 害 の 状 況					
被 害 分 類	切土の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	70～80
被害箇所の現況断面スケッチ					
 					

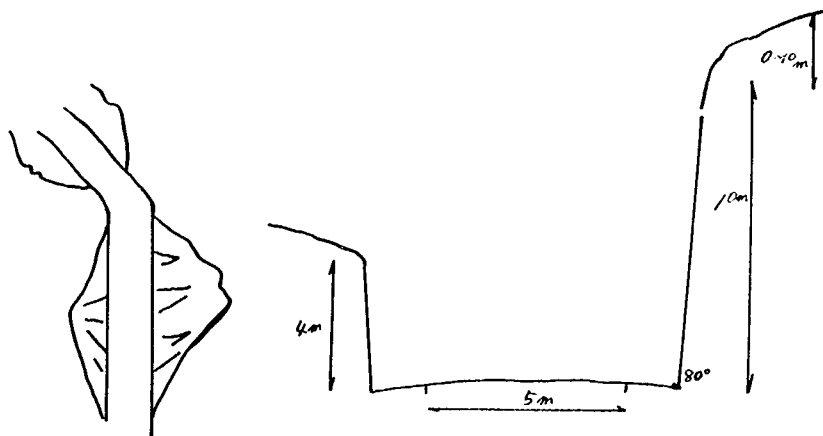
調 査 地 点	No 117			
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 3 1			
路 線 名	一般県道 1 4 7 号長柄大多喜線			
所 在 地	千葉県長生郡長南町蔵持(付近)			
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 ③ 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 6. 低地 7. その他()			
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 ④ 谷部 5. 平地 6. その他()			
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他()			
表 層 地 質 区 分	1. 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 ③ 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類			
	時 代 区 分	鮮 新 世		
傾 斜 区 分	3	起 状 量	1	
地 下 水 位 ・ 湧 水				
現 況 道 路 形 状	1. 盛土() m 2. 切土() m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④ 平地			
被 害 の 状 況				
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離 70~80

被害箇所の現況断面スケッチ



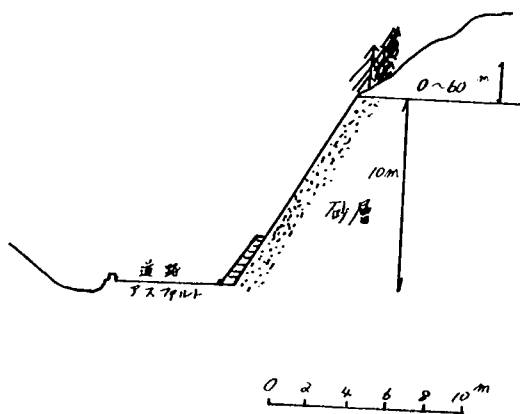
調 査 地 点	No 118				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 3 1				
路 線 名	一般県道171号加茂長南線				
所 在 地	千葉県市原市新井				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 ③丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 6. 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	①頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	①山林 2. 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	①未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物				
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	洪 積 期			
傾 斜 区 分	3	起 状 量	1		
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m ②切土 (0 ~ 1 0) m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被 害 の 状 況					
被 害 分 類	切土の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	60 ~ 70

被害箇所の現況断面スケッチ



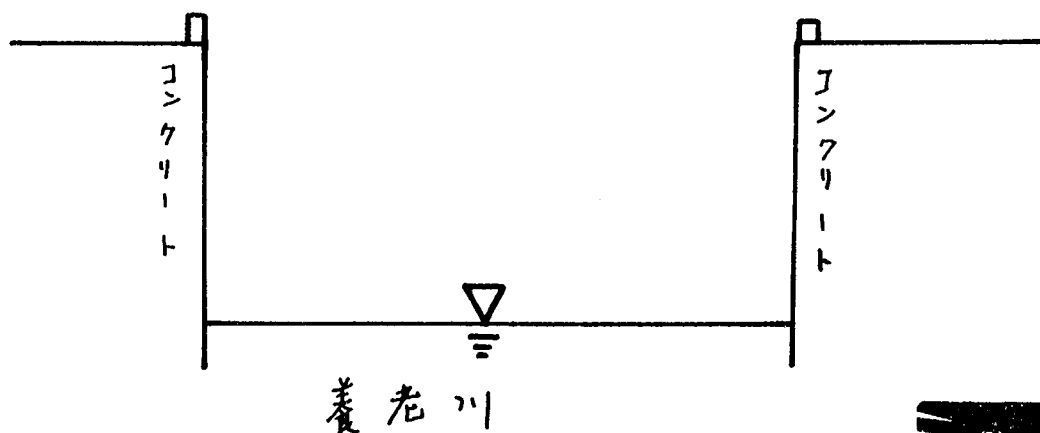
調 査 地 点	5 119				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 2 1				
路 線 名	一般県道160号加茂木更津線(付近)				
所 在 地	千葉県市原市飯給				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 ③ 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 6. 低地 7. その他()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 ② 中腹 3. 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他()				
後 背 地 の 利 用	① 山林 2. 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他()				
表 層 地 質 区 分	1. 未固結堆積物 ② 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	洪 積 期			
傾 斜 区 分	3	起 状 量	3		
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土() m ② 切土(1 0) m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被 害 の 状 況	この場所の自然斜面の崩壊以外被害を受けたような箇所は見当らない。				
被 害 分 類	切土の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	60~70

被害箇所の現況断面スケッチ



調 査 地 点	No 120				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 2 1				
路 線 名	主要地方道170号市原天津小湊線				
所 在 地	千葉県市原市田淵				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 ⑤ 段丘地 6. 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 ④ 谷部 5. 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 3. 水田 ④ 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	3		起 状 量	3	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 m m 4. 平地				
被 害 の 状 況	〔(67才位の男性) 学校への通学中にこの橋付近で地震にあった。この付近には特に被害はなかったように思う。ただ国民宿舎月崎荘の前を流れる養老川沿いの崖(比高約40m)が崩れ、その砂が養老川を一部埋積したという。〕ここで被害地と考えていた橋は現在のものより約200m程下流にあり、木橋であった。特に被害はなかったという話であるが、養老川の崖崩れを除いて、ここぐらいしか考えられないので、一応この橋の一部の欠壊と考えておく。現在はとり壊されている。〕				
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	60~70

被害箇所の現況断面スケッチ

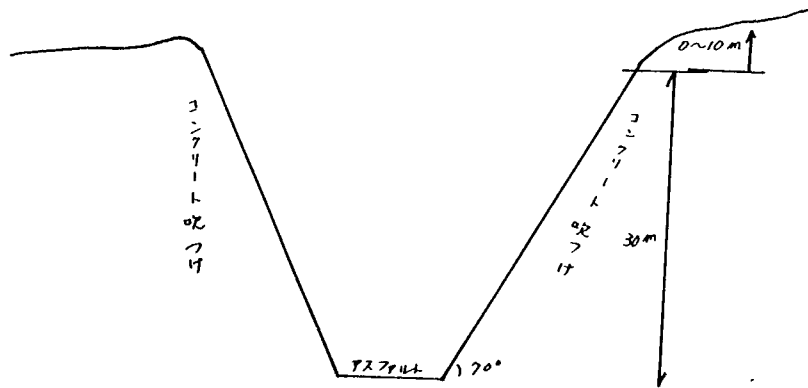


0 5 10 15 20 m



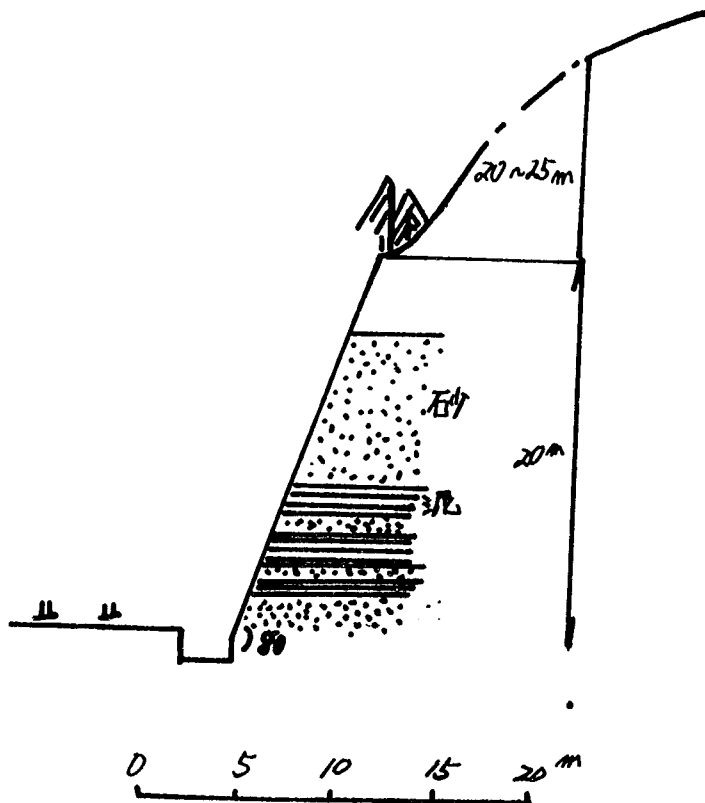
調 査 地 点	No 121		
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 2 1		
路 線 名	主要地方道170号市原天津小湊線		
所 在 地	千葉県市原市国本		
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 ③ 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 6. 低地 7. その他 ()		
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 ③ 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他 ()		
後 背 地 の 利 用	① 山林 2. 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()		
表 層 地 質 区 分	1. 未固結堆積物 ② 半固結堆積物 3. 固結堆積物		
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類		
	時 代 区 分	洪 積 期	
傾 斜 区 分	3	起 状 量	3
地 下 水 位 ・ 湧 水			
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m ② 切土 (3 0) m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地		
被 害 の 状 況	両崖切り通し、一部露頭があり、砂、泥互層である。		
被 害 分 類	切土の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所
		地震断層からの距離	60~70

被害箇所の現況断面スケッチ



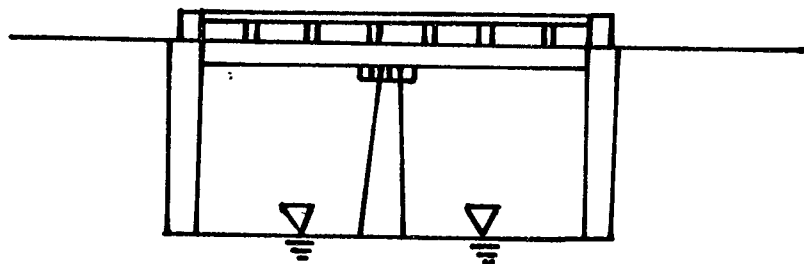
調 査 地 点	.16 122		
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 2 1		
路 線 名	主要地方道32号大多喜君津線		
所 在 地	千葉県市原市中代		
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 ③ 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 6. 低地 7. その他 ()		
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 ② 中腹 3. 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他 ()		
後 背 地 の 利 用	① 山林 2. 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他 ()		
表 層 地 質 区 分	1. 未固結堆積物 ② 半固結堆積物 3. 固結堆積物		
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類		
時 代 区 分	第 四 紀		
傾 斜 区 分	4	起 状 量	2
地 下 水 位 ・ 湧 水			
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m ② 切土 (2 0) m 3. 切土盛土 m m 4. 平地		
被 害 の 状 況	(6 8 才男性) 現在の道路より 1 0 0 m 位西方へ入った支谷の崖が崩れ、そこから流れ出た土砂が下流の道路にまで達した。		
被 害 分 類	切土の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所
		地震断層からの距離	50~60

被害箇所の現況断面スケッチ



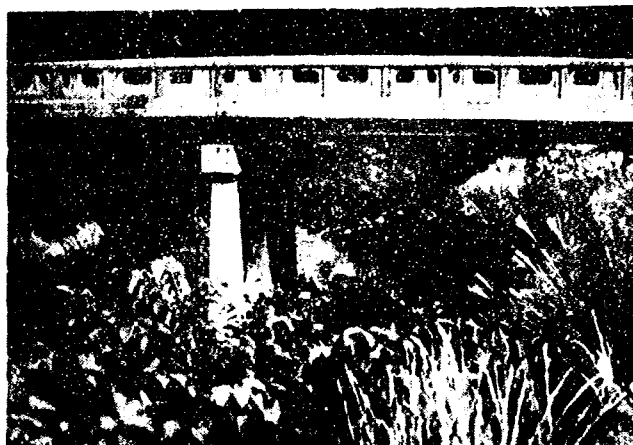
調査地点	No 123				
調査年月日	S 53. 8.21				
路線名	主要地方道32号大多喜君津線				
所在地	千葉県市原市下代				
地形区分	1.山地 2.火山地 ③丘陵地 4.台地 5.段丘地 6.低地 7.その他()				
位置・標高	1.頂部 2.中腹 3.山裾 ④谷部 5.平地 6.その他()				
後背地の利用	1.山林 2.畑 ③水田 ④宅地 5.果樹園 6.荒地 7.河原 8.その他()				
表層地質区分	1.未固結堆積物 ②半固結堆積物 3.固結堆積物				
	4.変成岩 5.火山性岩石 6.深成岩および一部変成岩類				
	時代区分	洪 積 期			
傾斜区分	4		起 状 量	2	
地下水位・湧水					
現況道路形状	1.盛土()m 2.切土()m 3.切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④平地				
被害の状況	(70才男性)この付近は地震による顕著な被害はみられなかった。家も全然壊れなかった。 しかしこの橋以外には、被害を受けそうなところは見当らない。				
被害分類	橋梁の被害	被害金額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	50~60.

被害箇所の現況断面スケッチ



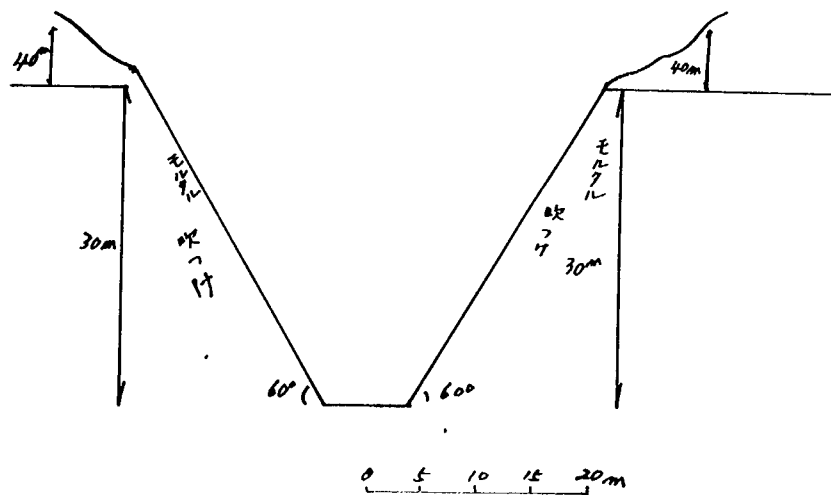
養老川の主流

0 2 4 6 8 10m



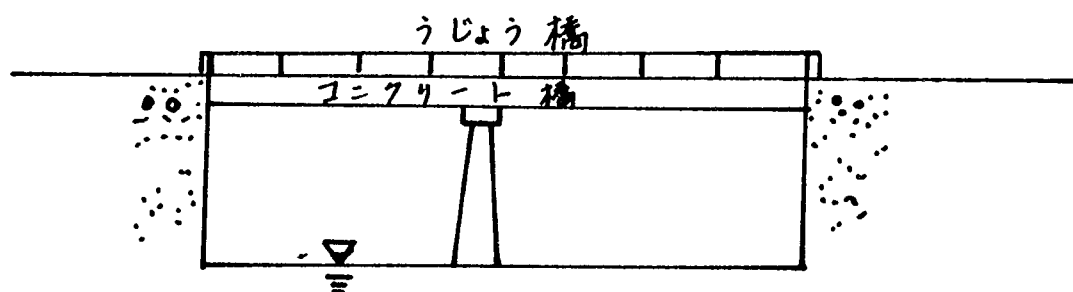
調 査 地 点	No 124			
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 2 1			
路 線 名	主要地方道32号大多喜君津線			
所 在 地	千葉県市原市菅野			
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 ③ 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 6. 低地 7. その他 ()			
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 ② 中腹 3. 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他 ()			
後 背 地 の 利 用	① 山林 2. 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()			
表 層 地 質 区 分	1. 未固結堆積物 ② 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類			
	時 代 区 分	洪 積 期		
傾 斜 区 分	4	起 状 量	2	
地 下 水 位 ・ 湧 水				
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m ② 切土 (3 0) m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地			
被 害 の 状 況	((7 0 才男性) この付近は、地震による被害は全然なかった。) しかし、周辺の地形から考えて、この崖 (当時はトンネル) が若干崩れたと思われる。			
被 害 分 類	切土の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離 50~60

被害箇所の現況断面スケッチ



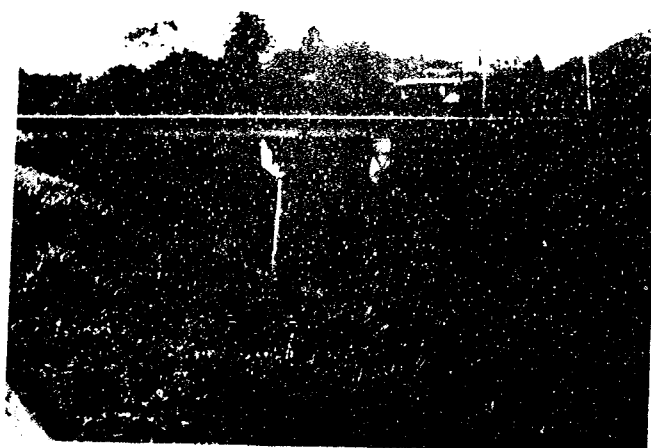
調 査 地 点	No 125				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 2 0				
路 線 名	主要地方道 3 3 号君津天羽線				
所 在 地	千葉県君津市久留里				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 ⑤ 段丘地 6. 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 ④ 谷部 5. 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 ③ 水田 ④ 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物				
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	1		起 状 量	2	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④ 平地				
被 害 の 状 況	橋の崩壊と考えられる。70才の男性、女性によると、この橋は戦後につくられたもので、地震時の橋はこれより若干上流にあったという。しかし、現在はその道もない。旧道の橋が崩壊したものと思われる。				
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	50～60

被害箇所の現況断面スケッチ



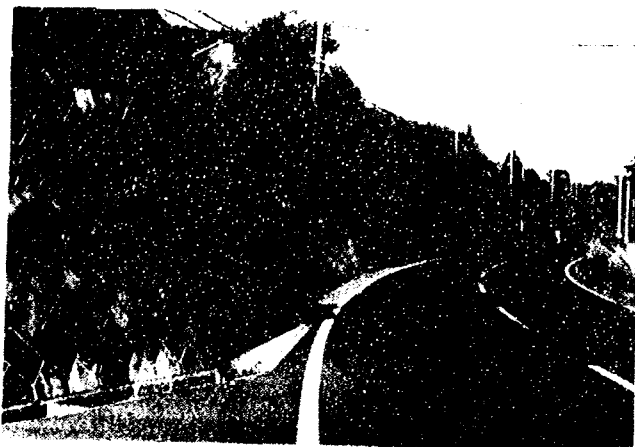
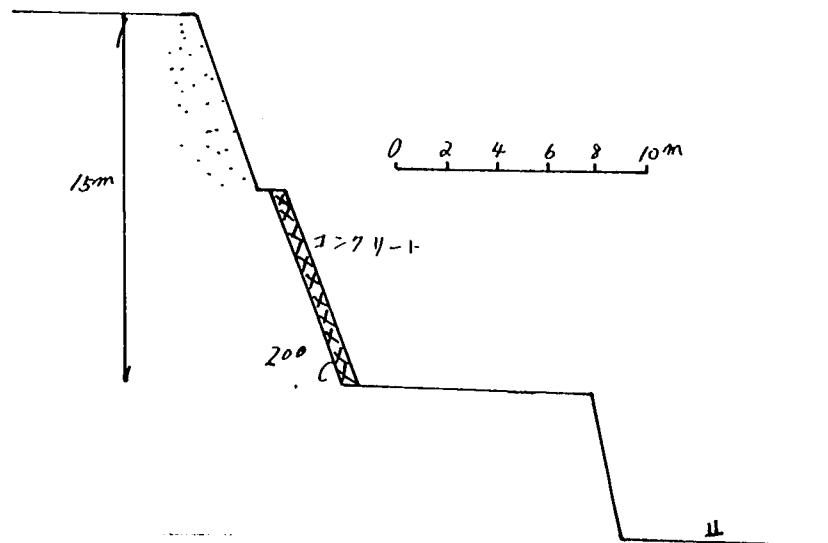
小 櫃 川

0 5 10 15 20m



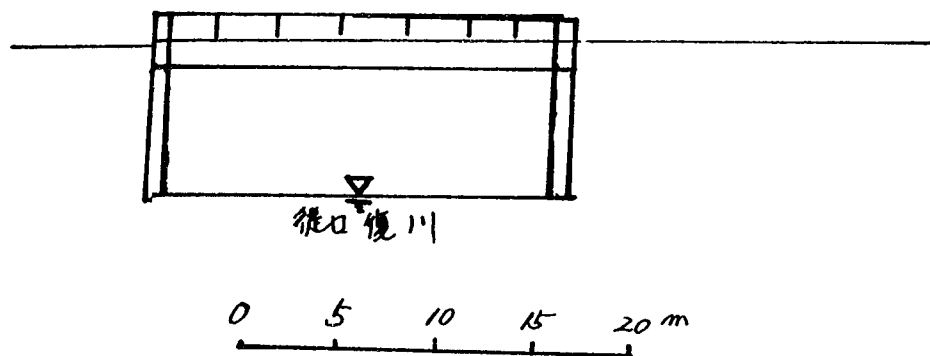
調 査 地 点	No 126			
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 2 0			
路 線 名	主要地方道33号君津天羽線			
所 在 地	千葉県君津市向郷			
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 ③ 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 6. 低地 7. その他 ()			
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 ③ 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他 ()			
後 背 地 の 利 用	1. 山林 ② 畑 ③ 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他 ()			
表 層 地 質 区 分	1. 未固結堆積物 ② 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類			
	時 代 区 分	洪 積 期		
傾 斜 区 分	2	起 状 量	3	
地 下 水 位 ・ 湧 水				
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m ② 切土 (1 5) m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地			
被 害 の 状 況				
被 害 分 類	切土の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離
				50~60

被害箇所の現況断面スケッチ



調査地点	No 127				
調査年月日	S 53. 8.20				
路線名	主要地方道24号千葉鴨川線				
所在地	千葉県君津市館ノ内				
地形区分	1.山地 2.火山地 3.丘陵地 4.台地 ⑤段丘地 6.低地 7.その他()				
位置・標高	1.頂部 2.中腹 3.山裾 ④谷部 5.平地 6.その他()				
後背地の利用	1.山林 ②畑 ③水田 4.宅地 5.果樹園 6.荒地 7.河原 8.その他()				
表層地質区分	①未固結堆積物 2.半固結堆積物 3.固結堆積物				
	4.変成岩 5.火山性岩石 6.深成岩および一部変成岩類				
時代区分	沖 積 期				
傾斜区分	3		起 状 量	1	
地下水位・湧水					
現況道路形状	1.盛土()m 2.切土()m 3.切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④平地				
被害の状況	橋の崩壊と考えられる。80才の男性、直したことはあるが地震によるものかどうか記憶にないという。				
被害分類	橋梁の被害	被害金額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	50~60

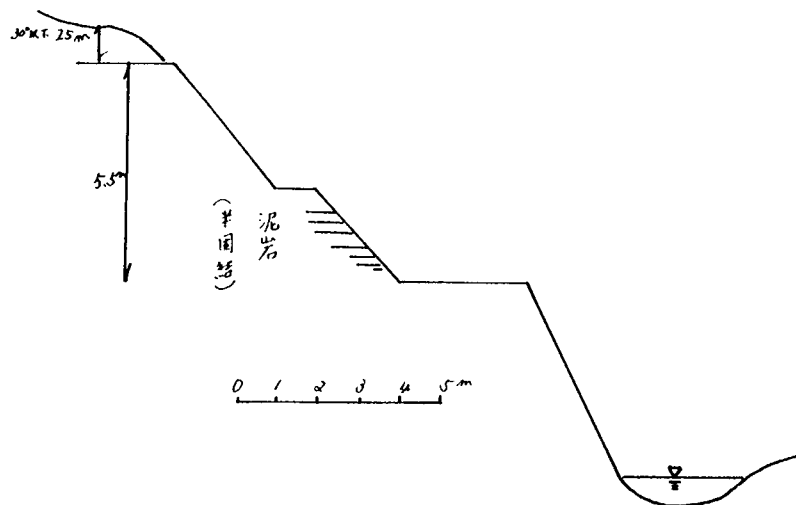
被害箇所の現況断面スケッチ



調査地点	No 128				
調査年月日	S 5 3. 8. 2 0				
路線名	主要地方道23号木更津末吉線				
所在地	千葉県君津市戸崎				
地形区分	1. 山地 2. 火山地 ③ 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 6. 低地 7. その他 ()				
位置・標高	1. 頂部 ② 中腹 3. 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他 ()				
後背地の利用	① 山林 2. 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他 ()				
表層地質区分	1. 未固結堆積物 ② 半固結堆積物 3. 固結堆積物				
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時代区分	洪 積 期			
傾斜区分	2		起 状 量	2	
地下水位・湧水					
現況道路形状	1. 盛土 () m ② 切土 (1 0) m 3. 切土盛土 m m 4. 平地				
被害の状況	(8 0 才の男性) この付近は大きな崩れや、地割れはなかった。小さな崩れや地割れは若干あったが、馬車が通れないことはなかった。当時の道巾は9尺ぐらいであった。 周辺の地形から考えて、この付近が若干崩れたものとする。				
被害分類	切土の被害	被害金額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	50~60
被害箇所の現況断面スケッチ					

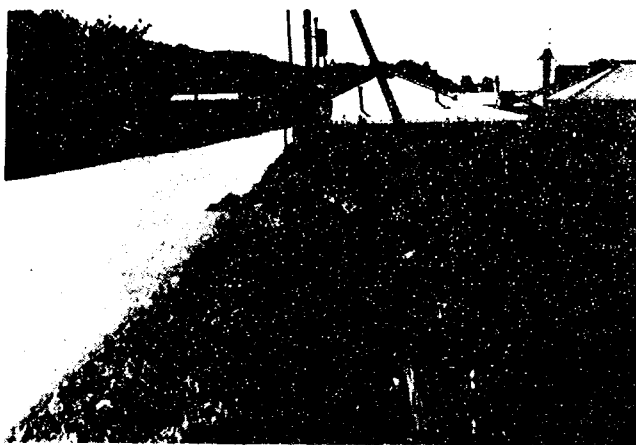
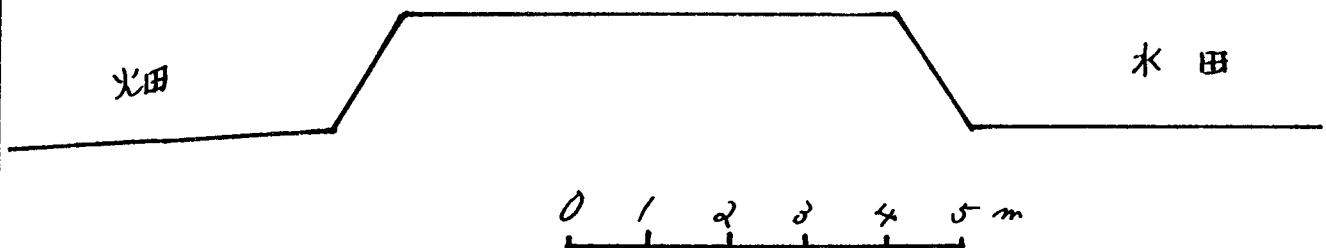
調 査 地 点	No 129				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 2 1				
路 線 名	主要地方道23号木更津末吉線				
所 在 地	千葉県木更津市草敷				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 ③ 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 6. 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 ② 中腹 3. 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	① 山林 2. 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	1. 未固結堆積物 ② 半固結堆積物 3. 固結堆積物				
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	鮮 新 世 ～ 洪 積 期			
傾 斜 区 分	2	起 状 量	1		
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m ② 切土 (5.5) m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被 害 の 状 況	自然斜面の崩壊があった。				
被 害 分 類	切土の被害 自然斜面の崩壊	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	50～60

被害箇所の現況断面スケッチ



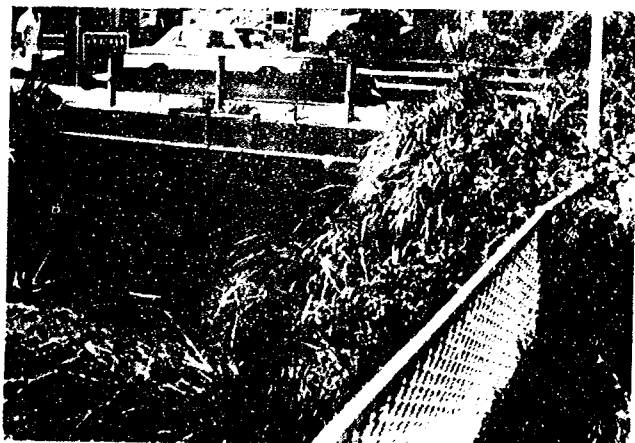
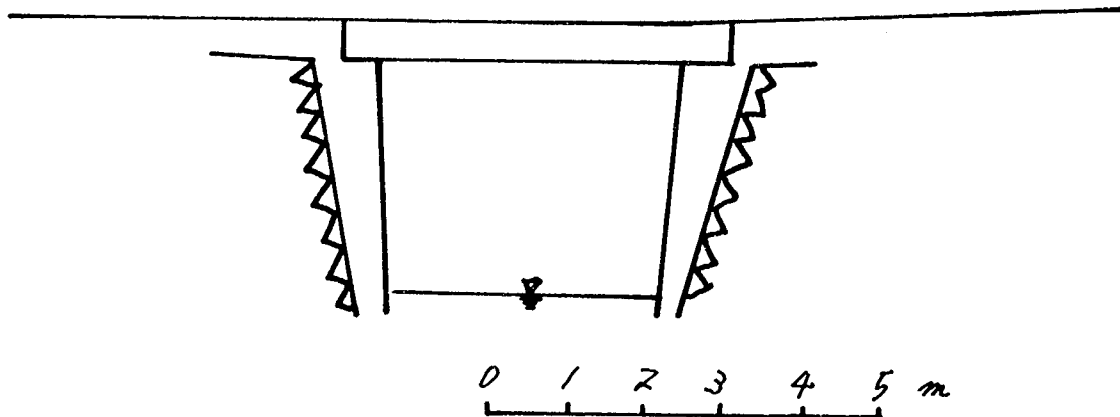
調 査 地 点	No 130			
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 2 1			
路 線 名	主要地方道23号木更津末吉線			
所 在 地	千葉県木更津市草敷			
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥低地 7. その他()			
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤平地 6. その他()			
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 ③水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他()			
表 層 地 質 区 分	①未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物			
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類			
	時 代 区 分	沖 積 期		
傾 斜 区 分	3		起 状 量	2
地 下 水 位 ・ 湧 水				
現 況 道 路 形 状	①盛土(1.5) m 2. 切土() m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地			
被 害 の 状 況	道路を縦断する亀裂が1 Km以上に及んだ。			
被 害 分 類	路面上の小規模な亀裂	被 害 金 額	1,000～5,000 円 1 箇所	地震断層からの距離 50～60

被害箇所の現況断面スケッチ



調 査 地 点	No 131				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 2 1				
路 線 名	主要地方道24号千葉鴨川線				
所 在 地	千葉県木更津市茅野				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 ⑤ 段丘地 6. 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤ 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 ③ 水田 ④ 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	洪 積 期			
傾 斜 区 分	3		起 状 量	2	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	① 盛土 (1.5) m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被 害 の 状 況	当時は木造橋で、震災により落橋した。この木橋を中心として兩岸の道路に相当規模の亀裂が生じた。				
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	1,000~5,000円 1箇所	地震断層からの距離	60~70

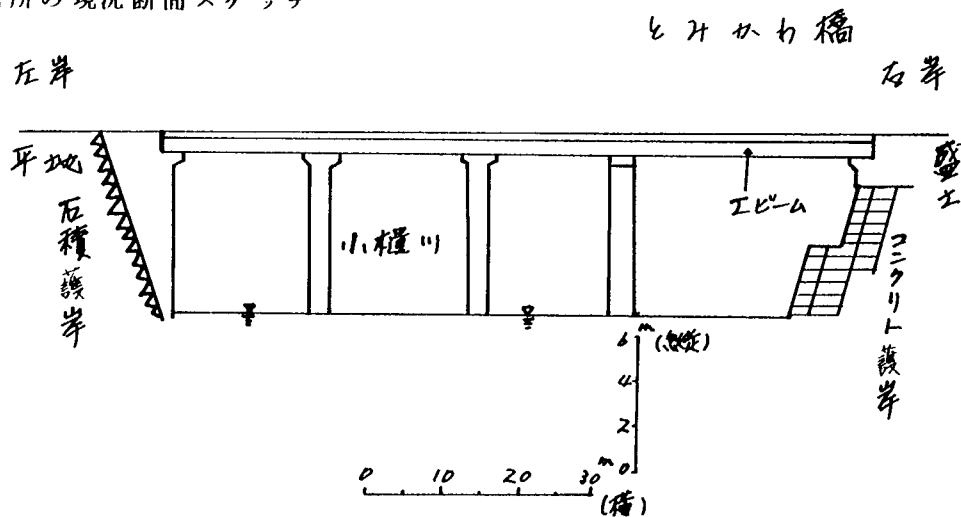
被害箇所の現況断面スケッチ



調 査 地 点	No 132				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 2 1				
路 線 名	一般県道 1 4 5 号長浦上総線付近				
所 在 地	千葉県君津郡袖ヶ浦町下根岸				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 ⑤ 段丘地 6. 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤ 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 ③ 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	3		起 状 量	1	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④ 平地				
被 害 の 状 況	震災により左岸がせり出し、橋台を破壊し、川をせき止める状態となった。当時は、木造橋で水面より 2 m 程度の高さしかなかった。				
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	50～60
被害箇所の現況断面スケッチ					
みまかわ橋 左岸 右岸					

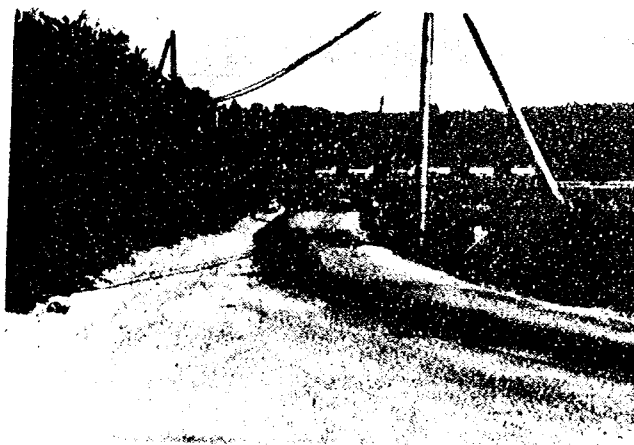
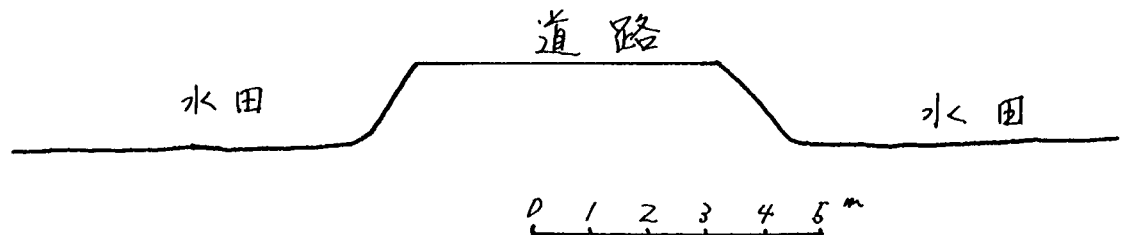
調 査 地 点	No 133				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 2 1				
路 線 名	一般県道 1 6 1 号君津平川線				
所 在 地	千葉県君津郡袖ヶ浦町下根岸				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 ⑤ 段丘地 6. 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤ 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 3. 水田 ④ 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	1		起 状 量	0	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	① 盛土 (2.5) m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被 害 の 状 況	当時は木造橋であった。中央部は無事であったが両岸が破壊された。				
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	50～60

被害箇所の現況断面スケッチ



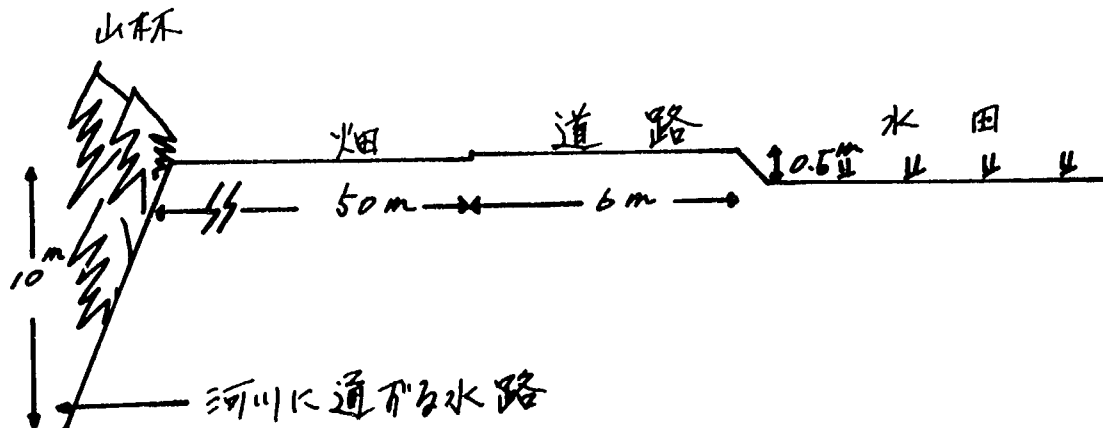
調 査 地 点	No 134			
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 2 1			
路 線 名	一般県道 1 6 1 号君津平川線			
所 在 地	千葉県君津郡袖ヶ浦町吉野田			
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥ 低地 7. その他 ()			
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤ 平地 6. その他 ()			
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 ③ 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他 ()			
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類			
	時 代 区 分	沖 積 期		
傾 斜 区 分	3	起 状 量	0	
地 下 水 位 ・ 湧 水				
現 況 道 路 形 状	① 盛土 (1.5) m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地			
被 害 の 状 況	盛土部に亀裂が生じた。当時木橋であったやりみず橋(大坪川)は落ちなかったが、護岸に被害の出た可能性がある。			
被 害 分 類	路面上の小規模な亀裂	被 害 金 額	1,000~5,000 1箇所	地震断層からの距離 50~60

被害箇所の現況断面スケッチ



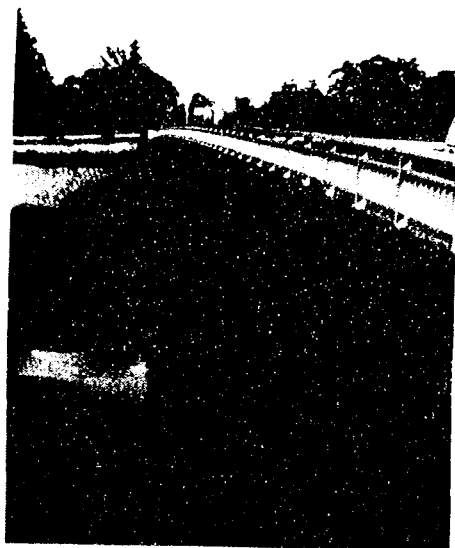
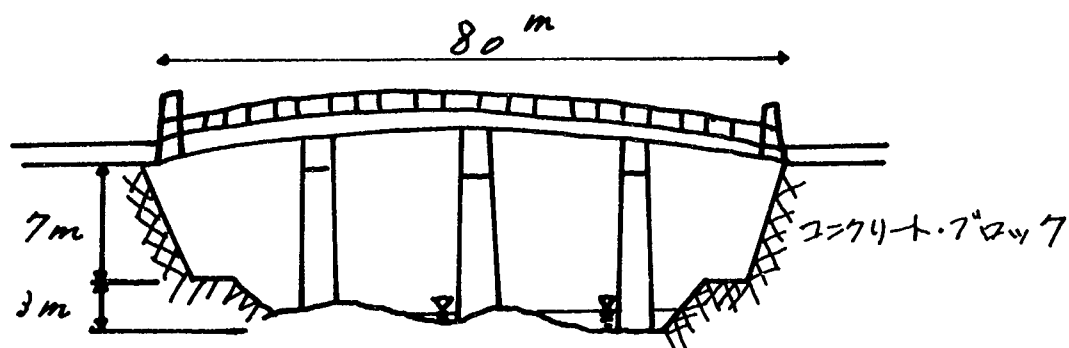
調 査 地 点	No 135				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 2 0				
路 線 名	主要地方道15号木更津茂原線				
所 在 地	千葉県君津郡袖ヶ浦町堂谷				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥ 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤ 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 ② 畑 ③ 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物				
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	1		起 状 量	1	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	① 盛土 (0 ~ 0.5) m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被 害 の 状 況	巾 2 0 ~ 3 0 cm (最大) の亀裂が発生した。地点については完全に特定できなかった。				
被 害 分 類	路面上の小規模な亀裂	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	60~70

被害箇所の現況断面スケッチ



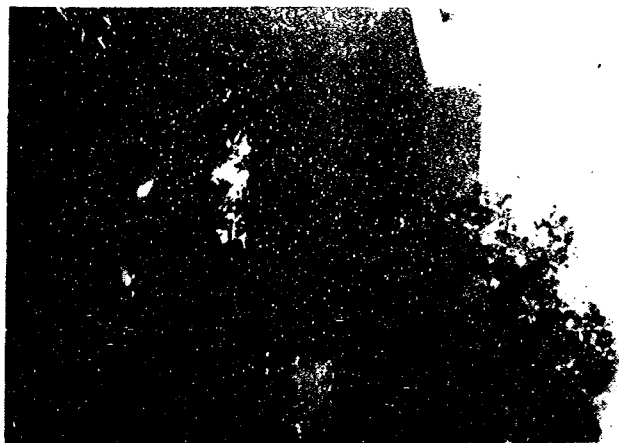
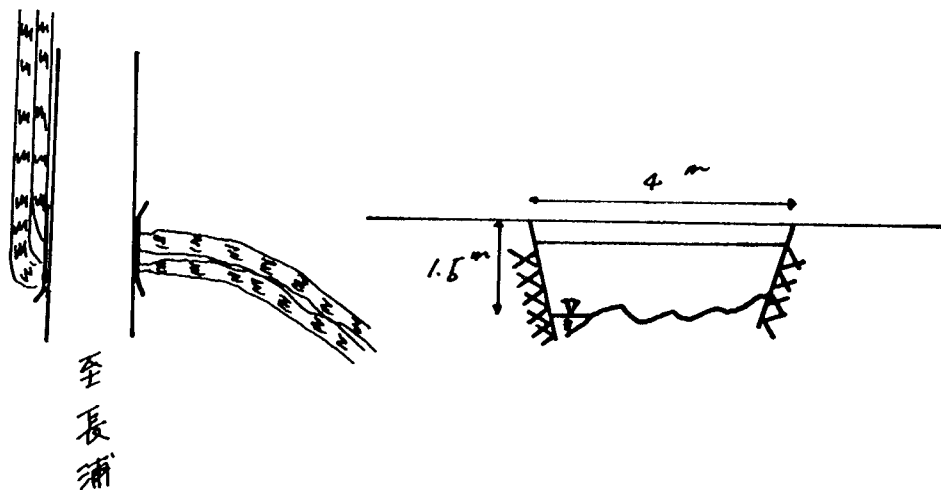
調 査 地 点	No 137				
調 査 年 月 日	S S 5 3 . 8 2 0				
路 線 名	主要地方道 1 5 号木更津茂原線				
所 在 地	千葉県君津郡袖ヶ浦町横田				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥ 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤ 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 3. 水田 ④ 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物				
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	洪 積 期			
傾 斜 区 分	1		起 状 量	0	
地 下 水 位 ・ 湧 水	河川水位				
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④ 平地				
被 害 の 状 況	震災時、橋は落ちなかったように思う。橋脚部が破損したのではないか。護岸がややくずれた。(上流部は大きくくずれたところがある。)				
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	1,000~5,000 1 箇所	地震断層からの距離	50~60

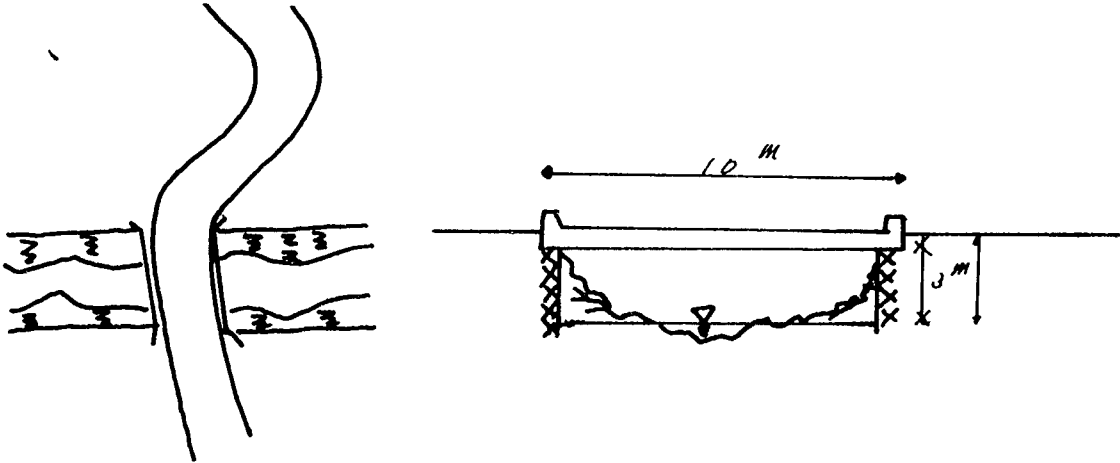
被害箇所の現況断面スケッチ



調 査 地 点	No 138		
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 2 0		
路 線 名	一般県道145号長浦上総線		
所 在 地	千葉県君津郡袖ヶ浦町成蔵		
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥ 低地 7. その他 ()		
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤ 平地 6. その他 ()		
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 ③ 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()		
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類		
	時 代 区 分	沖 積 期	
傾 斜 区 分	1	起 状 量	0
地 下 水 位 ・ 湧 水	河川水位		
現 況 道 路 形 状	① 盛土 (1) m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地		
被 害 の 状 況	当時、このあたりは、被害が大きかった。 道路部は全般に盛土であったことから亀裂が多数できた。 調査地の橋は当時は木橋で、破損したという。		
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所
		地震断層からの距離	60～70

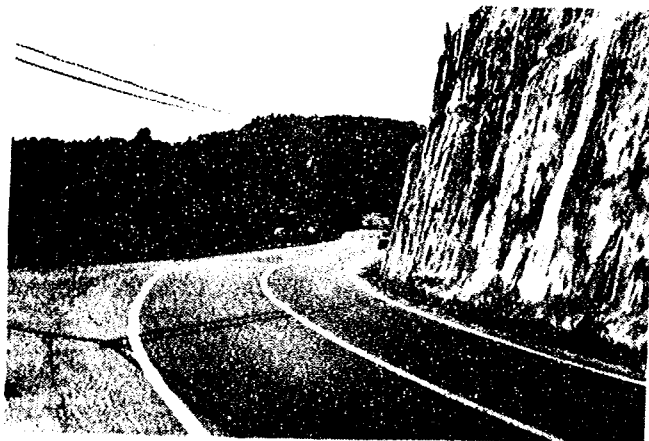
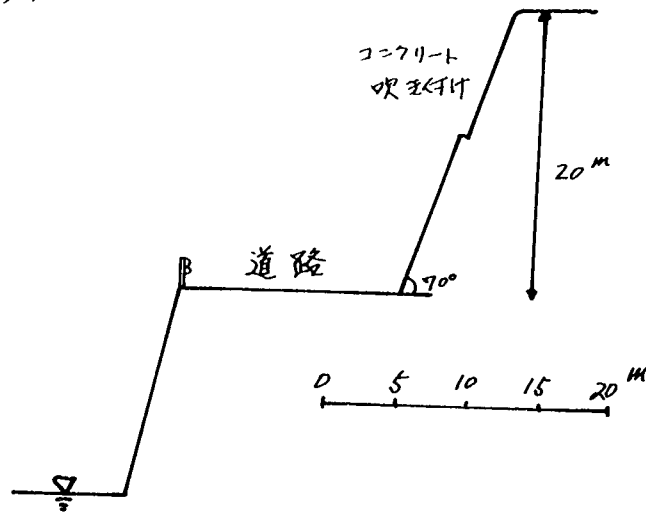
被害箇所の現況断面スケッチ



調 査 地 点	No 139				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 2 0				
路 線 名	一般県道145号長浦上総線				
所 在 地	千葉県君津郡袖ヶ浦町成歳				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 ③水田 ④宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	1	起 状 量	0		
地 下 水 位 ・ 湧 水	河川水位				
現 況 道 路 形 状	①盛土(1) m 2. 切土() m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被 害 の 状 況	当時、被害は全般にあり、亀裂も小規模のものが無数にあったそうである。この橋は落ちた。				
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	60~70
被害箇所の現況断面スケッチ					
					
					

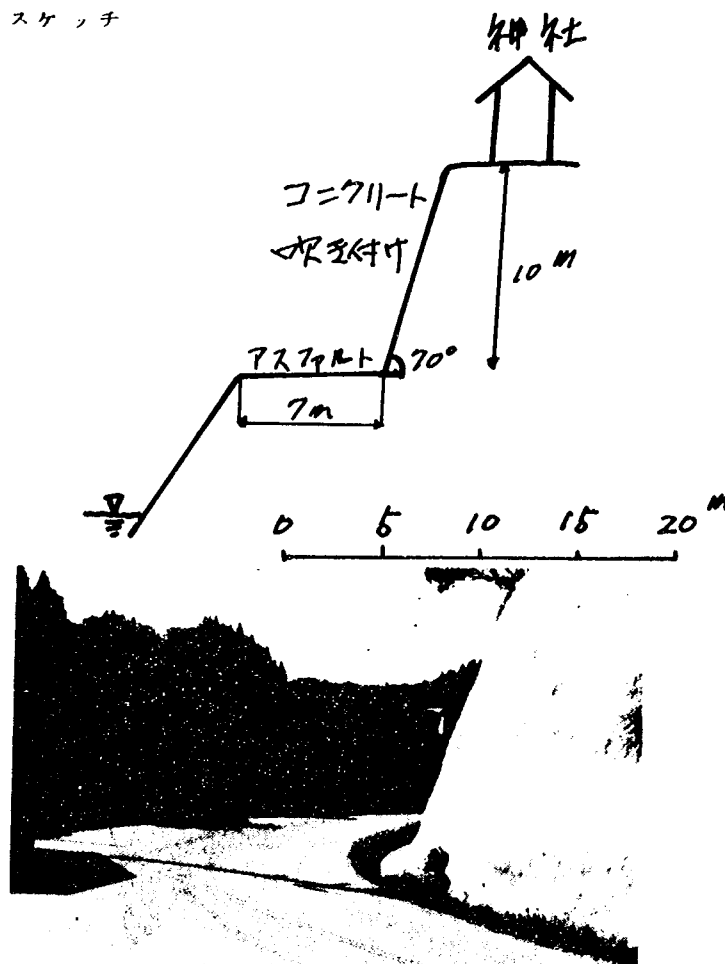
調 査 地 点	No 140				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 2 1				
路 線 名	一般国道297号				
所 在 地	千葉県夷隈郡大多喜町三叉				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 ③ 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 6. 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 ③ 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 ② 畑 3. 水田 ④ 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	1. 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 ③ 固結堆積物				
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	第 三 紀			
傾 斜 区 分	3		起 状 量	2	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m ② 切土 (2 0) m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被 害 の 状 況	この場所以外に、付近に被害を受けたような場所はない。				
被 害 分 類	切土の被害	被 害 金 額	1,000円以下	地震断層からの距離	60~70

被害箇所の現況断面スケッチ



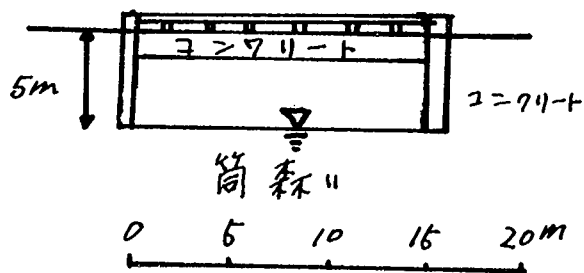
調 査 地 点	No 141				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 2 1				
路 線 名	主要地方道32号大多喜君津線				
所 在 地	千葉県夷隈郡大多喜町板谷				
地 形 区 分	1.山地 2.火山地 ③丘陵地 4.台地 5.段丘地 6.低地 7.その他()				
位 置 ・ 標 高	1.頂部 ②中腹 3.山裾 4.谷部 5.平地 6.その他()				
後 背 地 の 利 用	①山林 2.畑 3.水田 ④宅地 5.果樹園 6.荒地 7.河原 8.その他()				
表 層 地 質 区 分	1.未固結堆積物 2.半固結堆積物 ③固結堆積物 4.変成岩 5.火山性岩石 6.深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	第 三 紀			
傾 斜 区 分	2		起 状 量	2	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1.盛土()m ②切土(1 0)m 3.切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4.平地				
被 害 の 状 況	(70才の男性)当時、この板谷付近は地震による被害は、顕著なものはみられなかった。 切土の被害と推定。				
被 害 分 類	切土の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	50~60

被害箇所の現況断面スケッチ



調 査 地 点	No 142			
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 2 1			
路 線 名	主要地方道170号市原天津小湊線			
所 在 地	千葉県夷隈郡大多喜町筒森			
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 ⑤ 段丘地 6. 低地 7. その他()			
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤ 平地 6. その他()			
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 ③ 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他()			
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物			
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類			
	時 代 区 分	沖 積 期		
傾 斜 区 分	2		起 状 量	3
地 下 水 位 ・ 湧 水				
現 況 道 路 形 状	1. 盛土() m 2. 切土() m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④ 平地			
被 害 の 状 況	筒森橋の被害と推定。			
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離
				50～60

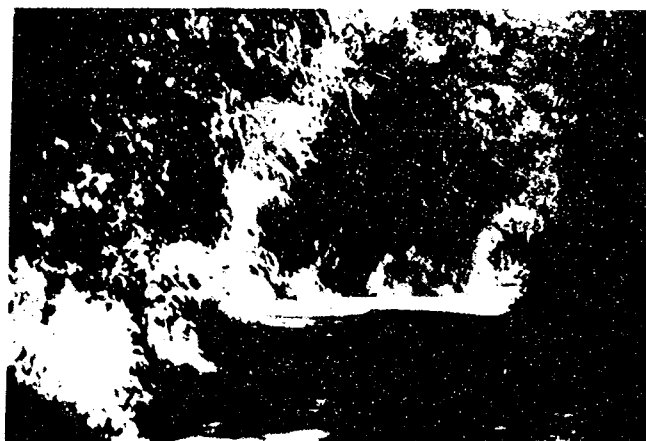
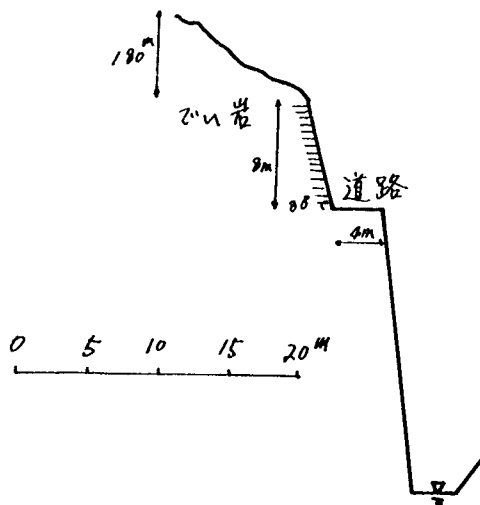
被害箇所の現況断面スケッチ



調 査 地 点	№ 143				
調 査 年 月 日	S 5 3 . 8 2 1				
路 線 名	主要地方道170号市原天津小湊線				
所 在 地	千葉県夷隈郡大多喜町黄和田畑				
地 形 区 分	①山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 6. 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 ②中腹 3. 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	①山林 2. 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	1. 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 ③固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	第 三 紀			
傾 斜 区 分	4	起 状 量	4		
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m ②切土 (1 0) m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被 害 の 状 況	崖崩れ以外に、付近には被害を受けそうな場所はない。このトンネル近くの崖が崩れたものと思われる。				
被 害 分 類	切土の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	50～60
被害箇所の現況断面スケッチ					

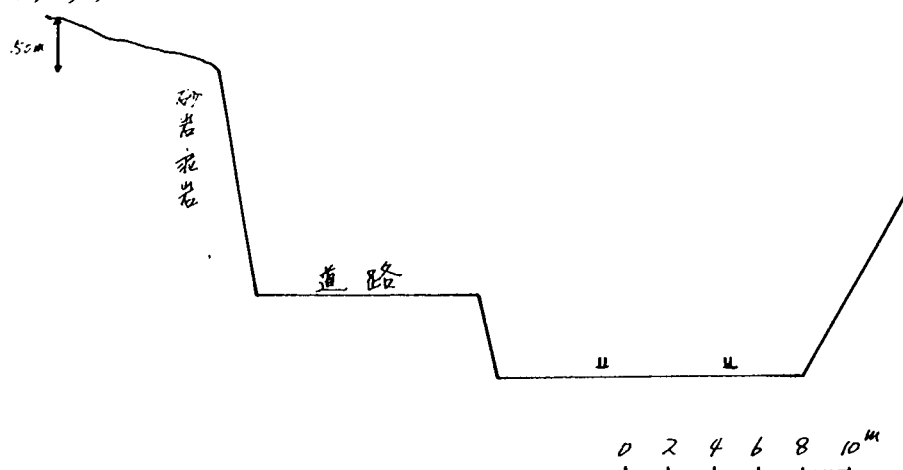
調 査 地 点	No 144				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 2 1				
路 線 名	主要地方道170号市原天津小湊線				
所 在 地	千葉県君津市追原				
地 形 区 分	①山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 6. 低地 7. その他()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 ②. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他()				
後 背 地 の 利 用	①山林 2. 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他()				
表 層 地 質 区 分	1. 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 ③ 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	中 新 世			
傾 斜 区 分	4		起 状 量	4	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土() m 2. 切土(8) m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被 害 の 状 況	切土の被害の推定。				
被 害 分 類	切土の被害	被 害 金 額	1,000~5,000 円 1 箇所	地震断層からの距離	50~60

被害箇所の現況断面スケッチ



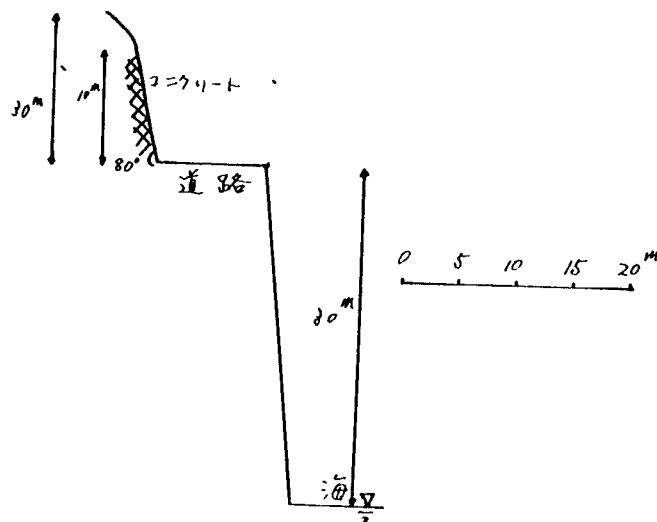
調 査 地 点	No 144				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 1 8				
路 線 名	一般国道128号				
所 在 地	千葉県勝浦市松部				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 ③ 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 6. 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 ③ 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	① 山林 2. 畑 ③ 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	1. 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 ③ 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	第 三 紀			
傾 斜 区 分	4		起 状 量	3	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m ② 切土 (1 0) m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被 害 の 状 況	(7 0 才の男性) 現在の国道沿いを通して古くから道路は存在していた。亀裂や崖崩れもあったようであるが、正確な場所は憶えていない。				
被 害 分 類	切土の被害	被 害 金 額	1,000 ~ 5,000 円 1 箇所	地震断層からの距離	50 ~ 60

被害箇所の現況断面スケッチ



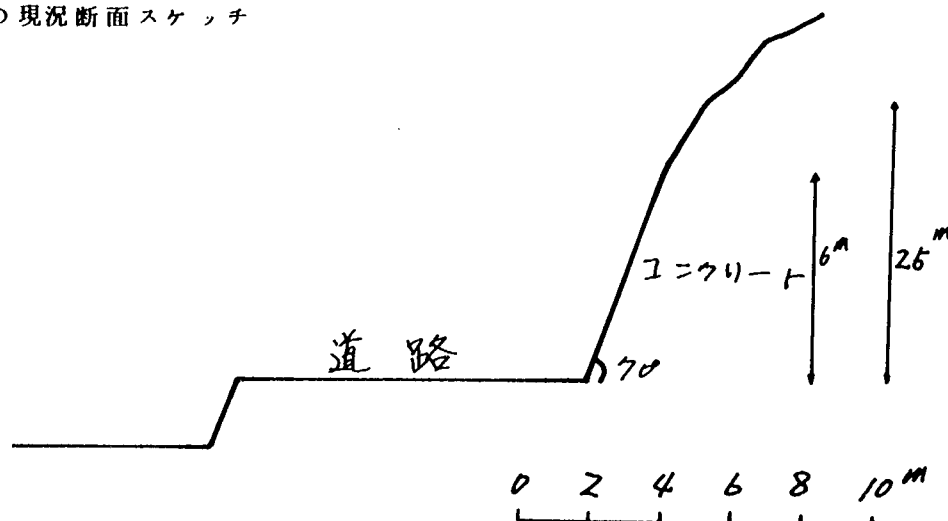
調 査 地 点	No. 145				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 1 8				
路 線 名	一般国道128号				
所 在 地	千葉県勝浦市部原				
地 形 区 分	①山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 6. 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 ③山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	①山林 2. 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	1. 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 ③固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	第 三 紀			
傾 斜 区 分	4		起 状 量	2	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m ②切土 (1 0) m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被 害 の 状 況	切土の崩壊と推定。				
被 害 分 類	切土の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	60~70

被害箇所の現況断面スケッチ



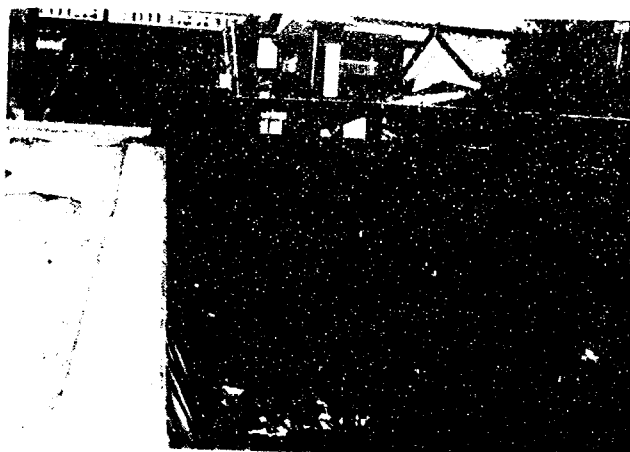
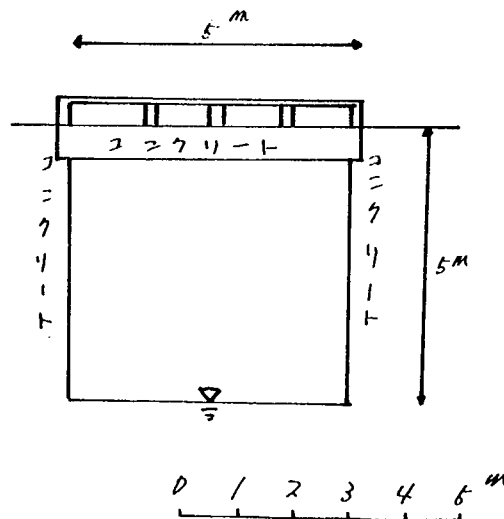
調 査 地 点	16 146				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 1 8				
路 線 名	一般国道128号				
所 在 地	千葉県勝浦市新宿				
地 形 区 分	①山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 6. 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 ②中腹 3. 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	①山林 2. 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	1. 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 ③固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	第 三 紀			
傾 斜 区 分	4		起 状 量	1	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m ②切土 (6) m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被 害 の 状 況	トンネル付近の切土の被害と推定。				
被 害 分 類	切土の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	60~70

被害箇所の現況断面スケッチ



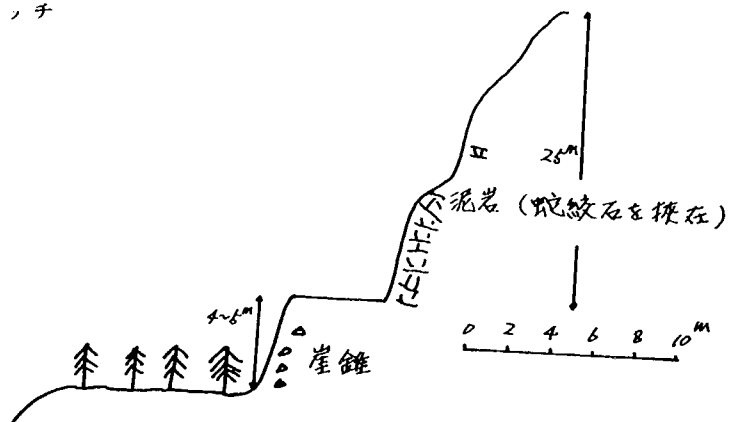
調査地点	No. 148				
調査年月日	S 53. 8. 18				
路線名	一般国道128号				
所在地	千葉県勝浦市中浜				
地形区分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 ⑤ 段丘地 6. 低地 7. その他 ()				
位置・標高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 ④ 谷部 5. 平地 6. その他 ()				
後背地の利用	1. 山林 2. 畑 3. 水田 ④ 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他 ()				
表層地質区分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時代区分	沖 積 期			
傾斜区分	3		起 状 量	3	
地下水位・湧水					
現況道路形状	1. 盛土 () m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④ 平地				
被害の状況	橋梁の被害と推定。当時の橋は現在の国道から30m程上流の旧道の橋。				
被害分類	橋梁の被害	被害金額	1,000~5,000円 1箇所	地震断層からの距離	50~60

被害箇所の現況断面スケッチ



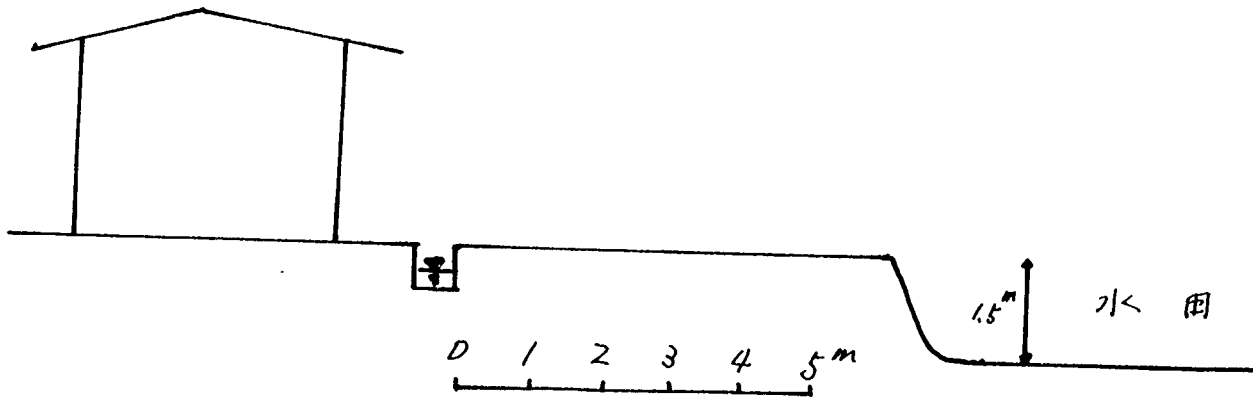
調 査 地 点	No 150		
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 1 8		
路 線 名	一般国道128号		
所 在 地	千葉県鴨川市川口		
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥ 低地 7. その他 ()		
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 ③ 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他 ()		
後 背 地 の 利 用	① 山林 2. 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他 ()		
表 層 地 質 区 分	1. 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類		
	時 代 区 分	沖 積 期	
傾 斜 区 分	1	起 状 量	2
地 下 水 位 ・ 湧 水			
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m ② 切土 (4 ~ 5) m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地		
被 害 の 状 況	切土の被害と推定。		
被 害 分 類	切土の被害 (自然斜面の崩壊)	被 害 金 額	1,000円以下1箇所
		地震断層からの距離	40~50

被害箇所の現況断面スケッチ



調 査 地 点	No. 154				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 1 9				
路 線 名	主要地方道34号鴨川保田線				
所 在 地	千葉県鴨川市大里				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 ⑤ 段丘地 6. 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤ 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 ③ 水田 ④ 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物				
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	1	起 状 量	1		
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	① 盛土 (1.5) m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被 害 の 状 況	道路に多くの亀裂, 段差 (1.0 m 位) が出来た。 家屋の倒壊も著しかった。				
被 害 分 類	路面上の大規模な亀裂または盛土の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	40~50

被害箇所の現況断面スケッチ



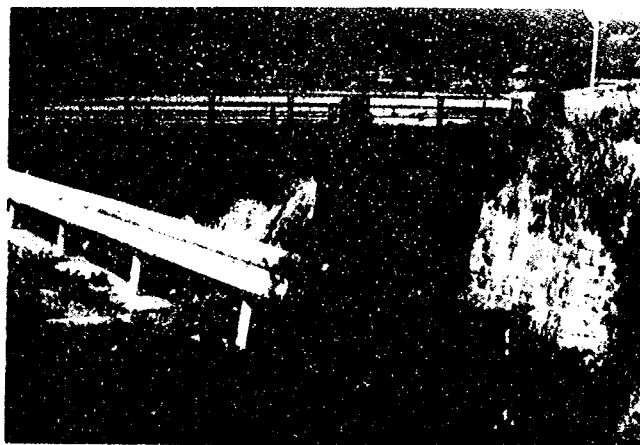
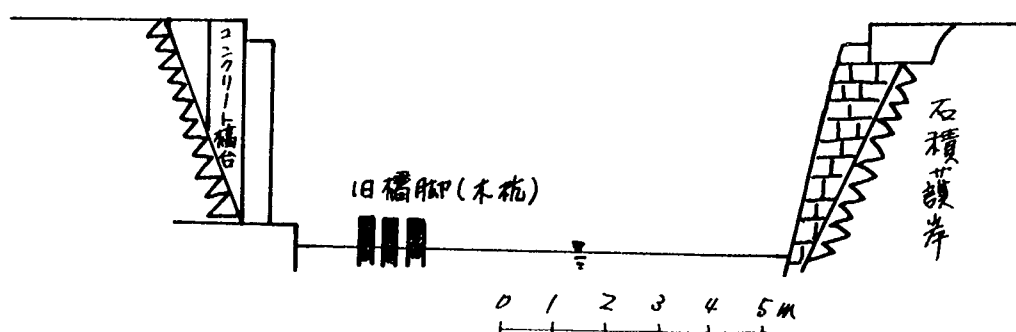
調 査 地 点	No 155				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 1 9				
路 線 名	主要地方道34号鴨川保田線				
所 在 地	千葉県鴨川市太尾				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥ 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤ 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 ③ 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	1		起 状 量	1	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 m ④ 平地				
被 害 の 状 況	当時は木橋で震災により落ちた。付近道路の地割れも相当あった。 現在の大里橋の上流に接して橋台が残っている。				
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	1,000～5,000円 1箇所	地震断層からの距離	40～50

被害箇所の現況断面スケッチ

大里橋(鉦山川)

左岸

右岸



調 査 地 点	広 156				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 1 9				
路 線 名	主要地方道 3 4 号鴨川保田線				
所 在 地	千葉県鴨川市南小町				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥ 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤ 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 ③ 水田 ④ 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	1		起 状 量	1	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	① 盛土 (2) m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被 害 の 状 況	地震により橋の中央部がせり上ったが、この橋を通して避難することが出来た。又、この橋の両側において県道を縦断して地割れが出来た。 現在の不動橋は盛土により 2 m 程高くなっている。 当時のものは現在の位置の上流に接した旧道にあったが跡をとどめていない。				
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	1,000~5,000円 1 箇所	地震断層からの距離	40~50

被害箇所の現況断面スケッチ

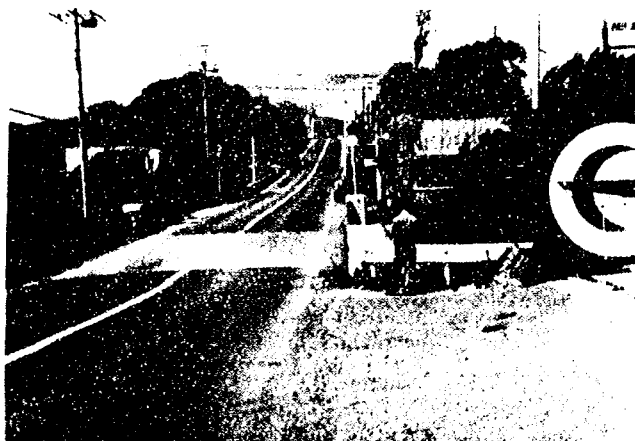
不動橋

現在の橋台

当時の橋台

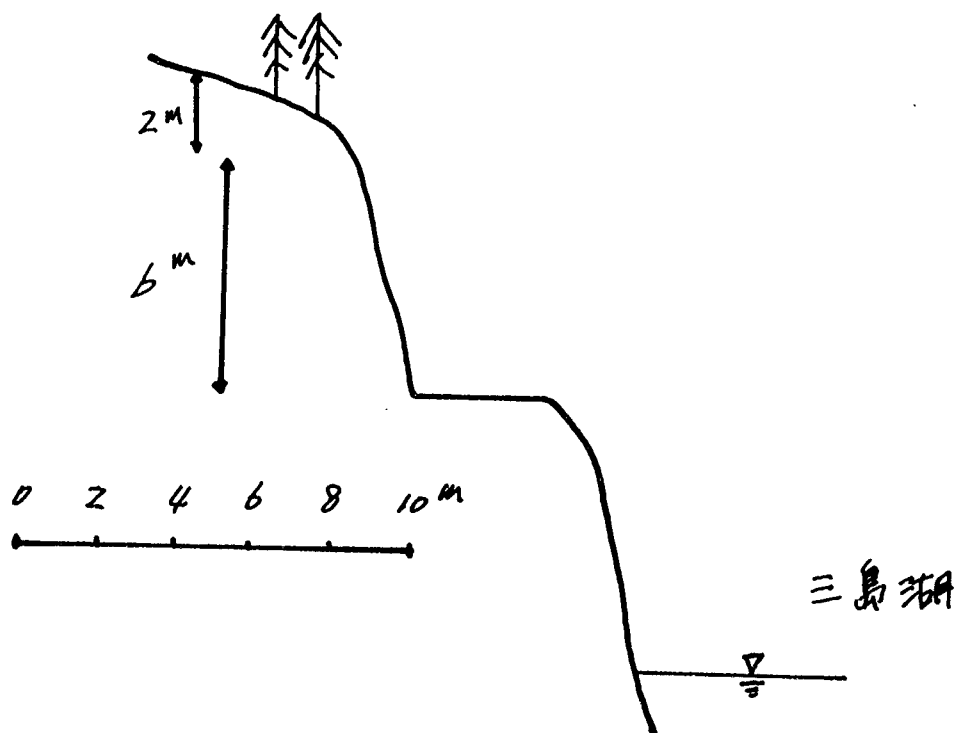
156

0 1 2 3 4 5 m



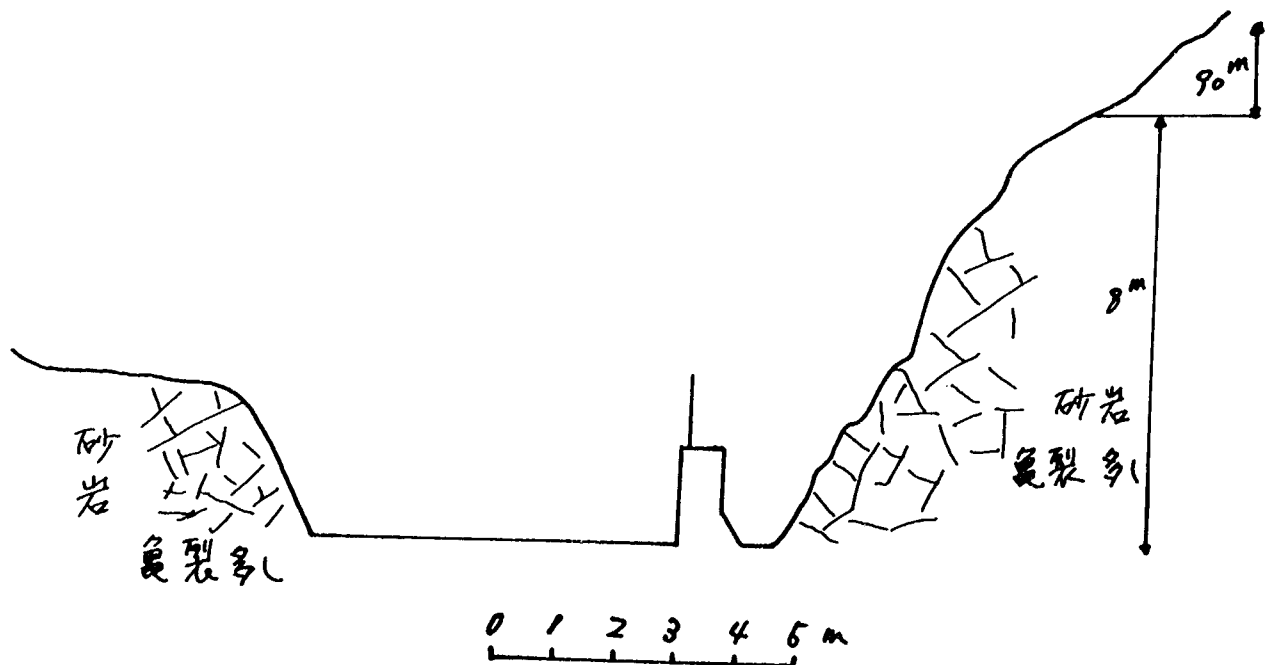
調 査 地 点	No 158		
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 1 9		
路 線 名	主要地方道162号君津丸山線		
所 在 地	千葉県君津市宿原		
地 形 区 分	①山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 6. 低地 7. その他 ()		
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 ②中腹 3. 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他 ()		
後 背 地 の 利 用	①山林 2. 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他 ()		
表 層 地 質 区 分	1. 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 ③ 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類		
	時 代 区 分	中 新 世	
傾 斜 区 分	4	起 状 量	4
地 下 水 位 ・ 湧 水			
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m ② 切土 (6) m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地		
被 害 の 状 況	地点は不確実であるが道路斜面が崩壊した。 その地点は宿原トンネル付近と推定される。		
被 害 分 類	切土の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所
		地震断層からの距離	40～50

被害箇所の現況断面スケッチ



調 査 地 点	No 159				
調 査 年 月 日	S 5 3 . 8 . 1 9				
路 線 名	一般県道179号三島大多喜線				
所 在 地	千葉県君津市大岩				
地 形 区 分	①山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 6. 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 ②中腹 3. 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	①山林 2. 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	1. 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 ③固結堆積物				
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	鮮 新 世			
傾 斜 区 分	4		起 状 量	3	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m ②切土 (8) m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被 害 の 状 況	切土の被害と推定。				
被 害 分 類	切土の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	40~50

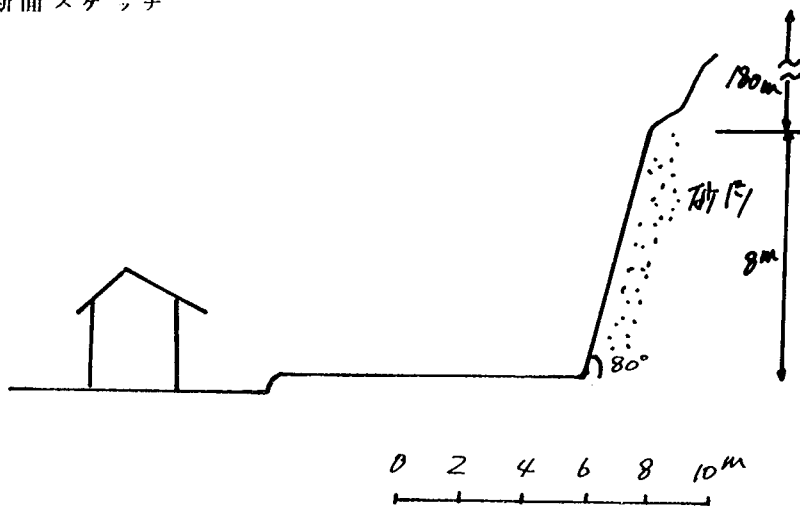
被害箇所の現況断面スケッチ



調 査 地 点	No 161			
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 2 0			
路 線 名	主要地方道33号君津天羽線			
所 在 地	千葉県君津市大野台			
地 形 区 分	①山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 6. 低地 7. その他 ()			
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 ②中腹 3. 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他 ()			
後 背 地 の 利 用	①山林 2. 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()			
表 層 地 質 区 分	1. 未固結堆積物 ②半固結堆積物 3. 固結堆積物			
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類			
	時 代 区 分	洪 積 期		
傾 斜 区 分	3	起 状 量	4	
地 下 水 位 ・ 湧 水				
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m ②切土 (8) m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地			
被 害 の 状 況	切土の被害と推定。			
被 害 分 類	切土の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離 50~60
被害箇所の現況断面スケッチ				

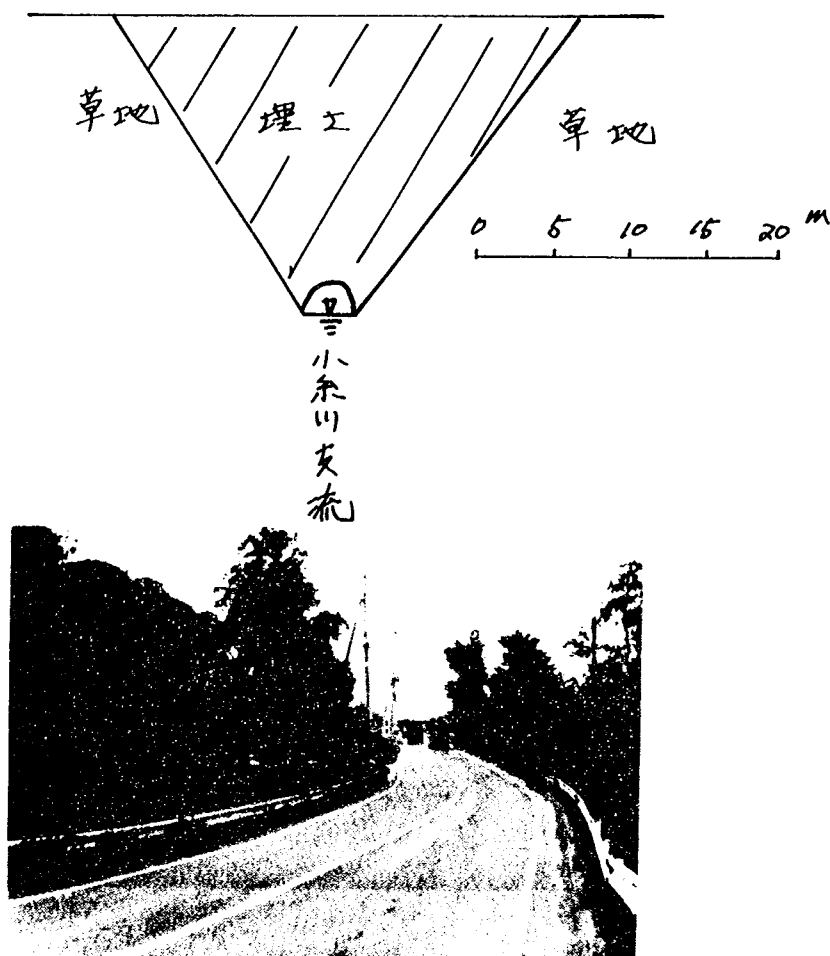
調 査 地 点	No 162				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 2 0				
路 線 名	主要地方道162号君津丸山線				
所 在 地	千葉県君津市市宿				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 ③丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 6. 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 ③山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	①山林 2. 畑 3. 水田 ④宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	1. 未固結堆積物 ②半固結堆積物 3. 固結堆積物				
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	洪 積 期			
傾 斜 区 分	4		起 状 量	4	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m ②切土 (8) m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被 害 の 状 況	切土の被害と推定。 この付近は大規模な砂採り場となっている。				
被 害 分 類	切土の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	40~50

被害箇所の現況断面スケッチ



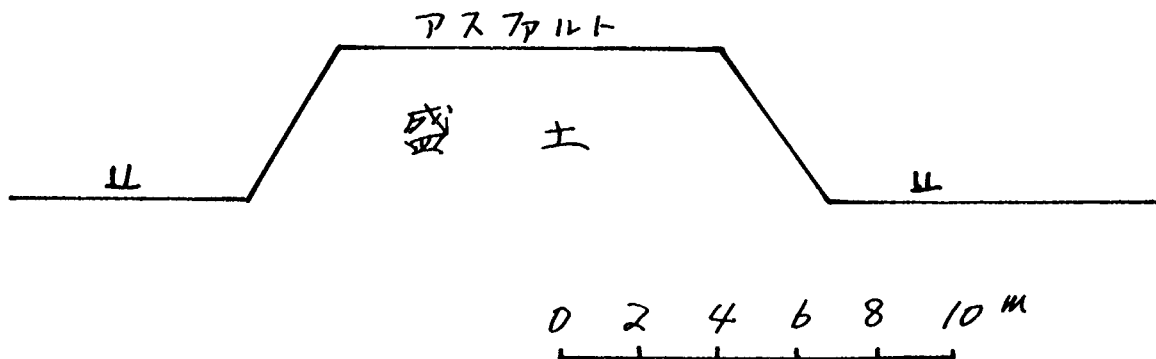
調 査 地 点	No 165				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 1 9				
路 線 名	主要地方道162号君津丸山線				
所 在 地	千葉県君津市福岡				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 ⑤ 段丘地 6. 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 ④ 谷部 5. 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	① 山林 2. 畑 ③ 水田 ④ 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物				
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	3		起 状 量	2	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④ 平地				
被 害 の 状 況	(8 0 才位の男性) この付近は地震による道路の被害はなかった。地震前5~6年に当時の洪水により、石造りのめがね橋が崩れたのを、現在のような暗渠にした。この洪水による被害が恐らく地震によるものとみなされたのではないか?				
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	40~50

被害箇所の現況断面スケッチ



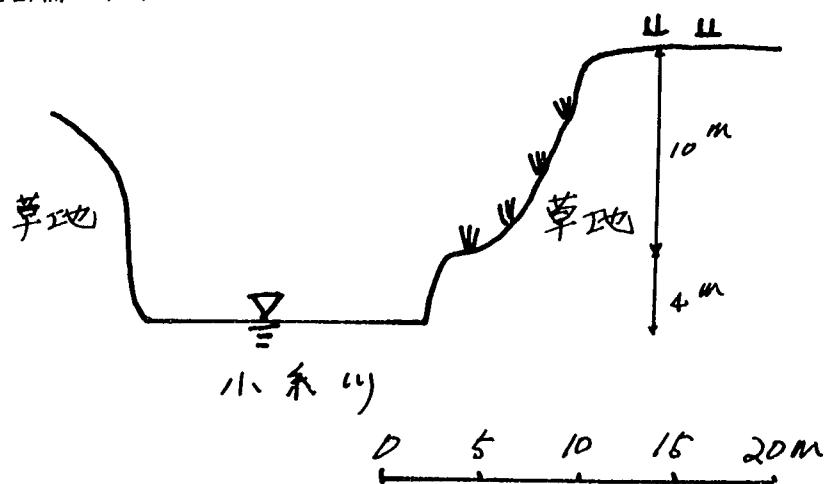
調 査 地 点	No 166		
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 1 9		
路 線 名	主要地方道162号君津丸山線		
所 在 地	千葉県君津市福岡		
地 形 区 分	1.山地 2.火山地 3.丘陵地 4.台地 ⑤段丘地 6.低地 7.その他()		
位 置 ・ 標 高	1.頂部 2.中腹 3.山裾 ④谷部 5.平地 6.その他()		
後 背 地 の 利 用	1.山林 2.畑 ③水田 4.宅地 5.果樹園 6.荒れ地 7.河原 8.その他()		
表 層 地 質 区 分	①未固結堆積物 2.半固結堆積物 3.固結堆積物 4.変成岩 5.火山性岩石 6.深成岩および一部変成岩類		
	時 代 区 分	沖 積 期	
傾 斜 区 分	1	起 状 量	2
地 下 水 位 ・ 湧 水			
現 況 道 路 形 状	①盛土(4) m 2.切土() m 3.切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4.平地		
被 害 の 状 況	(8 0 才の男性) 台中付近の県道の両肩が崩れた。これ以外には崖崩れも、橋の崩壊もなかった。		
被 害 分 類	路面上の大規模な亀裂または盛土の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所
		地震断層からの距離	40~50

被害箇所の現況断面スケッチ



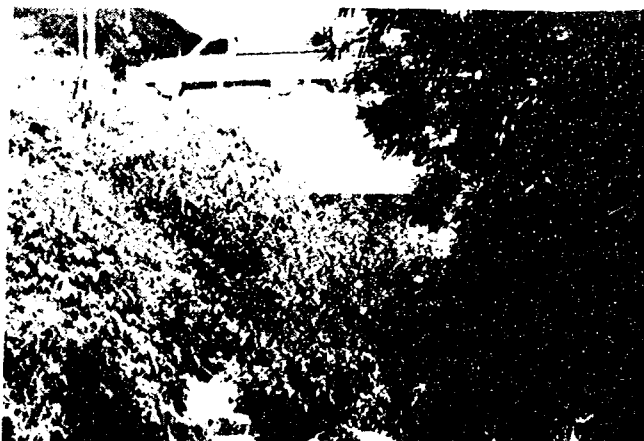
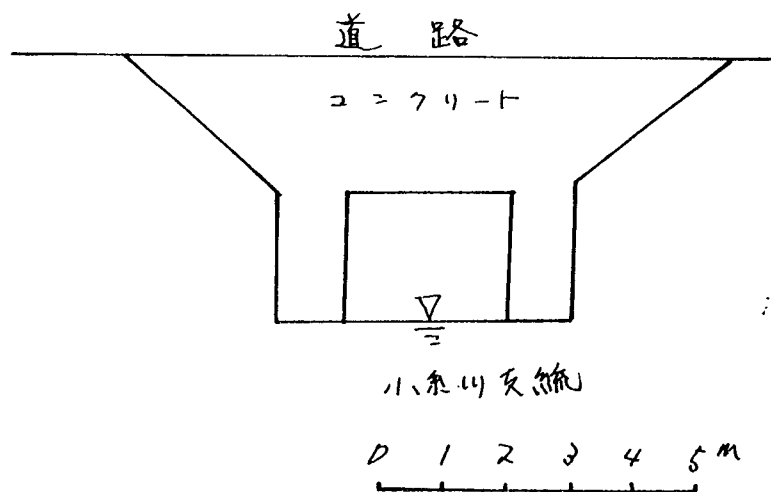
調 査 地 点	No 167				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 1 9				
路 線 名	主要地方道162号君津丸山線				
所 在 地	千葉県君津市駒久保				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 ⑤ 段丘地 6. 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 ③ 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 ③ 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	1		起 状 量	2	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被 害 の 状 況	(70才の男性)この付近の現在の道路は新道。当時の道路は川沿いの崖下を通っていた。そこが崩れたという。地形的には沖積段丘が崩れたことになる。他には特に目立った被害はなかった。現在は草木がおい茂っていて、人も通ることができない。				
被 害 分 類	切土の被害 (自然斜面の崩壊)	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	40~50

被害箇所の現況断面スケッチ



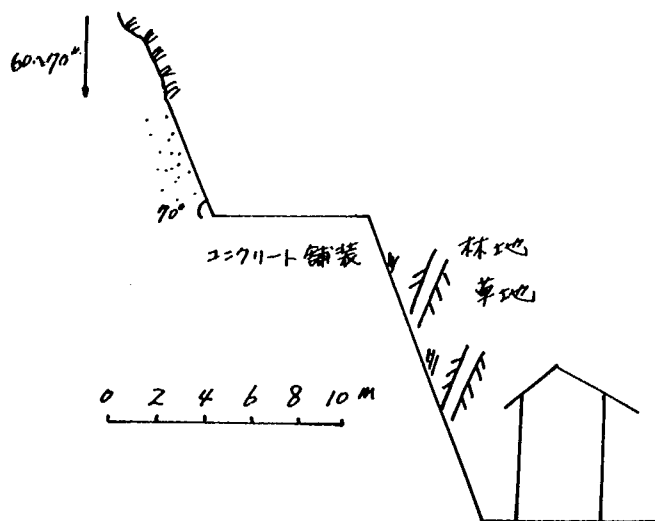
調査地点	No. 168				
調査年月日	S 53. 8. 19				
路線名	主要地方道162号君津丸山線				
所在地	千葉県君津市糠田				
地形区分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 ⑤ 段丘地 6. 低地 7. その他()				
位置・標高	1. 頂部 2. 中腹 ③ 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他()				
後背地の利用	1. 山林 2. 畑 3. 水田 ④ 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他()				
表層地質区分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物				
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時代区分	沖 積 期			
傾斜区分	1		起 状 量	2	
地下水位・湧水					
現況道路形状	1. 盛土() m 2. 切土() m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④ 平地				
被害の状況	(70才男性)橋に被害があったが全壊するほどではなかった。橋脚が少し壊れた程度であった。現在は暗渠になっている。				
被害分類	橋梁の被害	被害金額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	50~60

被害箇所の現況断面スケッチ



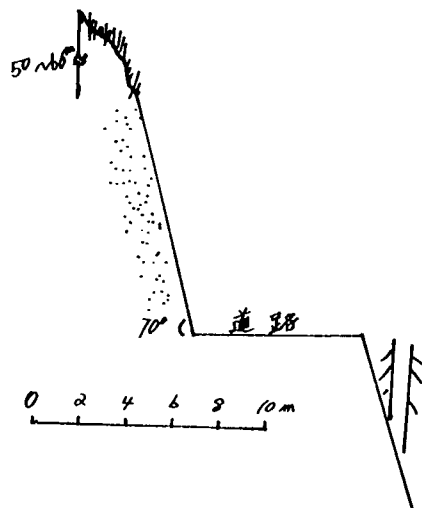
調 査 地 点	16 169			
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 1 8			
路 線 名	一般県道269号大鷲木更津線			
所 在 地	千葉県君津市大井			
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 ③ 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 6. 低地 7. その他()			
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 ② 中腹 3. 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他()			
後 背 地 の 利 用	① 山林 2. 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他()			
表 層 地 質 区 分	1. 未固結堆積物 ② 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類			
	時 代 区 分	洪 積 期		
傾 斜 区 分	1	起 状 量	2	
地 下 水 位 ・ 湧 水				
現 況 道 路 形 状	1. 盛土() m ② 切土(3) m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地			
被 害 の 状 況	(8 0 才男性) この県道は大正14年に完成された。震災当時は工事中で台木部落まで完成していた。しかし地震によって崩れた記憶はない。 ただ当時この付近の道路が完成してから、年月がたっていないことからみて、小規模ながらも法面の崩れが生じたことは十分考えられる。またその老人の話によると、大正10年、明治43年に山崩れがこの付近にあったという。			
被 害 分 類	切土の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離 50~60

被害箇所の現況断面スケッチ



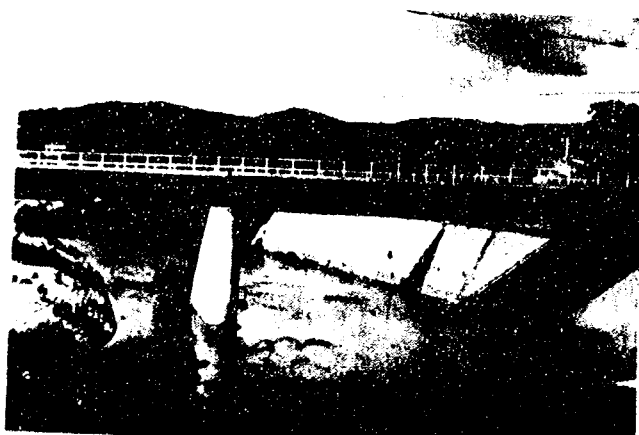
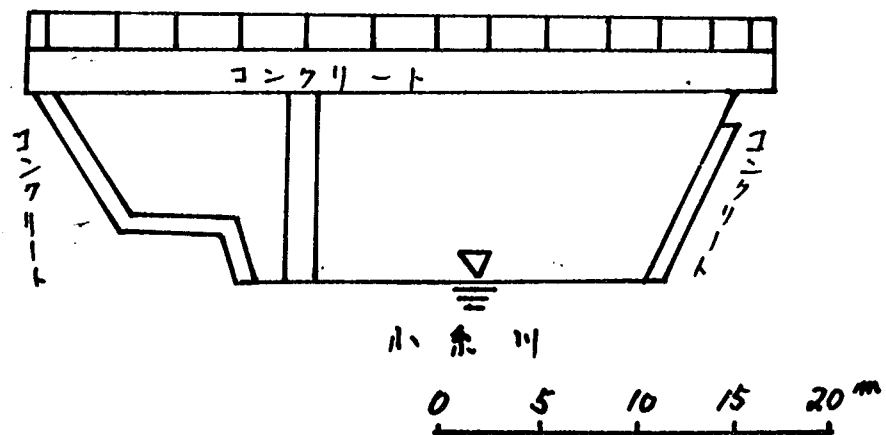
調査地点	No 170		
調査年月日	S 53. 8.19		
路線名	一般県道269号大鷲木更津線		
所在地	千葉県君津市大井		
地形区分	1.山地 2.火山地 3.丘陵地 4.台地 ⑤段丘地 6.低地 7.その他()		
位置・標高	1.頂部 ②中腹 3.山裾 4.谷部 5.平地 6.その他()		
後背地の利用	①山林 2.畑 3.水田 4.宅地 5.果樹園 6.荒地 7.河原 8.その他()		
表層地質区分	1.未固結堆積物 ②半固結堆積物 3.固結堆積物 4.変成岩 5.火山性岩石 6.深成岩および一部変成岩類		
	時代区分	洪 積 期	
傾斜区分	3	起 状 量	2
地下水位・湧水			
現況道路形状	1.盛土()m ②切土(10)m 3.切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4.平地		
被害の状況	男性(No 169と同じ) 周辺の地形から考えてこの場所が崩れたものと考えられる。 地質は洪積層の砂層で、軟かく、現在でも崩れているところがいくつか認められている。		
被害分類	切土の被害	被害金額	1,000円以下1箇所
		地震断層からの距離	50~60

被害箇所の現況断面スケッチ



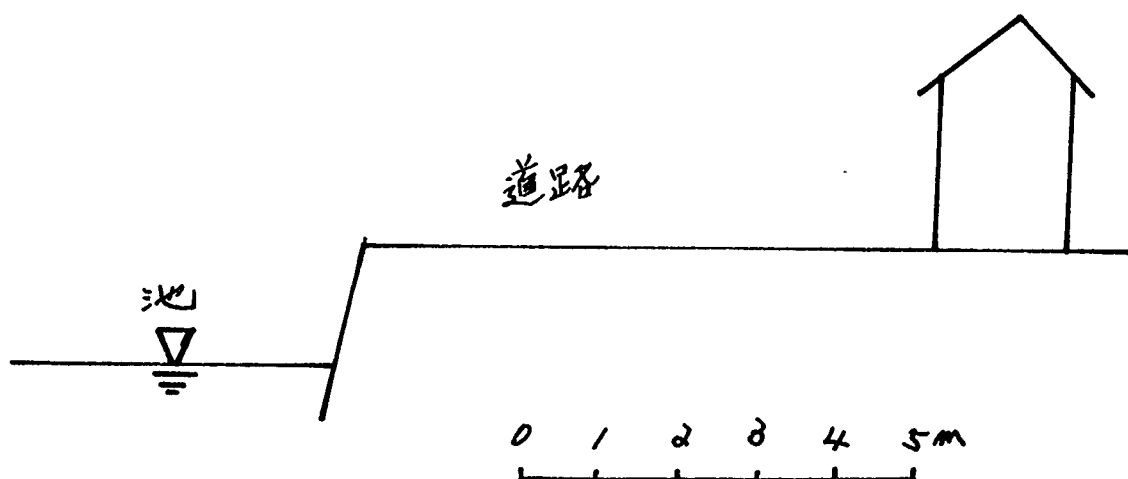
調 査 地 点	16 171			
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 1 9			
路 線 名	主要地方道162号君津丸山線			
所 在 地	千葉県君津市外箕輪			
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 ⑤ 段丘地 6. 低地 7. その他 ()			
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 ④ 谷部 5. 平地 6. その他 ()			
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 ③ 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他 ()			
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類			
	時 代 区 分	沖 積 期		
傾 斜 区 分	1	起 状 量	1	
地 下 水 位 ・ 湧 水				
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④ 平地			
被 害 の 状 況	(75才位男性)この付近の道路に関する被害は全然なかった。家は数軒こわれた。橋はこわれなかった。地割れも、路肩の崩れもなかったという。しかし、この地点は、下図の橋しか見当たらない。よって、一応この橋を被害地点と推定した。			
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離
				40~50

被害箇所の現況断面スケッチ



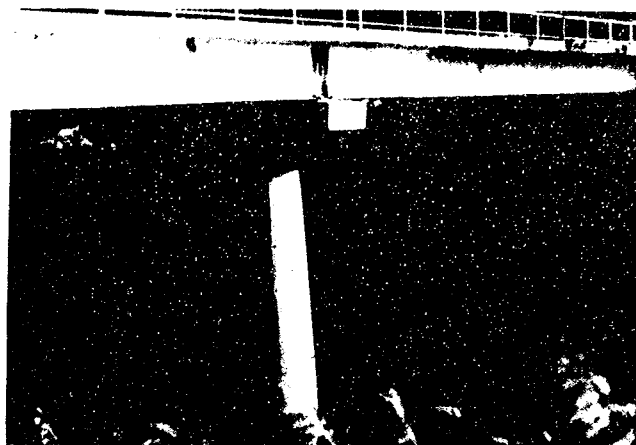
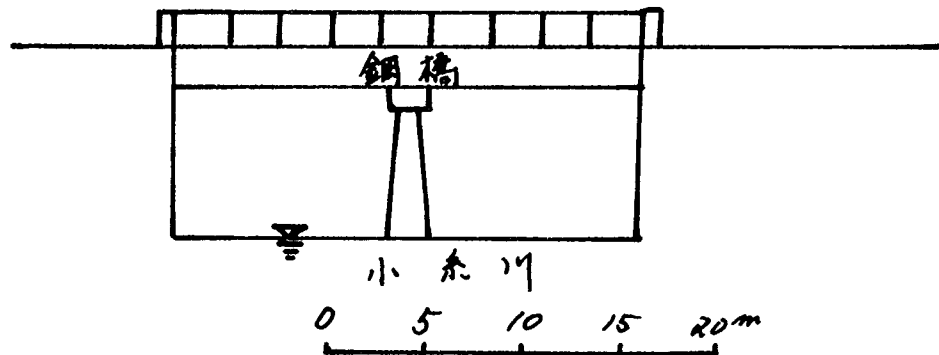
調 査 地 点	No. 172				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 1 9				
路 線 名	主要地方道162号君津九山線				
所 在 地	千葉県君津市内箕輪				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 ⑤ 段丘地 6. 低地 7. その他()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 ④ 谷部 5. 平地 6. その他()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 3. 水田 ④ 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他()				
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物				
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	1		起 状 量	1	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土() m 2. 切土() m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④ 平地				
被 害 の 状 況	80才, 60才の女性2人: この付近に子供が通れないくらいの亀裂が何本も入った。 またこの場所から上流へ約4 Kmの練木にある明治橋(現在は自衛隊が吊り橋をつくっている)が落ちた。				
被 害 分 類	路面上の小規模な亀裂	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	40~50

被害箇所の現況断面スケッチ



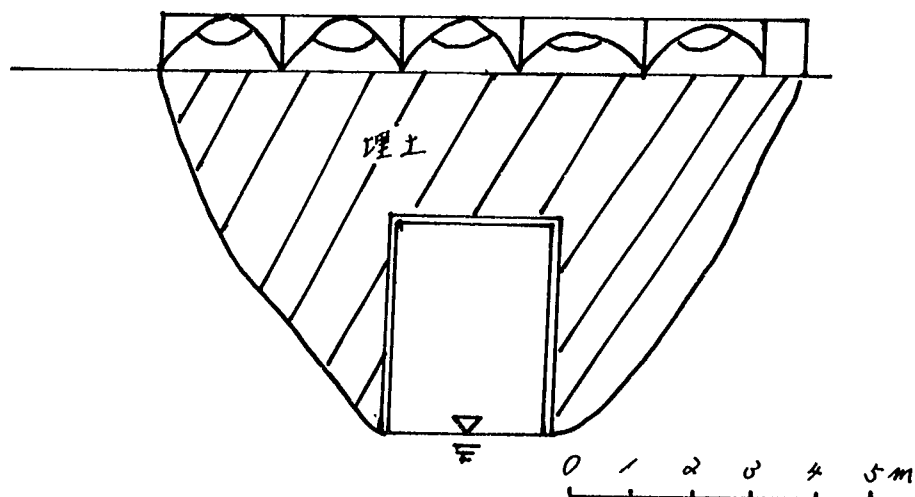
調 査 地 点	No 173				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 1 9				
路 線 名	国道127号				
所 在 地	千葉県君津市外箕輪				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 ⑤ 段丘地 6. 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 ④ 谷部 5. 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 3. 水田 ④ 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	1. 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	1		起 状 量	1	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④ 平地				
被 害 の 状 況	(8 0 才の女性) この橋は崩れなかったと記憶している。しかし詳しくは不明。 周辺の地形から考えて、この橋 (松川橋、当時は木橋) の被害と推定。				
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	40~50

被害箇所の現況断面スケッチ



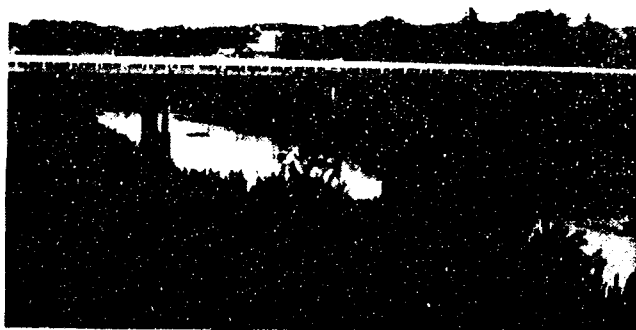
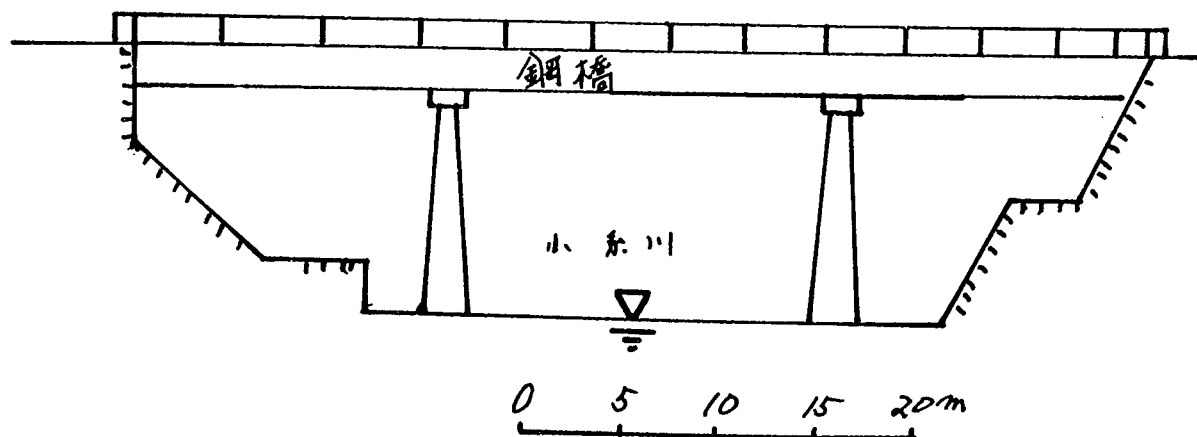
調査地点	No 174		
調査年月日	S 5 3. 8. 1 9		
路線名	一般県道158号君津青堀線		
所在地	千葉県君津市八幡		
地形区分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 ⑤ 段丘地 6. 低地 7. その他()		
位置・標高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 ④ 谷部 5. 平地 6. その他()		
後背地の利用	1. 山林 2. 畑 3. 水田 ④ 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他()		
表層地質区分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類		
	時代区分	沖 積 期	
傾斜区分	1	起 状 量	1
地下水位・湧水			
現況道路形状	① 盛土(6) m 2. 切土() m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地		
被害の状況	(8 0 才女性) 当時の橋は現在の橋(高橋, 現在は暗渠となっている。)より低いところにあり、小さな土の橋であった。 この被害と推定。		
被害分類	橋梁の被害	被害金額	1,000円以下1箇所
		地震断層からの距離	40~50

被害箇所の現況断面スケッチ



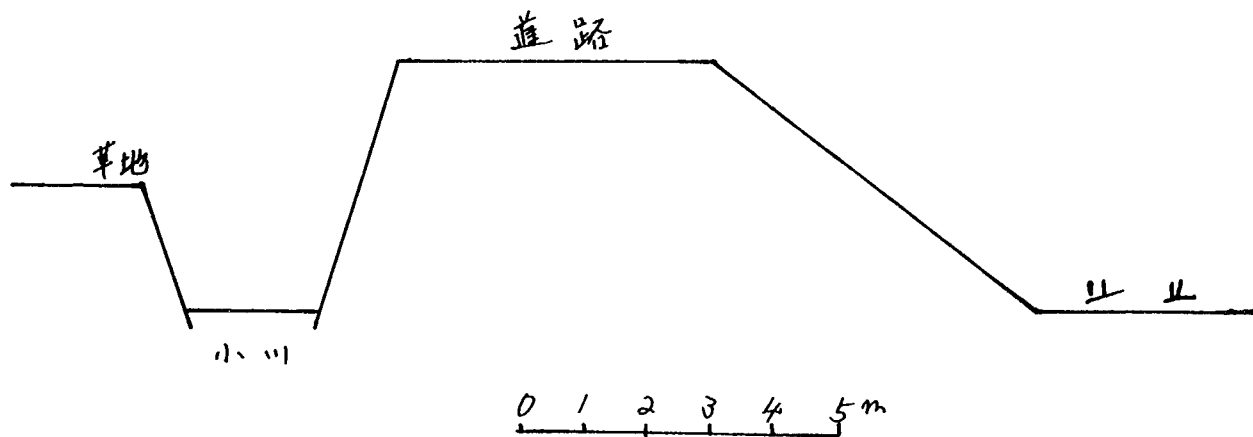
調 査 地 点	No 176			
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 1 9			
路 線 名	一般県道 2 2 5 号君津停車場線			
所 在 地	千葉県君津市中富			
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 ⑤ 段丘地 6. 低地 7. その他 ()			
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 ④ 谷部 5. 平地 6. その他 ()			
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 3. 水田 ④ 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()			
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物			
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類			
	時 代 区 分	沖 積 期		
傾 斜 区 分	1	起 状 量	0	
地 下 水 位 ・ 湧 水				
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 m ④ 平地			
被 害 の 状 況	橋梁の被害と推定。			
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離
				40~50

被害箇所の現況断面スケッチ



調 査 地 点	No 177				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 2 0				
路 線 名	一般県道 2 2 5 号 君津停車場線				
所 在 地	千葉県君津市下湯江				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 ⑤ 段丘地 6. 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 ④ 谷部 5. 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 ③ 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物				
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	1	起 状 量	0		
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④ 平地				
被 害 の 状 況	(8 0 才の女性 (No 178 と同じ女性)) この付近の橋 (新地橋) は被害を受けていないと思う。しかし、この橋と釜神までの間の道路は亀裂が 3 ~ 4 ケ所生じていた。				
被 害 分 類	路面上の小規模な亀裂	被 害 金 額	1,000 円以下 1 箇所	地震断層からの距離	40 ~ 50

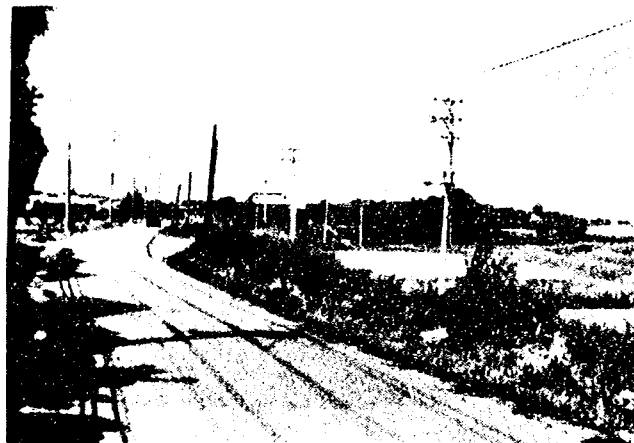
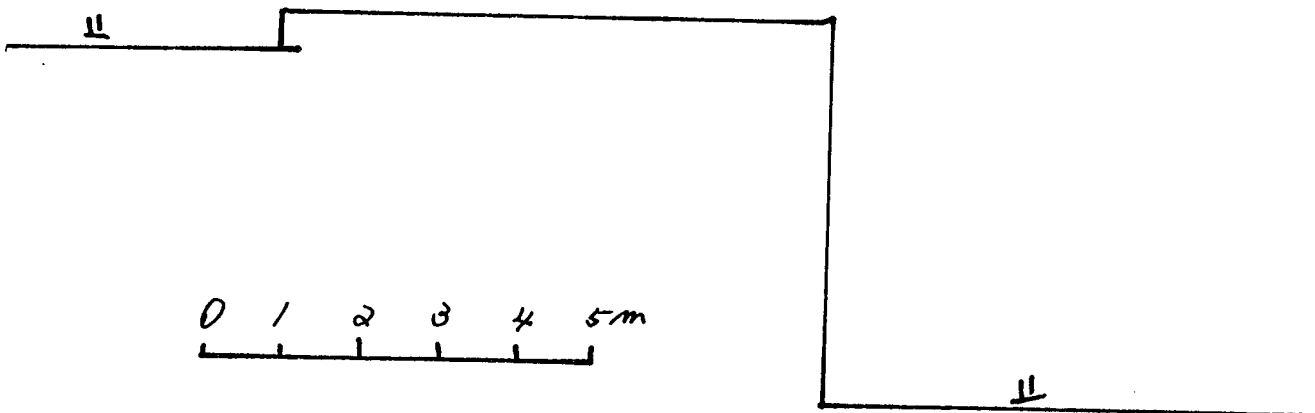
被害箇所の現況断面スケッチ



調 査 地 点	16 178			
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 2 0			
路 線 名	一般県道 2 2 5 号君津停車場線			
所 在 地	千葉県君津市下湯江			
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥ 低地 7. その他 ()			
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 ④ 谷部 5. 平地 6. その他 ()			
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 ③ 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他 ()			
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類			
	時 代 区 分	沖 積 期		
傾 斜 区 分	1		起 状 量	2
地 下 水 位 ・ 湧 水				
現 況 道 路 形 状	① 盛土 (0.5) m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地			
被 害 の 状 況	(8 0 才女性) 木更津と君津の間の列車中で地震にあい、そこから歩いて帰った。記憶もはっきりしており、信ぴょう性が高い。この付近は特に道路の被害はなかったという。 よって、ここでは路肩の若干の崩れ程度しか該当しないと思われる。 (その他、木更津、君津間の線路のトンネルが崩れ、山の上を歩いて帰った。)			
被 害 分 類	路面上の小規模な亀裂	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離 40～50

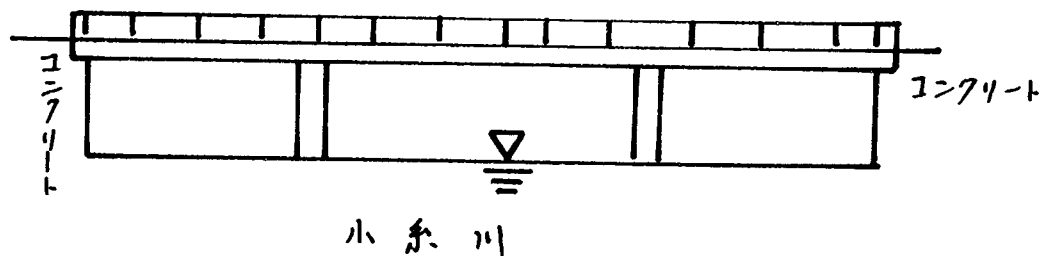
被害箇所の現況断面スケッチ

道 路

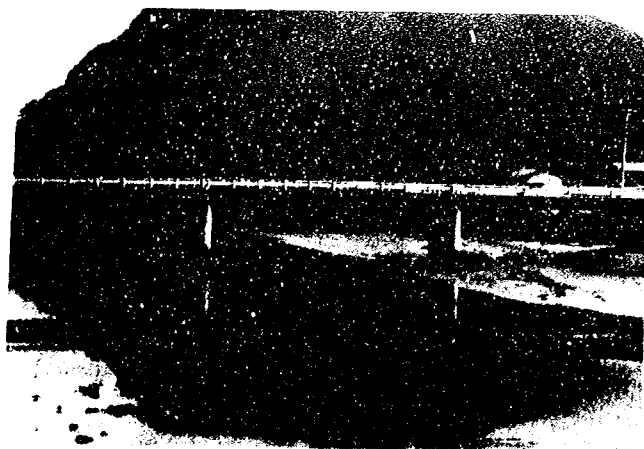


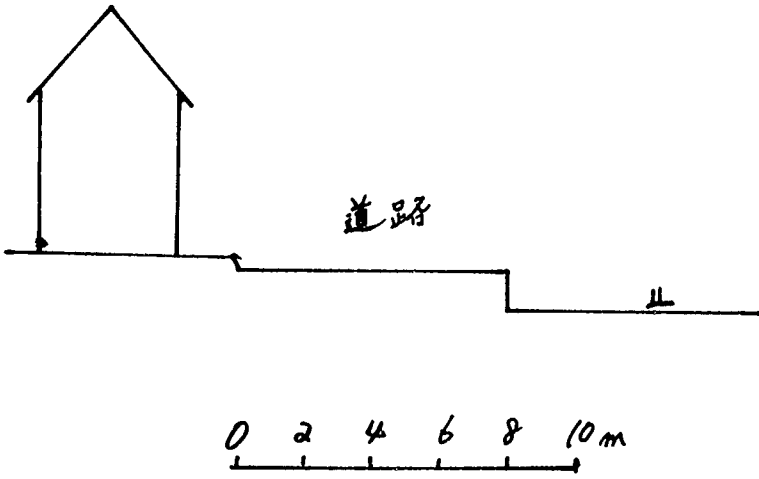
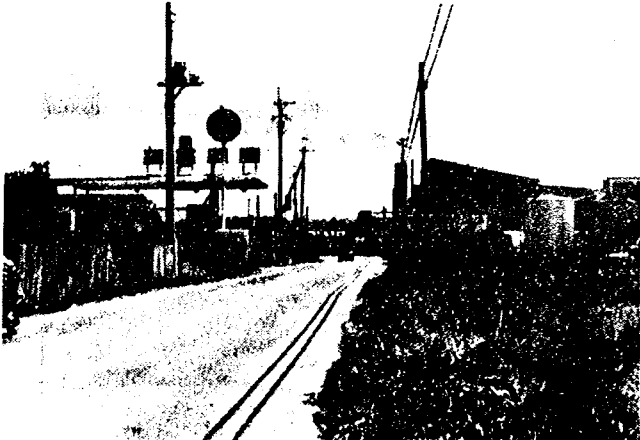
調 査 地 点	No 179				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 2 0				
路 線 名	一般県道225号君津停車場線(付近)				
所 在 地	千葉県富津市二間塚				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥ 低地 7. その他()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤ 平地 6. その他()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 3. 水田 ④ 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他()				
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	1	起 状 量	0		
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土() m 2. 切土() m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④ 平地				
被 害 の 状 況	(80才女性)被害のあったと思われる橋については特に印象深くは憶えていない。当時は低い木橋であった。この橋の被害と推定。またここから下流へ300m程のところにある台地の崖(比高80m位)が崩れ、小糸川を埋積し、軍隊が出て、河川を改修したという。				
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	40~50

被害箇所の現況断面スケッチ



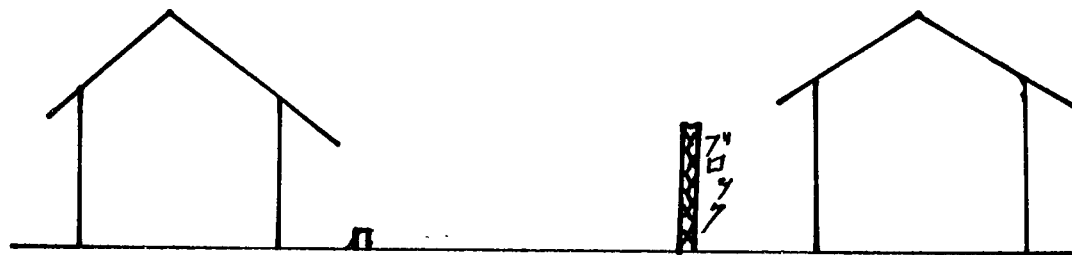
0 5 10 15 20m



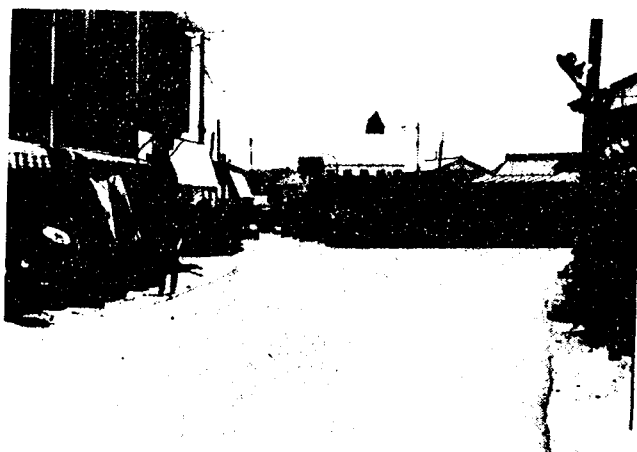
調 査 地 点	No 180				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8 2 0				
路 線 名	主要地方道27号木更津富津湊線				
所 在 地	千葉県富津市篠部				
地 形 区 分	1.山地 2.火山地 3.丘陵地 4.台地 ⑤段丘地 6.低地 7.その他()				
位 置 ・ 標 高	1.頂部 2.中腹 ③山裾 4.谷部 5.平地 6.その他()				
後 背 地 の 利 用	1.山林 2.畑 ③水田 ④宅地 5.果樹園 6.荒地 7.河原 8.その他()				
表 層 地 質 区 分	①未固結堆積物 2.半固結堆積物 3.固結堆積物 4.変成岩 5.火山性岩石 6.深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	1		起 状 量	0	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1.盛土()m 2.切土()m 3.切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④平地				
被 害 の 状 況	(80才男性)家はかなり倒壊、前原のあたりで八坂神社、万福寺など6軒倒壊。中根から前原にかけて10cm位の巾で1ヶ所細長く亀裂が入った。当時の道路は巾6m位で舗装されていなかった。				
被 害 分 類	路面上の小規模な亀裂	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	40~50
被害箇所の現況断面スケッチ					
					
					

調 査 地 点	No 181				
調 査 年 月 日	S 5 3 . 8 2 0				
路 線 名	主要地方道 2 7 号木更津富津湊線				
所 在 地	千葉県富津市千種新田				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥ 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 ③ 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 3. 水田 ④ 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	1		起 状 量	0	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④ 平地				
被 害 の 状 況	(8 0 才の男性) このあたりはよく亀裂が入った。				
被 害 分 類	路面上の小規模な亀裂	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	40 ~ 50

被害箇所の現況断面スケッチ

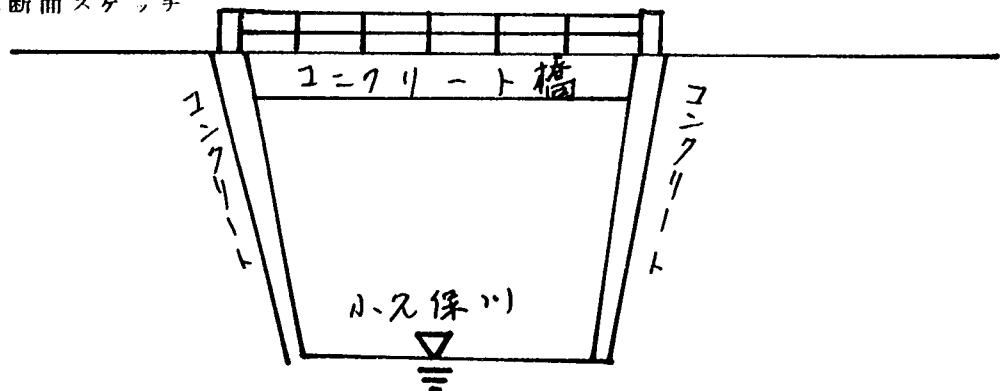


0 2 4 6 8 10m



調 査 地 点	No 183		
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 2 0		
路 線 名	主要地方道27号木更津富津湊線		
所 在 地	千葉県富津市小久保		
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 ⑤ 段丘地 6. 低地 7. その他 ()		
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 ③ 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他 ()		
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 3. 水田 ④ 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他 ()		
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類		
	時 代 区 分	沖 積 期	
傾 斜 区 分	1	起 状 量	1
地 下 水 位 ・ 湧 水			
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④ 平地		
被 害 の 状 況	(78才男性) 小久保橋が崩れた。現在の橋は昭和37年に架設されている。		
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所
		地震断層からの距離	40~50

被害箇所の現況断面スケッチ

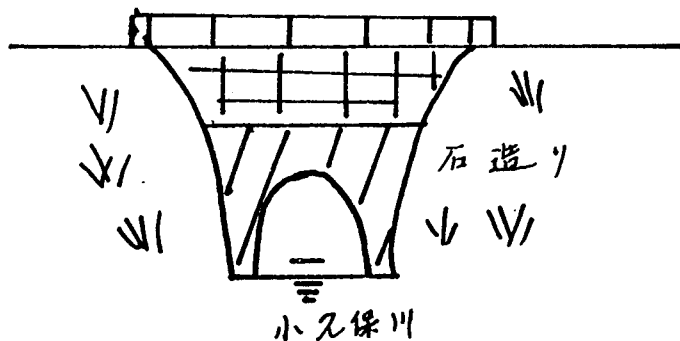


0 1 2 3 4 5m



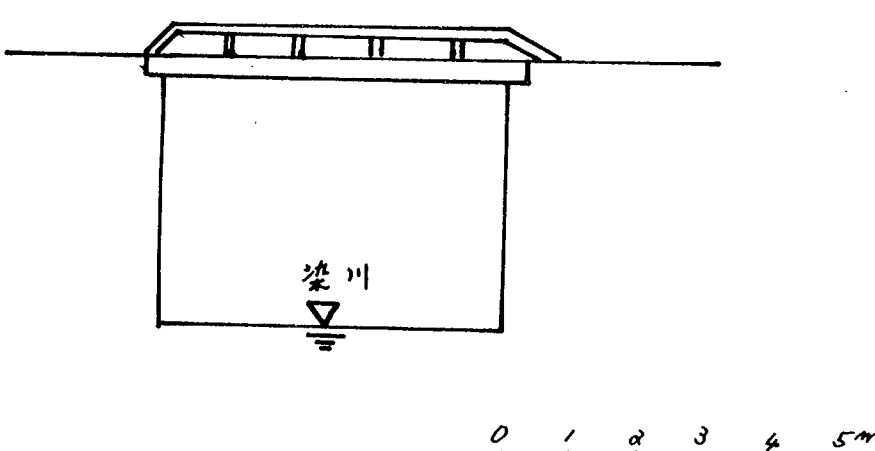
調査地点	184				
調査年月日	S 5 3. 8. 2 0				
路線名	主要地方道 2 7 号木更津富津湊線				
所在地	千葉県富津市小久保				
地形区分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 ⑤ 段丘地 6. 低地 7. その他 ()				
位置・標高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 ④ 谷部 5. 平地 6. その他 ()				
後背地の利用	1. 山林 2. 畑 ③ 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()				
表層地質区分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時代区分	沖 積 期			
傾斜区分	1		起 状 量	1	
地下水位・湧水					
現況道路形状	1. 盛土 () m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④ 平地				
被害の状況	(7 0 才女性) このあたりは被害がなかった。 旧道の橋の被害と推定。				
被害分類	橋梁の被害	被害金額	1,000 ~ 5,000 1 箇所	地震断層からの距離	40 ~ 50

被害箇所の現況断面スケッチ



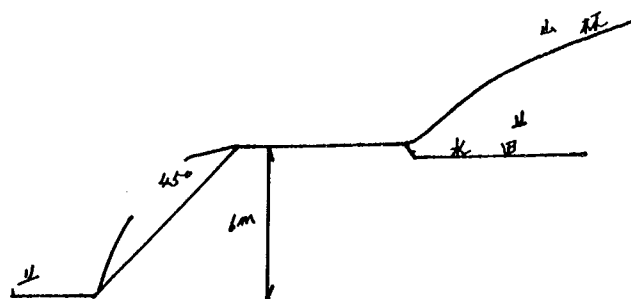
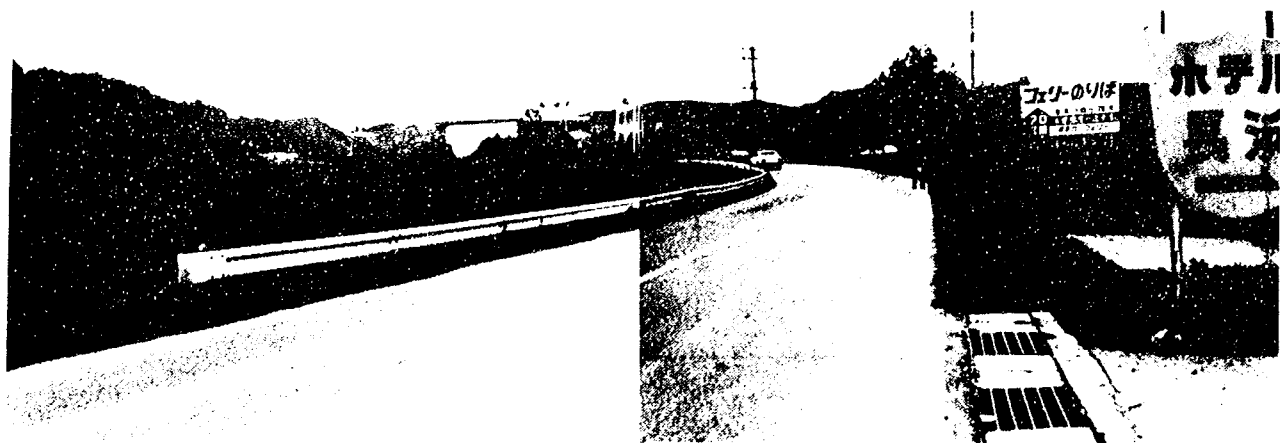
0 2 4 6 8 10 m



調 査 地 点	No. 189				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 2 0				
路 線 名	一般県道163号小櫃佐貫停車場線				
所 在 地	千葉県富津市佐貫				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 ⑤ 段丘地 6. 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 ④ 谷部 5. 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 ③ 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類 時 代 区 分 沖 積 期				
傾 斜 区 分	1		起 状 量	1	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④ 平地				
被 害 の 状 況	旧道の橋の崩壊であろう。洪水ではよく流されるという。				
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	1,000~5,000円 1箇所	地震断層からの距離	40~50
被害箇所の現況断面スケッチ					
下道橋 					
					

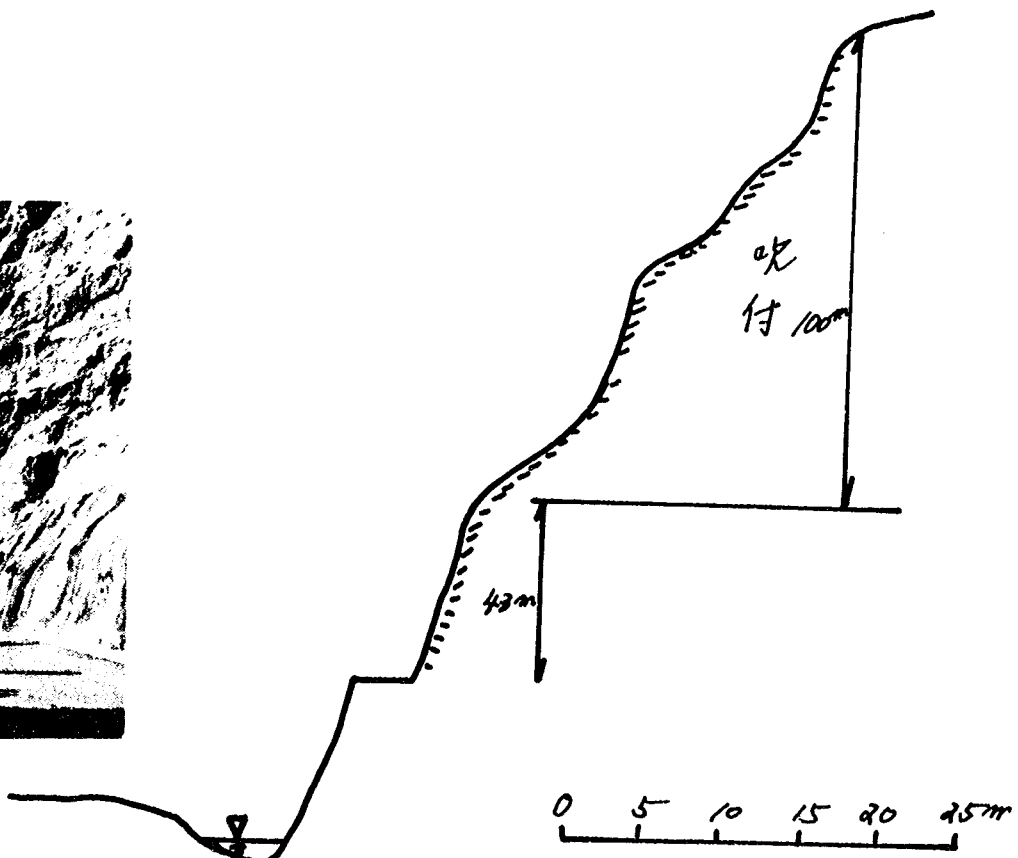
調査地点	No 192				
調査年月日	S 5 3. 5. 1 0				
路線名	一般国道127号				
所在地	千葉県富津市長浜				
地形区分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥ 低地 7. その他 ()				
位置・標高	1. 頂部 2. 中腹 ③ 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他 ()				
後背地の利用	① 山林 2. 畑 ③ 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他 ()				
表層地質区分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物				
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
時代区分	沖 積 期				
傾斜区分	3		起 状 量	3	
地下水位・湧水					
現況道路形状	① 盛土 (6) m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被害の状況	道路に亀裂が入ったということを知ったことがある。 盛土法面の法尻は現在でも動いている。 20年で2m動いた。最近はとまっているようだ。				
被害分類	路面上の小規模な亀裂	被害金額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	30~40

被害箇所の現況断面スケッチ



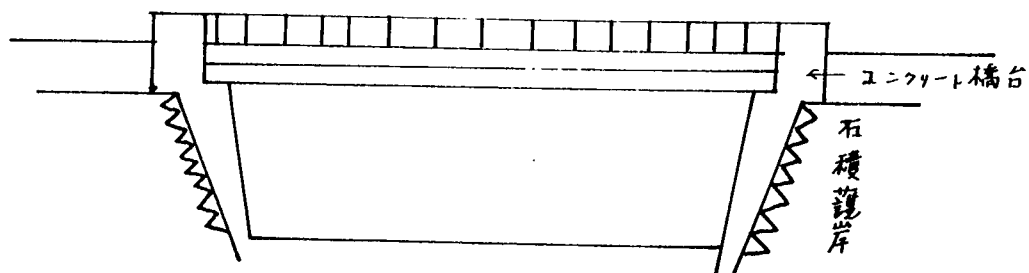
調 査 地 点	No 195				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 1 9				
路 線 名	主要地方道33号君津天羽線				
所 在 地	千葉県富津市高溝				
地 形 区 分	①山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 6. 低地 7. その他()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 ③山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他()				
後 背 地 の 利 用	①山林 2. 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他()				
表 層 地 質 区 分	1. 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 ③ 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	中 新 世			
傾 斜 区 分	2		起 状 量	4	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土() m ②切土(1 3) m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被 害 の 状 況	斜面の崩壊、道路の亀裂が著しかった。				
被 害 分 類	切土の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	40~50

被害箇所の現況断面スケッチ

調査地点	No 196				
調査年月日	S 53. 8. 19				
路線名	主要地方道33号君津天羽線				
所在地	千葉県富津市高溝				
地形区分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 ⑤段丘地 6. 低地 7. その他 ()				
位置・標高	1. 頂部 2. 中腹 ③山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他 ()				
後背地の利用	①山林 2. 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()				
表層地質区分	①未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物				
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
時代区分	洪 積 期				
傾斜区分	2		起 状 量	4	
地下水位・湧水					
現況道路形状	1. 盛土 () m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④平地				
被害の状況	当時は木造橋で震災により落ちた。この付近で道路の亀裂、崩壊がかなりあった。				
被害分類	橋梁の被害	被害金額	1,000~5,000円 1箇所	地震断層からの距離	40~50

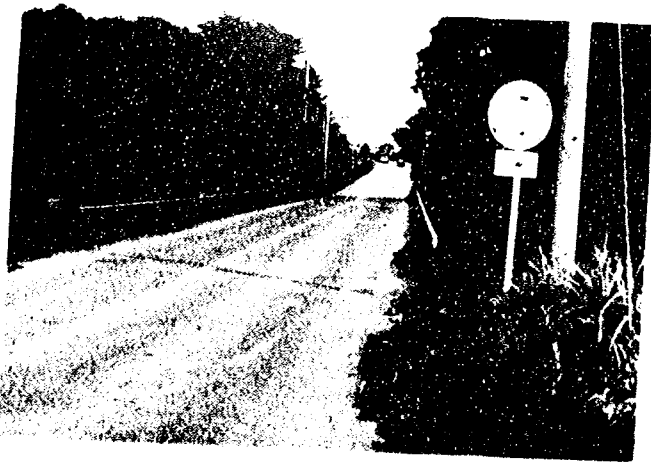
被害箇所の現況断面スケッチ

和田橋
(田倉川)

0 1 2 3 4 5m

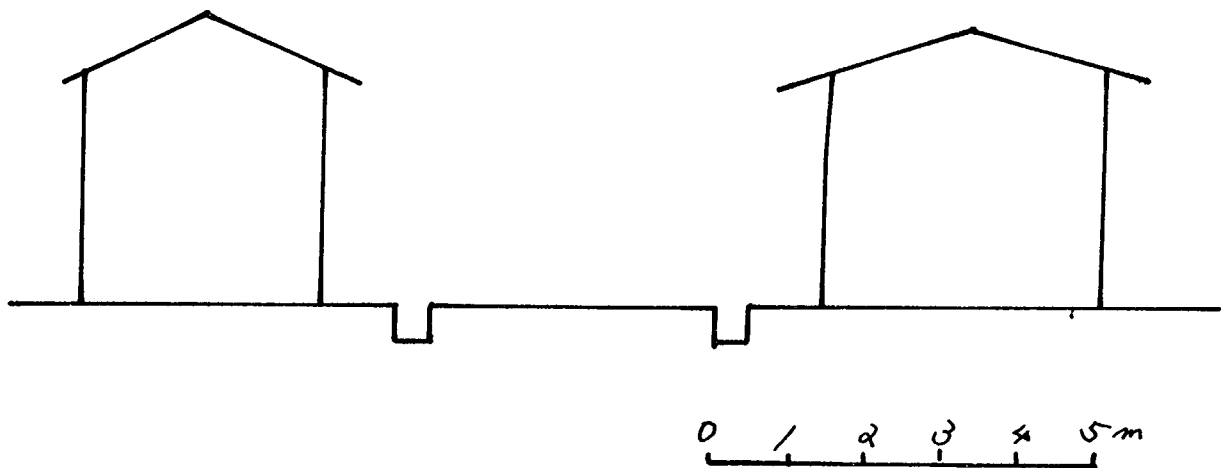


調 査 地 点	No 197			
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 1 9			
路 線 名	主要地方道33号君津天羽線			
所 在 地	千葉県富津市東大和田			
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 ⑤ 段丘地 6. 低地 7. その他 ()			
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 ③ 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他 ()			
後 背 地 の 利 用	① 山林 2. 畑 ③ 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()			
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類			
	時 代 区 分	中 新 世		
傾 斜 区 分	2	起 状 量	4	
地 下 水 位 ・ 湧 水				
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m ② 切土 (3) m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地			
被 害 の 状 況	何箇所かに亀裂が生じた。			
被 害 分 類	路面上の小規模な亀裂	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離
				40～50
被害箇所の現況断面スケッチ				

調査地点 No. 199					
調査年月日 S 5 3. 8. 1 9					
路線名 主要地方道33号君津天羽線					
所在地 千葉県富津市長崎					
地形区分 1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 ⑤ 段丘地 6. 低地 7. その他 ()					
位置・標高 1. 頂部 2. 中腹 ③ 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他 ()					
後背地の利用 1. 山林 2. 畑 3. 水田 ④ 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他 ()					
表層地質区分		① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物			
		4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類			
		時代区分	沖 積 期		
傾斜区分		3		起 状 量	2
地下水位・湧水					
現況道路形状		1. 盛土 () m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④ 平地			
被害の状況		てんそう橋は当時木造橋であった。橋台に被害があり、補修を行ったが、橋自体の破損は殆んどなかった。当時の橋は現在の橋に接して上流側にあったが、現在はその跡は殆んど残っていない。			
被害分類		橋梁の被害	被害金額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離 30~40
被害箇所の現況断面スケッチ					
					

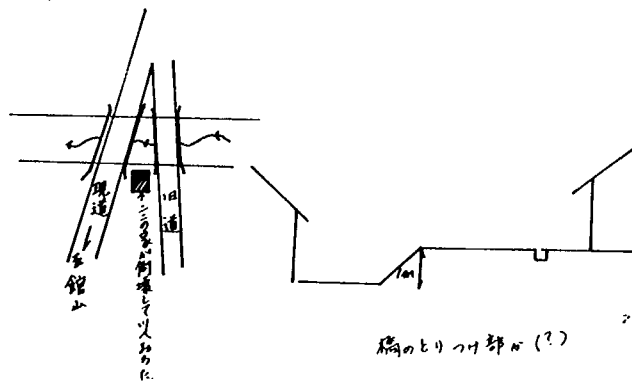
調 査 地 点	No 200			
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 1 9			
路 線 名	主要地方道33号君津天羽線			
所 在 地	千葉県富津市更和			
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 ⑤ 段丘地 6. 低地 7. その他 ()			
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤ 平地 6. その他 ()			
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 3. 水田 ④ 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()			
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物			
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類			
	時 代 区 分	沖 積 期		
傾 斜 区 分	3	起 状 量	2	
地 下 水 位 ・ 湧 水				
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④ 平地			
被 害 の 状 況	道路に亀裂が生じ、噴砂現象があった。			
被 害 分 類	路面上の小規模な亀裂	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離
				30~40

被害箇所の現況断面スケッチ



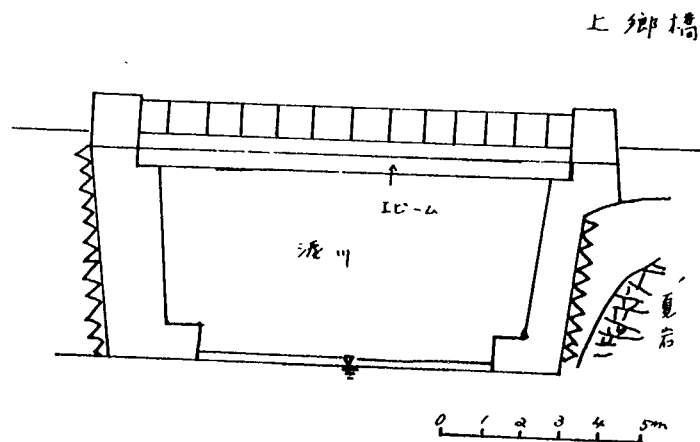
調査地点	No 206		
調査年月日	S 5 3. 5. 1 0		
路線名	一般国道127号		
所在地	千葉県		
地形区分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥ 低地 7. その他 ()		
位置・標高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤ 平地 6. その他 ()		
後背地の利用	1. 山林 2. 畑 3. 水田 ④ 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他 ()		
表層地質区分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物		
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類		
時代区分	沖 積 期		
傾斜区分	1	起 状 量	1
地下水位・湧水			
現況道路形状	① 盛土 (1) m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地		
被害の状況			
被害分類	路面上の小規模な亀裂	被害金額	1,000～5,000 円 1 箇所
		地震断層からの距離	30～40

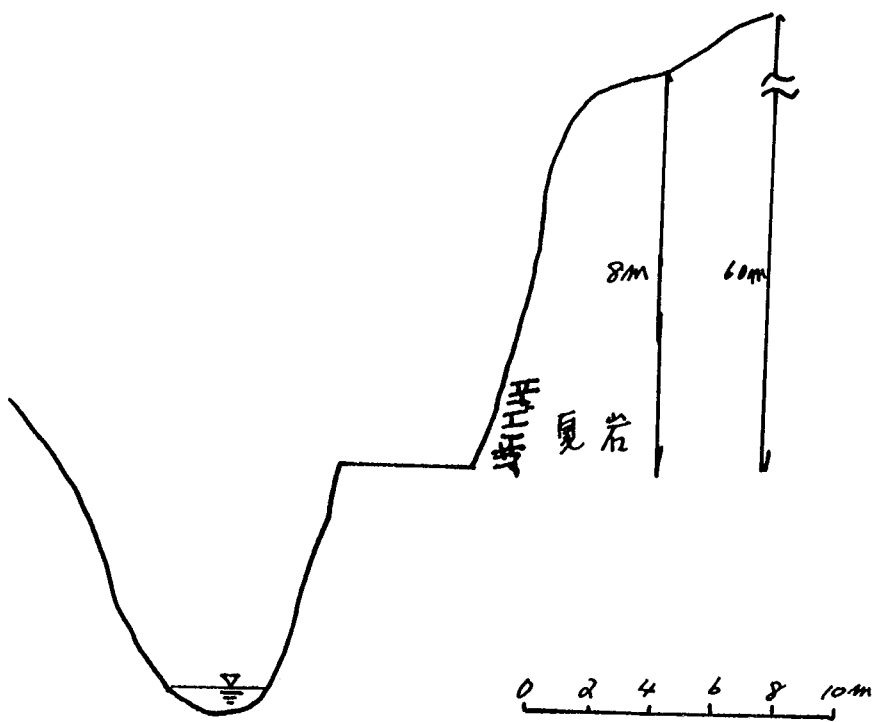
被害箇所の現況断面スケッチ



調 査 地 点	No 216			
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 1 9			
路 線 名	主要地方道279号富津館山線			
所 在 地	千葉県富津市堀切			
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 ⑤ 段丘地 6. 低地 7. その他 ()			
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 ④ 谷部 5. 平地 6. その他 ()			
後 背 地 の 利 用	1. 山林 ② 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()			
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類			
	時 代 区 分	沖 積 期		
傾 斜 区 分	2		起 状 量	3
地 下 水 位 ・ 湧 水	この周辺の井戸は涸れた。			
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地			
被 害 の 状 況	道路、橋梁に関する被害は殆んどなかった。			
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離
				30~40

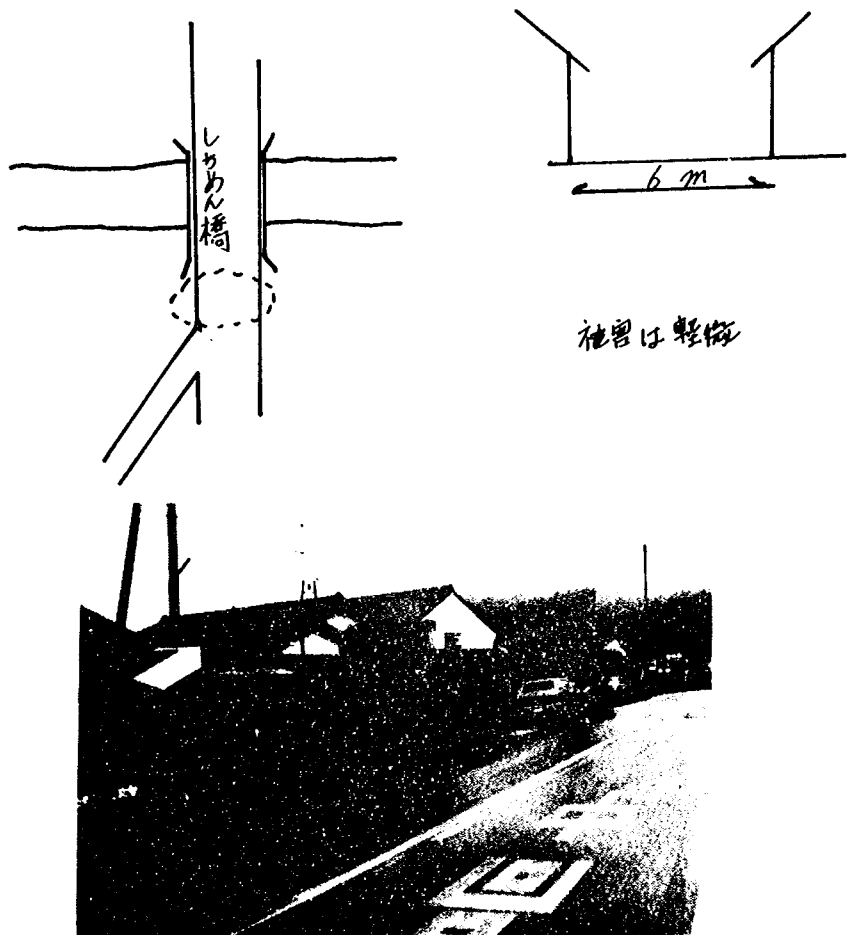
被害箇所の現況断面スケッチ

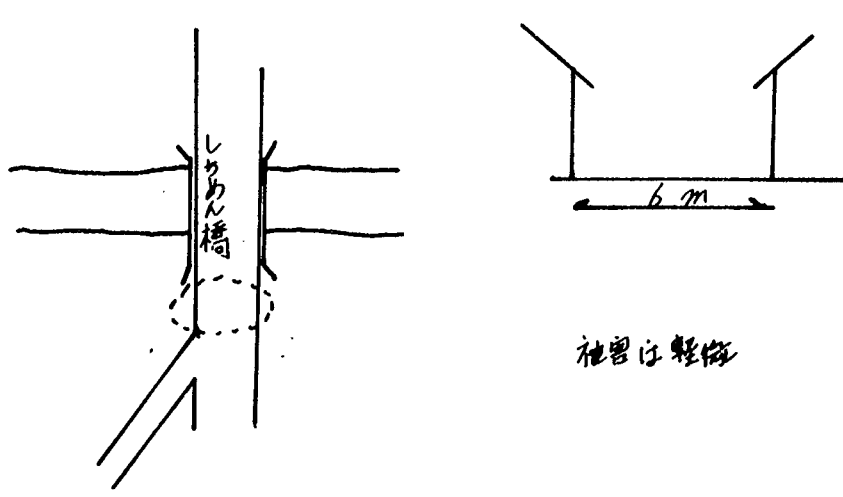


調 査 地 点 No. 217					
調 査 年 月 日 S 5 3. 8. 1 8					
路 線 名		主要地方道 2 7 9 号富津館山線			
所 在 地		千葉県富津市大代			
地 形 区 分		①山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 6. 低地 7. その他()			
位 置 ・ 標 高		1. 頂部 ②中腹 3. 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他()			
後 背 地 の 利 用		1. 山林 2. 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他()			
表 層 地 質 区 分		1. 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 ③固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類			
		時 代 区 分 中 新 世			
傾 斜 区 分		2		起 状 量	3
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状		1. 盛土() m ②切土(8) m 3. 切土盛土 m m 4. 平地			
被 害 の 状 況		交通は可能であつたらしい。 斜面崩壊，落石程度と推定。			
被 害 分 類		切土の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離 30~40
被害箇所の現況断面スケッチ					
 					

調 査 地 点	No 218			
調 査 年 月 日	S 5 3. 5. 1 0			
路 線 名	一般国道127号			
所 在 地	千葉県安房郡鋸南町吉浜			
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥低地 7. その他 ()			
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤平地 6. その他 ()			
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 3. 水田 ④宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他 ()			
表 層 地 質 区 分	①未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類			
	時 代 区 分	沖 積 期		
傾 斜 区 分	5	起 状 量	3	
地 下 水 位 ・ 湧 水				
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④. 平地			
被 害 の 状 況				
被 害 分 類	路面上の小規模な亀裂	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離
				20~30

被害箇所の現況断面スケッチ



調 査 地 点 No 219					
調 査 年 月 日 S 5 3. 5. 1 0					
路 線 名 一般国道127号					
所 在 地 千葉県安房郡鋸南町吉浜					
地 形 区 分 1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 6. 低地 7. その他 ()					
位 置 ・ 標 高 1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他 ()					
後 背 地 の 利 用 1. 山林 2. 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()					
表 層 地 質 区 分		1. 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物			
		4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類			
		時 代 区 分	沖 積 期		
傾 斜 区 分		5	起 状 量	3	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状 1. 盛土 () m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④ 平地					
被 害 の 状 況					
被 害 分 類	路面上の小規模な亀裂	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	20~30
被害箇所の現況断面スケッチ					
 被害は軽微					
					

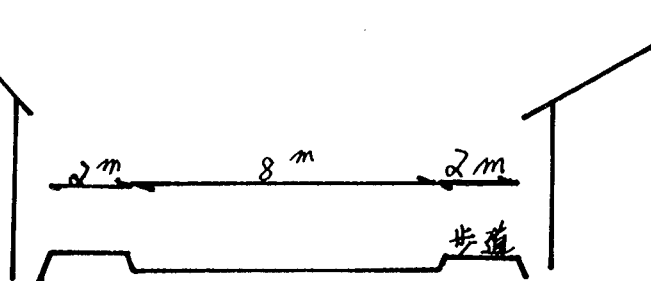
調 査 地 点	No 220				
調 査 年 月 日	S 5 3. 5. 1 0				
路 線 名	一般国道127号				
所 在 地	千葉県安房郡鋸南町安房勝山				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥ 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤ 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 3. 水田 ④ 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	1		起 状 量	3	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④ 平地				
被 害 の 状 況	巾20cm程度の亀裂が入った。 当時周辺は田地であった。				
被 害 分 類	路面上の小規模な亀裂	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	20~30
被害箇所の現況断面スケッチ					

調 査 地 点	No 222				
調 査 年 月 日	S 5 3. 5. 1 0				
路 線 名	一般国道127号				
所 在 地	千葉県安房郡富山町高崎				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 3. 水田 ④宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	①未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物				
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	1	起 状 量	3		
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④平地				
被 害 の 状 況	巾20~30cmの亀裂が出来た。				
被 害 分 類	路面上の小規模な亀裂	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	20~30
被害箇所の現況断面スケッチ					

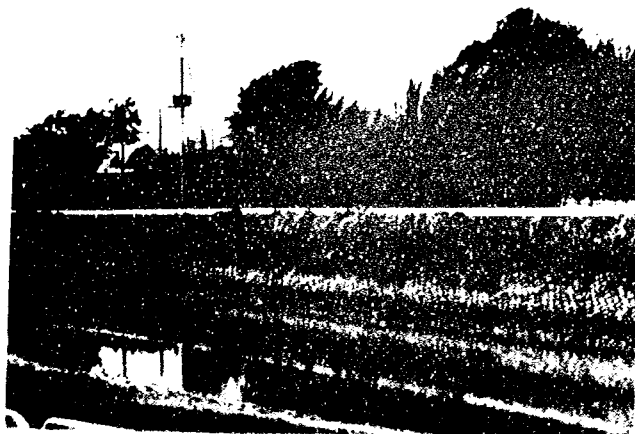
調 査 地 点	No 226			
調 査 年 月 日	S 5 3. 5. 1 0			
路 線 名	一般国道127号			
所 在 地	千葉県安房郡富浦町青木			
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥ 低地 7. その他 ()			
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤ 平地 6. その他 ()			
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 ③ 水田 ④ 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他 ()			
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類			
	時 代 区 分	沖 積 期		
傾 斜 区 分	1		起 状 量	2
地 下 水 位 ・ 湧 水				
現 況 道 路 形 状	① 盛土 (2) m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④ 平地			
被 害 の 状 況				
被 害 分 類	路面上の小規模な亀裂	被 害 金 額	1,000円～5,000円 1箇所	地震断層からの距離 20～30
被害箇所の現況断面スケッチ				

観 査 地 点	No 227				
調 査 年 月 日	S 5 3 . 5 . 1 0				
路 線 名	一般国道127号				
所 在 地	千葉県安房郡富浦町青木				
地 形 区 分	1.山地 2.火山地 3.丘陵地 4.台地 5.段丘地 ⑥低地 7.その他()				
位 置 ・ 標 高	1.頂部 2.中腹 3.山裾 4.谷部 ⑤平地 6.その他()				
後 背 地 の 利 用	1.山林 2.畑 3.水田 ④宅地 5.果樹園 6.荒れ地 7.河原 8.その他()				
表 層 地 質 区 分	①未固結堆積物 2.半固結堆積物 3.固結堆積物				
	4.変成岩 5.火山性岩石 6.深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	1		起 状 量	2	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1.盛土() m 2.切土() m 3.切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④平地				
被 害 の 状 況					
被 害 分 類	路面上の小規模な亀裂	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	10~20

被害箇所の現況断面スケッチ

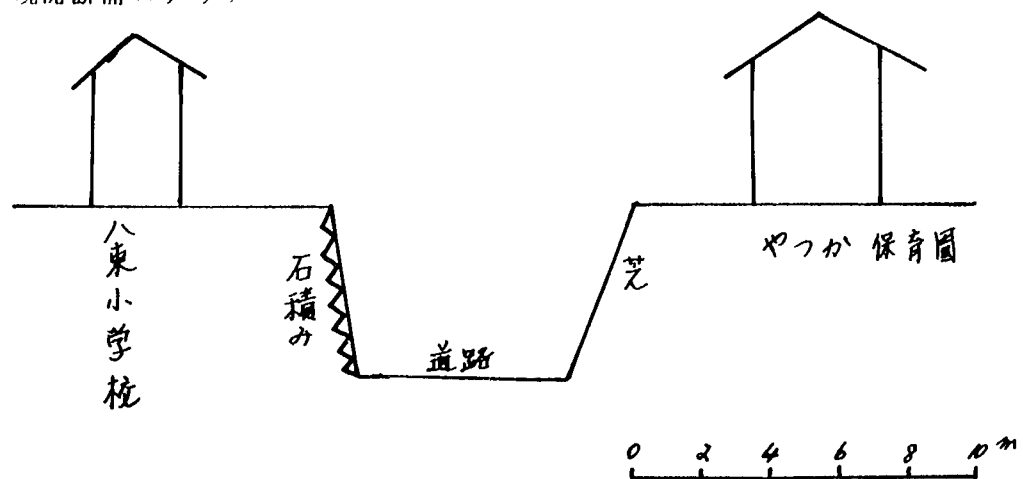


亀裂 20cm 位
 当時は道路幅 2 向位 (3.5m)



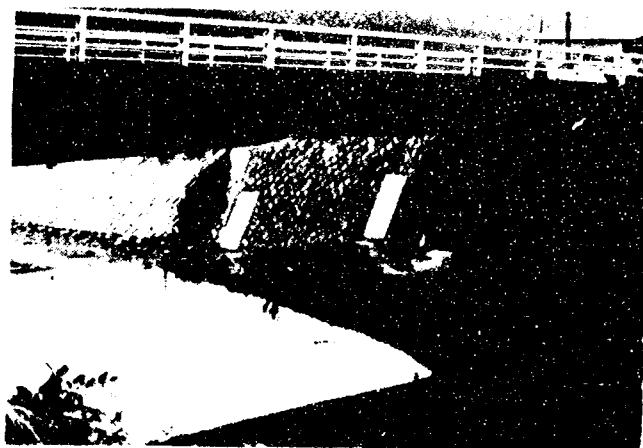
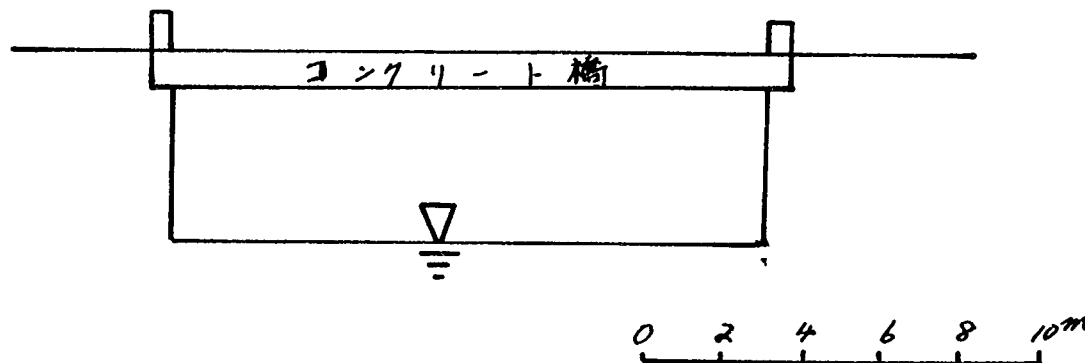
調 査 地 点	No 230			
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 1 4			
路 線 名	一般県道186号居倉館山線			
所 在 地	千葉県安房郡富浦町福沢			
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 ⑤ 段丘地 6. 低地 7. その他 ()			
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 ④ 谷部 平地 6. その他 ()			
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 ③ 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他 ()			
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類			
	時 代 区 分	沖 積 期		
傾 斜 区 分	3		起 状 数	2
地 下 水 位 ・ 湧 水				
現 況 道 路 形 状	1. 盛上 () m ② 切土 (5) m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④ 平地			
被 害 の 状 況	(6 0 才の男性) 現在の八東小学校付近の崖が崩れた。			
被 害 分 類	切土の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離
				20~30

被害箇所の現況断面スケッチ



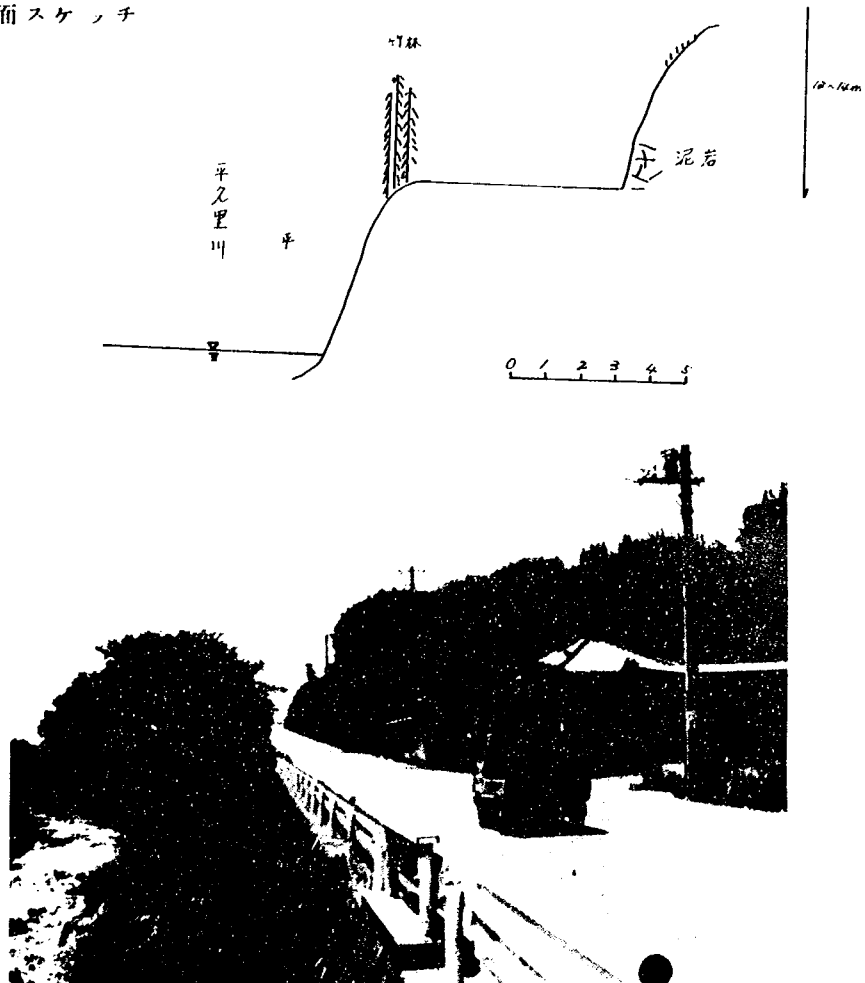
調 査 地 点	No 231				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 1 7				
路 線 名	主要地方道279号富津館山線				
所 在 地	千葉県安房郡富山町平久里下				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 ⑤段丘地 6. 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 ④谷部 5. 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 ②畑 3. 水田 ④宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	①未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	3		起 状 量	4	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被 害 の 状 況	橋梁の被害と推定。				
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	20～30

被害箇所の現況断面スケッチ



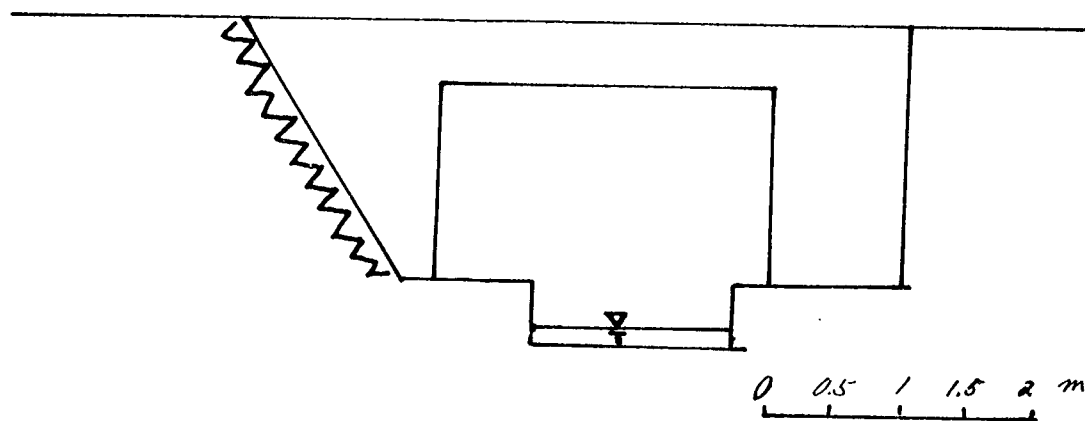
調 査 地 点	. 6 234			
調 査 年 月 日	S 5 3 . 8 . 1 5			
路 線 名	主要地方道279号富津館山線			
所 在 地	千葉県安房郡三芳村下滝田			
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 ③ 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 6. 低地 7. その他 ()			
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 ③ 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他 ()			
後 背 地 の 利 用	① 山林 2. 畑 ③ 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他 ()			
表 層 地 質 区 分	1. 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 ③ 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類			
	時 代 区 分	鮮 新 世		
傾 斜 区 分	1	起 状 量	2	
地 下 水 位 ・ 湧 水				
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m ② 切土 (2 ~ 3) m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地			
被 害 の 状 況	道路に亀裂が入ったが人馬の交通に支障はなかった。			
被 害 分 類	路面上の小規模な亀裂	被 害 金 額	1,000 ~ 5,000 円 1箇所	地震断層からの距離 20 ~ 30

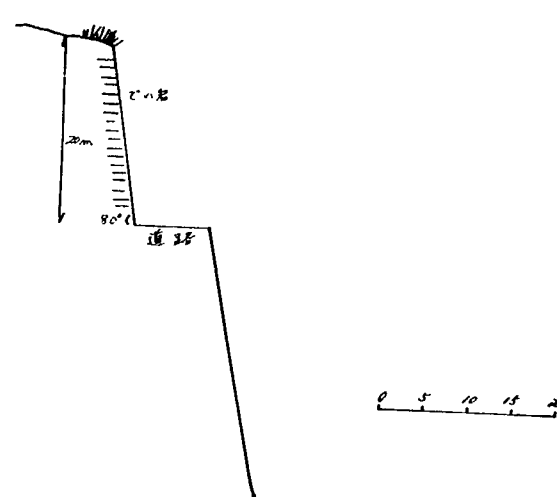
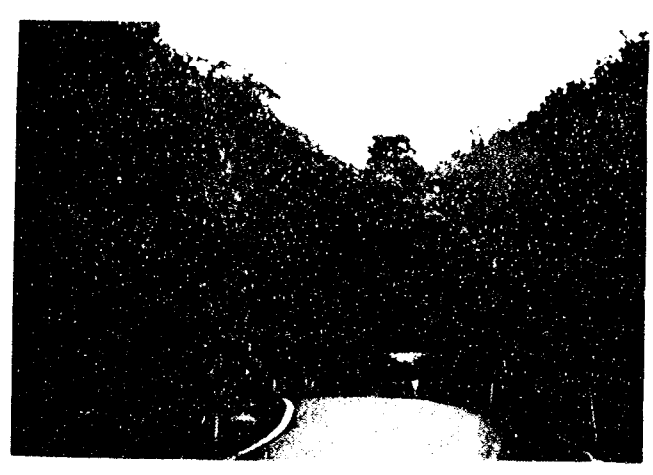
被害箇所の現況断面スケッチ



調査地点	No 242				
調査年月日	S 5 3. 8. 1 5				
路線名	主要地方道279号富津館山線(付近)				
所在地	千葉県安房郡三芳村上堀				
地形区分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 ⑤段丘地 6. 低地 7. その他()				
位置・標高	1. 頂部 2. 中腹 ③山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他()				
後背地の利用	1. 山林 ②畑 ③水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他()				
表層地質区分	①未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物				
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
時代区分	沖 積 期				
傾斜区分	1	起 状 量	1		
地下水位・湧水					
現況道路形状	①盛土(1.5) m 2. 切土() m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被害の状況	震災時は老朽化した木造の橋があり、地震により直接破壊されたわけではないが、震災後鉄筋コンクリートで改修した。現在の橋の北側に近接しているが、現在使用されていない。其他この付近の道路、橋梁の破壊はなかった様子である。				
被害分類	橋梁の被害	被害金額	1,000~5,000円 1箇所	地震断層からの距離	20~30

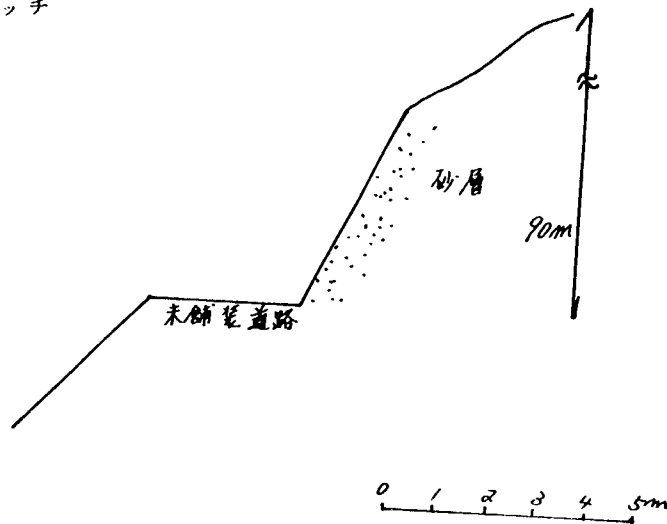
被害箇所の現況断面スケッチ



調 査 地 点	No 243				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 1 7				
路 線 名	主要地方道162号君津丸山線				
所 在 地	千葉県安房郡丸山町下久根				
地 形 区 分	①山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 6. 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 ②中腹 3. 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	①山林 2. 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	1. 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 ③固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	中 新 世			
傾 斜 区 分	5		起 状 量	4	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m ②切土 (2 0) m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被 害 の 状 況	崖崩れと推定。				
被 害 分 類	切土の被害	被 害 金 額	1,000~5,000 円 1 箇所	地震断層からの距離	30~40
被害箇所の現況断面スケッチ					
					
					

調 査 地 点	No 244				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 1 7				
路 線 名	主要地方道 1 6 2 号君津丸山線 (付近)				
所 在 地	千葉県安房郡丸山町塩井戸				
地 形 区 分	①山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 6. 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 ②中腹 3. 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	①山林 2. 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	5		起 状 量	4	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m ②切土 (4) m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被 害 の 状 況	崖崩れと推定。				
被 害 分 類	切土の被害	被 害 金 額	1,000~5,000 1 箇所	地震断層からの距離	30~40

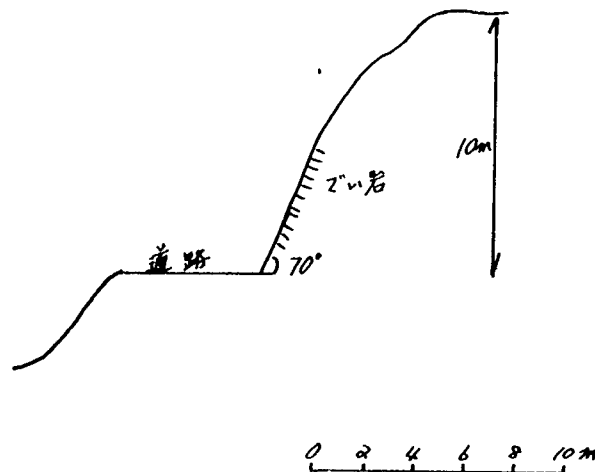
被害箇所の現況断面スケッチ



調 査 地 点	No 245				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 1 7				
路 線 名	主要地方道 1 6 2 号君津丸山線				
所 在 地	千葉県安房郡丸山町塩井戸				
地 形 区 分	① 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 6. 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 ② 中腹 3. 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	① 山林 2. 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	1. 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 ③ 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	中 新 世			
傾 斜 区 分	5		起 状 量	4	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m ② 切土 (1 5) m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被 害 の 状 況	崖の崩壊と推定。				
被 害 分 類	切土の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	30~40
被害箇所の現況断面スケッチ					

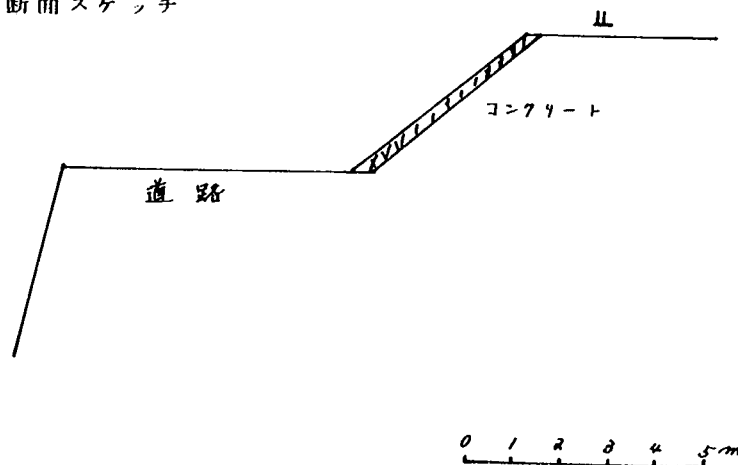
調 査 地 点	No. 246				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 1 7				
路 線 名	主要地方道162号君津丸山線				
所 在 地	千葉県安房郡丸山町石堂原				
地 形 区 分	① 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 6. 低地 7. その他()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 ③ 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 ③ 水田 ④ 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他()				
表 層 地 質 区 分	1. 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 ③ 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	中 新 世			
傾 斜 区 分	5		起 状 量	4	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土() m ② 切土(6) m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被 害 の 状 況	崖崩れと推定。				
被 害 分 類	切土の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	20~30

被害箇所の現況断面スケッチ



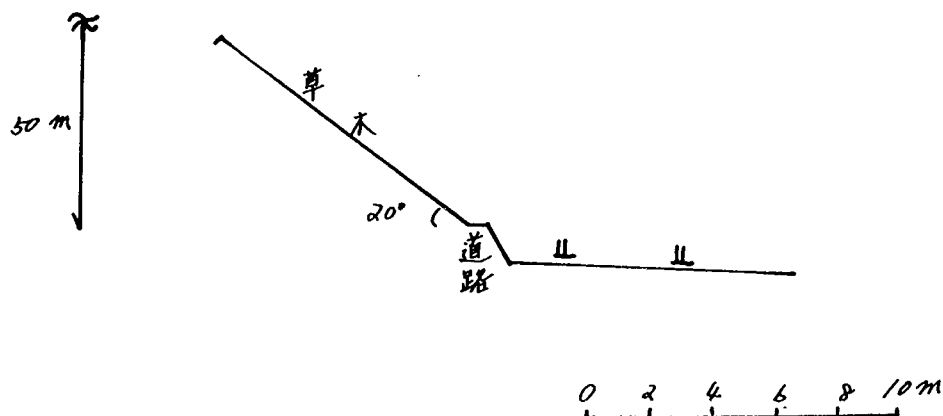
調 査 地 点	No 247				
調 査 年 月 日	S 53. 8. 17				
路 線 名	主要地方道162号君津丸山線				
所 在 地	千葉県安房郡丸山町石堂原				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 ⑤ 段丘地 6. 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 ③ 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 ③ 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物				
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	5		起 状 量	4	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m ② 切土 (3) m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被 害 の 状 況	崖崩れと推定。 周辺の老人に聞いてみたが、特にこの付近を記憶している人はみあたらなかった。				
被 害 分 類	切土の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	20~30

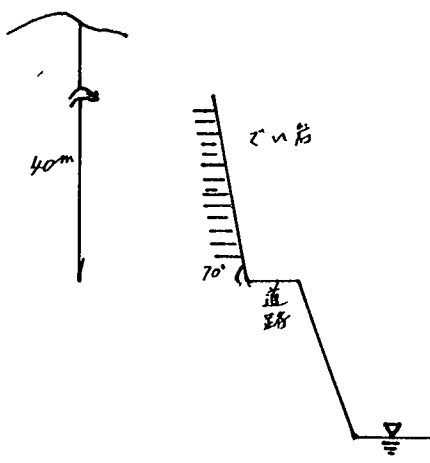
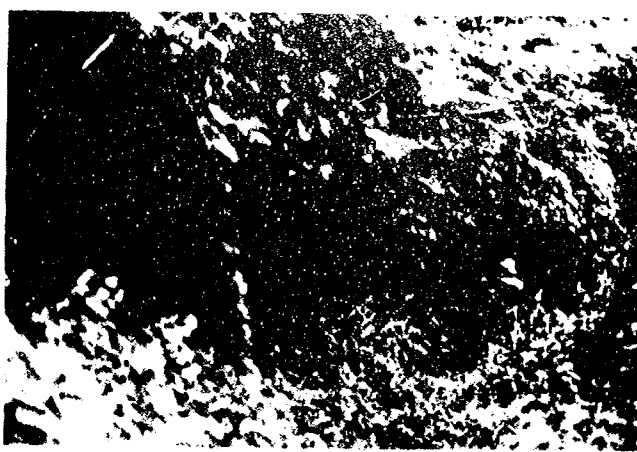
被害箇所の現況断面スケッチ



調 査 地 点	No 248				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 1 8				
路 線 名	主要地方道162号君津丸山線(付近)				
所 在 地	千葉県安房郡丸山町石堂原				
地 形 区 分	①山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 6. 低地 7. その他()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 ②中腹 3. 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他()				
後 背 地 の 利 用	①山林 2. 畑 ③水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他()				
表 層 地 質 区 分	1. 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 ③固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	中 新 世			
傾 斜 区 分	5		起 状 量	4	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土() m 2. 切土() m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被 害 の 状 況	石堂原から大谷へ抜ける巾0.5 m程の小さな山道がある。現在はほとんど通行不可能の道であるが、当時もこの道は存在していたという。崖崩れが生じたと思われる地点を特定することは困難であった。				
被 害 分 類	切土の被害 (自然斜面の崩壊)	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	20~30

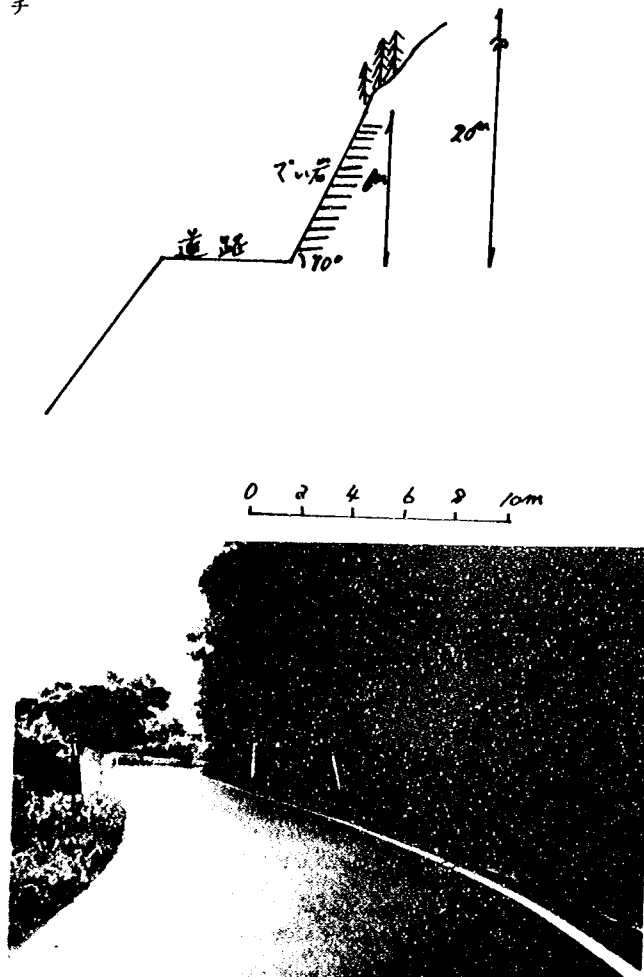
被害箇所の現況断面スケッチ



調 査 地 点	No 249				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 1 8				
路 線 名	主要地方道 1 6 2 号君津丸山線 (付近)				
所 在 地	千葉県安房郡丸山町石堂原				
地 形 区 分	①山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 6. 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 ②中腹 3. 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	①山林 2. 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	1. 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 ③固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	中 新 世			
傾 斜 区 分	5		起 状 量	4	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m ②切土 (4) m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被 害 の 状 況	この場所は旧道で、車は通れない幅 0.5 m ほどの山道である。当時の崩壊地を決めるのは困難であるが、この付近が崩壊したものと推定。				
被 害 分 類	切土の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	30~40
被害箇所の現況断面スケッチ					
					
					

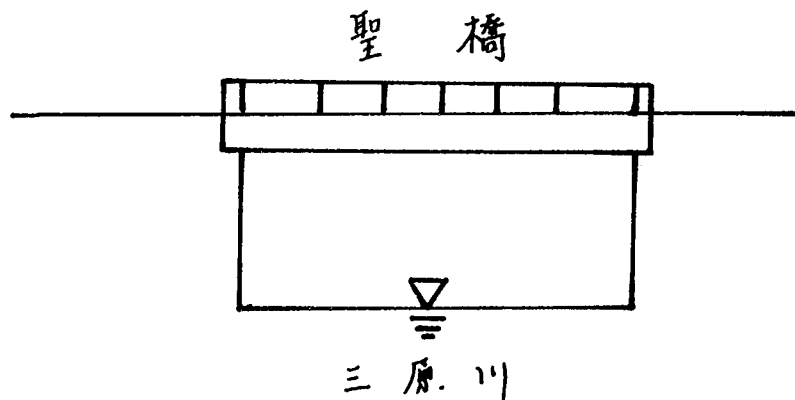
調 査 地 点	No 250				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 1 8				
路 線 名	一般県道 1 8 8 号南三原停車場線				
所 在 地	千葉県安房郡和田町押元				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 ③ 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 6. 低地 7. その他()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 ③ 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他()				
後 背 地 の 利 用	① 山林 2. 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他()				
表 層 地 質 区 分	1. 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 ③ 固結堆積物				
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	第 三 紀			
傾 斜 区 分	4		起 状 量	2	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土() m ② 切土(6) m 3. 切土盛土 m m 4. 平地				
被 害 の 状 況	崖崩れと推定。				
被 害 分 類	切土の被害	被 害 金 額	1,000 ~ 5,000 1 箇所	地震断層からの距離	30 ~ 40

被害箇所の現況断面スケッチ

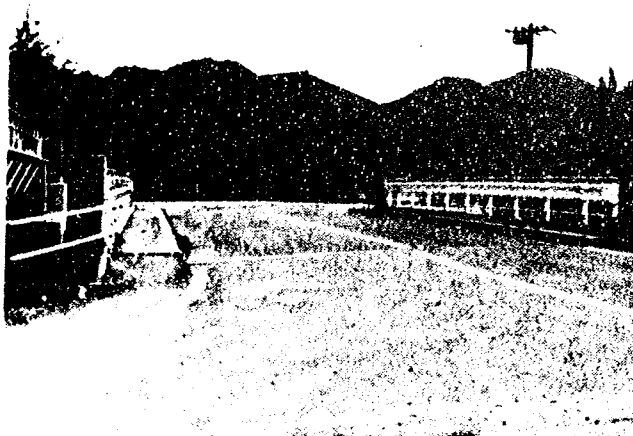


調 査 地 点	No 251			
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 1 8			
路 線 名	一般県道188号南三原停車場線			
所 在 地	千葉県安房郡和田町中三原			
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 ⑤ 段丘地 6. 低地 7. その他 ()			
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 ④ 谷部 5. 平地 6. その他 ()			
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 3. 水田 ④ 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()			
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類			
	時 代 区 分	沖 積 期		
傾 斜 区 分	3		起 状 量	2
地 下 水 位 ・ 湧 水				
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④ 平地			
被 害 の 状 況	橋梁の被害と推定。			
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	1,000~5,000 1 箇所	地震断層からの距離 20~30

被害箇所の現況断面スケッチ

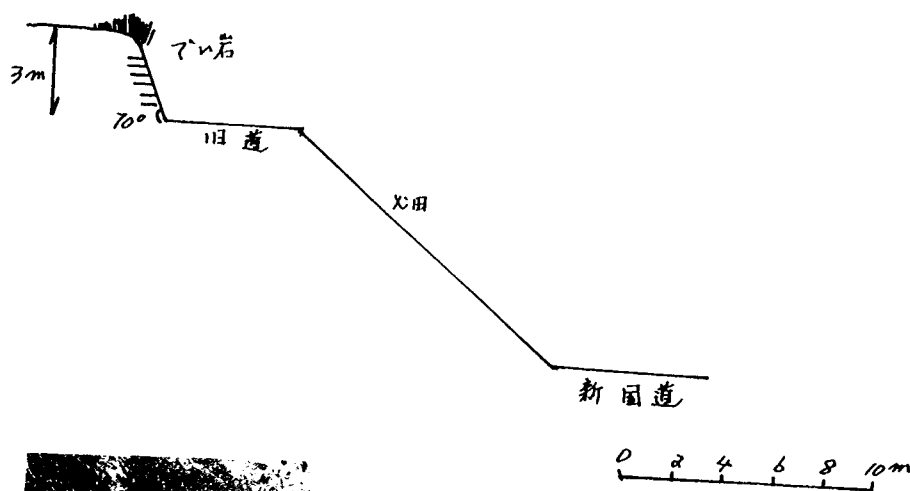


0 2 4 6 8 10 m



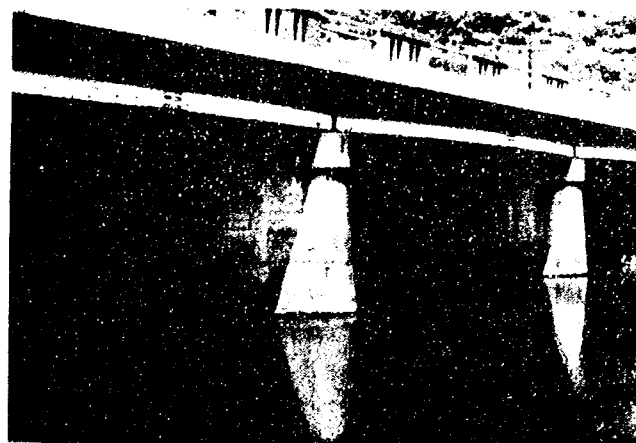
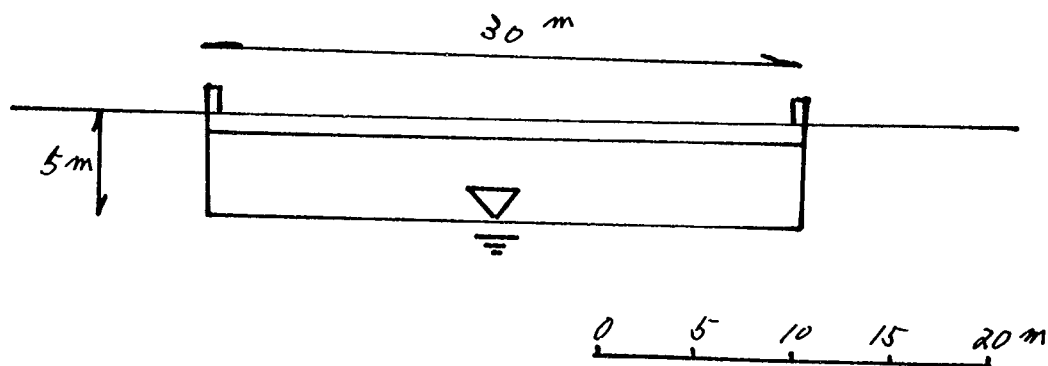
調 査 地 点	No. 252				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 1 8				
路 線 名	一般国道128号				
所 在 地	千葉県安房郡和田町白渚				
地 形 区 分	①山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 6. 低地 7. その他()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 ③山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他()				
後 背 地 の 利 用	①山林 ②畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他()				
表 層 地 質 区 分	1. 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 ③ 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	第 三 紀			
傾 斜 区 分	4	起 状 量	1		
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土() m ② 切土(3) m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被 害 の 状 況	崖の崩壊と推定。				
被 害 分 類	切土の被害	被 害 金 額	1,000~5,000 1箇所	地震断層からの距離	20~30

被害箇所の現況断面スケッチ



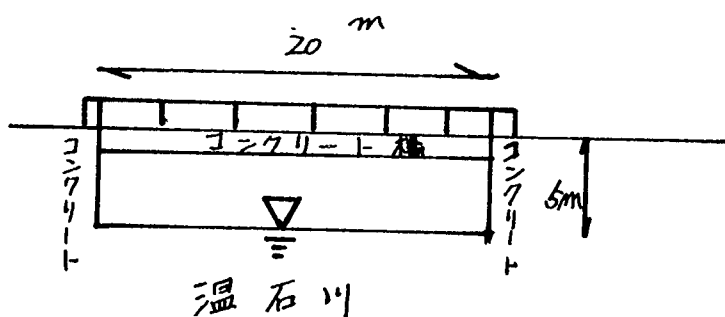
調 査 地 点	No 253		
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 1 8		
路 線 名	一般国道128号		
所 在 地	千葉県安房郡和田町白渚		
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥ 低地 7. その他 ()		
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 ③ 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他 ()		
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 3. 水田 ④ 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他 ()		
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類		
	時 代 区 分	沖 積 期	
傾 斜 区 分	1	起 状 量	2
地 下 水 位 ・ 湧 水			
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④ 平地		
被 害 の 状 況	橋梁の被害と推定。現在の橋は新国道を通っている。当時の橋はこの橋から上流へ20mほどの付近にあり、現在も橋脚の跡がみられる。		
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所 地震断層からの距離 20~30

被害箇所の現況断面スケッチ

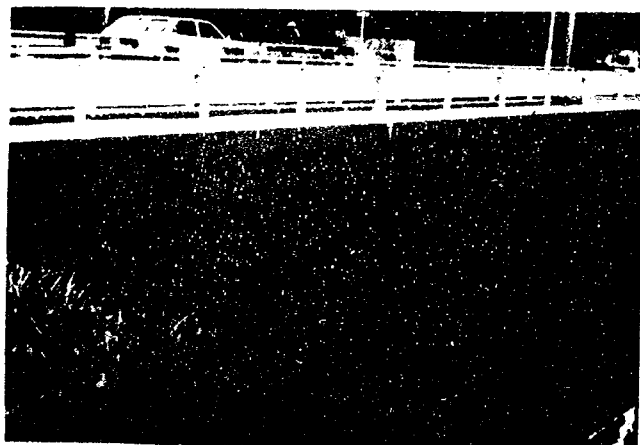


調 査 地 点	No. 254				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 1 8				
路 線 名	一般国道128号				
所 在 地	千葉県安房郡和田町下三原				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥低地 7. その他()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 ③山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 3. 水田 ④宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他()				
表 層 地 質 区 分	①未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	1		起 状 量	2	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土() m 2. 切土() m 3. 切土盛土 m m ④平地				
被 害 の 状 況	橋梁の被害と推定。				
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	20~30

被害箇所の現況断面スケッチ

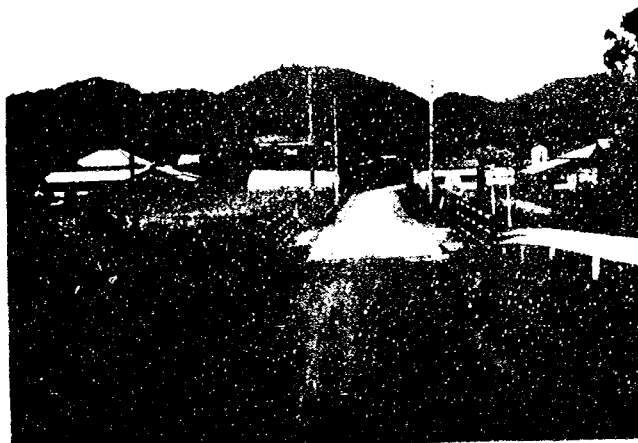
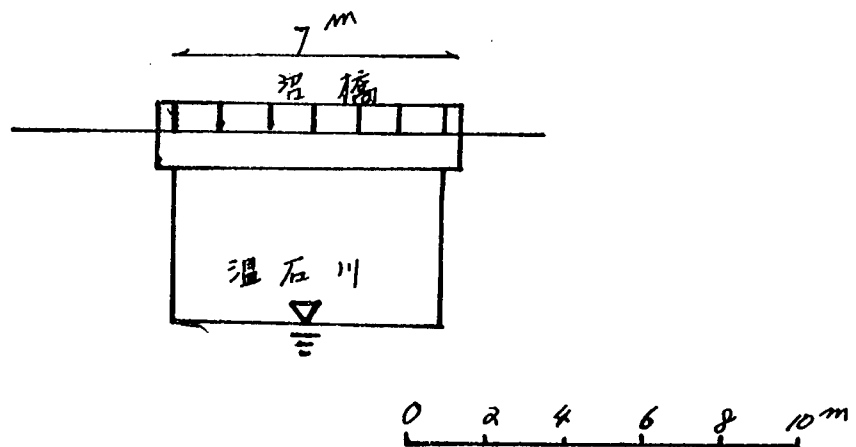


0 5 10 15 20m



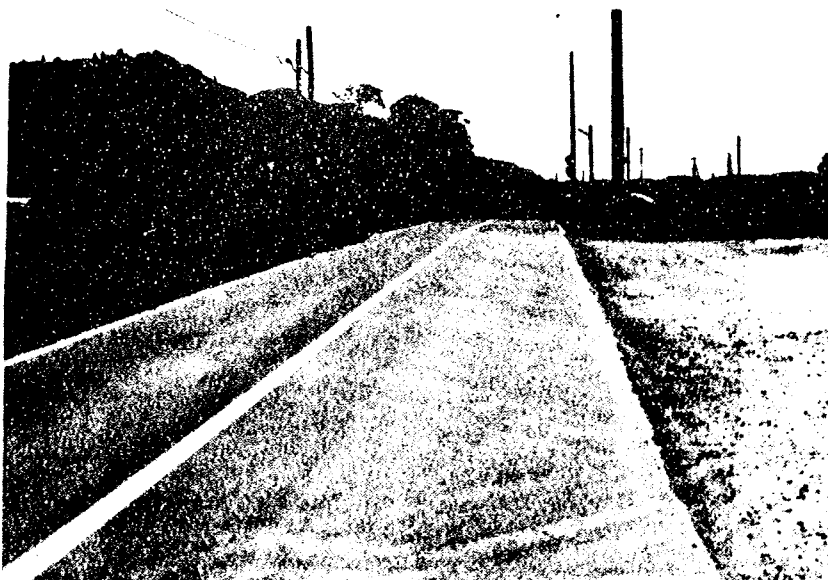
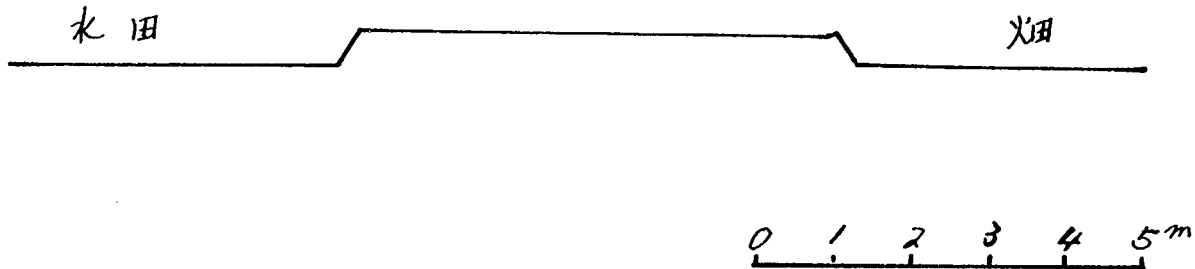
調 査 地 点	No. 255				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 1 7				
路 線 名	一般国道128号(付近)				
所 在 地	千葉県安房郡和田町下三原				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥ 低地 7. その他()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 ④ 谷部 5. 平地 6. その他()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 ② 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他()				
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	1		起 状 量	1	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土() m 2. 切土() m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④ 平地				
被 害 の 状 況	橋梁の被害と推定。				
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	1,000~5,000円 1箇所	地震断層からの距離	20~30

被害箇所の現況断面スケッチ



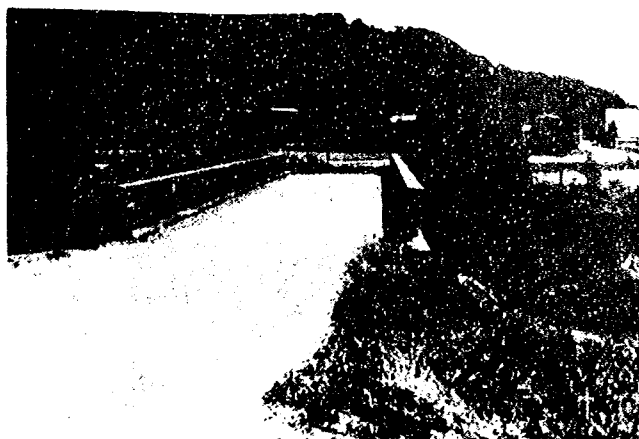
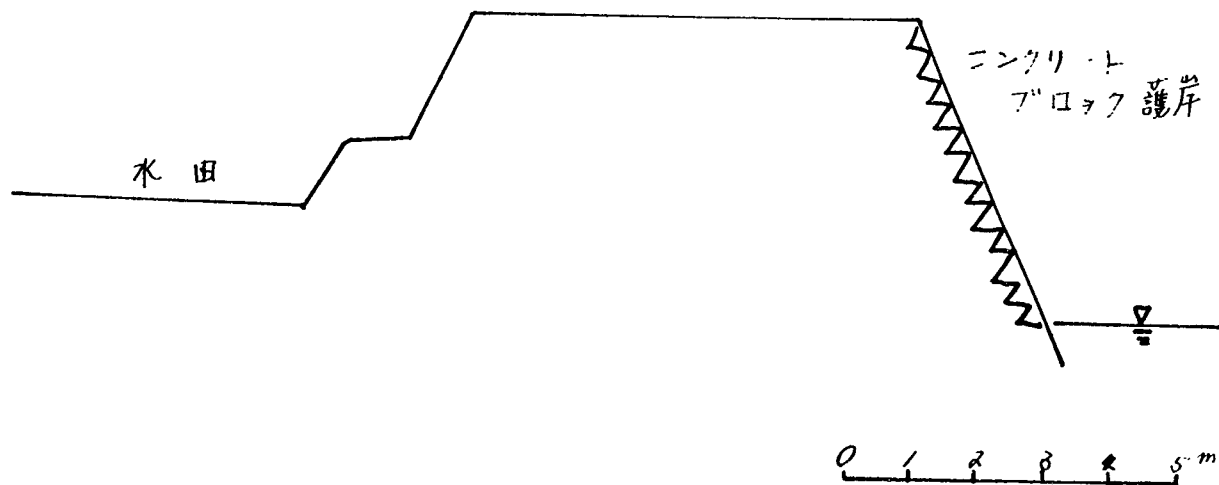
調 査 地 点	No 256				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 1 6				
路 線 名	主要地方道162号君津丸山線				
所 在 地	千葉県安房郡丸山町丸本郷				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 ⑤ 段丘地 6. 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤ 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 ② 畑 ③ 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	洪 積 期			
傾 斜 区 分	1	起 状 量	2		
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	① 盛土 (0.5) m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被 害 の 状 況	道路に亀裂を生じたが交通に支障はなかった。				
被 害 分 類	路面上の小規模な亀裂	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	20~30

被害箇所の現況断面スケッチ



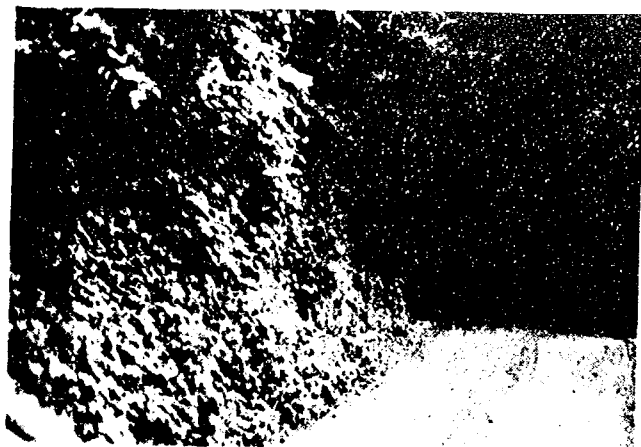
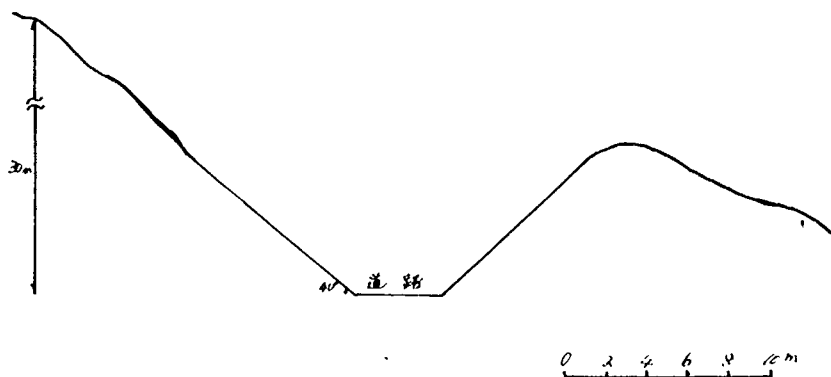
調 査 地 点	No 257				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 1 6				
路 線 名	主要地方道 1 6 2 号 君津丸山線				
所 在 地	千葉県安房郡丸山町丸本郷				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥ 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤ 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 ③ 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物				
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	1	起 状 量	2		
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 (3.0) m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被 害 の 状 況	道路に小規模な亀裂を生じたが交通に支障はなかった。この道路付近にある丸川橋は当時木造橋であつたが震災により破壊された。				
被 害 分 類	路面上の大規模な亀裂または盛土の被害	被 害 金 額	1,000 ~ 5,000 1 箇所	地震断層からの距離	20 ~ 30

被害箇所の現況断面スケッチ



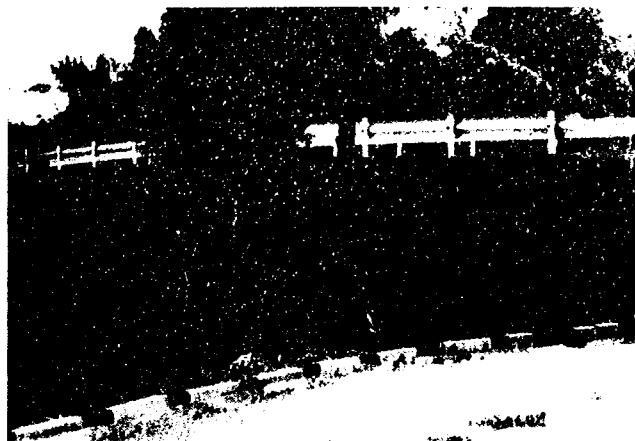
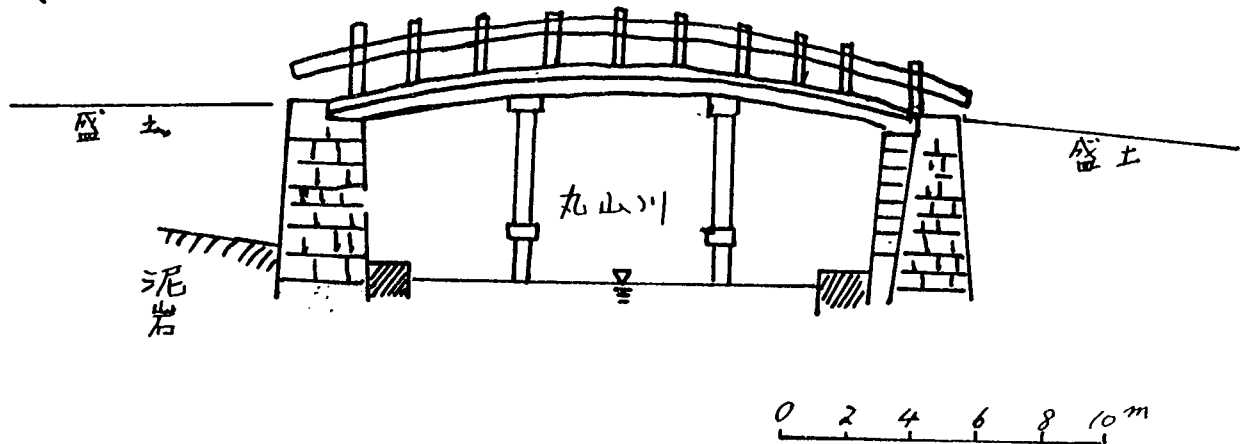
調査地点	No. 259				
調査年月日	S 53. 8.17				
路線名	一般県道296号和田丸山館山線				
所在地	千葉県安房郡丸山町前田				
地形区分	①山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 6. 低地 7. その他 ()				
位置・標高	1. 頂部 ②中腹 3. 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他 ()				
後背地の利用	①山林 2. 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他 ()				
表層地質区分	1. 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 ③固結堆積物				
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
時代区分	鮮 新 世				
傾斜区分	1	起 状 量	1		
地下水位・湧水					
現況道路形状	1. 盛土 () m ②切土 (7) m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被害の状況	トンネル付近の崖の崩壊と推定。				
被害分類	切土の崩壊	被害金額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	20~30

被害箇所の現況断面スケッチ



調 査 地 点	No 263				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 1 6				
路 線 名	主要地方道162号君津丸山線付近				
所 在 地	千葉県安房郡丸山町加茂				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥低地 7. その他()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤平地 6. その他()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 ③水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他()				
表 層 地 質 区 分	①未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	1		起 状 量	1	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	①盛土(2.0) m 2. 切土() m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被 害 の 状 況	当時は木造橋で震災により落橋した。この橋の付近で水田にその時に生じた断層崖が残っている。 落差は60～80cmあったものと考えられる。(この川に平行な断層で川側が落ちた。)				
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	1,000～5,000円 1箇所	地震断層からの距離	20～30

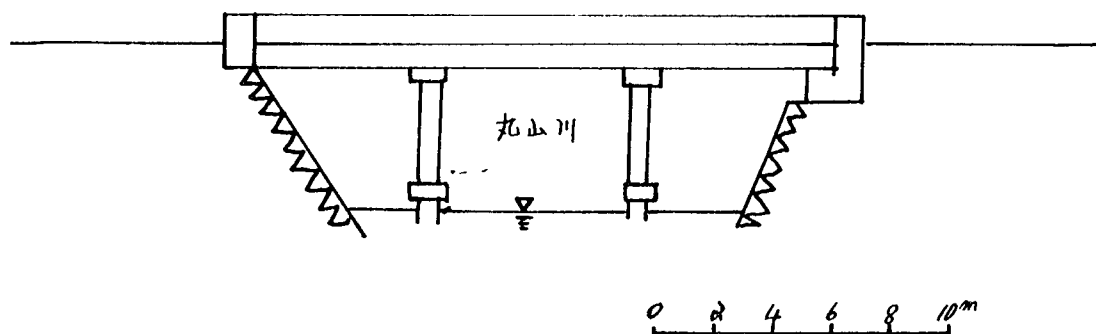
被害箇所の現況断面スケッチ



調査地点	No 264				
調査年月日	S 5 3. 8. 1 6				
路線名	主要地方道162号君津丸山線付近				
所在地	千葉県安房郡丸山町古川				
地形区分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 ⑤ 段丘地 6. 低地 7. その他()				
位置・標高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤ 平地 6. その他()				
後背地の利用	1. 山林 2. 畑 3. 水田 ④ 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他()				
表層地質区分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時代区分	沖 積 期			
傾斜区分	1		起 状 量	1	
地下水位・湧水					
現況道路形状	1. 盛土() m 2. 切土() m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④ 平地				
被害の状況	当時は木造橋で震災により落ちた。				
被害分類	橋梁の被害	被害金額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	20~30

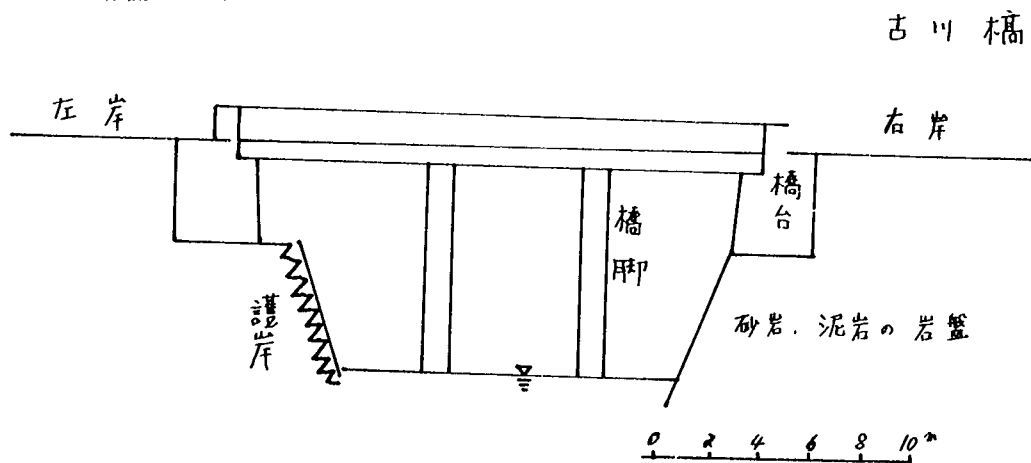
被害箇所の現況断面スケッチ

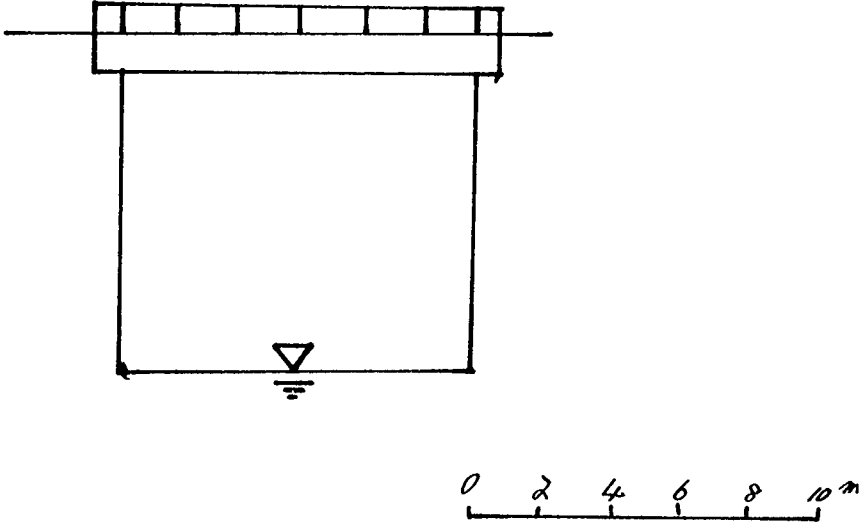
古川上橋



調 査 地 点	16 265				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 1 6				
路 線 名	一般国道128号				
所 在 地	千葉県安房郡九山町古川				
地 形 区 分	1.山地 2.火山地 3.丘陵地 4.台地 ⑤段丘地 6.低地 7.その他()				
位 置 ・ 標 高	1.頂部 2.中腹 ③山裾 4.谷部 5.平地 6.その他()				
後 背 地 の 利 用	1.山林 2.畑 3.水田 ④宅地 5.果樹園 6.荒地 7.河原 8.その他()				
表 層 地 質 区 分	1.未固結堆積物 2.半固結堆積物 ③.固結堆積物 4.変成岩 5.火山性岩石 6.深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	鮮 新 世			
傾 斜 区 分	1		起 状 量	1	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1.盛土() m 2.切土() m 3.切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④平地				
被 害 の 状 況	当時は木造橋であったが被害は殆んど受けなかった。付近家屋は銀行を残し他は全部倒壊した。橋巾は現在5.5 mであるが当時は2間(3.6 m)巾であった。水面は現在より2 m程高く、橋脚を支持している岩盤もほどそれに近いレベルにあったが、S 2 6年の改修で現状になった。				
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	1,000~5,000円 1箇所	地震断層からの距離	20~30

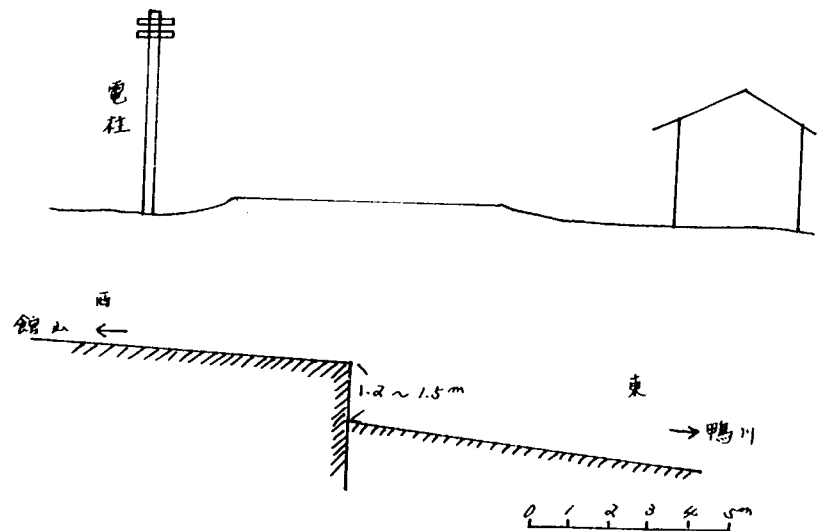
被害箇所の現況断面スケッチ

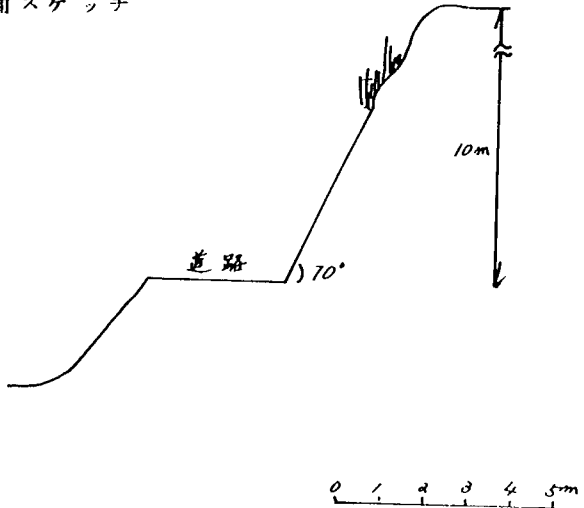


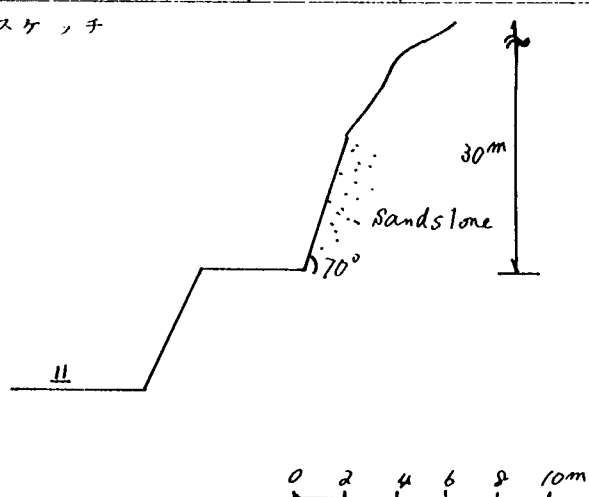
調査地点	No 266				
調査年月日	S 5 3. 8. 1 7				
路線名	一般県道187号吉尾千倉線				
所在地	千葉県安房郡丸山町新田				
地形区分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 ⑤段丘地 6. 低地 7. その他 ()				
位置・標高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 ④谷部 5. 平地 6. その他 ()				
後背地の利用	1. 山林 ②畑 ③水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他 ()				
表層地質区分	①未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物				
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時代区分	沖 積 期			
傾斜区分	1	起 状 量	1		
地下水位・湧水					
現況道路形状	1. 盛土 () m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被害の状況	(80才男性)この橋が落ちた。当時は石造りのめがね橋であった。				
被害分類	橋梁の被害	被害金額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	20~30
被害箇所の現況断面スケッチ					
					
					

調 査 地 点	No 269			
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 1 6			
路 線 名	一般国道128号			
所 在 地	千葉県安房郡丸山町加茂			
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥低地 7. その他 ()			
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 ③山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他 ()			
後 背 地 の 利 用	1. 山林 ②畑 3. 水田 ④宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他 ()			
表 層 地 質 区 分	①未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類			
	時 代 区 分	沖 積 期		
傾 斜 区 分	1	起 状 量	1	
地 下 水 位 ・ 湧 水				
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④平地			
被 害 の 状 況	道路を横断する1.2～1.5mの断層崖が出来、沖積低地が発達している東方向が落ちた。 亀裂も道路を横断する方向に出来、人家に達した。			
被 害 分 類	路面上の大規模な亀裂または盛土の被害	被 害 金 額	1,000～5,000円 1箇所	地震断層からの距離 20～30

被害箇所の現況断面スケッチ

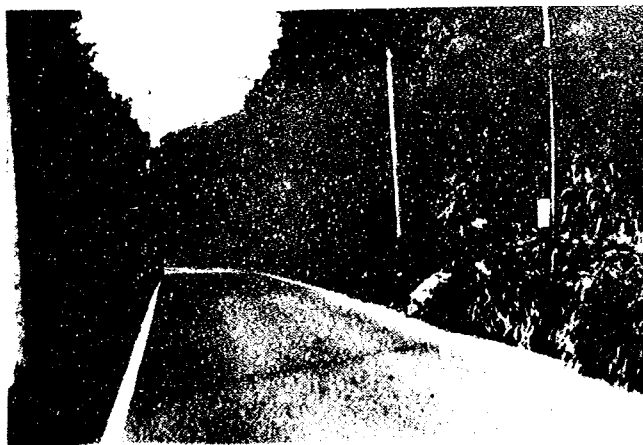
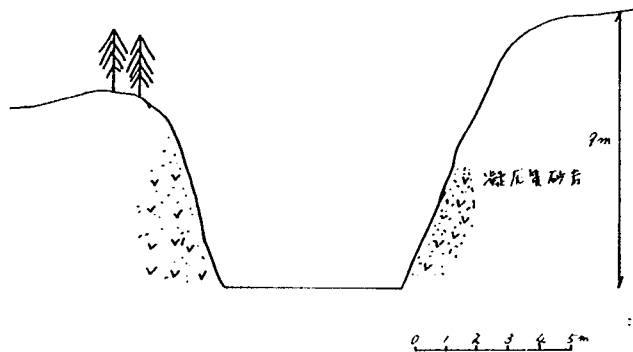


調 査 地 点	No 270				
調 査 年 月 日	S 53. 8. 17				
路 線 名	一般国道128号(付近)				
所 在 地	千葉県安房郡丸山町新田				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 ③ 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 6. 低地 7. その他()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 ③ 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他()				
後 背 地 の 利 用	① 山林 ② 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他()				
表 層 地 質 区 分	1. 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 ③ 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	鮮 新 世			
傾 斜 区 分	1	起 状 量	1		
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土() m ② 切土(4) m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被 害 の 状 況	旧道の崖の崩壊と推定				
被 害 分 類	切土の被害	被 害 金 額	1,000~5,000 1箇所	地震断層からの距離	20~30
被害箇所の現況断面スケッチ					
					
					

調 査 地 点	No 272				
調 査 年 月 日	S 53. 8.17				
路 線 名	一般県道296号和田丸山館山線(付近)				
所 在 地	千葉県安房郡丸山町杵見				
地 形 区 分	1.山地 2.火山地 ③丘陵地 4.台地 5.段丘地 6.低地 7.その他()				
位 置 ・ 標 高	1.頂部 2.中腹 ③山裾 4.谷部 5.平地 6.その他()				
後 背 地 の 利 用	①山林 2.畑 ③水田 4.宅地 5.果樹園 6.荒地 7.河原 8.その他()				
表 層 地 質 区 分	1.未固結堆積物 2.半固結堆積物 ③固結堆積物 4.変成岩 5.火山性岩石 6.深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	鮮 新 世			
傾 斜 区 分	3		起 状 量	1	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1.盛上()m ②切土(5)m 3.切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4.平地				
被 害 の 状 況	崖の崩壊と推定				
被 害 分 類	切土の被害	被 害 金 額	1000~5,000 一箇所	地震断層からの距離	20~30
被害箇所の現況断面スケッチ					
					
					

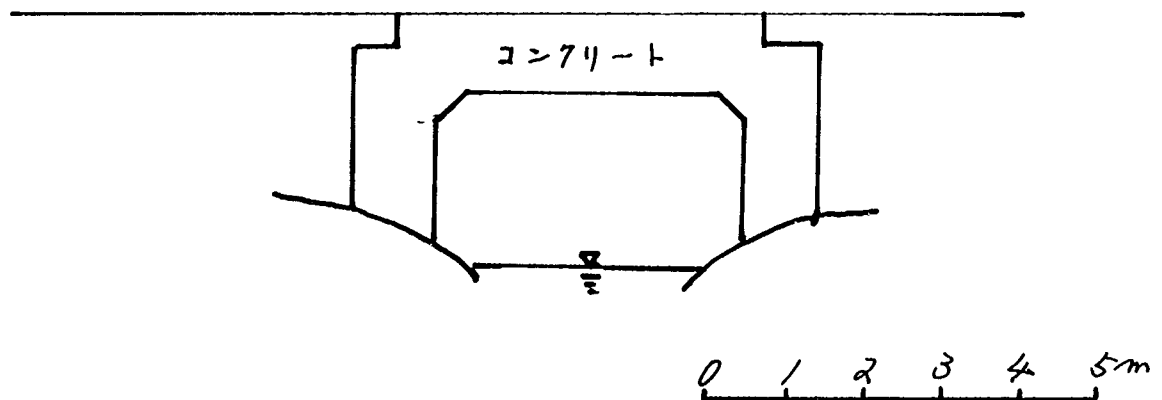
調 査 地 点	No 275				
調 査 年 月 日	S 53. 8. 16				
路 線 名	一般県道296号和田丸山館山線				
所 在 地	千葉県安房郡丸山町根方				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 ③ 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 6. 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 ③ 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	① 山林 2. 畑 ③ 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	1. 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 ③ 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	鮮 新 世			
傾 斜 区 分	3		起 状 量	1	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m ② 切土 (4) m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被 害 の 状 況	被害なし。トンネル付近は大雨による土砂の崩壊がしばしばあった。				
被 害 分 類	切土の被害	被 害 金 額	1,000~5,000円 一箇所	地震断層からの距離	20~30

被害箇所の現況断面スケッチ



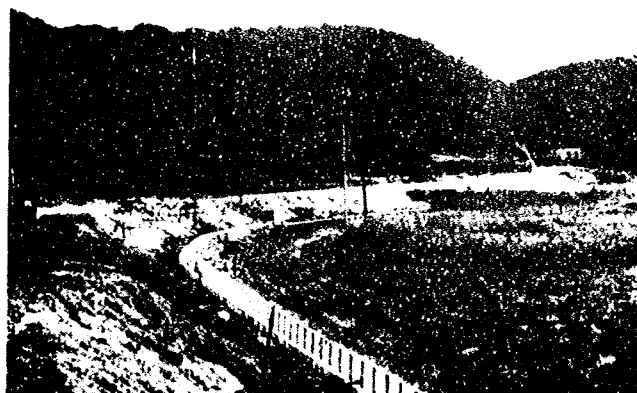
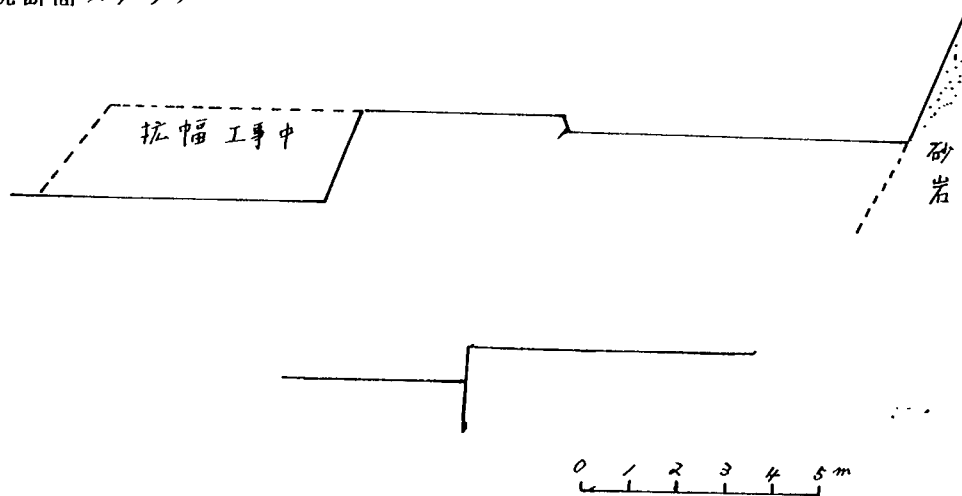
調 査 地 点	No 278		
調 査 年 月 日	S 53. 8. 17		
路 線 名	一般県道296号和田丸山館山線付近		
所 在 地	千葉県安房郡三芳村山名		
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥ 低地 7. その他 ()		
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤ 平地 6. その他 ()		
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 ③ 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他 ()		
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類		
	時 代 区 分	沖 積 期	
傾 斜 区 分	3	起 状 量	1
地 下 水 位 ・ 湧 水			
現 況 道 路 形 状	① 盛土 (1.0) m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地		
被 害 の 状 況	当時は木造のめがね橋であった。橋台がくずれたが交通には支障なかった。道路の高さは当時は水田とほぼ同じレベルにあり、しばしば浸水した。		
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所 地震断層からの距離 20~30

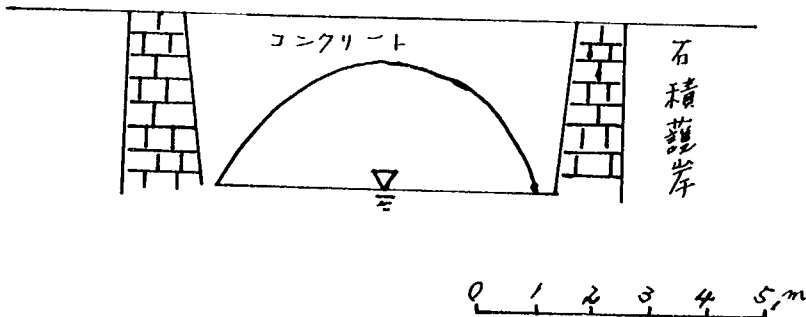
被害箇所の現況断面スケッチ



調 査 地 点	No 2 7 9				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 1 7				
路 線 名	一般県道 2 9 6 号 和田丸山館山線付近				
所 在 地	千葉県安房県三芳村山名				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥ 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 ④ 谷部 5. 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 ③ 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	2		起 状 量	1	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	① 盛土 (2.0) m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被 害 の 状 況	道路を横断して数箇所に断層差、亀裂が生じたが、落ちた方向は不明である。また、この道路の南側の谷部の水田が盛り上がった。				
被 害 分 類	路面上の大規模な亀裂または盛土の被害	被 害 金 額	1,000円以下5箇所	地震断層からの距離	20~30

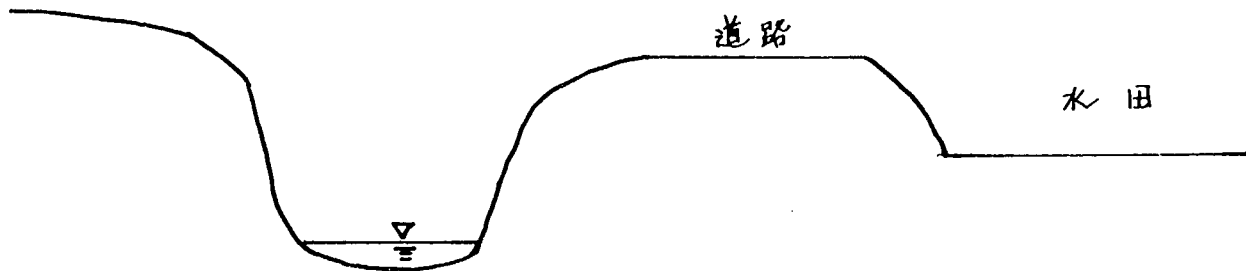
被害箇所の現況断面スケッチ



調 査 地 点	No 280				
調 査 年 月 日	S 53. 8.17				
路 線 名	一般県道296号和田丸山館山線付近				
所 在 地	千葉県安房郡三芳村本郷				
地 形 区 分	1.山地 2.火山地 3.丘陵地 4.台地 5.段丘地 ⑥低地 7.その他()				
位 置 ・ 標 高	1.頂部 2.中腹 3.山裾 ④谷部 5.平地 6.その他()				
後 背 地 の 利 用	1.山林 2.畑 ③水田 4.宅地 5.果樹園 6.荒れ地 7.河原 8.その他()				
表 層 地 質 区 分	①未固結堆積物 2.半固結堆積物 3.固結堆積物 4.変成岩 5.火山性岩石 6.深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	3		起 状 量	3	
地 下 水 位 ・ 湧 水	この付近の井戸の水位は一般的に下がり、涸渇したものもあった。				
現 況 道 路 形 状	1.盛土()m 2.切土()m 3.切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④平地				
被 害 の 状 況	当時は木造で、現在使用されているものより約20m下流にあった。震災の被害は受けたが、交通に支障はなかった。その他、川に面した路肩の崩壊もあった。				
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	1,000~5,000円 1箇所	地震断層からの距離	20~30
被害箇所の現況断面スケッチ					
現在 廃止され 竹やぶに覆れている。 					
					

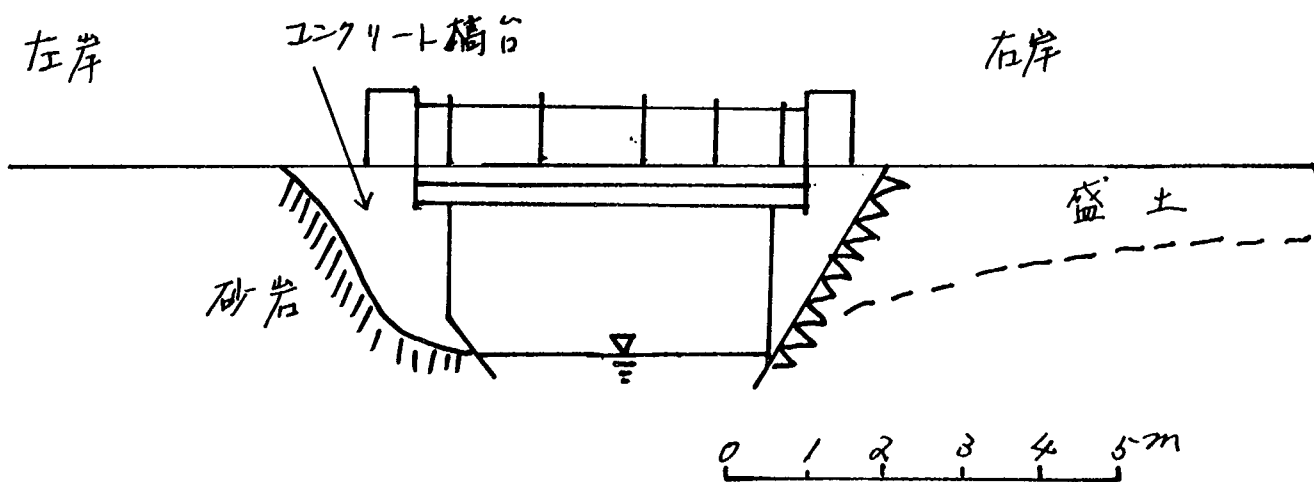
調 査 地 点	No 281				
調 査 年 月 日	S 53. 8.17				
路 線 名	一般県道296号和田丸山館山線付近				
所 在 地	千葉県安房郡三芳村海老敷				
地 形 区 分	1.山地 2.火山地 3.丘陵地 4.台地 5.段丘地 ⑥低地 7.その他()				
位 置 ・ 標 高	1.頂部 2.中腹 3.山裾 ④谷部 5.平地 6.その他()				
後 背 地 の 利 用	1.山林 2.畑 ③水田 4.宅地 5.果樹園 6.荒れ地 7.河原 8.その他()				
表 層 地 質 区 分	①未固結堆積物 2.半固結堆積物 3.固結堆積物 4.変成岩 5.火山性岩石 6.深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	3		起 状 量	3	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	①盛土(1.5) m 2.切土() m 3.切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4.平地				
被 害 の 状 況	道路に段差, 亀裂, 路肩の崩壊等が何箇所にも生じた。しかし, 歩行や荷車の交通には支障なかった。				
被 害 分 類	路面上の大規模な亀裂または盛土の被害	被 害 金 額	1,000~5,000 円 1箇所	地震断層からの距離	20~30

被害箇所の現況断面スケッチ



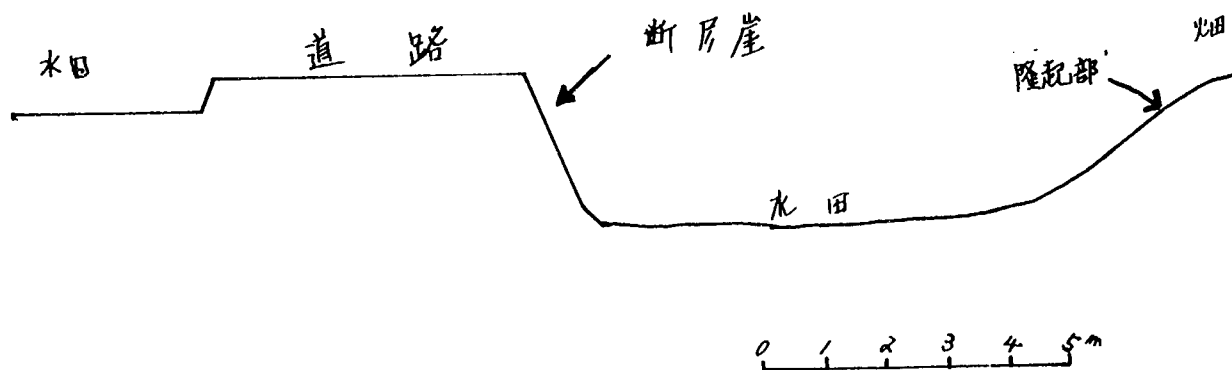
調 査 地 点	㍻ 2 8 3				
調 査 年 月 日	S 5 3 . 8 . 1 7				
路 線 名	一般県道 2 9 6 号和田丸山館山線付近				
所 在 地	千葉県安房郡三芳村海老敷				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 ③ 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 6. 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 ③ 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 ② 畑 ③ 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	1. 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 ③ 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	中 新 世			
傾 斜 区 分	3		起 状 量	3	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	① 盛土 (2) m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被 害 の 状 況	当時は木造の平橋であり、被害は受けたが交通可能の状態であった。				
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	1,000円以下 1箇所	地震断層からの距離	20~30

被害箇所の現況断面スケッチ



調査地点	No 284				
調査年月日	S 53. 8.18				
路線名	主要地方道279号富津館山線付近				
所在地	千葉県安房郡三芳村府中				
地形区分	1.山地 2.火山地 3.丘陵地 4.台地 5.段丘地 ⑥低地 7.その他()				
位置・標高	1.頂部 2.中腹 3.山裾 4.谷部 ⑤平地 6.その他()				
後背地の利用	1.山林 ②畑 ③水田 4.宅地 5.果樹園 6.荒地 7.河原 8.その他()				
表層地質区分	①未固結堆積物 2.半固結堆積物 3.固結堆積物 4.変成岩 5.火山性岩石 6.深成岩および一部変成岩類				
	時代区分	沖 積 期			
傾斜区分	1	起 状 量	0		
地下水位・湧水					
現況道路形状	①盛土(0.5) m 2.切土() m 3.切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4.平地				
被害の状況	東西方向に約600mにわたり断層が生じ、道路の南側が約2m落ちた。これに伴い、断層崖の南側が隆起した。現在もこの道路を中心に南北の水田に段差が見られる。隆起部は耕地整理で大分修復されたが、現在も相当な面積にわたり残っている。				
被害分類	路面上の大規模な亀裂または盛土の被害	被害金額	1,000~5,000 1箇所	地震断層からの距離	20~30

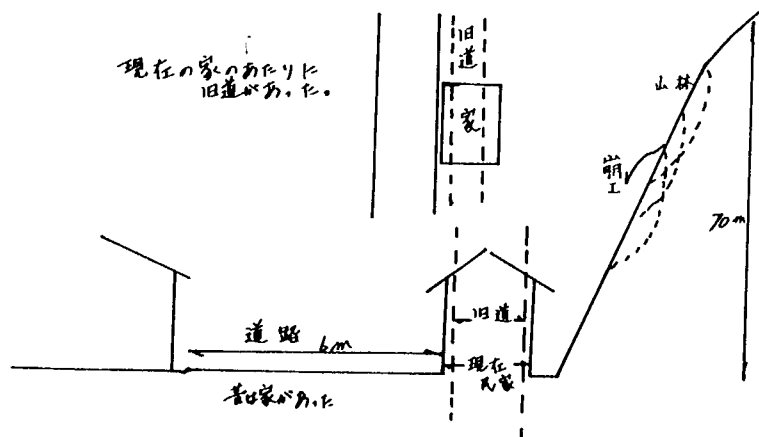
被害箇所の現況断面スケッチ

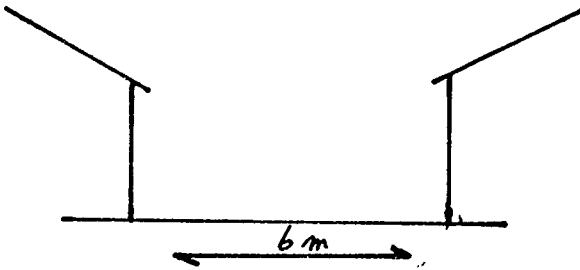


調 査 地 点	No 285				
調 査 年 月 日	S 53. 8. 18				
路 線 名	主要地方道279号富津館山線付近				
所 在 地	千葉県安房郡三芳村広瀬				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥ 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤ 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 ② 畑 ③ 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	1	起 状 量	0		
地 下 水 位 ・ 湧 水	隆起部の亀裂から地下水位が上昇したのが見られた。				
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④ 平地				
被 害 の 状 況	東西方向に約3mの幅で隆起が起こり、東側にある丘陵に達した。隆起高は約1mでこの地点からより西側には変化がなかった。現在この地点の隆起部は残っているが、東側は整理され水田となっている。				
被 害 分 類	路面上の大規模な亀裂または盛土の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	20~30
被害箇所の現況断面スケッチ					

調査地点	No 286				
調査年月日	S 53. 5. 10				
路線名	一般国道127号				
所在地	千葉県館山市那古				
地形区分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥低地 7. その他 ()				
位置・標高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤平地 6. その他 ()				
後背地の利用	①山林 2. 畑 3. 水田 ④宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他 ()				
表層地質区分	①未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物				
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
時代区分	沖 積 期				
傾斜区分	1		起 状 量	2	
地下水位・湧水					
現況道路形状	1. 盛土 () m ②切土 (40~70) m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被害の状況	現国道と斜面の間の人家の附近が、当時は道路だった。斜面が崩壊した。				
被害分類	切上の被害	被害金額	5,000~2,000 円 1箇所	地震断層からの距離	20~30

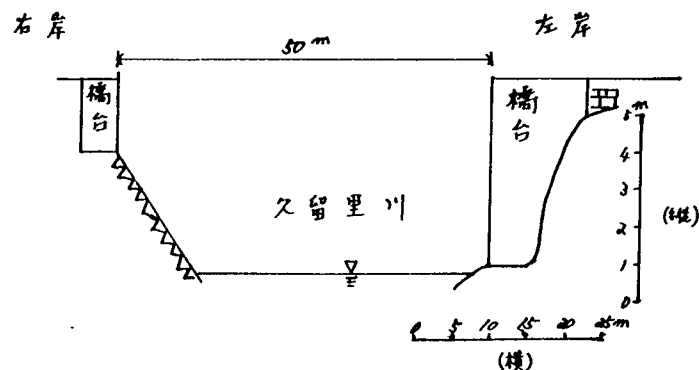
被害箇所の現況断面スケッチ



調 査 地 点	No 288				
調 査 年 月 日	S 53. 5. 10				
路 線 名	一般国道127号				
所 在 地	千葉県館山市正木				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥ 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤ 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 3. 水田 ④ 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物				
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	1		起 状 量	0	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m 2. 切上 () m 3. 切土 盛土 $\frac{m}{m}$ ④ 平地				
被 害 の 状 況	道路が地割れして、へドロ状のものが噴出した。				
被 害 分 類	路面上の小規模な亀裂	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	20~30
被害箇所の現況断面スケッチ					
					
					

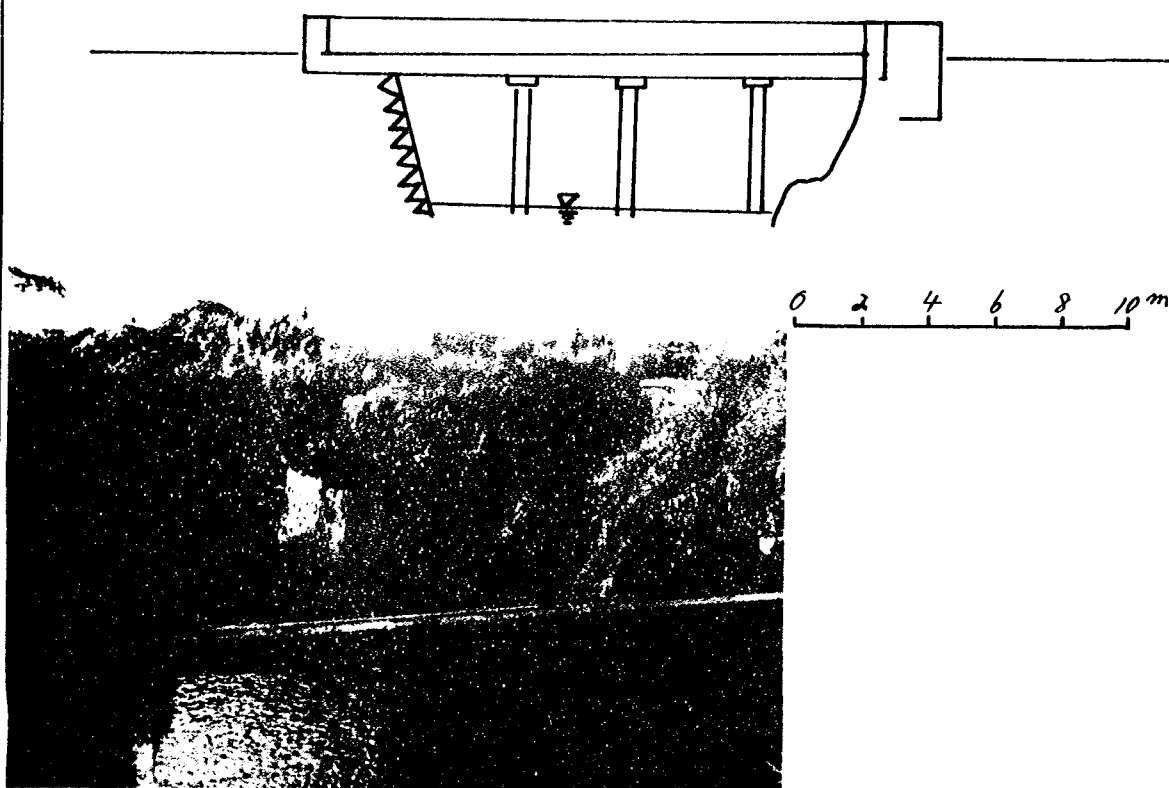
調査地点	No 290		
調査年月日	S 53. 8. 18		
路線名	主要地方道 279号 富津館山線		
所在地	千葉県館山市湊		
地形区分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ④ 低地 7. その他 ()		
位置・標高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤ 平地 6. その他 ()		
後背地の利用	1. 山林 2. 畑 3. 水田 ④ 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()		
表層地質区分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物		
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類		
傾斜区分	1	起 状 量	1
地下水位・湧水			
現況道路形状	1. 盛土 () m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地		
被害の状況	震災時は新設の木造橋であったが、落橋した。この橋より南側に於いて279号に3箇所亀裂が生じたが、大人の通行は可能であった。		
被害分類	橋梁の被害	被害金額	5,000~20,000円 1箇所
		地震断層からの距離	10~20

被害箇所の現況断面スケッチ



調 査 地 点	No 293			
調 査 年 月 日	S 53. 8. 15			
路 線 名	主要地方道279号富津館山線付近			
所 在 地	千葉県館山市府中台			
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥低地 7. その他 ()			
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤平地 6. その他 ()			
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 3. 水田 ④宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他 ()			
表 層 地 質 区 分	1. 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類			
	時 代 区 分	沖 積 期		
傾 斜 区 分	1	起 状 量	0	
地 下 水 位 ・ 湧 水				
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④平地			
被 害 の 状 況	当時は木造橋であり、右岸側の半分が座屈して交通不能となった。周辺の家屋も殆んど倒壊した。			
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離 20~30

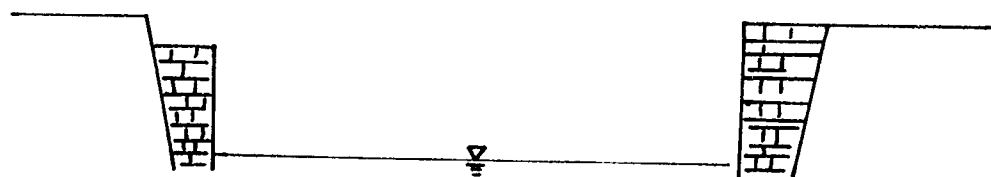
被害箇所の現況断面スケッチ

府中橋
(S. 13年竣工)

調 査 地 点	No 294				
調 査 年 月 日	S 53. 8. 15				
路 線 名	主要地方道279号富津館山線				
所 在 地	千葉県館山市高井				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 ③水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	①未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物				
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	1		起 状 量	1	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	①盛土(2.0) m 2. 切土() m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被 害 の 状 況	震災により落橋した。当時は現在のもの(S35.4竣工)より約30m下流にあり、木造であった。現在、石積みの橋台が残っている。				
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	10~20

被害箇所の現況断面スケッチ

鶏登り橋

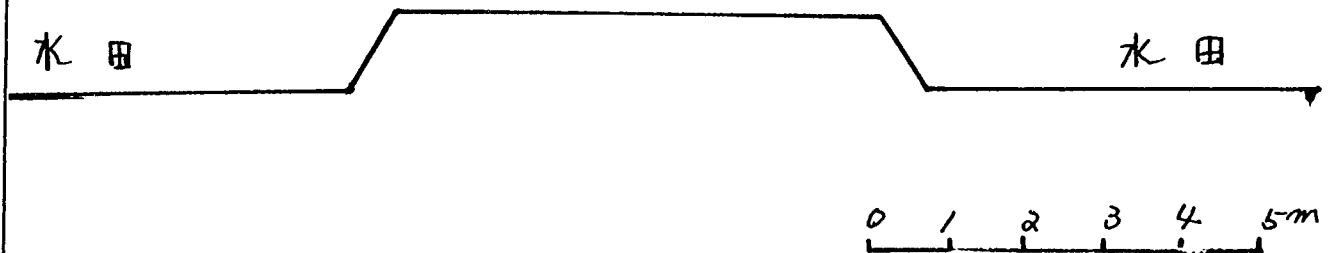


0 2 4 6 8 10m



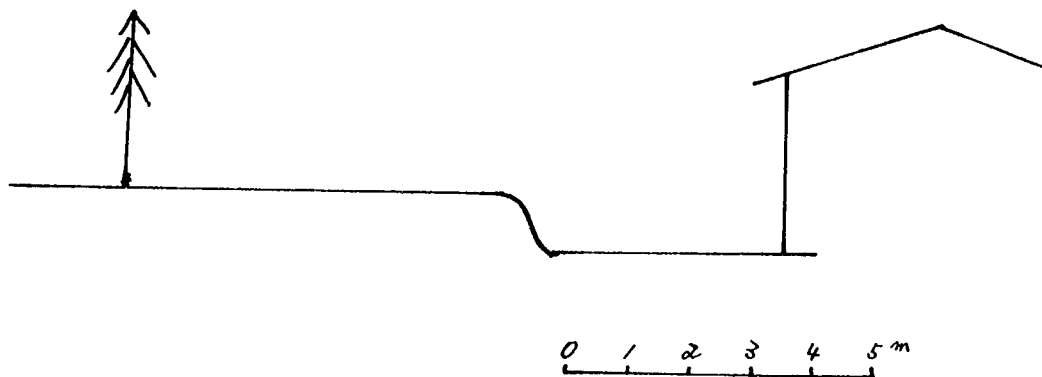
調 査 地 点	No 296				
調 査 年 月 日	S 53. 8.18				
路 線 名	主要地方道279号富津館山線				
所 在 地	千葉県館山市高井				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥ 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤ 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 ③ 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	1	起 状 量	1		
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	① 盛土 (1.0) m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被 害 の 状 況	亀裂が何箇所にも生じたが、被害程度は小さかった。				
被 害 分 類	路面上の小規模な亀裂	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	10~20

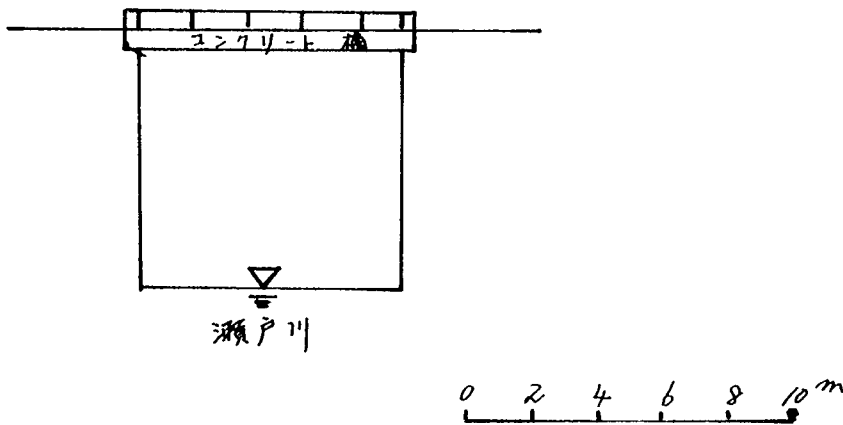
被害箇所の現況断面スケッチ



観 測 地 点	No 297		
観 測 年 月 日	S 53. 8. 18		
路 線 名	主要地方道279号富津館山線付近		
所 在 地	千葉県館山市高井		
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥ 低地 7. その他 ()		
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤ 平地 6. その他 ()		
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 3. 水田 ④ 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()		
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類		
	時 代 区 分	沖 積 期	
傾 斜 区 分	1	起 状 量	1
地 下 水 位 ・ 湧 水			
現 況 道 路 形 状	① 盛土 (1.0) m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地		
被 害 の 状 況	道路に亀裂が入ったが、小規模であった。		
被 害 分 類	路面上の小規模な亀裂	被 害 金 額	1,000円以下1箇所
		地震断層からの距離	10~20

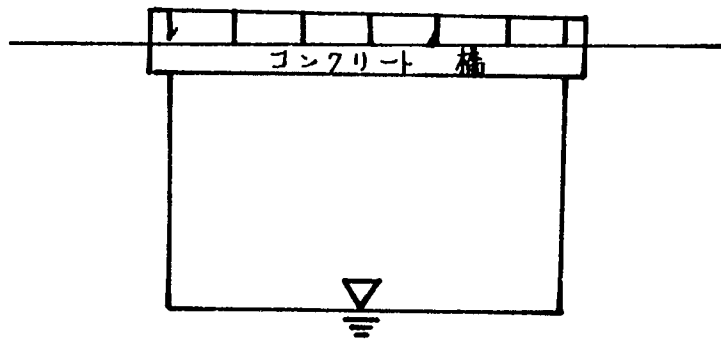
被害箇所の現況断面スケッチ



調 査 地 点	No 301				
調 査 年 月 日	S 53. 8. 17				
路 線 名	一般県道190号館山千倉線(付近)				
所 在 地	千葉県安房郡千倉町川合				
地 形 区 分	1.山地 2.火山地 3.丘陵地 4.台地 ⑤段丘地 6.低地 7.その他()				
位 置 ・ 標 高	1.頂部 2.中腹 3.山裾 ④谷部 5.平地 6.その他()				
後 背 地 の 利 用	1.山林 2.畑 ③水田 4.宅地 5.果樹園 6.荒れ地 7.河原 8.その他()				
表 層 地 質 区 分	①未固結堆積物 2.半固結堆積物 3.固結堆積物				
	4.変成岩 5.火山性岩石 6.深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	1		起 状 量	1	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1.盛土()m 2.切土()m 3.切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④平地				
被 害 の 状 況	この橋梁の被害と推定				
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	20~30
被害箇所の現況断面スケッチ					
					
					

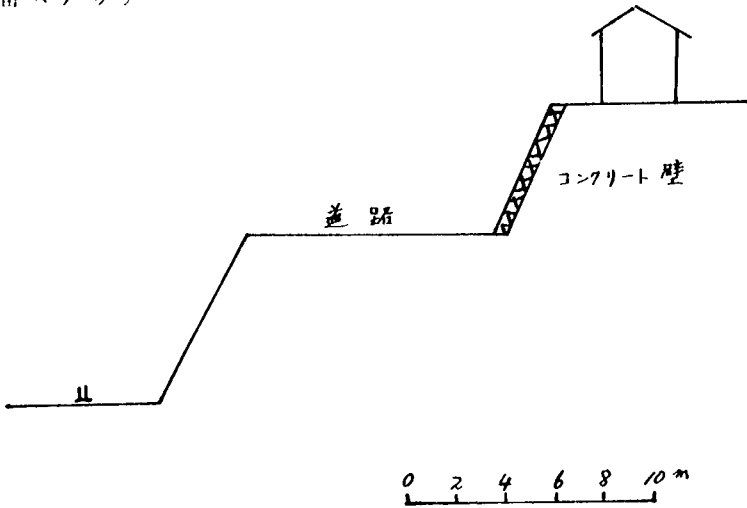
調査地点	6302		
調査年月日	S53. 8.17		
路線名	一般県道190号館山千倉線		
所在地	千葉県安房郡千倉町宇田		
地形区分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 ⑤ 段丘地 6. 低地 7. その他 ()		
位置・標高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 ④ 谷部 5. 平地 6. その他 ()		
後背地の利用	1. 山林 2. 畑 ③ 水田 ④ 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他 ()		
表層地質区分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類		
	時代区分	沖 積 期	
傾斜区分	1	起 状 量	1
地下水位・湧水			
現況道路形状	1. 盛土 () m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④ 平地		
被害の状況	橋梁の被害と推定		
被害分類	橋梁の被害	被害金額	1,000円以下1箇所 地震断層からの距離 20~30

被害箇所の現況断面スケッチ



0 2 4 6 8 10 m



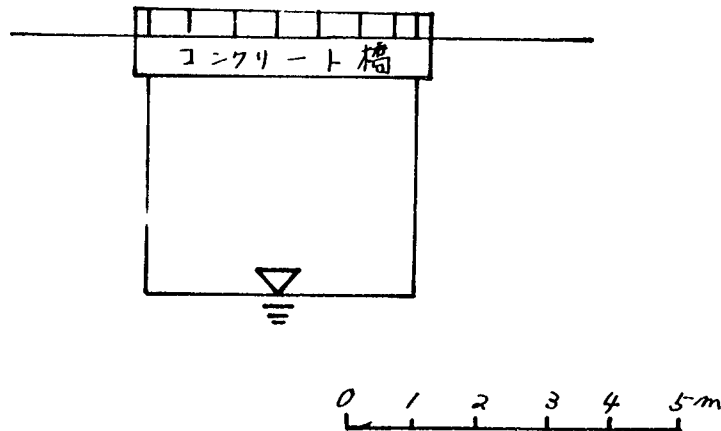
調 査 地 点	No 303				
調 査 年 月 日	S 53. 8. 17				
路 線 名	一般県道190号館山千倉線				
所 在 地	千葉県安房郡千倉町宇田				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 ③ 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 6. 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 ③ 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 3. 水田 ④ 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	1. 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 ③ 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	鮮 新 世			
傾 斜 区 分	3		起 状 量	1	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m ② 切土 (5) m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被 害 の 状 況	((70才女性) 橋はほとんど落ちたという。崖崩れに対する記憶ない) この妻が若干崩れたものと推定。				
被 害 分 類	切土の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	20~30
被害箇所の現況断面スケッチ					
					
					

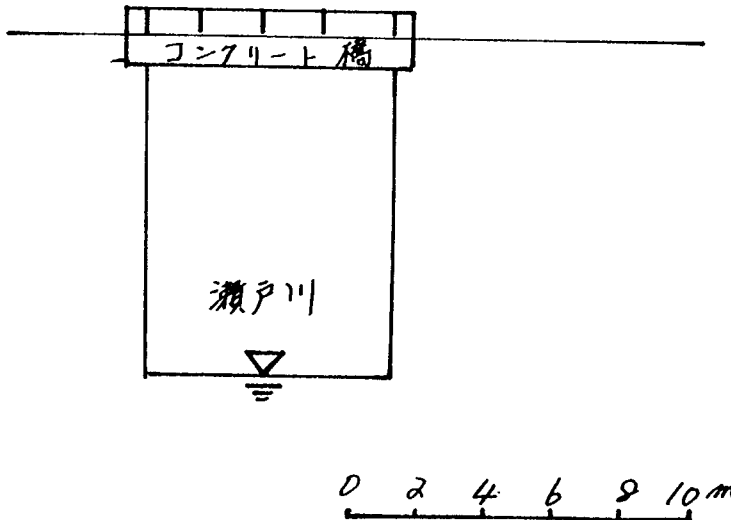
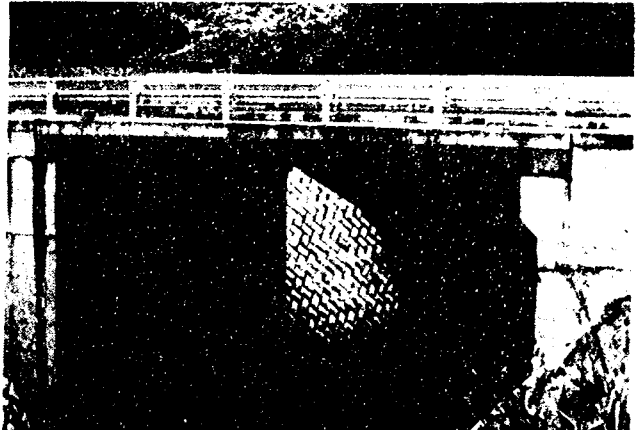
調査地点	No 304				
調査年月日	S 53. 8. 17				
路線名	一般県道190号館山千倉線				
所在地	千葉県館山市宝貝				
地形区分	1. 山地 2. 火山地 ③ 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 6. 低地 7. その他 ()				
位置・標高	1. 頂部 ② 中腹 3. 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他 ()				
後背地の利用	① 山林 2. 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()				
表層地質区分	1. 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 ③ 固結堆積物				
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
時代区分	鮮 新 世				
傾斜区分	3	起 状 量	1		
地下水位・湧水					
現況道路形状	1. 盛土 () m ② 切土 (10) m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被害の状況	崖崩れと推定。				
被害分類	切土の被害	被害金額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	20~30
被害箇所の現況断面スケッチ					

調 査 地 点	No 305				
調 査 年 月 日	S 53. 8.17				
路 線 名	一般県道190号館山千倉線				
所 在 地	千葉県安房郡千倉町宝貝				
地 形 区 分	1.山地 2.火山地 ③丘陵地 4.台地 5.段丘地 6.低地 7.その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1.頂部 2.中腹 ③山裾 4.谷部 5.平地 6.その他 ()				
後 背 地 の 利 用	①山林 2.畑 3.水田 4.宅地 5.果樹園 6.荒れ地 7.河原 8.その他 ()				
表 層 地 質 区 分	1.未固結堆積物 2.半固結堆積物 ③固結堆積物 4.変成岩 5.火山性岩石 6.深成岩および一部変成岩類				
時 代 区 分	鮮 新 世				
傾 斜 区 分	1		起 状 量	1	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1.盛土() m ②切土(3) m 3.切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4.平地				
被 害 の 状 況	崖崩れと推定。				
被 害 分 類	切土の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	20~30
被害箇所の現況断面スケッチ					

調査地点	No 306				
調査年月日	S 53. 8. 17				
路線名	一般県道192号館山大貫千倉線(付近)				
所在地	千葉県安房郡千倉町川戸				
地形区分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 ⑤ 段丘地 6. 低地 7. その他()				
位置・標高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 ④ 谷部 5. 平地 6. その他()				
後背地の利用	1. 山林 2. 畑 ③ 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他()				
表層地質区分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物				
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時代区分	沖 積 期			
傾斜区分	2		起 状 量	1	
地下水位・湧水					
現況道路形状	1. 盛土() m 2. 切土() m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④ 平地				
被害の状況	橋梁の被害と推定。				
被害分類	橋梁の被害	被害金額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	20~30

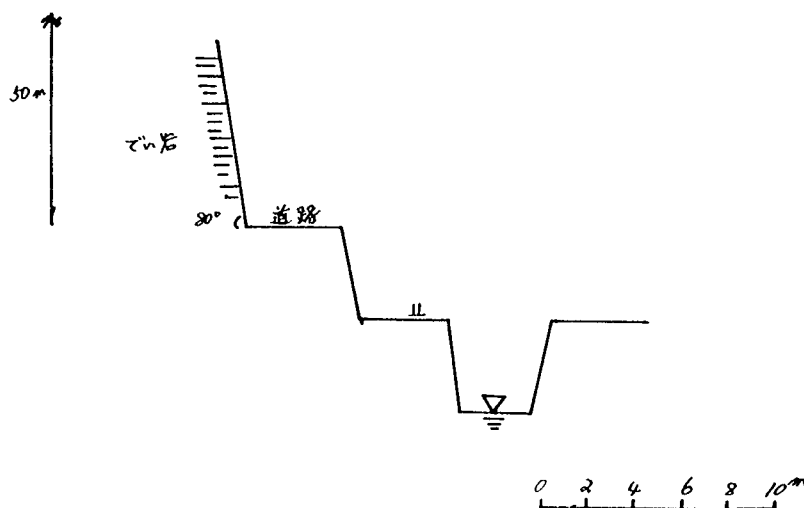
被害箇所の現況断面スケッチ

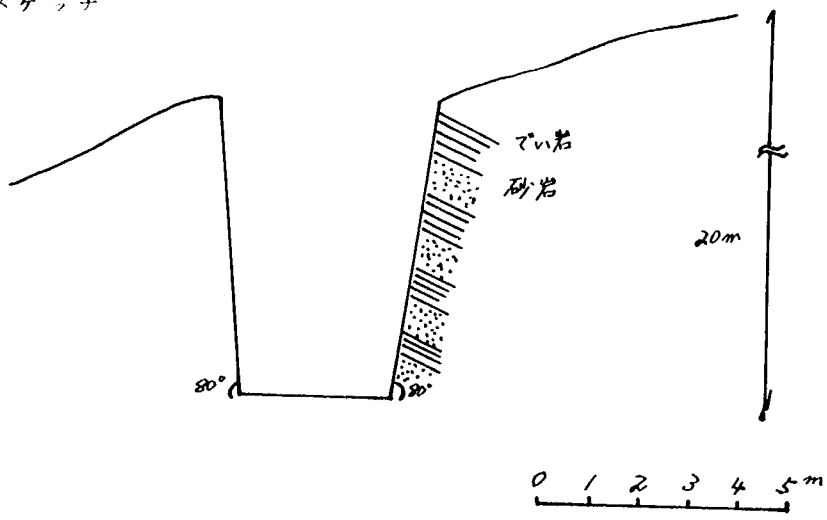


調 査 地 点	No. 307				
調 査 年 月 日	S 53. 8. 17				
路 線 名	一般県道192号館山大貫千倉線				
所 在 地	千葉県安房郡千倉町川戸				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 ⑤ 段丘地 6. 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 ④ 谷部 5. 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 ② 畑 3. 水田 ④ 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物				
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	3		起 状 量	1	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④ 平地				
被 害 の 状 況	橋梁の被害と推定。				
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	20~30
被害箇所の現況断面スケッチ					
					
					

調査地点	No 308				
調査年月日	S 53. 8. 17				
路線名	一般県道192号館山大貫千倉線(付近)				
所在地	千葉県安房郡千倉町川戸				
地形区分	1. 山地 2. 火山地 ③ 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 6. 低地 7. その他()				
位置・標高	1. 頂部 2. 中腹 ③ 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他()				
後背地の利用	① 山林 2. 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他()				
表層地質区分	1. 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 ③ 固結堆積物				
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時代区分	鮮 新 世			
傾斜区分	3		起 状 量	2	
地下水位・湧水					
現況道路形状	1. 盛土() m ② 切土(8) m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被害の状況	崖の崩壊と推定。				
被害分類	切土の被害	被害金額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	20~30

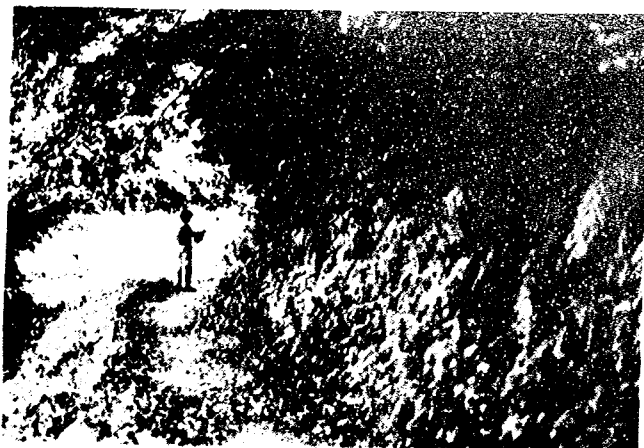
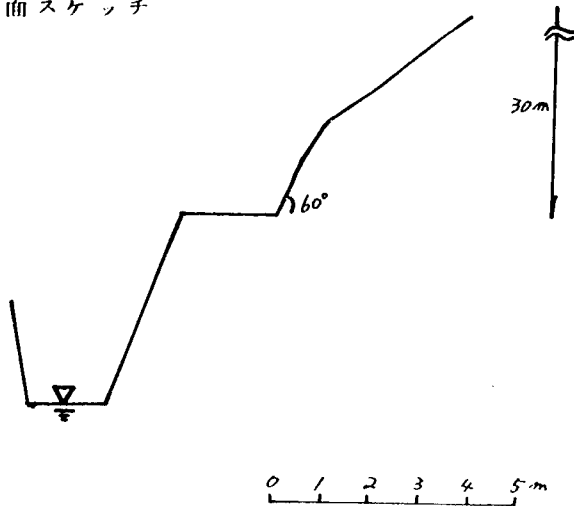
被害箇所の現況断面スケッチ



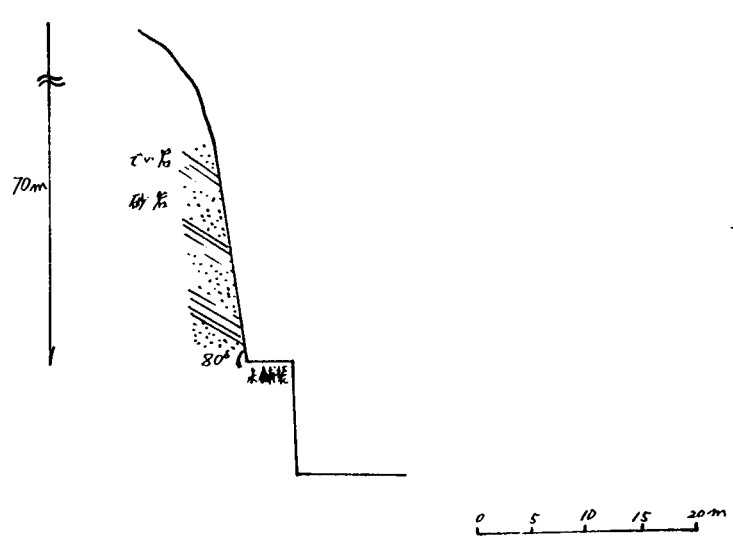
調 査 地 点	No 309				
調 査 年 月 日	S 53. 8.16				
路 線 名	一般県道192号館山大貫千倉線(付近)				
所 在 地	千葉県安房郡千倉町大貫				
地 形 区 分	1.山地 2.火山地 ③丘陵地 4.台地 5.段丘地 6.低地 7.その他()				
位 置 ・ 標 高	1.頂部 2.中腹 ③山裾 4.谷部 5.平地 6.その他()				
後 背 地 の 利 用	①山林 2.畑 3.水田 4.宅地 5.果樹園 6.荒れ地 7.河原 8.その他()				
表 層 地 質 区 分	1.未固結堆積物 2.半固結堆積物 ③固結堆積物 4.変成岩 5.火山性岩石 6.深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	鮮 新 世			
傾 斜 区 分	2		起 状 量	1	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1.盛土()m ②切土(6)m 3.切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4.平地				
被 害 の 状 況	(70才位の女性)特に道路に関する被害の記憶はない。この切り割りが崩壊したものと推定。				
被 害 分 類	切土の被害	被 害 金 額	1,000~5,000 1箇所	地震断層からの距離	10~20
被害箇所の現況断面スケッチ					
					
					

調査地点	No 310				
調査年月日	S 53. 8.17				
路線名	一般県道192号館山大貫千倉線(付近)				
所在地	千葉県安房郡千倉町大貫				
地形区分	1.山地 2.火山地 ③丘陵地 4.台地 5.段丘地 6.低地 7.その他()				
位置・標高	1.頂部 ②中腹 3.山裾 4.谷部 5.平地 6.その他()				
後背地の利用	①山林 2.畑 3.水田 4.宅地 5.果樹園 6.荒地 7.河原 8.その他()				
表層地質区分	1.未固結堆積物 2.半固結堆積物 ③固結堆積物 4.変成岩 5.火山性岩石 6.深成岩および一部変成岩類				
時代区分	鮮 新 世				
傾斜区分	3		起 状 量	2	
地下水位・湧水					
現況道路形状	1.盛土()m ②切土(2)m 3.切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4.平地				
被害の状況	崖崩れと推定。現在は大きな自動車は通行不可能なくらい、道巾は狭い。				
被害分類	切土の被害	被害金額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	10~20

被害箇所の現況断面スケッチ

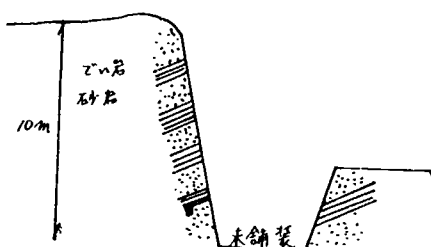


調 査 点	No 311				
調 査 年 月 日	S 53. 8.16				
路 線 名	一般県道192号館山大貫千倉線(付近)				
所 在 地	千葉県安房郡千倉町小松				
地 形 区 分	①山地 2.火山地 3.丘陵地 4.台地 5.段丘地 6.低地 7.その他()				
位 置 ・ 標 高	1.頂部 2.中腹 3.山裾 ④谷部 5.平地 6.その他()				
後 背 地 の 利 用	1.山林 ②畑 3.水田 4.宅地 5.果樹園 6.荒れ地 7.河原 8.その他()				
表 層 地 質 区 分	1.未固結堆積物 2.半固結堆積物 ③固結堆積物				
	4.変成岩 5.火山性岩石 6.深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	鮮 新 世			
傾 斜 区 分	2		起 状 量	1	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1.盛土()m 2.切土()m 3.切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4.平地				
被 害 の 状 況	(70才男性)旧道の路肩が崩れた。近くに橋があったが、これは壊れなかった。家は4~5軒を残して全部こわれた。				
被 害 分 類	路面上の大規模な亀裂または盛土の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	10~20
被害箇所の現況断面スケッチ					

調査地	No 312				
調査年月日	S 53. 8. 16				
路線名	一般県道192号館山大貫千倉線(付近)				
所在地	千葉県安房郡千倉町小松				
地形区分	①山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 6. 低地 7. その他()				
位置・標高	1. 頂部 ②中腹 3. 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他()				
後背地の利用	①山林 2. 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他()				
表層地質区分	1. 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 ③固結堆積物				
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
時代区分	鮮 新 世				
傾斜区分	3	起 状 量	2		
地下水位・湧水					
現況道路形状	1. 盛土() m ②切土(20) m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被害の状況	崖の崩壊と推定。				
被害分類	切土の被害	被害金額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	10~20
被害箇所の現況断面スケッチ					
					
					

調 査 地 点	No 313				
調 査 年 月 日	S 53. 8.15				
路 線 名	一般県道192号館山大貫千倉線				
所 在 地	千葉県安房郡千倉町大井倉				
地 形 区 分	①山地 2.火山地 3.丘陵地 4.台地 5.段丘地 6.低地 7.その他()				
位 置 ・ 標 高	1.頂部 ②中腹 3.山裾 4.谷部 5.平地 6.その他()				
後 背 地 の 利 用	①山林 2.畑 3.水田 4.宅地 5.果樹園 6.荒れ地 7.河原 8.その他()				
表 層 地 質 区 分	1.未固結堆積物 2.半固結堆積物 ③固結堆積物 4.変成岩 5.火山性岩石 6.深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	鮮 新 世			
傾 斜 区 分	5		起 状 量	2	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1.盛土()m ②切土(10)m 3.切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4.平地				
被 害 の 状 況	切り割りの崩壊と推定。				
被 害 分 類	切土の被害	被 害 金 額	1,000~5,000円 1箇所	地震断層からの距離	10~20

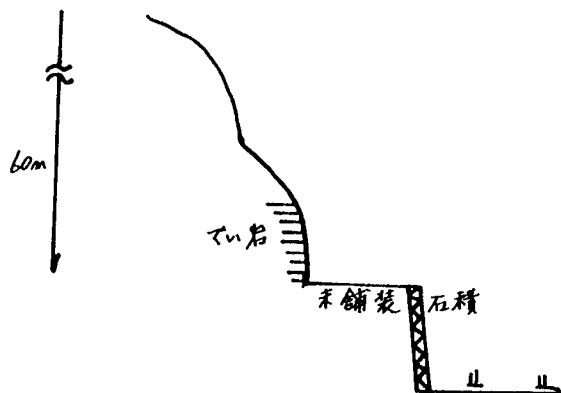
被害箇所の現況断面スケッチ



0 2 4 6 8 10m

調 査 地 点	No 314				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 1 6				
路 線 名	一般県道 298 号和田白浜館山自転車道線 (付近)				
所 在 地	千葉県安房郡千倉町岡瀬田				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 ③ 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 6. 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 ③ 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	① 山林 2. 畑 ③ 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	1. 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 ③ 固結堆積物				
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	鮮 新 世			
傾 斜 区 分	5		起 状 量	2	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m ② 切土 (1.5) m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被 害 の 状 況	切土の被害と判断				
被 害 分 類	切土の被害	被 害 金 額	1,000~5,000円 1箇所	地震断層からの距離	20~30

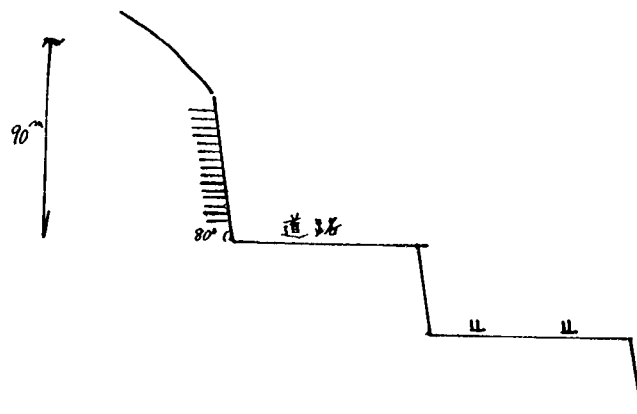
被害箇所の現況断面スケッチ



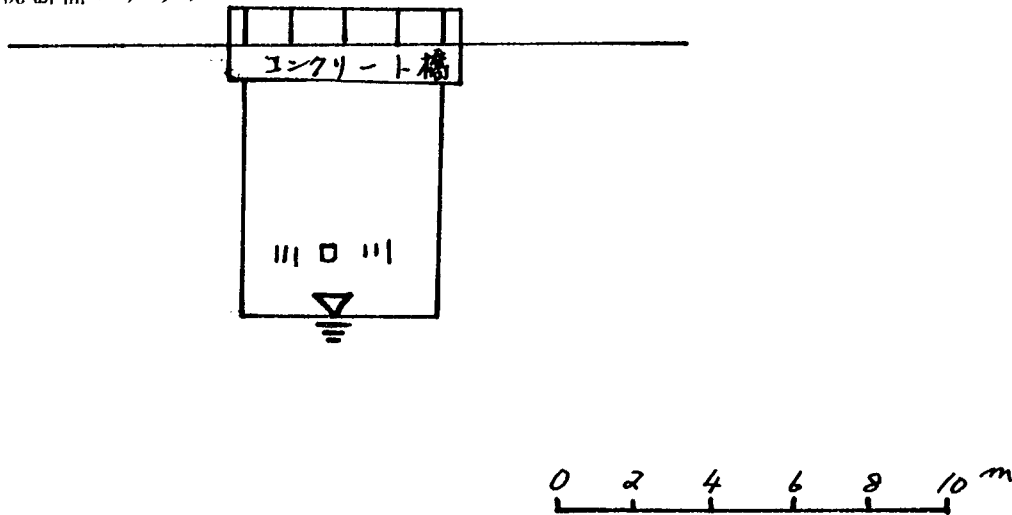
0 1 2 3 4 5 m

調 査 地 点	A315				
調 査 年 月 日	S53. 8.16				
路 線 名	一般県道298号和田白浜館山自転車道線				
所 在 地	千葉県安房郡千倉町忽戸				
地 形 区 分	①山地 2.火山地 3.丘陵地 4.台地 5.段丘地 6.低地 7.その他()				
位 置 ・ 標 高	1.頂部 2.中腹 ③山裾 4.谷部 5.平地 6.その他()				
後 背 地 の 利 用	①山林 2.畑 ③水田 4.宅地 5.果樹園 6.荒地 7.河原 8.その他()				
表 層 地 質 区 分	1.未固結堆積物 2.半固結堆積物 ③固結堆積物 4.変成岩 5.火山性岩石 6.深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	鮮 新 世			
傾 斜 区 分	2		起 状 量	2	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1.盛土()m ②切土(3)m 3.切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4.平地				
被 害 の 状 況	周辺の地形から判断して、崖の崩壊と推定。				
被 害 分 類	切土の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	10~20

被害箇所の現況断面スケッチ



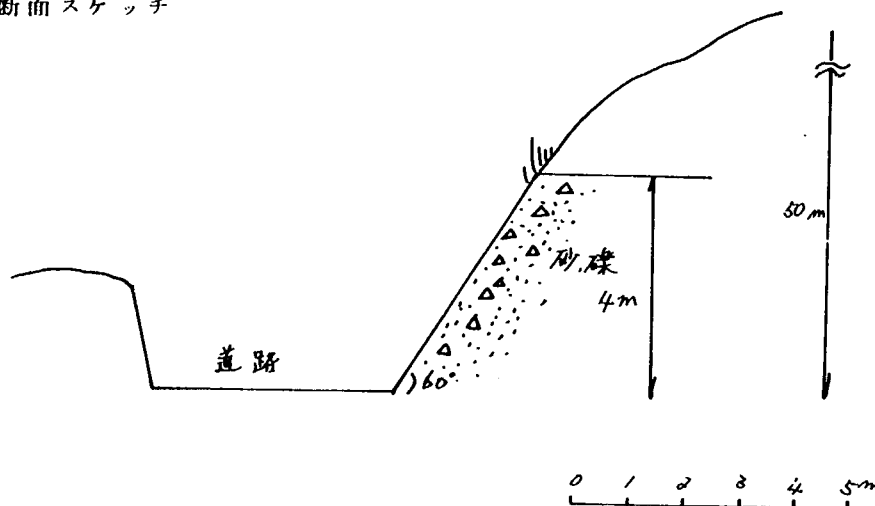
0 1 2 3 4 5m

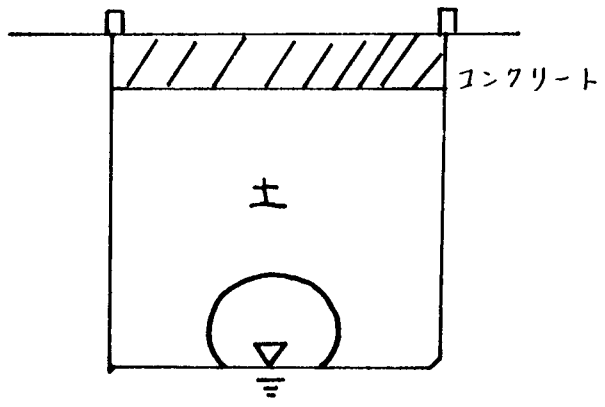
調 査 地 点	No 316				
調 査 年 月 日	S 53. 8. 16				
路 線 名	主要地方道35号白浜南三原線				
所 在 地	千葉県安房郡千倉町川口				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 ⑤ 段丘地 6. 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 ③ 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 3. 水田 ④ 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物				
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	1		起 状 量	2	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④ 平地				
被 害 の 状 況	(75才位の男性)このあたりは何も被害はなかった。橋梁の被害と推定。				
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	10~20
被害箇所の現況断面スケッチ					
					
					

調 査 地 点	No 317				
調 査 年 月 日	S 53. 8. 16				
路 線 名	一般県道192号館山大貫千倉線 (附近)				
所 在 地	千葉県安房郡千倉町大井倉				
地 形 区 分	①山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 6. 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 ④谷部 5. 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	①山林 2. 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	1. 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 ③固結堆積物				
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	鮮 新 世			
傾 斜 区 分	3		起 状 量	2	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m ②切土 (3) m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被 害 の 状 況	この場所の崖の崩壊と推定。				
被 害 分 類	切土の被害	被 害 金 額	1,000~5,000 1箇所	地震断層からの距離	10~20
被害箇所の現況断面スケッチ					

調 査 地 点	No 318		
調 査 年 月 日	S 53. 8. 15		
路 線 名	一般県道191号館山長尾線(付近)		
所 在 地	千葉県館山市船ヶ作		
地 形 区 分	①山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 6. 低地 7. その他()		
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 ②中腹 3. 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他()		
後 背 地 の 利 用	①山林 2. 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他()		
表 層 地 質 区 分	①未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 (崖錐堆積物)		
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類		
時 代 区 分	沖 積 期		
傾 斜 区 分	3	起 状 量	2
地 下 水 位 ・ 湧 水			
現 況 道 路 形 状	1. 盛土() m ②切土(4) m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地		
被 害 の 状 況	切り割りの崖錐堆積物の崩壊と推定。		
被 害 分 類	切土の被害	被 害 金 額	1,000~5,000円 1箇所
		地震断層からの距離	10~20

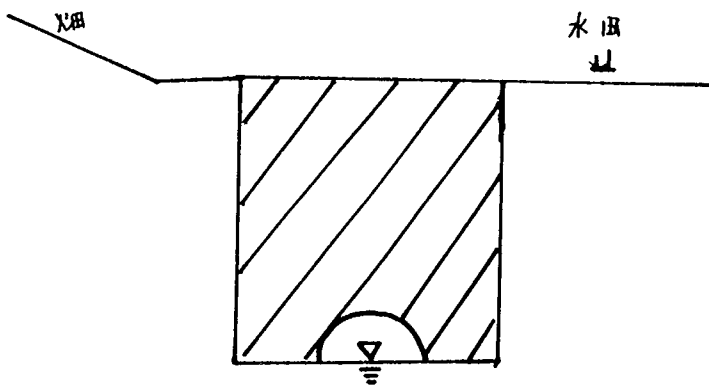
被害箇所の現況断面スケッチ



調 査 地 点	坂 3 1 9				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 1 6				
路 線 名	一般県道 1 9 1 号 館山長尾線 (付近)				
所 在 地	千葉県館山市畑				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 ⑤ 段丘地 6. 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 ④ 谷部 5. 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 ② 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	3		起 状 量	2	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④ 平地				
被 害 の 状 況	(65 才位の男性) 橋がほとんどこわれた。現在は土管を埋め込んで、暗渠となっている。当時は石造りのめがね橋であった。				
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	1,000~5,000 円 1 箇所	地震断層からの距離	10~20
被害箇所の現況断面スケッチ					
					
					

調査地点	No 320				
調査年月日	S 53. 8.16				
路線名	一般県道191号館山長尾線(付近)				
所在地	千葉県館山市畑				
地形区分	1.山地 2.火山地 3.丘陵地 4.台地 ⑤段丘地 6.低地 7.その他()				
位置・標高	1.頂部 2.中腹 3.山裾 ④谷部 5.平地 6.その他()				
後背地の利用	1.山林 ②畑 ③水田 4.宅地 5.果樹園 6.荒れ地 7.河原 8.その他()				
表層地質区分	①未固結堆積物 2.半固結堆積物 3.固結堆積物				
	4.変成岩 5.火山性岩石 6.深成岩および一部変成岩類				
	時代区分	沖 積 期			
傾斜区分	3		起 状 量	2	
地下水位・湧水					
現況道路形状	1.盛土()m 2.切土()m 3.切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④平地				
被害の状況	(65才位の男性)橋が崩壊した。現在は暗渠となっているが、当時は石造りのめがね橋であった。				
被害分類	橋梁の被害	被害金額	1,000~5,000円 1箇所	地震断層からの距離	10~20

被害箇所の現況断面スケッチ

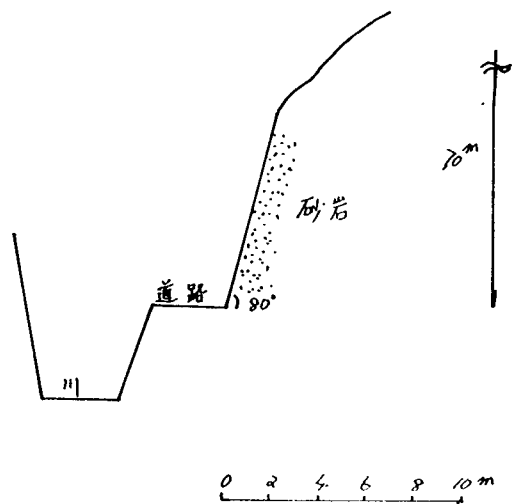


0 5 10 15 20 m



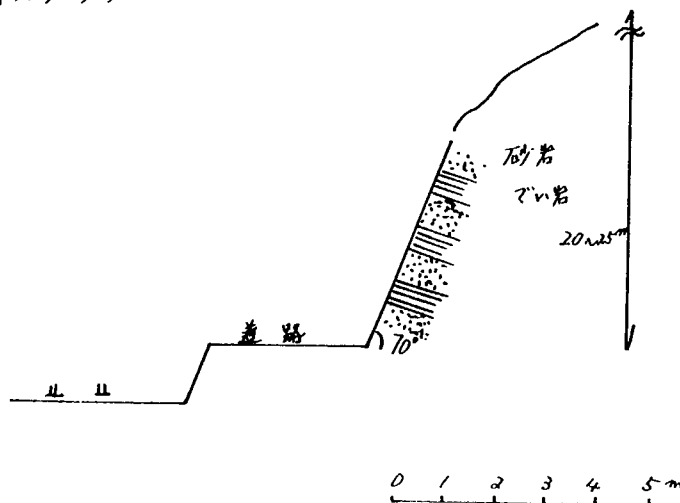
調 査 地 点	No 3 2 2				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 1 6				
路 線 名	一般県道191号館山長尾線(付近)				
所 在 地	千葉県館山市作名				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 ③ 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 6. 低地 7. その他()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 ③ 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他()				
後 背 地 の 利 用	① 山林 2. 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他()				
表 層 地 質 区 分	1. 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 ③ 固結堆積物				
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	鮮 新 世			
傾 斜 区 分	3		起 状 量	1	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土() m ② 切土(8) m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被 害 の 状 況	崖の崩壊と推定。				
被 害 分 類	切土の被害	被 害 金 額	1,000~5,000円 1ヶ所	地震断層からの距離	10~20

被害箇所の現況断面スケッチ



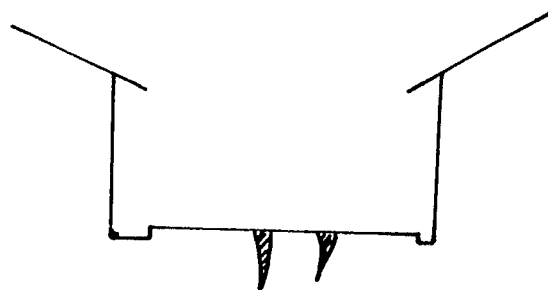
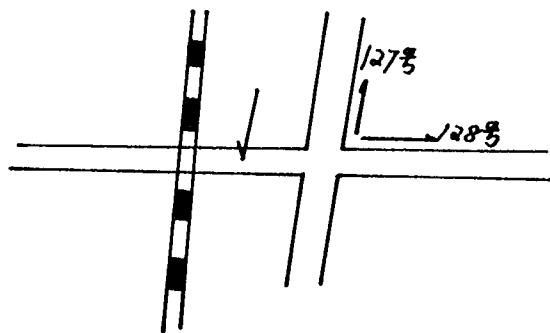
調 査 地 点	No 323				
調 査 年 月 日	S 53. 8. 16				
路 線 名	一般県道191号館山長尾線(付近)				
所 在 地	千葉県館山市作名				
地 形 区 分	1.山地 2.火山地 ③丘陵地 4.台地 5.段丘地 6.低地 7.その他()				
位 置 ・ 標 高	1.頂部 2.中腹 ③山裾 4.谷部 5.平地 6.その他()				
後 背 地 の 利 用	①山林 2.畑 3.水田 4.宅地 5.果樹園 6.荒れ地 7.河原 8.その他()				
表 層 地 質 区 分	1.未固結堆積物 2.半固結堆積物 ③固結堆積物				
	4.変成岩 5.火山性岩石 6.深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	鮮 新 世			
傾 斜 区 分	3		起 状 量	1	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1.盛土()m ②切土(4)m 3.切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4.平地				
被 害 の 状 況	崖の崩壊と推定。				
被 害 分 類	切土の被害	被 害 金 額	1,000~5,000円 1箇所	地震断層からの距離	10~20

被害箇所の現況断面スケッチ



調 査 地 点	6325				
調 査 年 月 日	S 53. 5. 10				
路 線 名	一般国道127号附近市道				
所 在 地	千葉県館山市鏡ヶ浦				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥低地 7. その他()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤平地 6. その他()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 3. 水田 ④宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他()				
表 層 地 質 区 分	①未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物				
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	1		起 状 量	0	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土() m 2. 切土() m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④平地				
被 害 の 状 況					
被 害 分 類	路面上の小規模な亀裂	被 害 金 額	5,000~20,000円 1箇所	地震断層からの距離	10~20

被害箇所の現況断面スケッチ



縦断方向にキ裂2ヶ所

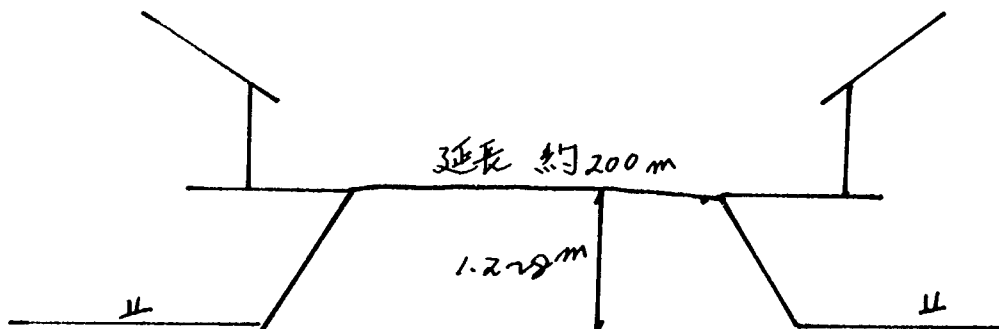
巾約20m

周囲の家屋はほとんど倒壊



調 査 地 点	No 3 2 6		
調 査 年 月 日	S 5 3. 5. 1 0		
路 線 名	主要地方道館山白浜線		
所 在 地	千葉県館山市内		
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥ 低地 7. その他 ()		
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤ 平地 6. その他 ()		
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 3. 水田 ④ 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他 ()		
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類		
	時 代 区 分	沖 積 期	
傾 斜 区 分	1	起 状 量	2
地 下 水 位 ・ 湧 水			
現 況 道 路 形 状	① 盛土 (1.2~8) m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④ 平地		
被 害 の 状 況			
被 害 分 類	路面上の大規模な規 亀または盛土の被害	被 害 金 額	1,000~5,000円 1箇所
		地震断層からの距離	10~20

被害箇所の現況断面スケッチ



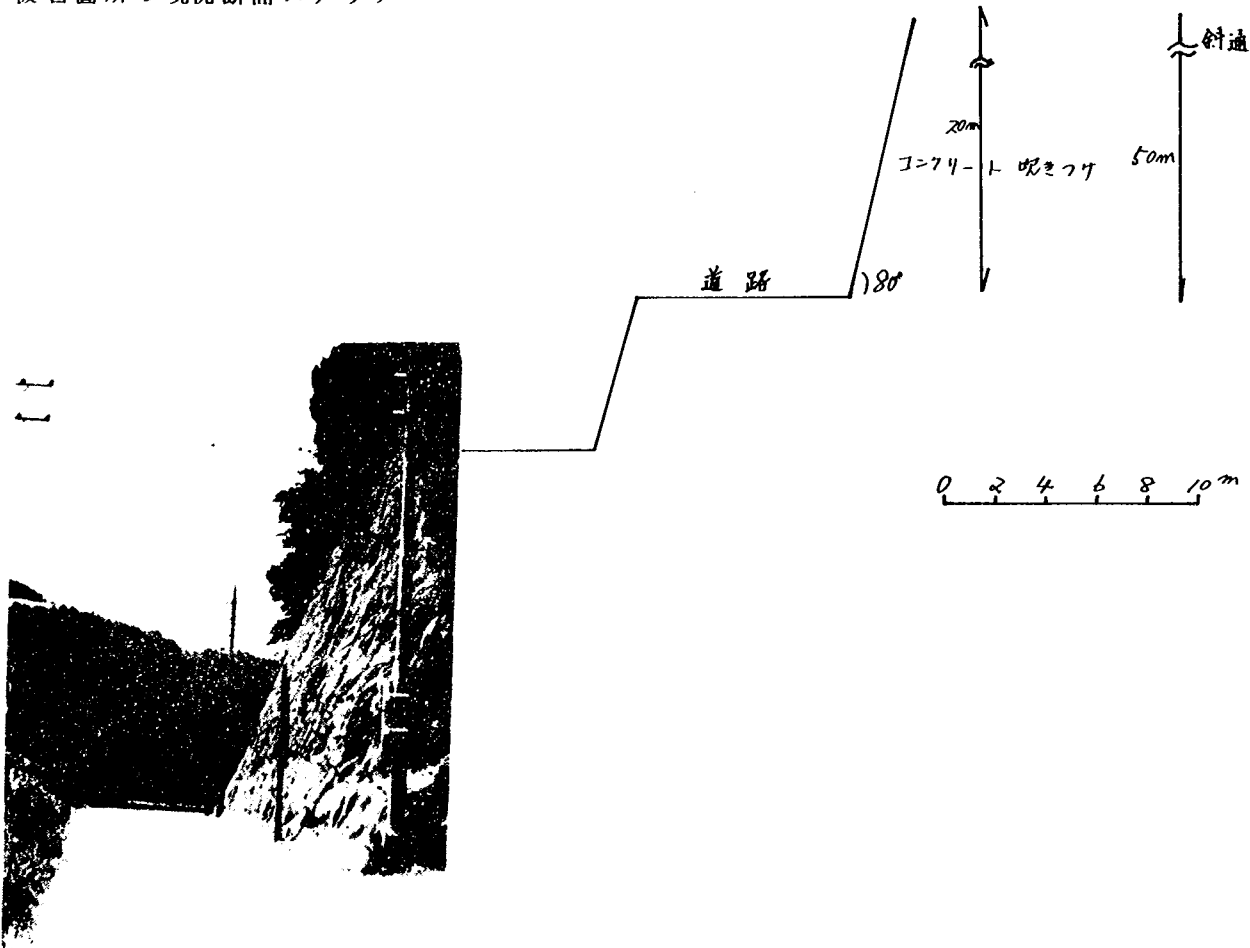
部分的に周囲の田と同一レベルに
なるほど泥下したところもあった。



— 225 —

調 査 地 点	坂 3 3 0		
調 査 年 月 日	S 5 3 . 8 . 1 5		
路 線 名	主要地方道 2 8 号 館山白浜線		
所 在 地	千葉県館山市大戸		
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 ③ 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 6. 低地 7. その他 ()		
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 ③ 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他 ()		
後 背 地 の 利 用	① 山林 2. 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他 ()		
表 層 地 質 区 分	1. 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 ③ 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類		
	時 代 区 分	鮮 新 世	
傾 斜 区 分	3	起 状 量	2
地 下 水 位 ・ 湧 水			
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m ② 切土 (2 0) m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地		
被 害 の 状 況	斜面の崩壊と推定。		
被 害 分 類	切土の被害	被 害 金 額	1,000~5,000円 1 箇所
		地震断層からの距離	10~20

被害箇所の現況断面スケッチ



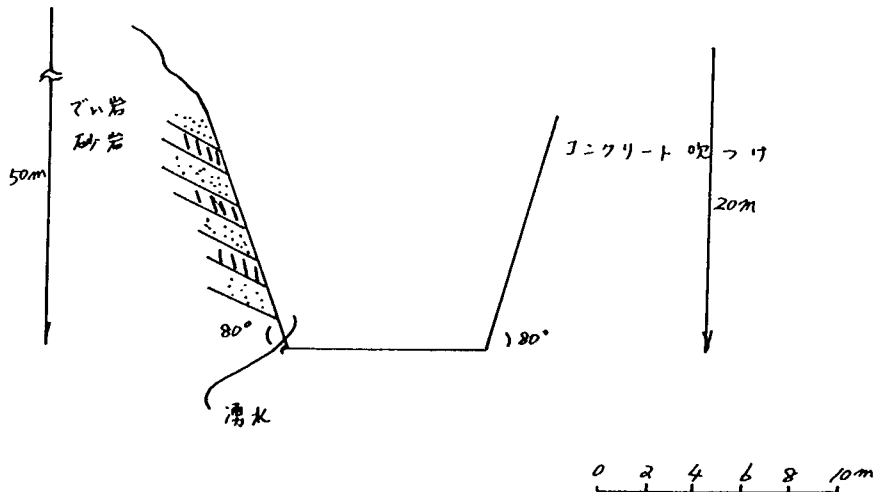
調 査 地 点	㍷331				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 1 6				
路 線 名	一般県道191号館山長尾線				
所 在 地	千葉県館山市出野尾				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 ③ 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 6. 低地 7. その他()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 ② 中腹 3. 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他()				
後 背 地 の 利 用	① 山林 2. 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他()				
表 層 地 質 区 分	1. 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 ③ 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	鮮 新 世			
傾 斜 区 分	4		起 状 量	2	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土() m ② 切土(8) m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被 害 の 状 況	斜面の崩壊と推定。				
被 害 分 類	切土の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	10~20
被害箇所の現況断面スケッチ					

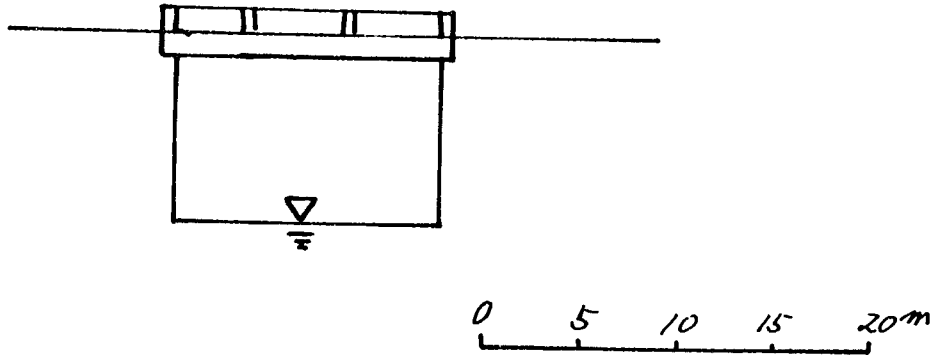
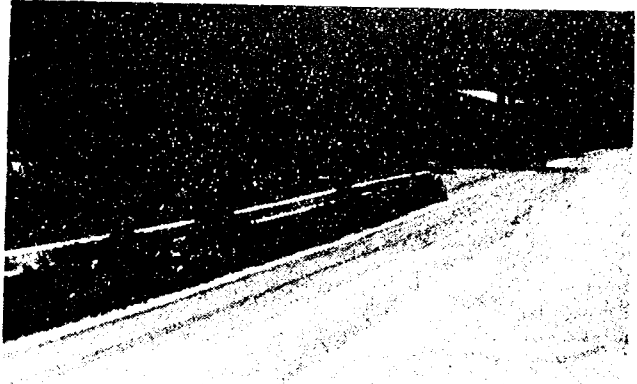
調査カード

第()

調査地番	.6332				
調査年月日	S53. 8.16				
路線名	一般県道191号館山長尾線				
所在地	千葉県館山市出野尾				
地形区分	1.山地 2.火山地 ③丘陵地 4.台地 5.段丘地 6.低地 7.その他()				
位置・標高	1.頂部 ②中腹 3.山裾 4.谷部 5.平地 6.その他()				
後背地の利用	①山林 2.畑 3.水田 4.宅地 5.果樹園 6.荒れ地 7.河原 8.その他()				
表層地質区分	1.未固結堆積物 2.半固結堆積物 ③固結堆積物				
	4.変成岩 5.火山性岩石 6.深成岩および一部変成岩類				
時代区分	鮮新世				
傾斜区分	4		起状量	2	
地下水位・湧水	道路面より約1m上				
現況道路形状	1.盛土()m ②切土(15)m 3.切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4.平地				
被害の状況	トンネルの出口の崖が崩れたものと推定。				
被害分類	切土の被害	被害金額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	10~20

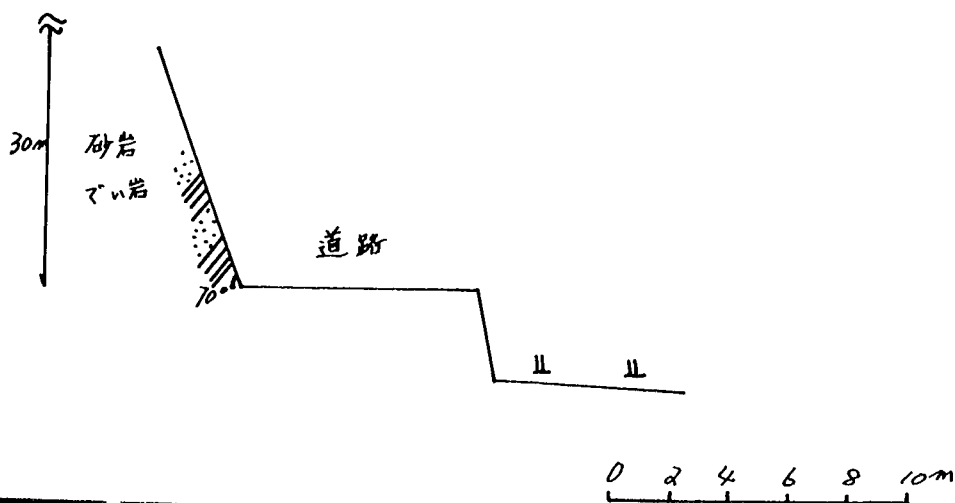
被害箇所の現況断面スケッチ

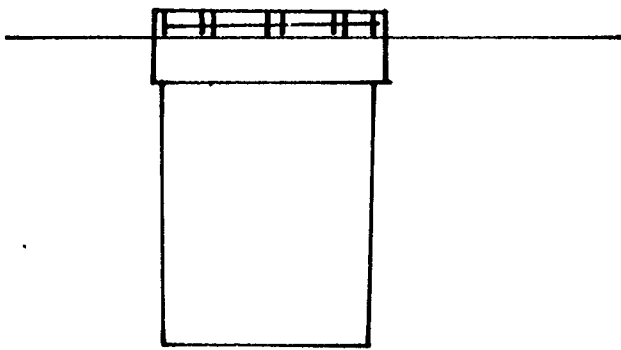
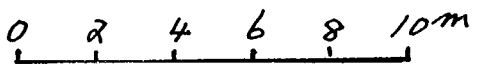


調 査 地 点	A333				
調 査 年 月 日	S53. 8.16				
路 線 名	一般県道191号館山長尾線				
所 在 地	千葉県館山市神余畑				
地 形 区 分	1.山地 2.火山地 ③丘陵地 4.台地 5.段丘地 6.低地 7.その他()				
位 置 ・ 標 高	1.頂部 ②中腹 3.山裾 4.谷部 5.平地 6.その他()				
後 背 地 の 利 用	1.山林 2.畑 3.水田 ④宅地 5.果樹園 6.荒れ地 7.河原 8.その他()				
表 層 地 質 区 分	1.未固結堆積物 2.半固結堆積物 ③固結堆積物				
	4.変成岩 5.火山性岩石 6.深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	鮮 新 世			
傾 斜 区 分	2		起 状 量	2	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1.盛土()m 2.切土()m 3.切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④平地				
被 害 の 状 況	橋梁の被害と推定。				
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	10~20
被害箇所の現況断面スケッチ					
					
					

調 査 地 点	No 334				
調 査 年 月 日	S 53. 8. 16				
路 線 名	一般県道191号館山長尾線				
所 在 地	千葉県館山市神余				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 ③ 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 6. 低地 7. その他()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 ③ 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他()				
後 背 地 の 利 用	① 山林 2. 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他()				
表 層 地 質 区 分	1. 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 ③ 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	鮮 新 世			
傾 斜 区 分	2		起 状 量	2	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土() m ② 切土(5) m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被 害 の 状 況	崖の崩壊以外に被害を受けそうなところはみられない。				
被 害 分 類	切土の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	10~20

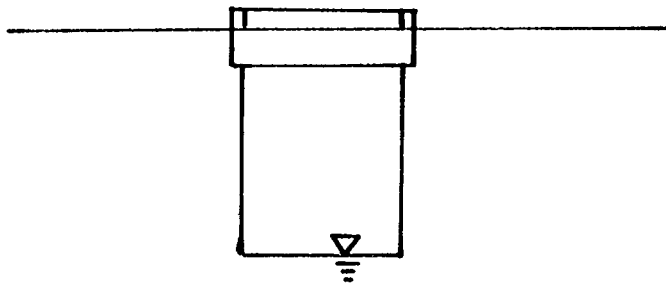
被害箇所の現況断面ス



調 査 地 点	A335				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 1 6				
路 線 名	一般県道191号館山長尾線				
所 在 地	千葉県館山市神余				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 ⑤ 段丘地 6. 低地 7. その他()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 ④ 谷部 5. 平地 6. その他()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 ③ 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他()				
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	2		起 状 量	1	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土() m 2. 切土() m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④ 平地				
被 害 の 状 況	(70才位の男性)震災の時のことはよくおぼえていないが、橋は洪水でよく崩れた。地震の時、恐らく、この橋が破壊されたものと思われる。				
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	10~20
被害箇所の現況断面スケッチ					
					
					
					

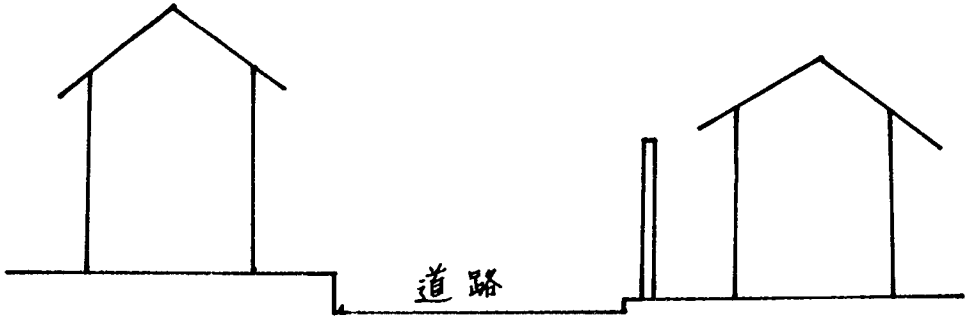
調査地点	No 336		
調査年月日	S 53. 8.15		
路線名	主要地方道28号館山白浜線		
所在地	千葉県安房郡白浜町砂取		
地形区分	1.山地 2.火山地 3.丘陵地 4.台地 ⑤段丘地 6.低地 7.その他()		
位置・標高	1.頂部 2.中腹 3.山裾 ④谷部 5.平地 6.その他()		
後背地の利用	1.山林 2.畑 ③水田 4.宅地 5.果樹園 6.荒地 7.河原 8.その他()		
表層地質区分	①未固結堆積物 2.半固結堆積物 3.固結堆積物		
	4.変成岩 5.火山性岩石 6.深成岩および一部変成岩類		
	時代区分	沖 積 期	
傾斜区分	1	起 状 量	2
地下水位・湧水			
現況道路形状	1.盛土()m 2.切土()m 3.切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④平地		
被害の状況	橋梁の被害と推定。		
被害分類	橋梁の被害	被害金額	1,000円以下1箇所
		地震断層からの距離	10~20

被害箇所の現況断面スケッチ



0 1 2 3 4 5m

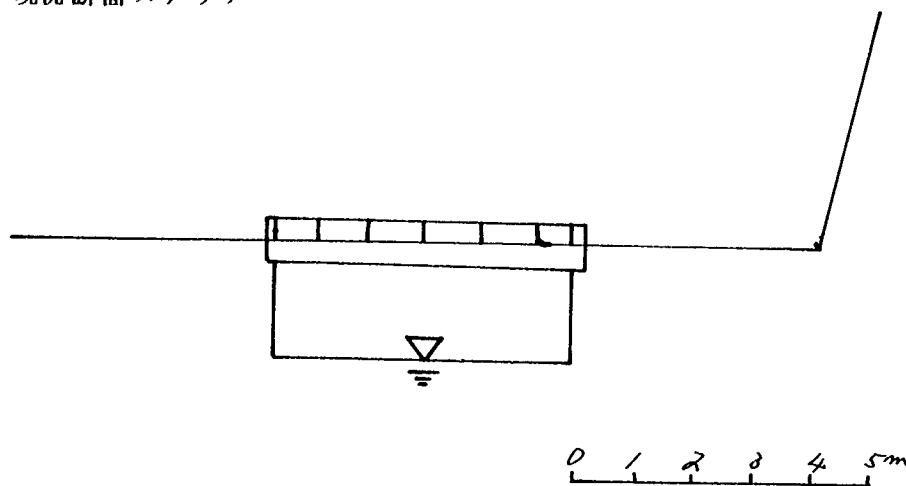


調 査 地 点	No 337				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 1 5				
路 線 名	主要地方道 28 号館山白浜線				
所 在 地	千葉県安房郡白浜町根本				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 ⑤ 段丘地 6. 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 ③ 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 3. 水田 ④ 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	1		起 状 量	3	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④ 平地				
被 害 の 状 況	(75~80才位の女性)路面に亀裂が生じ、数10cmの断差が生じた。そこから水が噴き出した。家はいくつか崩壊した。 また、この調査地Noにはのっていないが、フラワーパーク付近で崩壊がおこり、道路をふさいだ。その時、一人死亡したという。				
被 害 分 類	路面上の小規模な亀裂	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	0~10
被害箇所の現況断面スケッチ					
					
					
0 2 4 6 8 10m					

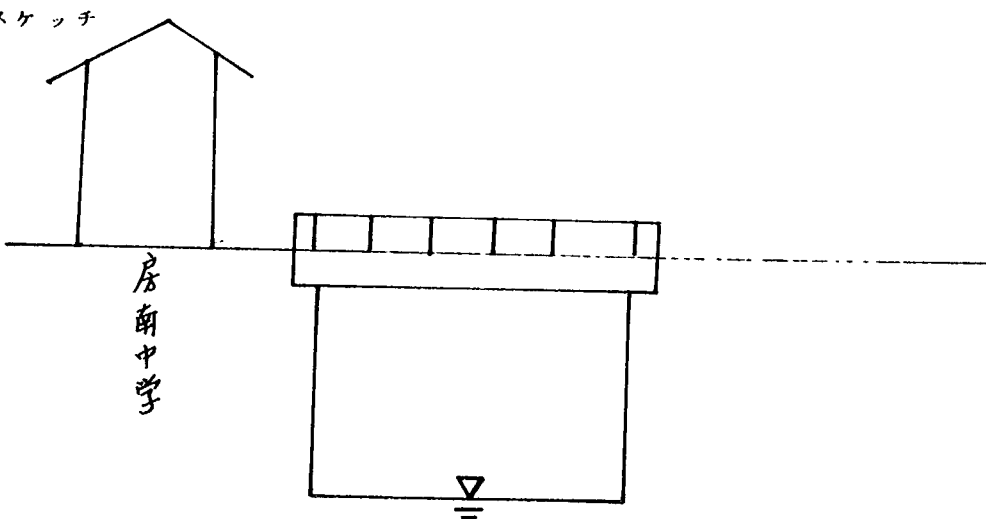
調査地点	No 338				
調査年月日	S 53. 8. 15				
路線名	主要地方道28号館山白浜線				
所在地	千葉県館山市中里				
地形区分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 ⑤段丘地 6. 低地 7. その他 ()				
位置・標高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 ④谷部 5. 平地 6. その他 ()				
後背地の利用	1. 山林 ②畑 ③水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他 ()				
表層地質区分	①未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物				
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
時代区分	沖 積 期				
傾斜区分	1	起 状 量	1		
地下水位・湧水					
現況道路形状	1. 盛土 () m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④平地				
被害の状況	(70才代の男性) この橋は地震以前には洪水によって崩れたが、地震の時は木造でこわれなかった。ほかに被害を受けそうな場所はみられないし、聞きとりの結果でもなかったという話であるので、この洪水による崩壊が記録されたものではないだろうか。				
被害分類	橋梁の被害	被害金額	5,000~20,000円 1箇所	地震断層からの距離	10~20
被害箇所の現況断面スケッチ					

調 査 地 点	No 342				
調 査 年 月 日	S 53. 8. 15				
路 線 名	主要地方道128号館山白浜線				
所 在 地	千葉県館山市大名				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 ⑤ 段丘地 6. 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 ③ 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 3. 水田 ④ 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	1		起 状 量	1	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④ 平地				
被 害 の 状 況	橋梁の被害と推定。ここは旧道で、新道の128号より北へ約20m離れている。				
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	10~20

被害箇所の現況断面スケッチ

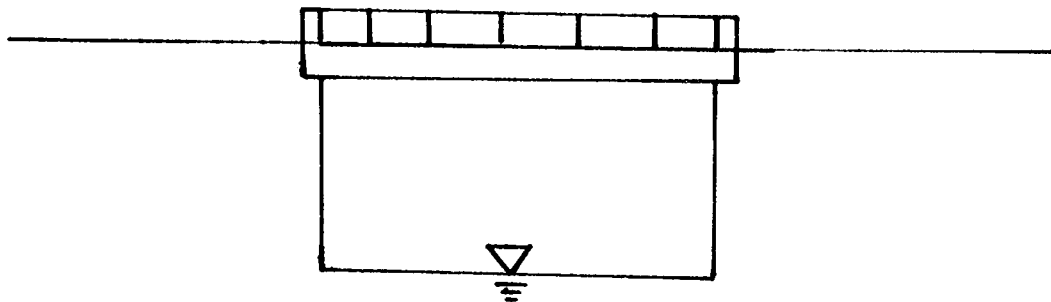


調査地点	6343				
調査年月日	S53. 8.15				
路線名	主要地方道28号館山白浜線(付近)				
所在地	千葉県館山市佐野				
地形区分	1.山地 2.火山地 3.丘陵地 4.台地 ⑤段丘地 6.低地 7.その他()				
位置・標高	1.頂部 2.中腹 3.山裾 ④谷部 5.平地 6.その他()				
後背地の利用	1.山林 2.畑 3.水田 ④宅地 5.果樹園 6.荒地 7.河原 8.その他()				
表層地質区分	①未固結堆積物 2.半固結堆積物 3.固結堆積物				
	4.変成岩 5.火山性岩石 6.深成岩および一部変成岩類				
時代区分	沖 積 期				
傾斜区分	2		起 状 量	1	
地下水位・湧水					
現況道路形状	1.盛土()m 2.切土()m 3.切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④平地				
被害の状況	(40才代の主婦が古老に聞いた話)家の石垣が道路に崩れ落ちたということである。				
被害分類	その他 (石垣の倒壊)	被害金額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	10~20
被害箇所の現況断面スケッチ					

調 査 地 点	A6344				
調 査 年 月 日	S 5 3. 8. 1 5				
路 線 名	主要地方道28号館山白浜線				
所 在 地	千葉県館山市藤原				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 ⑤ 段丘地 6. 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 ③ 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 3. 水田 ④ 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物				
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	1	起 状 量	1		
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④ 平地				
被 害 の 状 況	橋梁の被害と推定。				
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	10~20
被害箇所の現況断面スケッチ					
					
					

観 測 地 点	No 345		
観 測 年 月 日	S 53. 8. 15		
路 線 名	主要地方道 28号館山白浜線		
所 在 地	千葉県館山市藤原		
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 ⑤ 段丘地 6. 低地 7. その他 ()		
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 ③ 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他 ()		
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 ③ 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()		
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類		
	時 代 区 分	沖 積 期	
傾 斜 区 分	1	起 状 量	1
地 下 水 位 ・ 湧 水			
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④ 平地		
被 害 の 状 況	佐野橋の被害と推定。		
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所
		地震断層からの距離	10~20

被害箇所の現況断面スケッチ

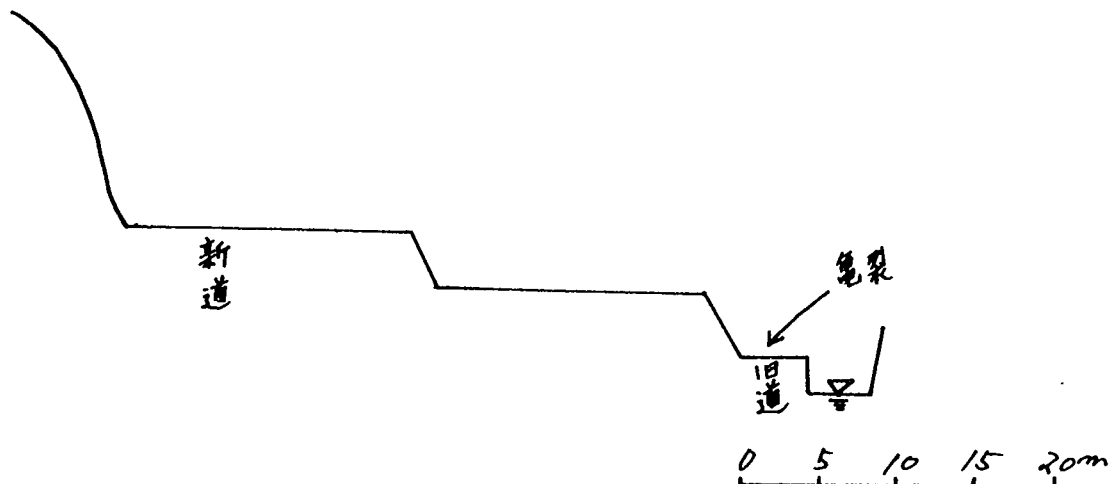


0 1 2 3 4 5m



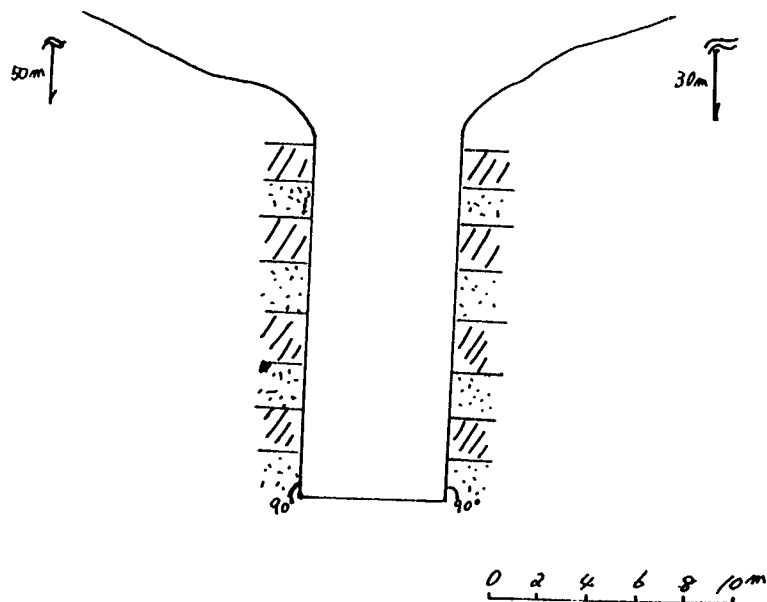
調 査 地 点	No 346				
調 査 年 月 日	S 53. 8.15				
路 線 名	主要地方道28号館山白浜線				
所 在 地	千葉県館山市富州				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 ⑤ 段丘地 6. 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 ④ 谷部 5. 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 3. 水田 ④ 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	① 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	3		起 状 量	1	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被 害 の 状 況	(70才女性)旧道に亀裂が生じた。橋の被害はなかった。				
被 害 分 類	路面上の小規模な亀裂	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	10~20

被害箇所の現況断面スケッチ



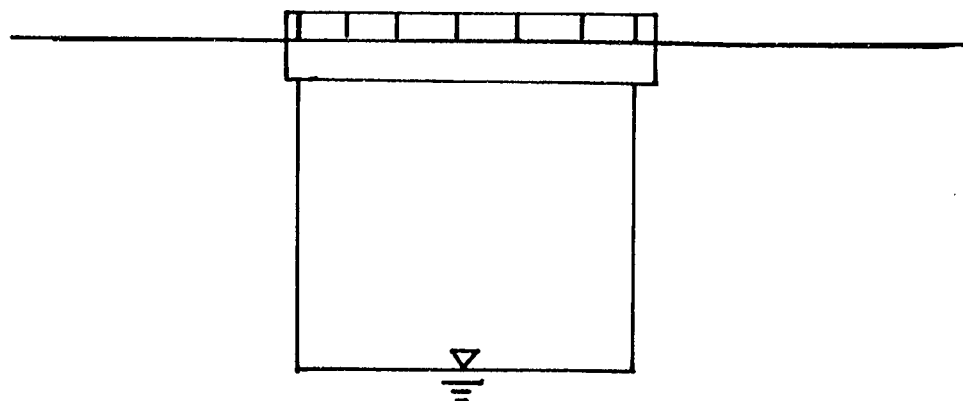
調査地点	6347				
調査年月日	S 53. 8. 15				
路線名	主要地方道28号館山白浜線				
所在地	千葉県館山市谷藤原				
地形区分	1. 山地 2. 火山地 ③ 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 6. 低地 7. その他 ()				
位置・標高	1. 頂部 2. 中腹 ④ 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他 ()				
後背地の利用	① 山林 2. 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他 ()				
表層地質区分	1. 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 ③ 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時代区分	中 新 世			
傾斜区分	3		起伏量	2	
地下水位・湧水	道路上より約1mに湧水、砂岩よりしみ出る。				
現況道路形状	1. 盛土 () m ② 切土 (10) m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被害の状況	(蒲生部落の70才代の男性) 旧道で斜面が崩壊し、道路をふさいだ。現在は放棄され、使用されていない。				
被害分類	切土の被害	被害金額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	10~20

被害箇所の現況断面スケッチ

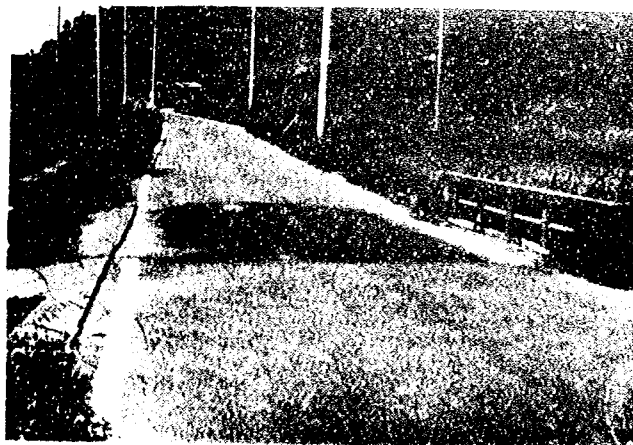


調 査 地 点	No 348				
調 査 年 月 日	S 53. 8. 15				
路 線 名	一般県道257号南安房公園線(付近)				
所 在 地	千葉県館山市布沼				
地 形 区 分	1.山地 2.火山地 3.丘陵地 4.台地 ⑤段丘地 6.低地 7.その他()				
位 置 ・ 標 高	1.頂部 2.中腹 3.山裾 ④谷部 5.平地 6.その他()				
後 背 地 の 利 用	1.山林 2.畑 ③水田 4.宅地 5.果樹園 6.荒地 7.河原 8.その他()				
表 層 地 質 区 分	①未固結堆積物 2.半固結堆積物 3.固結堆積物 4.変成岩 5.火山性岩石 6.深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	4		起 状 量	1	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1.盛土()m 2.切土()m 3.切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④平地				
被 害 の 状 況	布沼、小原で、75才の男性、70才の女性に聞いたが、この付近で該当する場所はみあたらない。しかし、洲宮のかんめ橋が崩壊したということである。図1-1の位置と少し離れているが、これがNo 348にあたるのではあるまいか。				
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	1,000~5,000円 1箇所	地震断層からの距離	10~20

被害箇所の現況断面スケッチ



0 1 2 3 4 5m

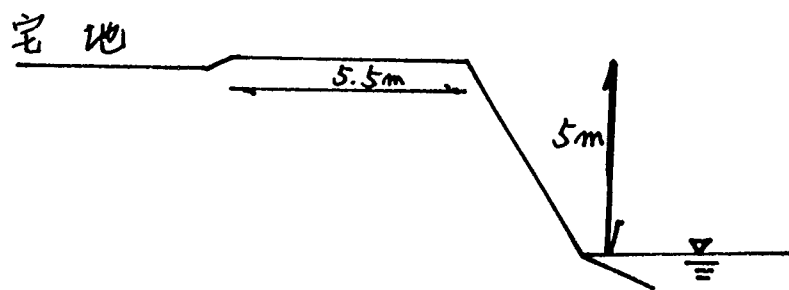


調 査 地 点	No 351				
調 査 年 月 日	S 53. 5. 23				
路 線 名	一般県道257号南安房公園線				
所 在 地	千葉県館山市見物				
地 形 区 分	1.山地 2.火山地 ③丘陵地 4.台地 5.段丘地 6.低地 7.その他()				
位 置 ・ 標 高	1.頂部 2.中腹 3.山裾 4.谷部 ⑤平地 6.その他()				
後 背 地 の 利 用	1.山林 2.畑 ③水田 4.宅地 5.果樹園 6.荒れ地 7.河原 8.その他()				
表 層 地 質 区 分	1.未固結堆積物 2.半固結堆積物 ③固結堆積物 4.変成岩 5.火山性岩石 6.深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	中 新 世			
傾 斜 区 分	1		起 状 量	2	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1.盛土()m 2.切土()m 3.切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4.平地				
被 害 の 状 況	被害は大きくなかったらしい。				
被 害 分 類	路面上の小規模な亀裂	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	10~20
被害箇所の現況断面スケッチ					
$l = 9.50 m$ 					

調 査 地 点	No 352				
調 査 年 月 日	S 53. 5. 23				
路 線 名	一般県道257号南安房公園線				
所 在 地	千葉県館山市見物				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 ⑤ 段丘地 6. 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤ 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 3. 水田 ④ 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	1. 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 ③ 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	中 新 世			
傾 斜 区 分	1		起 状 量	2	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m 2. 切土 () m 3. 切土盛土 m ④ 平地				
被 害 の 状 況	被害は大きくなかったらしい。				
被 害 分 類	路面上の小規模な亀裂	被 害 金 額	1,000~5,000円 1箇所	地震断層からの距離	10~20

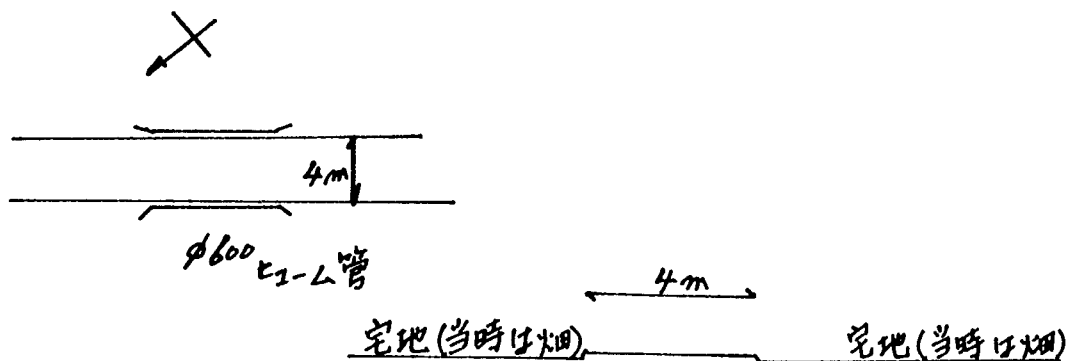
被害箇所の現況断面スケッチ

見物橋のとりつけ

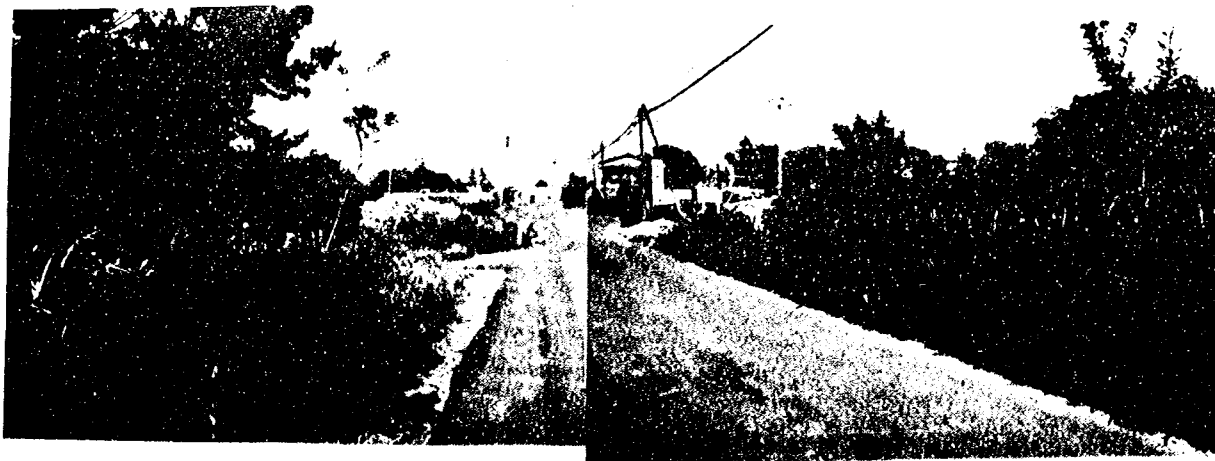


調 査 地 点	No 353				
調 査 年 月 日	S 53. 5.23				
路 線 名	一般県道257号南安房公園線				
所 在 地	千葉県館山市見物				
地 形 区 分	1.山地 2.火山地 3.丘陵地 4.台地 ⑤段丘地 6.低地 7.その他()				
位 置 ・ 標 高	1.頂部 2.中腹 3.山裾 4.谷部 ⑤平地 6.その他()				
後 背 地 の 利 用	1.山林 2.畑 3.水田 ④宅地 5.果樹園 6.荒れ地 7.河原 8.その他()				
表 層 地 質 区 分	1.未固結堆積物 2.半固結堆積物 3.固結堆積物 4.変成岩 5.火山性岩石 6.深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	中 新 世			
傾 斜 区 分	1		起 状 量	2	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1.盛土()m 2.切土()m 3.切土盛土 $\frac{m}{m}$ ④平地				
被 害 の 状 況					
被 害 分 類	路面上の小規模な亀裂	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	10~20

被害箇所の現況断面スケッチ

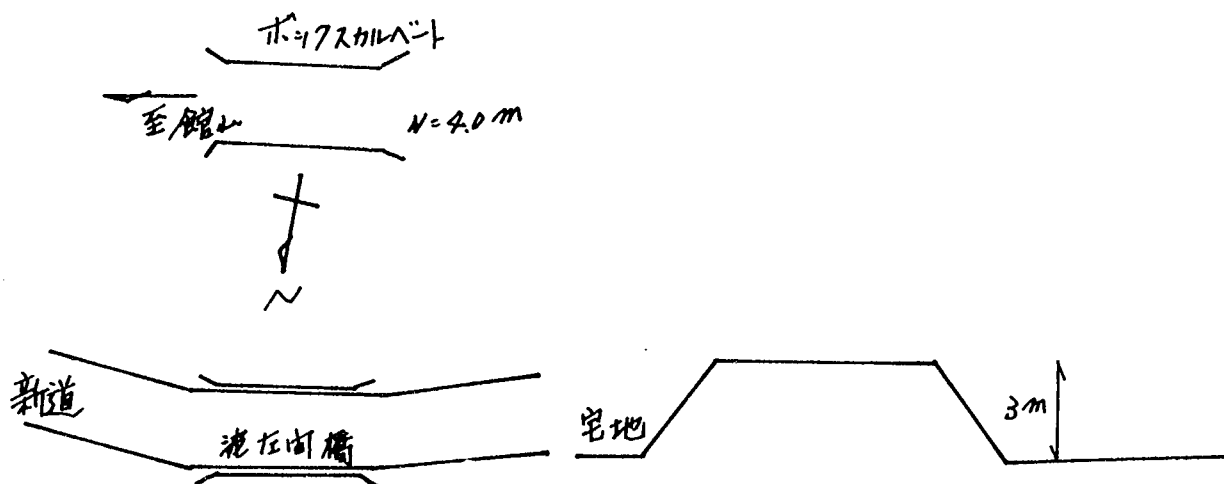


道路部若干かひ割れ程度



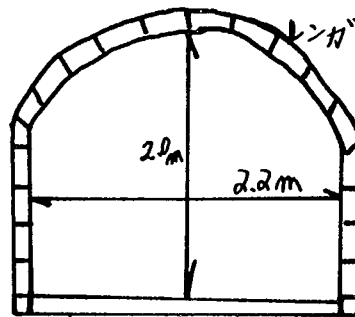
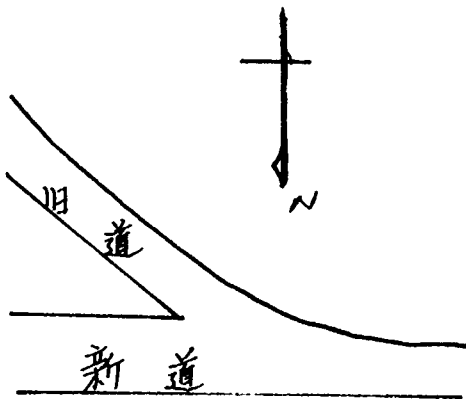
調 査 地 点	No 354		
調 査 年 月 日	S 53. 5. 23		
路 線 名	一般県道257号南安房公園線		
所 在 地	千葉県館山市(見物)波左間		
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 ③丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 6. 低地 7. その他()		
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 3. 山裾 4. 谷部 ⑤平地 6. その他()		
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 3. 水田 ④宅地 5. 果樹園 6. 荒地 7. 河原 8. その他()		
表 層 地 質 区 分	1. 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 ③固結堆積物		
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類		
	時 代 区 分	中 新 世	
傾 斜 区 分	1	起 状 量	2
地 下 水 位 ・ 湧 水			
現 況 道 路 形 状	①盛土(3)m 2. 切土()m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地		
被 害 の 状 況	当時は木造で、これが落橋した。		
被 害 分 類	橋梁の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所
		地震断層からの距離	10~20

被害箇所の現況断面スケッチ



調 査 地 点	No 356				
調 査 年 月 日	S 53. 5. 23				
路 線 名	一般県道257号南安房公園線				
所 在 地	千葉県館山市波左間				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 ③ 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 6. 低地 7. その他()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 ③ 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 2. 畑 3. 水田 ④ 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他()				
表 層 地 質 区 分	1. 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 ④ 固結堆積物				
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	中 新 世			
傾 斜 区 分	1		起 状 量	2	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土() m ② 切土() m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被 害 の 状 況	家屋の倒壊はなかった。 道路の他の部分の被害はなかった。				
被 害 分 類	その他 (トンネルの亀裂)	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	10~20

被害箇所の現況断面スケッチ

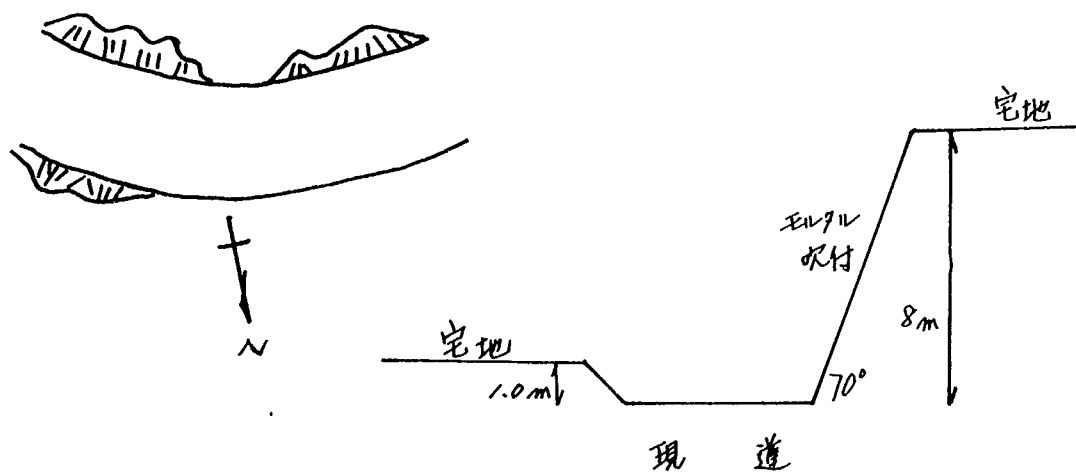


目地にクラックが入った



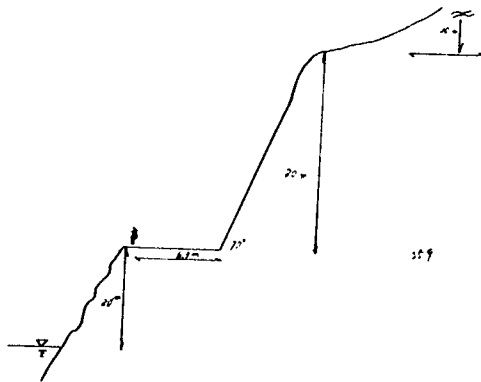
調 査 地 点	No 358				
調 査 年 月 日	S 53. 5.23				
路 線 名	一般県道257号南安房公園線				
所 在 地	千葉県館山市坂田				
地 形 区 分	1.山地 2.火山地 ③丘陵地 4.台地 5.段丘地 6.低地 7.その他()				
位 置 ・ 標 高	1.頂部 2.中腹 ③山裾 4.谷部 5.平地 6.その他()				
後 背 地 の 利 用	1.山林 2.畑 3.水田 ④宅地 5.果樹園 6.荒れ地 7.河原 8.その他()				
表 層 地 質 区 分	1.未固結堆積物 2.半固結堆積物 ③固結堆積物 4.変成岩 5.火山性岩石 6.深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	中 新 世			
傾 斜 区 分	4		起 状 量	2	
地 下 水 位 ・ 湧 水	あ り				
現 況 道 路 形 状	1.盛土()m ②切土(8)m 3.切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4.平地				
被 害 の 状 況					
被 害 分 類	切土の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離	10~20

被害箇所の現況断面スケッチ



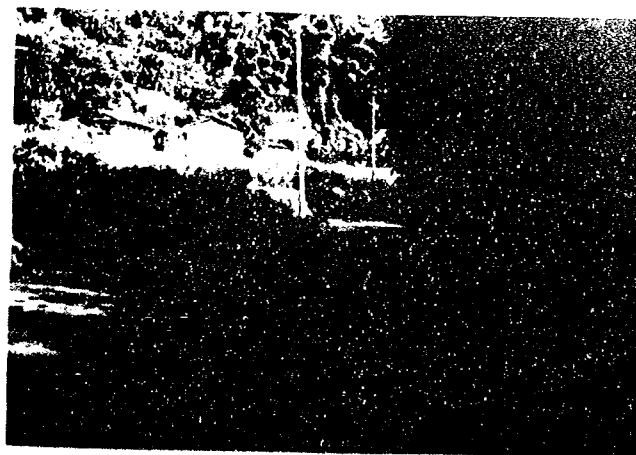
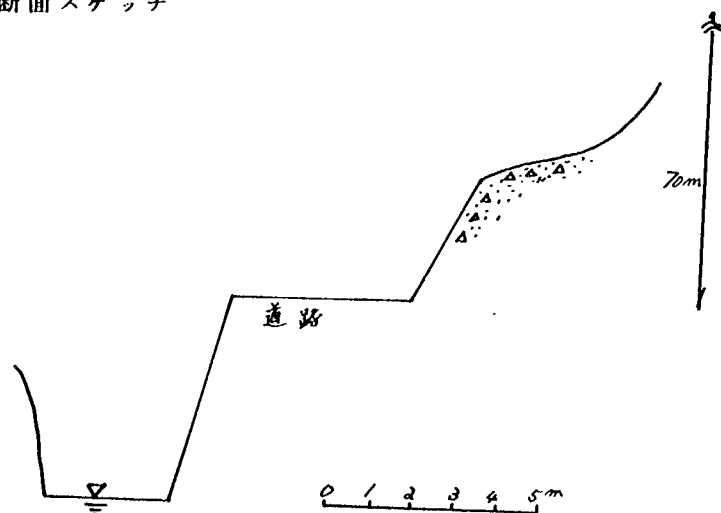
調 査 地 点	坂 3 5 9		
調 査 年 月 日	S 5 3. 5. 2 3		
路 線 名	一般県道 2 5 7 号 南 安 房 公 園 線		
所 在 地	千葉県館山市洲崎		
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 ③ 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 6. 低地 7. その他()		
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 ② 中腹 3. 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他()		
後 背 地 の 利 用	① 山林 2. 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他()		
表 層 地 質 区 分	1. 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 ③ 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類		
時 代 区 分	中 新 世		
傾 斜 区 分		起 状 量	
地 下 水 位 ・ 湧 水			
現 況 道 路 形 状	1. 盛土() m 2. 切土() m ③ 切土盛土 $\frac{2}{2} \frac{m}{m}$ 4. 平地		
被 害 の 状 況	土砂崩壊によって、道の $\frac{2}{3}$ 位が埋った。		
被 害 分 類	切土の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所 地震断層からの距離 10~20

被害箇所の現況断面スケッチ



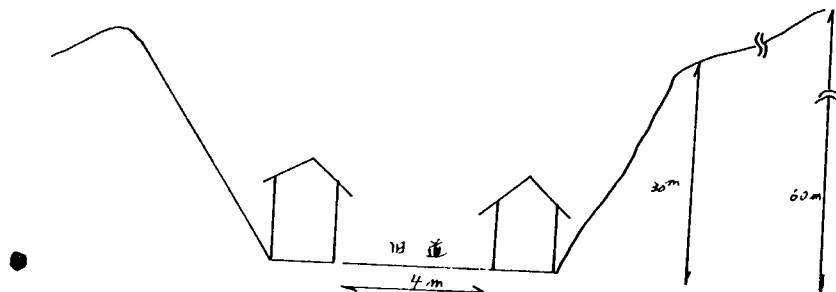
調 査 地 点	No 361				
調 査 年 月 日	S 53. 8. 14				
路 線 名	一般県道186号居倉館山線(付近)				
所 在 地	千葉県安房郡富浦町手取				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 ③丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 6. 低地 7. その他()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 ③山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他()				
後 背 地 の 利 用	1. 山林 ②畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他()				
表 層 地 質 区 分	①未固結堆積物 2. 半固結堆積物 3. 固結堆積物 崖錐堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	沖 積 期			
傾 斜 区 分	5		起 状 量	2	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土()m ②切土(3)m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被 害 の 状 況	(83才の女性)橋の被害はない。丹生の家が2軒こわれた。丹生の橋より北へ約100mのところまで道路に亀裂が入った。				
被 害 分 類	路面上の小規模な亀裂	被 害 金 額	1,000~5,000円 1箇所	地震断層からの距離	20~30

被害箇所の現況断面スケッチ



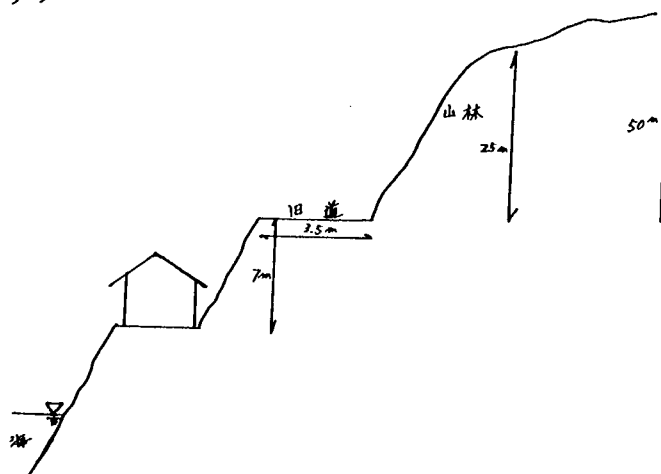
調 査 地 点	No. 3 6 3				
調 査 年 月 日	S 5 3. 5. 1 0				
路 線 名	一般国道 1 2 7 号				
所 在 地	千葉県安房郡富浦町南無谷				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 ⑥ 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 2. 中腹 ③ 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	① 山林 2. 畑 3. 水田 ④ 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	1. 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 ③ 固結堆積物				
	4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	中 新 世			
傾 斜 区 分	1		起 状 量	2	
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m ② 切土 (1 0 ~ 3 0) m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被 害 の 状 況					
被 害 分 類	切土の被害	被 害 金 額	5,000~20,000 円 1 箇所	地震断層からの距離	20~30

被害箇所の現況断面スケッチ

断面の亀裂
注目の傾斜

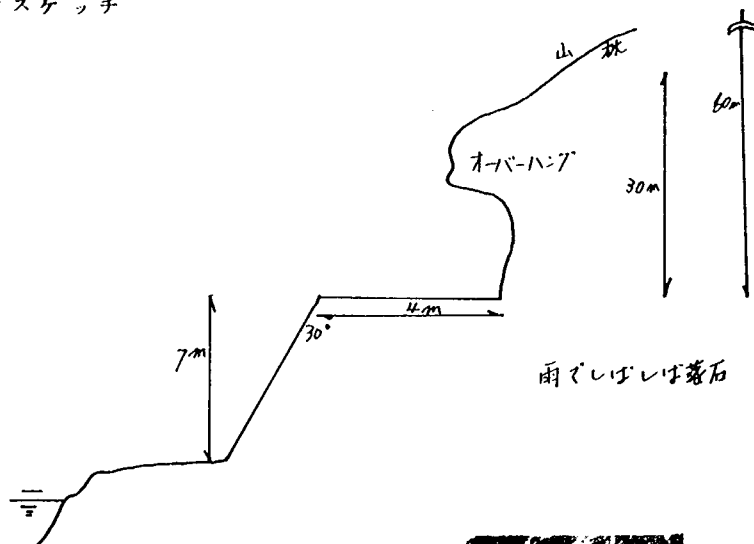
調 査 地 点	No 364			
調 査 年 月 日	S 53. 5. 10			
路 線 名	一般国道127号			
所 在 地	千葉県安房郡富浦町南無谷			
地 形 区 分	①山地 2. 火山地 3. 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 6. 低地 7. その他 ()			
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 ②中腹 3. 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他 ()			
後 背 地 の 利 用	①山林 2. 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()			
表 層 地 質 区 分	1. 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 ③固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類			
	時 代 区 分	中 新 世		
傾 斜 区 分	4	起 状 量	1	
地 下 水 位 ・ 湧 水				
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m ②切土 (25) m 3. 切土盛土 m m 4. 平地			
被 害 の 状 況				
被 害 分 類	切土の被害	被 害 金 額	1,000円以下1箇所	地震断層からの距離
				20~30

被害箇所の現況断面スケッチ



調 査 地 点	No 365				
調 査 年 月 日	S 53. 5.10				
路 線 名	一般国道 127 号線				
所 在 地	千葉県安房郡富浦町南無谷地先				
地 形 区 分	1. 山地 2. 火山地 ③ 丘陵地 4. 台地 5. 段丘地 6. 低地 7. その他 ()				
位 置 ・ 標 高	1. 頂部 ② 中腹 3. 山裾 4. 谷部 5. 平地 6. その他 ()				
後 背 地 の 利 用	① 山林 2. 畑 3. 水田 4. 宅地 5. 果樹園 6. 荒れ地 7. 河原 8. その他 ()				
表 層 地 質 区 分	1. 未固結堆積物 2. 半固結堆積物 ③ 固結堆積物 4. 変成岩 5. 火山性岩石 6. 深成岩および一部変成岩類				
	時 代 区 分	中 新 世			
傾 斜 区 分	4	起 状 量	1		
地 下 水 位 ・ 湧 水					
現 況 道 路 形 状	1. 盛土 () m ② 切土 (4) m 3. 切土盛土 $\frac{m}{m}$ 4. 平地				
被 害 の 状 況	雨による落石の多い箇所である。				
被 害 分 類	切土の被害	被 害 金 額	1,000~5,000円 1 箇所	地震断層からの距離	20~30

被害箇所の現況断面スケッチ



関東地震による千葉県内の
道路施設の被害調査

土木研究所資料第1643号
昭和56年2月(1981年)

建設省土木研究所耐震研究室

キーワード：関東地震，千葉県，道路施設，被害分析

要旨 関東地震（1923年）による千葉県内の道路施設の被害を調査し，被害の程度とこれに影響をおよぼす要因の間の関係について分析をおこなった。

郵便はがき

300-26

四十円切手
をはって下
さい

茨城県筑波郡豊里町大字旭一番地
建設省土木研究所
耐震研究室
御中

No. 94

No. 94

配布先氏名

配布先住所



土木研究所資料第1643号 部

上記のとおり受領しました。

所 属（住所）

氏 名

印